大塚病院構內建物移築改造工事　一五、四四五圓（落札）　泉名永藏

東京市役所（指名入札十六日開札）

淺草區役所廳舍新築工事　三八九、二〇〇圓（超過）森田福市、四〇六、〇〇〇圓　大林組、四〇八、三〇〇圓　錢高組、四一五、〇〇〇圓　安藤組、四一五、三九七圓　大倉土木株式會社　四一六、五〇〇圓　竹田組、四一七、〇〇〇圓　大阪橋本組、四二三、五〇〇圓　石井櫂藏、四六二、〇〇〇圓　戶田利兵衛、四六三、〇〇〇圓　清水組、四八六、〇〇〇圓　竹中工務店、

右は本日午前十時迄再見積のこと

芝浦卸筒場沈砂池泥揚機械工事　二三、九六七圓（落札）　日立製作所

東京府內務部土木部（指名入札九月十六日）

八號國道八王子市町神町南多摩郡小室村大和山入會淺川に架す大和田橋々梁工事　三八、四〇〇圓（落札）　青木孝太郎

府下豐島郡西巢鴨町役場工事（指名入札）

西巢鴨町第六尋常小學校新築工事　八九、三五〇圓（落札）　倉田梅吉

街路第二一、二二號路線舖道車步道工事　三〇、八二〇圓（落札）　上田佐助

復興局第四出張所工事（指名入札）

幹線第二十七號街路一部新設工事　一〇、四六〇圓（落札）　橋本組合名資會社

清水組

以上再入札

二六二、七〇〇圓（超過）　久良木組、二六六、八〇〇圓　齋藤萬治

駒澤分教場新設工事

三九、四八〇圓（落札）　玉置嘉市

茨城縣廳工事（入札）

茨城縣立多賀中學校々舍新營工事　七六、四七〇圓（落札）　青木常太郎

東京府營繕課（指名入札十三日開札）

東京府立中野家政女學校校舍新築外四廉工事　三九、六三〇圓（落札）　井野久太郎

東京市役所（指名入札十八日開札）

街路第六、十八、十九號路線自萬世橋至上野五條町第一舖道車步道工事　三七、五〇〇圓（落札）　日本石油株式會社

橫濱市役所工事（指名入札）

久保山火葬場其他新築工事　四四、八五〇圓（超過）　中島辰造

海軍省工事（指名入札）

東京無線電信所船橋送信所兵舍其他新營工事　一八、八〇〇圓（不調）　石綿金太郎

再入札

一八、四〇〇圓（落札）　石綿金太郎

東京市役所

第三一號東京安浦線中川に架す大川大橋南葛飾郡大島町小松川町入會工形鐵桁鐵筋混凝土橋工事　八四、九八〇圓（超過）　小久保金四郎

再入札

八三、〇〇〇圓（超過）　小久保金四郎

東京市役所

南濱橋改築工事（指名）　一三八、〇〇〇圓（超過）　竹田組、一四二、九〇〇圓　勝呂組、一四六、〇〇〇圓　大林組、一四六、六五七圓　大倉土木株式會社

盛岡建設事務所（指名入札）

大船線第七區工事

三一八、〇〇〇圓（落札）　有田芳太郎、三二五、〇〇〇圓　伊藤甚作　三二九、三〇〇圓　星野合資會社、三三四、〇〇〇圓　丸山慶治、三三七、〇〇〇圓　米山保、三四三、〇〇〇圓　今井久吉、三四七、〇〇〇圓　池田永吉、三四八、五〇〇圓　合資會社大島組　三四九、〇〇〇圓　藤本組、右は豫定超過に付き森田氏と隨意契約協定中にて隨意契約成立の見込なり

陸軍造兵廠大阪工廠工事入札

射場增築工事　一三、九〇〇圓（落札）　久保田種吉

板橋町役場工事（指名入札）

板橋町立第三尋常小學校新築工事　四一、二〇〇圓（落札）　小泉岩吉



街路第八四號自芝園橋至サツマ原步道車道築造工事（指名）　五八、八〇〇圓（落札）　大塚盛一

東京市京橋區役所工事（指名入札）

文海小學校建築工事　二五八、九〇〇圓（落札）　櫻田機械製作所

神谷太一郎、二七二、〇〇〇圓　大林組、二七八、三一九圓　大倉土木株式會社、二八〇、〇〇〇圓　安藤組、二八二、〇〇〇圓　清水組、二八四、〇〇〇圓　鹿島組、二八七、〇〇〇圓　竹中工務店、二八八、九〇〇圓　富樫組、三一八、〇〇〇圓　藤本組

本所江東尋常小學校新築工事　三八九、八〇〇圓（落札）　鴻ノ池組、四一七、〇〇〇圓　安藤組、四一七、八五〇圓　竹田組

橋本店

橫濱市役所工事（指名入札）

山下町橫濱商業專修學校新築工事　八六圓（落札）　大倉土木株式會社村松組、一六八、七〇〇圓　安藤組、一七二、八〇〇圓　東京鋼材建築株式會社、一七三、四〇〇圓　三木多助

一七九、〇〇〇圓　飯田國榮、一七九、〇〇〇圓　竹田組、一九三、六〇〇圓　岩崎金太郎、二〇七、七〇〇圓　清水組、二一一、九〇〇圓　株式會社原木組

南濱橋鐵部製作工事

二八、二〇〇圓（落札）　櫻田機械製作所

淺草山谷堀尋常小學校

四五〇、〇〇〇圓（超過）　芝江組、四五二、〇〇〇圓　藤本組、四五三、〇〇〇圓　竹田組、四七七、〇〇〇圓　錢高組、四八二、〇〇〇圓　石井櫂藏

同再入札

四三七、〇〇〇圓（超過）　芝江組、四四四、〇〇〇圓　藤本組、四四七、〇〇〇圓　竹田組

東京府駒澤村役場工事（入札）

旭小學校建築工事　三六、五七四圓（落札）　本田組

神奈川縣廳工事指名（入札）

女子師範學校寄宿舍並附屬小學校教室其他新築工事

二六七、〇〇〇圓（超過）　齋藤萬治、二七九、五〇〇圓　久良木組、二七八、〇〇〇圓　日本土木建築株式會社、二九〇、〇〇〇圓　人見組、二九〇、〇〇〇圓　宇津木馬造、二九八、〇〇〇圓　錢高組、二九九、七八三圓　大倉土木株式會社、三〇六、九三五圓　橋本組工業合資會社、三一四、七〇〇圓　庄司組、三三五、〇〇〇圓　松村組、三三七、〇〇〇圓　大林組、三四〇、〇〇〇圓　飯田國榮、三四六、〇〇〇圓　株式會社大林組

警視廳官房會計課工事（指名入札）

日本橋堀留警察署廳舍建設工事　一四六、八〇〇圓（超過）　森田彦隆、一四八、八〇〇圓　藤本組、一四九、八〇〇圓　石井組、一五四、四〇〇圓　大阪橋本組、一五五、〇〇〇圓　戶田組、一五五、二〇〇圓　株式會社松村組、一五八、〇〇〇圓　合資會社清水組、一五八、七五〇圓　淺野同族株式會社、一六一、五〇〇圓　竹中工務店、一六二、八四四圓　大倉土木株式會社　一六七、〇〇〇圓　大林組

再入札

一四九、〇〇〇（超過）　森田彦隆、一四六、三〇〇圓　藤本組、右は豫定超過に付き森田氏と隨意契約協定中にて隨意契約成立の見込なり

陸軍造兵廠大阪工廠工事入札

射場增築工事　一三、九〇〇圓（落札）　久保田種吉

板橋町役場工事（指名入札）

板橋町立第三尋常小學校新築工事　四一、二〇

○圓　高野覺太郎、四一、九〇〇圓　岩淵金五郎
再入札
三九、七〇〇圓（落札）　岩淵金五郎
復興局第四出張所工事（指名入札）
小名木川筋改修第二工區（其二）岸壁工事　一二、二八三圓（落札）　泉名永藏
東京市役所（指名入札二十三日開札）
五九A　橋新築工事　七三、九八〇圓（超過）　勝呂組
街路第一四八號路線第一四八號路線自市ヶ谷見付至四谷見付舗道車歩道工事　四八、七〇〇圓（落札）　田淵源次郎
横濱市役所工事（指名入札）
ホテルニューグランド煖房排氣裝置及衛生工事　九七、四五〇圓（落札）　内田商事株式會社
警視廳官房會計課工事（指名入札）
外神田警察署新築工事　八四、七〇〇圓（落札）　合資會社清水組
東京市役所（指名入札二十五日）
萬世橋塵芥取扱所新築工事　二五、五〇〇圓（落札）　萩野工業所
栃木縣下妻町役場
下妻實科高等女學校新築工事　三八、七〇〇圓（不調）　飯塚松太郎
再入札

支部大臣官舍其他修繕工事　四七、三〇〇圓（落札）　濱口組
琴平橋改築工事　七二、七七〇圓（超過）　鐵道工業株式會社
再入札
七一、四五〇圓（落札）　鐵道工業株式會社
遞信省營繕課
東京中央郵便局小包郵便課等假廳舍增築工事
一一一、七〇〇圓（落札）　松村組、一三一、〇〇〇圓　森田福市、一三八、三〇〇圓　安藤組
一四五、〇〇〇圓　石井權藏、一四八、〇〇〇圓　錢高組、一四八、五〇〇圓　清水組、一五一、九三〇圓　大阪橋本組、一六二、九六三圓
八〇　日本土木建築株式會社、一八四、〇〇〇圓　大林組、二一五、五二〇圓　大倉土木株式會社
復興局
南千住運河新鑿工事の內護岸並橋梁其他工事
九九、八〇〇圓（超過）　橋本組工業合資會社
同再入札
九七、八〇〇圓（超過）　橋本組工業合資會社
東京市役所
芝區南濱町より日の出町に架する南濱橋改築工事（指名）　一二四、一三〇圓（落札）　安藤熊吉
一四三、八〇〇圓　大阪橋本組、一四八、七八〇圓　栗原源藏

三二、〇〇〇圓（落札）　堤藤兵衛
宮城縣內務部土木課（入札結果九月十九日）
宮城縣加美郡廣原小學校々舍新築工事一棟外附屬建物　三四、九九九五圓（落札）　澤口一郎
東京府內務部土木課（指名入札二十八日開札）
一等大路第三類第九號線　部荏原郡目黑町大字上目黑字小川　二九六番地地先至字伊勢脇一九三二番地地先間道路改修延長二六九面三八幅員十二間の內　車道舗裝面積　二、一二七坪十四　二一、八〇〇圓（超過）　大倉土木株式會社
街路第三八一、三八二號路線自池の端至團子坂下舗道車歩道工事　一〇五、五〇〇圓（超過）　櫻田機械製作所
第一中段自小石川初音町至水道橋幹線の內自富坂下至水道橋甲號下水工事　七一、七〇〇圓（超過）　平島市太郎
再入札
七一、五〇〇圓（超過）　平島市太郎
三の橋喞筒場泥揚機械工事　三六、七二〇圓（落札）　大阪鐵工所
石川縣能美郡小松町役場工事（入札）
小松商業學校敷地盛土工事二六、四〇〇圓（落札）　細田政吉
大藏省管財局（指名入札）
千住製絨所第五工場（梳毛工場）間敲き床に板張床取設工事　一一、一五〇圓（落札）　井上合資會社

小名木川改修第一工區（其十）岸壁工事　一二〇、二八〇圓（落札）　宮永平作
東京市役所（指名入札三十日開札）
第二東京市立中學校新築工事　六一二、〇〇〇圓（超過）　大林組、六一四、〇〇〇圓　藤本清次郎、六三八、〇〇〇圓　錢高組、六四八、〇〇〇圓　竹中工務店、六五六、〇〇〇圓　戶田利兵衛、六九二、二〇〇圓　大倉土木株式會社
六九五、〇〇〇圓　清水組、再見積は追つて通知の筈
三の橋喞筒場沈砂池泥揚機械工事
第一中段自小石川初音町至水道橋幹線の內自富坂下至水道橋甲號下水工事　七一、七〇〇圓（超過）　平島市太郎
再入札
七一、五〇〇圓（超過）　平島市太郎
三の橋喞筒場泥揚機械工事　三六、七二〇圓（落札）　大阪鐵工所
石川縣能美郡小松町役場工事（入札）
小松商業學校敷地盛土工事二六、四〇〇圓（落札）　細田政吉
大藏省管財局（指名入札）
千住製絨所第五工場（梳毛工場）間敲き床に板張床取設工事　一一、一五〇圓（落札）　井上合資會社

五九A　橋新架橋工事（指名）　七二、三八五圓（落札）　勝呂組
第一師團經理部
陸軍士官學校生徒舍改築工事の內煖房、給水、排水、衛生其他工事　七二、七九〇圓（落札）　栗原信次郎
東京市養育院（指名入札）
巢鴨分院療舍其他改築工事　二三九、八六〇圓（落札）　芝江初五郎、二七八、〇〇〇圓　清水組、二九八、〇〇〇圓　大林組
橫濱市役所工事（指名入札）
橫濱市賦業紹介所新築工事　一三、八五〇圓（落札）　綠川惣右衛門
復興局第一出張所（指名入札）
親橋改築工事中上部其他工事　二三、二四〇圓（落札）　五月女倉藏
神奈川縣廳
第三中學校講堂其他新築工事　二九、八五〇圓（特命）　清水組
復興局土木課
南千住運河新鑿工事の內護岸並橋梁下部其他工事　九七、八〇〇圓（超過）　橋本組工業合資會社
復興局第一出張所（指名入札）
幹線第六十號路線自櫻田本鄉町至御成門街路一部舗裝工事　四三、八七〇圓（落札）　宮長平作
再入札
一〇九、五〇〇圓（超過）　島崎福松
五〇〇圓　永野甚次郎、一一二、三〇〇圓　古島宮次郎、一一二、四七〇圓　恩田三五郎
臨時收容移動式住宅百棟物置四十棟供給　九八、六〇〇圓（落札）　建築興業株式會社

街路新宿二丁目より四谷塩町に至舗道車歩道工事　四八、三四〇圓(落札)　光常藤太郎
街路第一七六、一七七號路線自富坂下至白山上舗道車歩道工事　七四、五〇〇圓(落札)　竹田組
補助街路第七號路線一部築造並下水渠改良工事　三八、七〇〇圓(落札)　日本興業合資會社
東京市役所(指名再入札)
淺草區役所新築工事　三八六、七八〇圓(隨契)　大林組
大藏省管財局(指名入札)
巢鴨郵便局々舍新築其他工事　九六、四〇〇圓(落札)　鴻池組
復興局第二出張所
幹線第二十號自側點至同二八號南側路擴築工事　一〇、四九〇圓(落札)　坂本和吉
文部省廣島出張所(指名入札)
廣島高等學校雨天体操場新築工事　一七、四六三圓
東京市役所(指名入札十二日開札)
中央職業紹介所並神田橋公衆食堂新築工事　一一四、三〇〇圓(落札)　錢高組、一一八、二〇〇圓　戸田組、一一八、四〇〇圓　清水組、一二三、一七二圓　大倉土木株式會社、一二四、六〇〇圓　竹中工務店、一二六、〇〇〇圓　大林組

工事　一九、六五八圓(落札)　吉行澤太郎
神田區役所(指名入札十八日開札)
芳林小學校新築工事　三六九、〇〇〇圓(超過)　戸田組、三七八、〇〇〇圓　清水組、三七八、〇〇〇圓　錢高組、三八一、八〇〇圓　石井權三、三八五、〇〇〇圓　大阪橋本組、四二五、七四八圓　大倉土木株式會社、四一六、〇〇〇圓　大林組
再入札
三六三、〇〇〇圓(超過)　戸田組
三重縣八知村役場
一志郡八知尋常高等小學校增築並移轉工事　二二、〇〇〇圓(落札)　白谷若松
宇都宮地方裁判所(指名入札)
宇都宮地方裁判所陪審院法廷及陪審員宿舍新營工事　三四、七〇〇圓(落札)　馬上鐵藏
村山貯水池事務所及公舍其他新築工事　二二、八三〇圓(落札)　宮越幸作
文部省金澤出張所(指名入札)
金澤醫科大學附屬院內科教室增築及模樣替工事　五一、五〇〇圓(落札)　高岡仁作
横濱市役所工事(指名入札)
二ッ谷小貫市場新築工事　一五、七五九圓(落札)　伊藤進一
東京府內務部土木課(指名入札十九日開札)
府縣道第四號東京五日市線北多摩郡保谷武藏野

入會道路改修工事　一二、二二〇圓(超過)　井野久太郎
東京市役所
府立第二中學校新築工事(指名)　六〇九、〇〇〇圓(落札)　平島市太郎
南千住地方橋場補助街路第十號路線築造工事(指名)　二八、九八〇圓(最低制限未滿無效)　野口組、四二、六〇〇圓(落札)　野村專太郎
農事試驗場倉庫復舊工事　二一、五六〇圓(落札)　小田末吉
東京鐵道局(指名入札)
國分寺有效長延線其二工事　八三、二六五圓(落札)　間組
東京區裁判所赤羽町出張所廳舍增築模樣替其他工事　一四、八〇〇圓　上田佐助
鐵道省東京建設事務所(指名入札)
大鄉線大子町佐田停車場本屋其他新設工事　二四、九五〇圓(落札)　米山保
東京遞信局
前橋市內電話地下線新設工事　二二、五〇〇圓(落札)　古鹽組
前橋地方裁判所(指名入札)
前橋地方裁判所陪審院法廷及陪審員寄宿舍新營工事　四二、七八〇圓(落札)　井上保三郎
横濱市役所工事(指名入札)



復興局第四出張所
小名木川筋改修第二工區其の九埠岸工事　三一、八〇〇圓(落札)　有賀組
大藏省營繕管財局(指名入札)
內閣及文部省假廳舍電灯改造工事　一三、八四五圓(落札)　沖電氣株式會社
東京府下足立郡龜青村役場(指名入札)
龜青尋常小學校講堂其他新築工事　四一、七〇〇圓(落札)　北野明吉
東京府下荏原郡入新井町役場
入新井町道路工事　二六、四七六圓(落札)　松原源太郎
東京市役所再見積
荒川灑青混合所事務所其他新築移轉工事　三七、七五〇圓(落札)　藤澤工務所
復興局第四出張所(指名入札)
小名木川筋改修第二工區(其四)深川區東扇橋橋町八十一番地々先岩壁工事
再入札
一三、二〇〇圓(落札)　橋本店
扇橋新設工事の內下部工事　一一九、〇〇〇圓(落札)　橋本組工業合資會社、一二一、五〇〇圓　錢高組、一二二、七〇〇圓　水野甚次郎、一二七、二〇〇圓　間組、一三一、四〇〇圓　小泉岩吉
以上再入札
一一四、〇〇〇圓(落札)　佐野茂德、一一六、九五〇圓　加藤藤治、一二七、〇〇〇圓　池田孫七
文部省北海道出張所(指名入札)
北海道帝國大學工學部第二次校庭地內排水道路並消火用引込新築工事　一三、九八五圓(落札)　横手和三郎
岡山地方專賣局
岡山地方專賣局宇野出張所構外鹽倉庫補充新築

濱町排水區其の一部枝線工事　八一、四〇〇圓(落札)　齋藤助六
東京市役所(指名入札十六日開札)
街路第七十號目本鄉三丁目至天神下同朋町區界舗道車歩道工事　七一、七〇〇圓(落札)　日本石油株式會社
街路三一八、三一九號路線自市ヶ谷田町至牛込矢來町舗道車歩道工事　六三、二〇〇圓(落札)　神谷太一郎
神奈川縣廳工事(指名入札)
國道三十一號線横須賀市自汀橋至停車場前地內道路改良工事　一二〇、〇〇〇圓(超過)　佐野茂德、一四〇、五〇〇圓　加藤藤治、一四一、〇〇〇圓　池田孫七、一四三、八〇〇圓　小泉岩吉
以上再入札
一一四、〇〇〇圓(落札)　佐野茂德、一一六、九五〇圓　加藤藤治、一一七、〇〇〇圓　池田孫七
文部省北海道出張所(指名入札)
北海道帝國大學工學部第二次校庭地內排水道路並消火用引込新築工事　一三、九八五圓(落札)　横手和三郎
岡山地方專賣局
岡山地方專賣局宇野出張所構外鹽倉庫補充新築

株式會社
東京市役所
第一區中段自小石川區初音町至水道橋幹線の內自富坂下至水道橋乙號工事(指名)　三五、六八〇圓(落札)　平島市太郎
南千住地方橋場補助街路第十號路線築造工事(指名)　二八、九八〇圓(最低制限未滿無效)　野口組、四二、六〇〇圓(落札)　野村專太郎
大藏省營繕管財局(指名入札)
大塚仲町公衆食堂新築工事(公入札)　一三、八一五圓(最低制限未滿無效)　菱本喜平次、一六、一七〇圓(落札)　大岩組大岩德次郎
業平排水區松倉町枝線工事(指名)　一二、三〇〇圓(抽籤落札)　平島市太郎
遞信省經理局營繕課
電務及業務課電報調查係假事務室新築其他工事　一四、八〇〇圓　上田佐助
鐵道省東京建設事務所(指名入札)
大鄉線大子町佐田停車場本屋其他新設工事　二四、九五〇圓(落札)　米山保
東京遞信局
前橋市內電話地下線新設工事　二二、五〇〇圓(落札)　古鹽組
前橋地方裁判所(指名入札)
前橋地方裁判所陪審院法廷及陪審員寄宿舍新營工事　四二、七八〇圓(落札)　井上保三郎
横濱市役所工事(指名入札)

横濱開港記念會館暖房裝置工事　一六、八九九圓（落札）　日立製作所
名古屋遞信局工事（指名入札）
岐阜電話局新築工事　二四七、六〇〇圓（落札）
廣瀨久彦、二六〇、〇〇〇圓　竹中工務店、二六八、〇〇〇圓　大林組、二六八、八〇〇圓
安藤組、二八〇、〇〇〇圓　志水組、三〇七、五三三圓　錢高組、三三〇、〇〇〇圓　清水組
三五八、六〇〇圓　大倉土木株式會社
農林大臣官房會計課（一般公入札）
農用機械管理所敷地地均外十廉新營工事　二五、四〇〇圓（超過）　幸賢一
再入札
二三、八〇〇圓（超過）　田島重吉
警視廳監房會計課
淺草七軒町警察署建築工事
九六、三〇〇圓（超過）　關口友之進
同再入札
九六、〇〇〇圓（超過）　勝村幾之助
文部省（指名入札）
千葉醫科大學生理學教室外六廉火災復舊工事
一〇九、七七三圓（隨契）　井上合資會社
石川縣鳳至郡諸橋村役場
諸橋小學校建築工事及講堂建築工事　五一、一〇〇圓（落札）　堀川吉正
宮城縣土木課工事（指名入札）
宮城縣岩ケ崎町側溝改修工事　二六、〇〇〇圓（隨契）　千葉貫助
宮城縣遠田郡涌谷乾繭販賣利用組合乾繭倉庫外一廉工事　四八、二〇〇圓（落札）　土田組
東京市役所（指名入札二十八日開札）
街路第四七六、四七七、四七八號線自三田松坂町至目黑停車場郡市界第一舖道車步道工事
九二、二〇〇圓（落札）　都市土木株式會社
神奈川縣厚木出張所工事（指名入札）
島座郡茅ケ崎町地內道路改修工事　一五、九〇〇圓（落札）　淺岡庵
鐵道省東京第一改良事務所（指名入札）
上野驛構內屏風坂跨橋道路橋工事　五三、四〇〇圓（落札）　鹿島組
東京市役所
新架橋四四B橋鐵部製作工事（指名）　二四、四七三圓（落札）　橫河橋梁製作所
近衛師團經理部
飛行第五聯隊兵舍新築其他四廉工事　二五七、〇〇〇圓（落札）　橋本工業合資會社
二六三、七〇〇圓　藤田組
一四一、〇〇〇圓　錢高組、二八七、〇〇〇圓
二九九、〇〇〇圓　高梨定吉、二九八、〇〇〇圓　清水組
三四六、〇〇〇圓　清水組
山口高等商業學校本館外六廉工事　五四、四〇〇圓（落札）　杉村茂
小田原電話中繼所官舍新築其他工事　一五、四二四圓（落札）　富樫組
岐阜郵便局電話分局新築工事　二五八、六〇〇圓（落札）　廣瀨久彦　二五八、〇〇〇圓
土木株式會社、二六〇、〇〇〇圓
宮城縣登米郡佐沼乾繭販賣利用組合
乾繭倉庫新築工事　五七、〇〇〇圓（落札）　村上菊藏
東京市役所
市立第二中學校新築工事（指名）　六一七、六五〇圓（超過）　芝江初五郎　六二三、〇〇〇圓
上遠喜三郎、六三四、〇〇〇圓　高梨定吉
東京市役所（指名入札九日開札）
街路四七九號路線自三田二丁目二番地至松坂町
舖道車步道工事　六二、三七七圓（落札）　大倉土木株式會社
本所區役所（指名入札九日開札）
業平尋常小學校新築工事　四六六、九〇〇圓（超過）　竹田組、四七六、〇〇〇圓　大林組、四七七、〇〇〇圓　淺野同族株式會社、四八五、六〇〇圓　戶田組、四八九、三〇〇圓　錢高組、五〇五、〇〇〇圓　清水組、五二六、八〇〇圓　竹中工務店、五三二、〇〇〇圓　安藤組、五三六、〇〇〇圓　杉村茂
鐵道省建設（局指名入札）
土讃線第三工區新築工事　一五九八、〇〇〇圓（落札）　鐵道工業株式合資會社
亦羽受電變電所新築其他工事　三六、九八〇圓（落札）　大澤孚
鐵道省（指名入札）
隅田川倉庫擴張第三回工事　一一三、〇〇〇圓
橋本組工業株式會社
鐵道省東京第二改良事務所
市ケ谷信濃町間一哩七鎖——二哩八鎖土工其他工事　一四〇七、〇〇〇圓（落札）　大倉土木株式會社
神田區役所
芳林尋常小學校新築工事　三五六、〇〇〇圓
錢高組、右ハ先ニ超過保留ノ處此程決定
海軍省經理局
火藥廠研究實驗場其他復舊工事の內研究實驗場新營工事　一一八、〇〇〇圓（超過）　竹田組、一三六、七〇〇圓　石綿金太郎、一三九、三一八圓　大倉組、一四一、〇〇〇圓　清水組、一四八、〇〇〇圓　富島組、一五六、〇〇〇圓　有馬組、一九四、七〇〇圓　戶田組
同再入札
一一七、八〇〇圓（超過）　竹田組



同潤會
柳島アパートメント新築工事　三四三、九八〇圓（落札）　森田彦隆
文部省建築課
第十七（福井）高等工業學校門外五廉新營工事
一五、一七九圓（隨契）　村松熊吉
橫濱市役所工事（指名入札）
神奈川食堂職業紹介所授產所新築其他附屬工事
五二、六〇〇圓（落札）　竹田組
近衛師團經理部
鐵道第一聯隊被服庫增築工事　一二、四〇〇圓（落札）　五月女組
復興局第三出張所（指名入札）
臨時改容家屋新築工事　一七、八四八圓（落札）
飛島組
東京市役所
街路第四七四號路線自古川橋至伊皿子坂上第一舖道車步道工事（指名）　二八、四三八圓（落札）
野口猪一郎
橫濱市役所
橫濱職業紹介所新築工事（指名）　五二、六〇〇圓（落札）　竹田組
海軍省經理局
技術研究所造船研究部工場及實驗場新營外四廉工事　二七、八〇〇圓（落札）　石綿金太郎
文部省建築課山口出張所（指名入札）
山口高等商業學校本館外六廉工事　五四、四〇〇圓（落札）　杉村茂
小田原電話中繼所官舍新築其他工事　一五、四二四圓（落札）　富樫組
岐阜郵便局電話分局新築工事　二五八、六〇〇圓（落札）　廣瀨久彦　二五八、〇〇〇圓
土木株式會社、二六〇、〇〇〇圓
宮城縣登米郡佐沼乾繭販賣利用組合
乾繭倉庫新築工事　五七、〇〇〇圓（落札）　村上菊藏
東京市役所
市立第二中學校新築工事（指名）　六一七、六五〇圓（超過）　芝江初五郎　六二三、〇〇〇圓
上遠喜三郎、六三四、〇〇〇圓　高梨定吉
東京市役所（指名入札九日開札）
街路四七九號路線自三田二丁目二番地至松坂町
舖道車步道工事　六二、三七七圓（落札）　大倉土木株式會社
本所區役所（指名入札九日開札）
業平尋常小學校新築工事　四六六、九〇〇圓（超過）　竹田組、四七六、〇〇〇圓　大林組、四七七、〇〇〇圓　淺野同族株式會社、四八五、六〇〇圓　戶田組、四八九、三〇〇圓　錢高組、五〇五、〇〇〇圓　清水組、五二六、八〇〇圓　竹中工務店、五三二、〇〇〇圓　安藤組、五三六、〇〇〇圓　杉村茂
鐵道省建設（局指名入札）
土讃線第三工區新築工事　一五九八、〇〇〇圓（落札）　鐵道工業株式合資會社
亦羽受電變電所新築其他工事　三六、九八〇圓（落札）　大澤孚
鐵道省（指名入札）
隅田川倉庫擴張第三回工事　一一三、〇〇〇圓
橋本組工業株式會社
鐵道省東京第二改良事務所
市ケ谷信濃町間一哩七鎖——二哩八鎖土工其他工事　一四〇七、〇〇〇圓（落札）　大倉土木株式會社
神田區役所
芳林尋常小學校新築工事　三五六、〇〇〇圓
錢高組、右ハ先ニ超過保留ノ處此程決定
海軍省經理局
火藥廠研究實驗場其他復舊工事の內研究實驗場新營工事　一一八、〇〇〇圓（超過）　竹田組、一三六、七〇〇圓　石綿金太郎、一三九、三一八圓　大倉組、一四一、〇〇〇圓　清水組、一四八、〇〇〇圓　富島組、一五六、〇〇〇圓　有馬組、一九四、七〇〇圓　戶田組
同再入札
一一七、八〇〇圓（超過）　竹田組
四、九〇〇圓　森田福一、五八二、〇〇〇圓　再入札
建築興業株式會社
四五五、〇〇〇圓（超過）　竹田組、四六六、四〇〇圓　大林組、右の如くにして不調に終りたるため改めて來る十八日更に指名入札施行さるとの尙本入札は本所區役所初まつて以來の大超過であつたと
神奈川縣廳工事（指名入札）
小田原中學校教室其他新築工事　二七、四九五圓（落札）　村上菊藏
東京府南葛飾郡砂町役場
砂町第一尋常高等小學校新築工事　四七、二〇〇圓（落札）　鴨志田新太郎、右最低者は豫定未滿最低最高に二萬圓以上の開きありし爲再入札に付せられ　五七、五〇〇圓（落札）　鴨志田新太郎
大藏省營繕課管財局（指名入札）
半田稅務所廳舍其他新築工事　二七、五〇〇圓（落札）　關理三郎
大藏省營繕課管財局（指名入札）
宮津稅務所新築工事
再入札の分
三四、六〇〇圓（落札）　德田善右衛門
新橋保線事務所（指名入札十二日開札）　有樂町
拱下切符印刷所震災復舊工事　三四、五〇〇圓（落札）　東海工業合資會社

近衛師團經理部
近衛歩兵第一聯隊第一五號浴室其他震害復舊工事
野戰重砲兵第八聯隊不用厩を供奉自動車庫に移築其他工事
近衛師團司令部第九號附屬廳舍增築工事　四七、六〇〇圓（超過）　米澤助五郎
再入札
四四、九〇〇圓（隨契）　藤田組
名古屋港務所工事（入札）
名古屋港第七八號地間橋梁工事　二四、七〇〇圓（落札）　大西與右衛門
近衛師團經理部（指名入札十三日開札）
陸軍糧秣本廠本所秣倉庫移轉改增築工事　二六、八〇〇圓（落札）　林德松、二六七、〇〇〇圓　藤田組、三〇六、八〇〇圓　安藤組、三一六、〇〇〇圓　高梨定吉、三二四、〇〇〇圓　松村組、三三六、〇〇〇圓　橋本組工業合資會社、三三八、〇〇〇圓　松本組、三八八、五〇〇圓　清水組、四二六、〇〇〇圓　大林組
復興局横濱出張所工事（指名入札）
平沼橋改築其他工事　二四〇、〇〇〇圓（落札）　原木組、三四八、〇〇〇圓　橋本組工業合資會社、二五六、〇〇〇圓　飛島組、二五七、四〇〇圓　水野甚次郎、二五八、〇〇〇圓　宮長平作、二六一、七一五圓　大倉土木株式會社、二六三、〇〇〇圓　鐵道工業株式會社、二六七、〇〇〇圓　栗原源藏、
東京市役所
本鄉區役所假廳舍其他新築工事　一三、四七〇圓（落札）　西村常吉
油堀川筋深川區自富岡門前町六六番地の一至深川公園四地先一ヶ所混凝土塊護岸改築工事　一二、二〇〇圓（落札）　都市工業株式會社
一般競爭入札
油堀川筋深川區自鶴岡門前六六番地の一至深川公園第一四號地外一箇所混凝土塊護岸改築工事　一二、二〇〇圓（落札）　都市工業株式會社
東京市役所（指名入札十六日開札）
第二次四坪積鋼製土運船五隻建造工事　二九、〇〇〇圓（不調）　浦賀船渠株式會社
遞信省經理局營繕課（指名入札十八日開札）
横濱電話中繼所新築工事　九四、三四〇圓五〇
富樫組
横濱市役所工事（指名入札）
西平沼小學校新築工事　二〇三、三〇〇圓（落札）　日本土木株式會社、二一一、〇〇〇圓　中六九圓　三木多助、二一七、
島辰造、二一二、一六九圓　三木多助、二一七、
八〇〇圓　岩崎金太郎、二二七、八〇〇圓　庄
司組、二三八、〇〇〇圓　野村組、二五四、〇
〇〇圓　竹田組、二五七、五〇〇圓　清水組、
二六一、四三七圓　大倉土木株式會社



東京鐵道局經理課
鐵道大臣官舍震災復舊工事（指名入札十六日開札）
五九、八〇〇圓（落札）　大林組
茨城縣眞壁町役場工事（入札）
眞壁尋常小學校新築外三廉工事　五四、六六八圓（落札）　秋山彌惣次
東京市役所（指名入札十八日開札）
牛込區役所廳舍新築工事　二四三、〇〇〇圓（超過）　竹田組、二五一、〇〇〇圓　戸田組、二五一、〇〇〇圓　大林組、二五一、三一七圓　大倉土木株式會社、二五七、八〇〇圓　錢高組、二六二、〇〇〇圓　清水組
大倉省營繕管財局（指名入札）
蠶業試驗所繰糸室其他新營及第一實驗室其他舊工事　三一、八〇〇圓（落札）　大岩德次郎
同潤會
山下町アパートメント電氣新設工事　一五、二八七圓（落札）　川北電氣企業社
海軍省經理局
東京無線電信所受信所增備の內配電所を便所に改築外三廉工事　一五、九〇〇圓（超過）　竹田組
再入札
一五、七八〇圓（超過）　竹田組、一五、六〇〇圓（隨契）　竹田組



第三號區域　靜岡市より本町通り十一丁目に至る及安西町一、二、三丁目間地下線工事　一八、六四八圓二九（落札）　勝呂組東京支店
補助街路第四三號路線一部築造及改良下水工事　一四、八七〇圓（落札）　吉田元次郎
江戸川筋小石川區小石川町地先外四ヶ所浚渫工事　一四、七〇〇圓（落札）　多賀井新太郎
上野保線事務所（指名入札）
横川發電所周波數變換機室設置其他工事二一、九八〇圓（落札）　大澤　孚
警視廳監房會計課
深川消防署事築工事　五七、九八〇圓（落札）
小泉岩吉
東京市役所（指名入札十一月二十七日開札）
道路局第一道路課新大橋自動車庫其他移轉工事　二七、〇〇〇圓（超過）　上遠合名會社
公入札（十一月二十七日開札）
荒川瀝青混合所碎石場其他移轉新築工事　二四、二〇〇圓（落札）　長澤組
近衛師團經理部
憲兵司令部陸軍省間其他軍用電話線震害復舊工事　八一、五〇〇圓（超過）　弘電社
同再入札
八〇、五〇〇圓（落札）　山本定次郎
埼玉縣自北足立郡浦和町三四至同郡日進村地內引上柱間電話用ケーブル架設工事の內管路工事　四二、九七六圓五〇（落札）　久原鑛業株式會社
道路局第二道路課新大橋際自動車庫其他移轉工事指名入札（十一月三十日開札）　二三、二〇〇圓（落札）　野村組東京支店
大藏省營繕管財局
商工大臣秘書官々舍其他新築工事　一〇、六八二圓七〇（落札）　飛島組
一月三十日開札）四二、三八〇圓（超過）　三神爲吉
同再入札
四〇、九八〇圓（超過）　三神爲吉、三九、九八〇圓（隨契）　三神爲吉
東京遞信局（指名入札十一月二十九日開札）
府下立川町日野町間電話地下線及添架工事　三二、七〇〇圓（落札）　古久根組
府下西巢鴨町庚申塚四九二番地間電話地下線新設工事　一〇、六八二圓七〇（落札）　飛島組
府下落合町目下落合五三八至宮元二八二間電話地下線新設工事　四八、二三圓八〇（落札）　前田組、埼玉縣北足立郡自蕨町二一二先至浦和町三百四先人孔第三十五號間電話地下管路新設工事　四一、七六一圓六〇（超過）　久原鑛業株式會社
埼玉縣北足立郡自戸村字戸田一二一一七先至元蕨間電話地下線電設工事　二〇、八五〇圓（落札）　久原鑛業株式會社
東京市役所
東京市役所（指名入札十二月二日開札）
街路四四五、五〇〇號路線自伊皿子坂上至高輪西臺町を高輪南二三舖道車道工事　一三四、六五〇圓（落札）　都市土木株式會社、一三七、九四〇圓　日本石油株式會社、一四八、八三八圓
大倉土木株式會社
海軍省經理局（十二月三日開札）
火藥廠火藥積出場新營外三廉工事　四二、六〇〇圓（落札）　竹田組
霞ヶ浦航空隊自働車工事　二九、五〇〇圓（落札）　清水組
東京市役所
須崎橋改築工事（十二月四日開札）
七一、七〇〇圓（落札）　水野組水野甚次郎
大塚託兒所兒童健康相談所新築工事（十二月四日開札）　二八、九三〇圓（落札）　井野久太郎
砲兵工廠
岩鼻火藥製造所光澤室新築外二八廉工事（指名入札）　三三、二〇〇圓　田島重吉
東京市役所
三の橋排水區猿江裏町及本村町枝線工事（指名）
一六、〇八〇圓（落札）　伊澤德太郎
第三期三の橋排水區自南辻橋至德右衛門町間枝線工事（十二月七日開札指名競爭入札）　六一、七〇〇圓（超過）　水野甚次郎

救世軍　救世軍本營新築工事　一三六、二五〇圓（落札）　清水組
復興局第四出張所（指名入札）
橫十間川改修第一工區の三岸壁工事　一一八、九〇〇圓（超過）　竹內新太郎
橫濱土木局（指名入札）
橫濱市柳橋架換工事　七三、九〇〇圓（落札）　宮永平作
鐵道省東京第一改良事務所（指名入札）
飯田牛込間土工工事　三九八、〇〇〇圓（落札）　原木組、四一三、八〇〇圓　勝呂組、四二八、〇〇〇圓　小林組、四三五、〇〇〇圓　錢高組　四四六、五〇〇圓　森本專吉、四五二、〇〇〇圓　鹿島組
大藏省營繕管財局（指名入札）
郡川地方專賣局須賀川出張所工場其他新營工事　一八九、四〇〇圓（落札）　安藤組、一九三、〇〇〇圓　松村組、二二八、八七〇圓　大倉土木株式會社、二四七、八〇〇圓　大林組、二八三、〇〇〇圓　藏子勘助、二八五、〇〇〇圓　清水組、二九九、〇〇〇圓　小林長次郎
東京府土木課（指名入札二十九日開札）
北豐島郡西巢鴨町自池袋驛至板橋門違道路改良工事　三二、九八〇圓（落札）　大塚盛一
文部省建築課甲府出張所（指名入札）
東京第一改良事務所（指名入札）
田端客車操車場新設第一四其三十九土工其他工事　二三九、〇〇〇圓（落札）　大林組
東京府南葛飾郡寺島町役場（指名入札）
寺島町第二小學校增築工事　九八、四〇〇圓（落札）　三神爲吉
深川區大工町アパートメント新築工事　十二月十六日開札指名入札　五一三、〇〇〇圓（落札）　清水組
東京市役所（指名入札十八日開札）
街路二八二、二八三號路線舖道工事　一七四、五〇〇圓（落札）　日本石油株式會社、一八〇、〇〇〇圓　都市土木株式會社、一八四、三七〇圓　大倉土木株式會社
小名木川橋鐵桁製作工事　七二、七〇〇圓（超過）　橫濱船梁株式會社
東京府土木課（指名入札二十日開札）
第四十九號王子草加線南足立郡江北村地內道內改修工事　四三、四七〇圓（落札）　下川和三郎
橫濱市土木局工事（指名入札）
瀧の川改修工事　一四八、〇〇〇圓（超過）　飛島組
新潟縣加茂町役場工事（入札）
加茂川護岸堤防一三六號外八箇所並に橋梁三十五號外六橋工事　一八六、〇〇〇圓　小柳寅次　二〇二、五七〇圓　植木龜之助、二〇六、〇八〇圓　金巻長作
橫濱市土木局工事（指名入札）
共進橋架換工事　二八、七〇〇圓　博司
東京鐵道局工事（指名入札）
東京驛前地下室新設工事　一二一、三〇〇圓（落札）　錢高組
文部省（指名入札）
千葉醫科大學本館事務室外十八廉新築工事　二一三、五〇〇圓（落札）　石井櫂藏
東京高等學校講堂外三廉新營工事　二一六、三二一圓（落札）　井上合資會社
復興局第一出張所（指名入札）
尾張橋改築工事　四九、九七〇圓（落札）　南出豐作
復興局橫濱出張所工事（指名入札）
太田橋新設工事　四八、八〇〇圓（超過）　武井與四郎
龜太郎
神奈川縣廳工事（指名入札）
伊勢佐木警察署新築工事　一五六、三〇〇圓（落札）　清水組
東京府南葛飾郡金町役場
金町尋常高等小學校增築工事　七〇、二〇〇圓（落札）　日本建物株式會社
復興局土木部（指名入札）
愚案橋新設其他及東堀留川筋改修工事の內一部工事　一一三、五〇〇圓（落札）　宮長平作
遞信省營繕課（指名入札）
大崎試驗所由腹土留模樣替其他工事　一二、七九七圓（超過）　過服部竹次郎
東京第一改良事務所（指名入札）
東北本線荒川橋梁增設工事　一四三、〇〇〇圓（落札）　間組
東京府內務部土木課
八號國道南多摩郡日野町地內道路改修工事十二月十日開札（指名）　九〇、七〇〇圓（落札）　青木幸太郎
海里省經理局（十二月十三日開札指名入札）
技術研究所霞ヶ浦設備の內發電所新築外一廉工事　三〇、五九二圓（落札）　大倉土木株式會社
第三期三ノ橋自南辻橋至德右衞門町枝線工事十二月四日開札（指名入札）　五四、八〇〇圓（超過）　武井與四郎
第一師團經理部（十二月二十四日開札）
戶山學校第十號倉庫移轉模樣替工事　一三、二〇〇圓（超過）　山田松之助
同再入札
一二、四〇〇圓（落札）　野村組
文部省（指名入札）
橫濱高等商業學校雨天體操場其他五廉工事　四一、八〇〇圓（落札）　眞部熊太
山梨高等工業學校外八官舍新營工事　八二、〇〇〇圓（落札）　辛島藤尙
第六高等女學校門衞所新築外三廉工事　二九、九〇〇圓（落札）　吉原一郎
同潤會（指名入札）
平沼町アパートメント新設工事　六、四〇〇圓（落札）　大阪橋本組、三四七、八〇〇圓　清水組、三五三、〇〇〇圓　松村組、三五四、〇〇〇圓　安藤組、三九七、〇〇〇圓　竹中工務店、三八九、六五〇圓　戶田組
陸軍造兵廠（指名入札）
岩鼻火藥製造所光澤室新築外一一八廉工事　三三〇、二〇〇圓（落札）　田島重吉
東京建設事務所（指名入札八日開札）
安房線第六工區土工其他工事　三〇五、五〇〇圓（落札）　西松光治郎
警視廳（指名入札）
戶塚警察新築工事　五二、三八〇圓（落札）　林金次郎
復興局第一出張所（指名入札）
幹線第三十六號路線一部芝公園第四號第二十五號地先街路舖裝工事　二〇、四五〇圓（落札）　武井與四郎
文部省司計課
千葉醫科大學傳染病及精神病室暖房其他工事　二九、〇八十五圓（落札）　建材社
橫濱市土木局工事（指名）
二十號路線街路工事　四一、〇〇〇圓（落札）　小林福太郎
平沼町讓岸工事　八七四、七〇〇圓（不調）　清水組
東京市役所（指名入札十六日開札）
小名木川橋改築工事　二一八、〇〇〇圓（落札）　清水組、二二七、八〇〇圓　橋本組、二二八、七〇〇圓　鐵道工業株式合資會社、二三一、八〇〇圓　小泉岩吉、二三二、八〇〇圓　安藤組　二三六、〇〇〇圓　大林組、二三八、〇〇〇圓　栗原源藏、二四二、〇〇〇圓　錢高組、二四六、六九二圓　大倉土木株式會社、二四八、〇〇〇圓　竹田組
上野三橋職業紹介所新築工事　一八、四〇〇圓（超過）　荒川常吉
福島縣北會津郡東村山村役場工事（入札）
東村山小學校新築工事　三三、三〇四圓（隨契）　倉島久治
東京第二改良事務所（指名入札）
水道橋驛復舊工事　二八九、〇〇〇圓（落札）　山崎銀作
山手五工區甲州街道排水工事　二三三、四〇〇圓（落札）　橋本組工業合資會社

東京市本所區役所（指名入札）
中和尋常小學校新築工事　三七六、八〇〇圓（落札）鴻池組、三八五、九〇〇圓　錢高組、三九八、〇〇〇圓　淺野同族株式會社、三九九、〇〇〇圓　大林組、四一三、〇〇〇圓　竹田組、四一四、五〇〇圓　藤本清次郎、四二六、〇〇〇圓　清水組、四三一、四〇〇圓　大阪橋本組、四八三、〇〇〇圓　竹中工務店
川崎市役所工事（指名入札）
南河原小學校分教場講堂新築工事　一三、二五〇圓（書類不備無効）　河田竹次郎、一三、六八〇圓（落札）　榎本國吉
東京市淺草區役所（指名入札）
待乳山小學校新築工事　三四二、五〇〇圓（超過）竹田組、三四九、七〇〇圓　大林組、三五二、八〇〇圓　錢高組、三六五、〇〇〇圓　淺野同族株式會社、三七四、五〇〇圓　安藤組、三七九、五〇〇圓　藤本清次郎、三八四、七〇〇大阪橋本組、三八七、五〇〇圓　石井標藏、三八九、八四〇圓　大倉土木株式會社
石濱小學校暖房裝置工事　二〇、五〇〇圓（落札）內田商事株式會社
大藏省營繕管財局
水產講習所機械工場復舊工事（指名入札）二一、九七〇圓（超過）　外山繁太郎
同再入札
二〇、九九五圓（超過）　外山繁太郎、外二名
二〇、一五〇圓（落札）　外山繁太郎
東京府土木課
淺川西山村間道路工事　七〇、〇〇〇圓（隨契）
青木孝太郎
東京第二改良事務所（指名入札）
大宮工場汽罐室煙突新設工事　一二、八〇〇圓（落札）　錢高組
東京市役所（指名入札八日開札）
東京市立廣尾病院第二回煖房給汽給湯消火栓裝置工事　三二、一七〇圓（落札）　東亞鐵工所
東京府蒲田町役場工事（入札）
南蒲小學校校舍及附屬家屋新築工事　五六、二八〇圓（落札）　內田誠藏
第一號路線街路擴築其八工事　一五、八六〇圓（落札）　大塚盛一
下水課錢瓶町事務所新築工事　三八、七〇〇圓（落札）　大岩德太郎
神奈川縣廳工事（指名入札）
伊勢原警察署廳舍新築工事　二四、七四五圓（落札）　小卷組
東京府土木課（指名入札十一日開札）
南葛飾郡大島町龜戶町入會五橋架換工事　九三〇、九〇〇圓（超過）　古久根組
東京第二改良事務所（指名入札）
大崎貨物線土工其他工事　一五一、五〇〇圓（落札）　勝呂組
橫濱市水道局工事（指名入札）
野毛山公舍五棟新築工事　一八、三〇〇圓（隨契）　三木多助
東京市役所（指名入札十三日開札）
業平橋排水區自松倉町至源森橋枝線工事一五、三〇〇圓（超過）　杉井和一郎
第一師團經理部（指名十二月二十五日開札）
東京第一衛戍病院及戶山學校改增築工事　一〇七四、八五〇圓（落札）　橋本組工業合資會社、一一六六、八〇〇圓　松村組、一一六八、四一九圓　鴻池組、一一九六、〇〇〇圓　安藤組、一二一三、〇〇〇圓　錢高組、一二五五、〇〇〇圓　竹田組、一三五七、〇〇〇圓　大林組、一四九七、〇〇〇圓　大倉土木株式會社、一五一八、〇〇〇圓、藤田組、一五三〇、〇〇〇圓　清水組、一七二八、〇〇〇圓　竹中工務所
東京市役所
下水課錢瓶町事務所新築工事（一月八日開札指



名入札）三八、七〇〇圓（落札）　大岩組大岩德太郎
御大喪自虎ノ門至青山二丁目間裝飾工事（一月十二日開札指名入札）二〇、七〇〇圓（落札）
竹田組竹田源次郎
御大喪自二重橋至虎ノ門間裝飾工事一月十二日開札（指名入札）一四、五〇〇圓（落札）　竹田組
竹田源次郎
東京市役所
業平橋排水區自松倉町至源森橋枝線工事（一月十三日開札指名入札）一五、三〇〇圓（超過）
藤田平藏
同再入札（午後二時開札）
一三、九五〇圓（超過）　藤田平藏
第一師團經理部
下志津演習場廠舍大隊本部其他火災復舊工事栗山演廠舍炊事場厩厠其他改修工事（一月十八日開札）二九、五三〇圓（落札）　石井猶吉
東京市役所
深川區元加賀町及越中島幹線工事（一月二十日開札指名入札）一八七、〇〇〇圓超過　竹田組、一九四、八〇〇圓　齋藤助六、一九五、七六六圓大倉土木、二〇四、八〇〇圓　鐵道工業合資會社、二〇四、九〇〇圓　神谷太一郎、二〇五、八〇〇圓　勝呂組
再入札
深川區元加賀町及越中島幹線工事　一八一、〇〇〇圓（超過）　竹田組、一八五、〇〇〇圓　齋藤助六、再見積　一七五、〇〇〇圓（隨契）　竹田組
東京府營繕課
府立第三中學校雨天體操場外三廉新築工事（指名入札）九一、三〇〇圓（落札）　小田末吉
深川區自元加賀町至越中島幹線工事
再入札
一八一、〇〇〇圓（超過）　竹田組、一八五、〇〇〇圓　齋藤助六、一七五、〇〇〇圓（隨契）
竹田組竹田源次郎
東京市役所
新架橋A二四號新築工事（一月二十日開札指名入札）五三、六〇〇圓（落札）　水野組
再入札
新架橋二四A新築工事
小泉岩吉
新築架橋A二四號鐵部製作工事（一月二十日開札指名入札）三一、〇四二圓（超過）　橫河橋梁製作所　新架橋A二四號鐵部製作工事
再入札
三六、〇九〇圓（超過）　橫河橋梁製作所
遞信省經理局
東京中央電話局芝分局門其他新築工事（一月二十二日開札指名入札）一八、〇八〇圓（超過）　服部竹次郎
業平橋排水區自松倉町至森下枝線工事（一月二十二日開札指名入札）一一、八八〇圓（落札）　藤田平藏
東京市役所
玉出橋改築工事（一月二十二日開札指名入札）一六、五〇〇圓（落札）　齋藤文藏
東京市役所
區劃整理街路第二十二號路線一部築造工事（一月二十七日開札一般競爭入札）一四、二八〇圓（落札）　高山組
淺草公園職業紹介所新築工事（一月二十九日開札指名入札）一四、八〇〇圓（落札）　野口組野口猪一郎
東京市役所
臨時收容家屋移動式住宅二百棟、物置四十棟供給（二月一日開札一般競爭入札）　九七、〇〇〇圓（落札）　日本建物株式會社
東京府營繕課
府立第一高等女學校々舍新築工事（指名入札）二二九、九五〇圓（落札）　竹田組竹田源次郎
橫濱市役所工事（指名入札）
橫濱記念會館電燈製作工事　一〇、九二五圓（超過）　增山爲太郎、一一、七一五圓
新橋保線事務所（指名入札）
大井工場構內石炭試驗所煙突設置工事　一一、十二日開札指名入札）

四〇〇圓（落札）　錢高組

復興局第四出張所（指名入札）

小名木川筋改修其の十二岸壁工事　一八、九〇〇圓（落札）　三上秀雄

東京市淺草區役所再入札

待乳山尋常小學校新築工事　三一五、一六四圓（落札）　芝江初五郎

橫濱市役所工事（指名入札）

大岡小學校新築工事　二四七、五〇〇圓（落札）　三木多助、二六〇、〇〇〇圓　飯田國榮、二六〇、七〇〇圓　庄司組、二六九、五三〇圓大倉土木株式會社、二七一、六〇〇圓　岩崎金太郎、二七八、〇〇〇圓　松村組、二九〇、〇〇〇圓　大林組、二九七、五〇〇圓　戶田組、三〇〇、六〇〇圓　清水組

東京府內務部土木課（指名入札二十二日開札）

第一號往原郡目黑町大字上目黑道路工事　六一、二〇〇圓（超過）　鈴木辰五郎

再入札

六〇、八五〇圓（超過）　鈴木辰五郎、六〇、九〇〇圓　藤田一郎

東京鐵道局指名（入札）

事務室增設工事　四四、三八〇圓（落札）　小柳寅次

橫濱市役所工事（指名入札）

平樂小學校雨天体操場新築工事　四八、〇五〇圓（落札）　三木多助

國府津改良事務所工事（指名入札）

二九、八〇〇圓（落札）　三上秀雄

櫻木町乘降場上家新築工事　二〇八、九五〇圓（落札）　東海工業合資會社

保土ケ谷驛改良土工工事　八三、八〇〇圓（落札）　石川省吾

新橋保線事務所（指名入札）

池袋大塚間路盤改修工事　一四、八八〇圓（落札）　東海工業合資會社

日本橋區役所（指名入札）

箱崎小學校新築工事　二六二、〇〇〇圓（超過）　岩崎金太郎

大倉土木株式會社

遞信省營繕課（指名入札）

長野縣飯田郵便局新築工事　六七、六八〇圓（落札）　吉川三四郎

橫濱市役所工事（指名入札）

東小學校雨天体操場其他新築工事　三九、〇七〇圓（超過）　岩崎金太郎、四五、〇〇〇圓　飯田國榮、四一、五〇〇圓　松村組

以上再入札

三九、〇〇〇圓（超過）　岩崎金太郎

府立第三中學校生徒便所附屬設備工事　一六、四〇〇圓（落札）　城口櫃藏

神奈川縣廳工事（指名入札）

國道一號線中郡吾妻村字押切地間押切橋復舊工事　三〇、二五〇圓（超過）　田中留吉

第三回入札

二八、九五〇圓（落札）　田中留吉

宮城縣名取郡七鄉村役場（指名入札）

宮城縣名取七鄉村荒井小學校增築工事　三五、九五九圓九九（落札）　佐藤勘助

德島地方專賣局工事（入札）

當局女工休浴所新設第八號食堂補足其他工事　一二、二〇〇圓（落札）　越田政一

財團法人同潤會（指名入札）

赤羽外五箇所店舖模樣替へ工事　四四、一八〇圓（隨契）　大阪橋本組

大藏省營繕管財局（指名入札）

議員本館第四回石材工作工事　二六八、五〇〇圓（落札）　中野喜三郎、二七四、五〇〇圓　熊取谷熊次郎、二七七、八〇〇圓　鍋島石材工業株式會社、二九七、七〇〇圓　土屋康二、二八五、〇〇〇圓　日本築造株式會社

東京市役所（指名入札二九日開札）

淺草公園職業紹介所新築工事　一四、八〇〇圓（落札）　野口組

東京市役所（指名入札二十七日開札）

街路二八一號路線舖道工事　五七、〇三八圓（超過）　大倉土木株式會社

深川區役所（指名入札）

六間堀小學校新築工事　三七五、〇〇〇圓（超過）　上遠合名會社

臨時收容家屋移動式住宅二百棟物四十棟供給

九七、〇〇〇圓（落札）　日本建物株式會社

神奈川縣廳工事（指名入札）

國道三十一號線改修に伴ふ橫須賀海兵團運動場新築工事　一三、七九〇圓（落札）　加藤榮助

千住製絨所

千住製絨所調毛工場改增築工事（二月十八日開札指名入札）　二八、三四〇圓（落札）　戶田順之助

東京中央電信局新局反響止メ其他工事東京遞信局（二月十九日開札指名入札）　一五、一八四圓（落札）　安藤組

近衛師團經理部

陸軍科學研究所火藥爆藥研究所雜種設備其他震災復舊工事外一廉（指名）　一四、八九〇圓（超過）　橋本組工業合名會社

近衛師團經理部

電信第一聯隊被服庫增築工事　一一、七八五圓（落札）　山田松之助

復興局第四出張所（指名入札）

高橋前後地上其他工事　四九、〇〇〇圓（落札）　宮長平作

神奈川縣鎌倉町役場工事指名

國寶館新築工事　八四、五〇〇圓（落札）　松井角平

神奈川縣廳田浦出張所工事（指名入札）

國道第三十一號自久良岐郡金澤町至同六浦莊村道路改修及橋梁新營工事震災復舊道路橋梁工事　六四、九〇〇圓（落札）　平島組

新橋保線事務所（指名入札）

池袋驛車掌監督助役詰所新築其他工事　八五〇圓（落札）　竹田組

東京市府營繕課（指名入札）

府立第一高等女學校校舍新築工事　五〇圓（落札）　竹田組、二三一、〇林組、二三五、〇〇〇圓　神谷太一郎

同潤會指名（入札）

澁谷浴場及店舖新築工事　六二、札）　島田藤吉

東京第二改良事務所（指名入札）

上野驛擴張其八本屋假設其他工事　〇圓（落札）　鹿島組

東京市役所（一般競爭入札十日開札）

西神田排水區自三崎町一丁目至新川路二、三丁目枝線工事　二五、六〇久保金次

東京市土木局第二出張所（指名入札）

補助街路二七號路線築造工事　一五、（落札）　飛島組

東京府內務部土木課（指名入札十日開札）

第九號國道北豐島郡西巢鴨町庚申塚四九二の一　熊本建設事務所（指名入札）

豐肥線第七工區土工工事　五五三、五〇〇圓（落札）　鐵道工業株式合資會社
日本橋區役所
日本橋女子高等坂本兩小學校新築工事　五五六、八〇〇圓（超過）　大倉土木株式會社
東京第一改良事務所（指名入札）
田端客車操車場新設第一回其四十一官舍新營工事　一五、六四八圓（落札）　高田錦作
東京府內務部土木課（指名入札十七日開札）
環狀道路一等大路第三類第十回北豐島郡瀧野川町田端神の木至尾久町下尾久道路改修工事　八五、五〇〇圓（超過）　渡邊濱次郎
新橋保線工事（指名入札）
新宿驛貨物受託所新築其他工事　二四、一〇〇圓（落札）　中野喜三郎
京橋區役所（指名入札）
築地小學校新築工事　四一六、〇〇〇圓（超過）　錢高組、四二九、八四五圓　大倉土木株式會社
四四二、〇〇〇圓　大林組、四六五、〇〇〇圓　清水組、四六七、〇〇〇圓　鹿島組、四九八、六三〇圓　竹田組、五〇一〇八圓　戶田組、五一五、〇〇〇圓　上遠組
大藏省營繕管財局（指名入札）
陸軍被服本廠休憩所震災復舊新築工事　一五、一六〇圓（落札）　鈴木太平
復興局第三出張所（指名入札）
幹線第三十七號路線內下水幹線伏設工事　六四、九〇〇圓（落札）　宮永平作
文部省（指名入札）
東京博物館倉庫彙陳列館附屬屋新營工事　三六、四〇〇圓（落札）　石井權藏、外五名
東京高等學校鐵筋コンクリート周圍塀門其他工事　一一、二六八圓（落札）　井上合資會社
東京市土木局第四出張所（指名入札）
第六七地區々劃街路第二三號街路築造工事　一、八四〇圓（落札）　藤田平藏
東京遞信局下谷區二長町倉庫新築工事　五四、九五〇圓（落札）　大鄉組
宮城電鐵株式會社（指名入札）
松島遊園地內諸建物建築工事　八四、〇〇〇圓（落札）　仁田寅藏、八五、〇〇〇圓
八九、八〇〇圓　佐藤勘助、右指名入札者堀內組田村組
南滿鐵道地方部
安東驛更部下水管布設工事　一二、〇〇〇圓（落札）　原半次郎
神奈川廳工事（指名入札）
神奈川縣測候所新築工事　七七、八〇〇圓（落札）　清水組
鹽釜貯藏倉庫外新築工事　二二、〇〇〇圓（超過）　仁田寅藏
丸森町筆甫村地內道路改修工事　五五、二五〇圓（落札）　秋山源之助
近衛步兵第一聯隊大隊本部其他震害復舊工事　一四三、七〇〇圓（落札）　藤田組、一四、七〇〇圓　高梨定吉、一四八、〇〇〇圓　橋本組工業會社、一五一、〇〇〇圓　松村組、一五七、〇〇〇圓　大林組、一五八、〇〇〇圓　安藤組　一五八、九〇〇圓　錢高組、一八四、〇〇〇圓　清水組
上野保線事務所（指名入札）
大宮驛構內官舍及附屬建物移轉（工事）　一〇一、五〇〇圓（落札）　大澤孚、一〇三、八〇〇圓　鈴木辰五郎、一〇四、七〇〇圓　山口忠五郎　一〇七、四〇〇圓　小柳寅次、一〇八、八〇〇圓　小林組、一〇九、六〇〇圓　鹿島精一
油堀川筋深川區鶴步町外一箇所混凝土塊護岸改築工事　一〇、七〇〇圓（落札）　田淵源次郎
東京市役所
臨時收容家屋移動式住宅二〇〇棟物置二〇棟供給（三月三日開札一般競爭入札）　八九、三〇〇圓（落札）　飛島組
芝區役所工事（指名入札）
南櫻小學校新築工事　二四一、七〇〇圓（超過）　鴻池組、右工事は七日再入札執行したるも尙豫算超過に終りたる爲目下同組と減價交涉中なり
北豐島郡高田町役場



高田町第一尋常高等小學校々舍增築並附帶工事（三月七日開札指名入札）　四八、七九〇圓（落札）　加藤省三
東京府土木課（指名入札七日開札）
葛西橋及葛西小橋架設工事葛西橋巾二十尺長三百二間葛西橋小々巾二十尺長八十二間　二二七、三〇〇圓（落札）　大倉土木株式會社　二八九、九八〇圓　齋藤助六、二九二、〇〇〇圓　竹田組、二九四、七〇〇圓　古久根組、二九五、四〇〇圓　中野喜三郎、二九五、八〇〇圓　栗原源藏、二九六、〇〇〇圓　大丸組、二九八、〇〇〇圓　大林組、二九八、〇〇〇圓　西松光次郎、二九八、四〇〇圓　大塚盛一、二九八、九〇〇圓　小久保金四郎、三〇二、六〇〇圓　鴻池組、三〇二、九〇〇圓　錢高組、三〇六、〇〇〇圓　清水組、三一一、〇〇〇圓　水野甚次郎、三一八、〇〇〇圓　有馬組、三一三、〇〇〇圓　松本組、三一四、〇〇〇圓　野村組
赤羽驛擴張工事に伴ふ支障電線路移轉其三工事　二五、〇〇〇圓（落札）　東海工業合資會社
東京市役所
三ノ橋排水區自新大橋至北ノ橋枝線中號工（三月八日開札一般競爭入札）　一三、七三〇圓（落札）　野口猪一郎
街路第二四三號路線自麴町區永樂町至八重洲町第二錦道事歩道工事　四九、五〇〇圓（超過）　日本石油株式會社
橫濱市役所工事（指名入札）
富士見町市營質舖及職業紹介所新築工事　三一、三〇〇圓（落札）　成山瀧造
深川區役所（指名入札）
深川小學校建築工事　四一三、〇〇〇圓（超過）　竹中工務店、四三二、八〇〇圓　大林組、四五六、三〇〇圓　大林組、四五六、〇〇〇圓　阪橋本組、四六八、〇〇〇圓　清水組、四八八、〇〇〇圓　藤組
復興局橫濱出張所工事（指名入札）
大岡川改修工事の內自榮橋至南吉田町南七ッ目先護岸壁其他堀鑿工事　一一七〇〇圓（落札）　戶谷修藏
新橋保線事務所（指名入札）
飯田町變電所附屬家屋新築工事　一三七、〇〇〇圓（落札）　塙三郎
復興局第二出張所特命
聖橋新設工事の內本鄉側街路擴築工事　一五六、八〇〇圓　飛島組、一五七、〇〇〇圓　森田福一、一六四、〇〇〇圓　森田錠三郎、一六七、八〇〇圓　竹田組、一六八、五〇〇圓　水野甚次郎、一六九、〇〇〇圓　石綿金次郎
東京府土木課（指名入札）
一等大路第三類第九號線一部改修工事延長二、二一、二五〇圓（隨契）　東洋コンプレッソル株式會社
遞信省經理課工事（指名入札）
京都祇園電話分局新築工事　一五六、八〇七圓（落札）　山庇組
復興局橫濱出張所工事（指名入札）
黃金橋改築其他工事　三一、三〇〇圓（落札）　宮長平作
關東廳地方部
安東縣四番通り外五ヶ所側溝改築　一三、六八〇（落札）　久保田勇
仙臺市廳舍新築工事　三五九、〇〇〇圓（超過）　仁田組、三八一、二〇〇圓　鍛越組、四一八、〇〇〇圓　石井組、四二八、〇〇〇圓　橋本組　四五五、〇〇〇圓　戶馬組、四五六、七〇〇圓　安藤組、四五七、〇〇〇圓　松村組、四四六、七七〇圓　大岩組、四八六、八〇〇圓　大林組　四九八、六〇〇圓　鴻池組、四八七、三〇〇圓　清水組再入札
三五三、〇〇〇圓（超過）　仁田組
海軍省（指名入札）
霞ヶ浦航空隊水上班兵舍其他新營の內兵舍外七廉工事外一廉工事　一三七、〇〇〇圓（落札）　有馬組　一五六、八〇〇圓　飛島組、一五七、〇〇〇圓　森田福一、一六四、〇〇〇圓　森田錠三郎、一六七、八〇〇圓　竹田組、一六八、五〇〇圓　水野甚次郎、一六九、〇〇〇圓　石綿金次郎
東京府土木課（指名入札）
一等大路第三類第九號線一部改修工事延長二、

三〇間七幅員十二間　一四、三五〇圓（落札）
大丸組
再入札
二三、九五〇圓（落札）　大丸組
東京第二改良事務所（指名入札）
新宿官舍復舊工事　四五、三〇〇圓（落札）　清水組
横須賀海軍建築部
横復第一〇二號横須賀海兵團兵舍新營の內第四兵舍（一號）及兵舍（二號）新營工事（指名入札）
三九八、七〇〇圓（落札）　安藤組、四一五、五〇〇圓　松村組
群馬縣廳工事（指名入札）
製糸群馬社新築工事　六五、八〇〇圓（落札）
小野里龜澄
同上寄宿舍新築工事　七六、六九〇圓（落札）
花房四平
海軍省經理局
火藥庫第二繩糸仕上場其他復舊の內繩糸仕上場改築外二廉工事（三月十八日開札指名入札）二二、三〇〇圓（落札）　有馬組
東京市役所
水道局本鄉給水塲事務所公舍其他新築工事（三月十九日開札）一般競爭入札
二〇〇、〇〇〇圓（落札）　石井丑之助
深川區役所
復興局第四出張所（指名入札）
東大工町詰所其他工事
再入札
一五、〇〇〇圓（落札）　西村常吉
熊本建設事務所（指名入札）
國鄉線第一土工工事　一一七、〇〇〇（落札）
西松組
福島縣石城郡蓬田村役塲工事（入札）
蓬田小學校新築工事　七二、七三〇圓（落札）
渡邊長松
東京建設事務所（指名入札）
大郡線北口第一工區工事　一三九、八〇〇圓（落札）有賀定吉
横濱市土木局工事（指名入札）
第十三號路線區劃地區內街路工事　三二、四五〇圓（落札）　戸澤八五郎
根岸町地內內號路面工事　二四、五〇〇圓（落札）小島太三郎
横濱市役所工事（指名入札）
塵芥燒却塲地々均工事　五三、八〇〇圓（落札）
加藤猶吉
東京市役所
下水課本塲ポンプ塲事務所新築工事　四七、三〇〇圓（落札）　荒川組荒川常吉
街路第四八〇號路線第一步道自廠布六本木至一ノ橋步道車步道工事　三三、五〇〇圓（落札）



川南小學校新築工事　四一三、五〇〇圓（落札）
錢高組、四一八、〇〇〇圓　淺野同族會社、四四二、〇〇〇圓　大林組、四五一、〇〇〇圓　大阪橋本組、四五二、七五〇圓　竹田組、四五三、二七〇圓　東京府土木課（指名入札二十六日開札）
第二一三號五日市上野原線西多摩郡檜原村出畑地內道路改修工事　二二、八〇〇圓（超過）峰岸子之吉、一九、九〇〇圓（落札）
峯岸子之吉
橫濱市電氣局（工事指名）
西之橋變電所新築工事　一六、八二〇圓（隨意契約）庄司組
愛知縣內務部土木課工事（入札）
東加茂郡下山村額田郡立會擧母新城道路改修工事　二二、〇〇〇圓（落札）　竹內兼吉
栃木縣大田原町役塲工事（入札）
大田原高等小學校々舍新築工事　三二、九五〇圓（落札）　船山倉重
千葉姉ヶ崎町工事（指名入札）
姉ヶ崎町高等小學校外二廉工事　三三、七〇〇圓（落札）　北野明吉
復興局第二出張所（指名入札）
大和橋下部殘部及一部工事　二六、二〇〇圓（落札）飛島組
第四出張所（指名入札）
小名木川第一工區及十六岸壁工事　一五、四〇〇圓（落札）　泉名永藏
神奈川縣廳工事（指名入札）於厚木中學施行
厚木中學校生徒控室其他改築工事　三九、四〇〇圓（超過）　長正志
以上再入札
三七、四〇〇圓（超過）　渡邊與三郎
東京府土木課（指名入札二十六日開札）
第二一三號五日市上野原線西多摩郡檜原村出畑地內道路改修工事　二二、八〇〇圓（超過）峰岸子之吉、一九、九〇〇圓（落札）
峯岸子之吉
橫濱市電氣局（工事指名）
西之橋變電所新築工事　一六、八二〇圓（隨意契約）庄司組
愛知縣內務部土木課工事（入札）
東加茂郡下山村額田郡立會擧母新城道路改修工事　二二、〇〇〇圓（落札）　竹內兼吉
栃木縣大田原町役塲工事（入札）
大田原高等小學校々舍新築工事　三二、九五〇圓（落札）　船山倉重
千葉姉ヶ崎町工事（指名入札）
姉ヶ崎町高等小學校外二廉工事　三三、七〇〇圓（落札）　北野明吉
復興局第二出張所（指名入札）
大和橋下部殘部及一部工事　二六、二〇〇圓（落札）飛島組
第四出張所（指名入札）
小名木川第一工區及十六岸壁工事　一五、四〇〇圓（落札）　泉名永藏

下田助次郎代　岡崎金次郎
東京市電氣局
南千住車庫一部新設工事　一八、二〇〇圓（超過）大塚盛一
深川圖書館建設工事　一七九、四〇〇圓（落札）　東京機關庫增築其他工事　四七、二〇〇圓（落札）東海工業合資會社
西村常吉
本所區役所（指名入札）
菊川小學校建築工事　三六八、七三〇圓（落札）
大倉土木株式會社
復興局第二出張所（指名入札）
幹線第五號の內一部濱町二丁目三丁目地先車道及步道舖裝工事　一〇、六五〇圓（落札）戸澤八五郎
幹線第二九號の一部濱町二丁目三丁目地先車道舖裝其他工事　一五、五〇〇圓（落札）　宮長平作
山形縣西村山郡西山村役塲工事（入札）
西山村水澤小學校增築工事　一二、六八〇圓（落札）近松數馬
關東廳長春事務所
長春乘務員指定宿泊所增築工事
圓（落札）　三田芳之助
東京鐵道局工事（指名入札）
東京充電所建家其他新築工事　一一二、九五〇圓（落札）　鐵道工業株式合資會社
大連市役所
桂町市營住宅新築　三一、八〇〇圓（落札）　高倉助太郎
新橋保線事務所（指名入札）
東京機關庫增築其他工事　四七、二〇〇圓（落札）東海工業合資會社
東京市電氣局
小沼變電所新築外三廉工事　一四八、三〇〇圓（落札）　清水組
東京市役所
江東橋職業紹介所新築工事（三月二十六日開札指名入札）一四、五八〇圓（落札）　野口組野口猪一郎
同潤會
芝區三田豐岡町アパートメント建築工事　一七三、四〇〇圓（落札）　森田工務店
大工町第三期アパートメント新築工事　四二三、〇〇〇圓（落札）　鴻池組
第一師團經理部
陸軍士官學校炊事塲其他改築工事　五二〇、〇〇〇圓（超過）　松村組
同再入札
五〇二、〇〇〇圓（超過）　清水組、四九八、〇〇〇圓（隨契）　清水組
長春事務所
四平街驛貨物倉庫其他新築工事　三一、二〇〇圓（落札）　福井高梨

復興局土木部指名入札　三七、〇〇〇圓（落札）相模鐵道株式會社
福島縣郡山市役所工事指名入札　四一、八〇〇圓（落札）吉松龜吉
傳染病隔離病舍新築工事　四一、八〇〇圓（落札）吉松龜吉
金透小學校增築工事　一七、八〇〇圓（落札）同人
滿鐵地方部
長春機關庫移轉改築　一五〇、八六〇圓（隨契）高岡又一郎
滿鐵鐵道部
滿井治頭間復線路土木橋梁新設工事　一二一、七〇〇圓（落札）志岐信太郎
遞信省東京橋改築工事　一二、四八〇圓（落札）志岐信太郎
小石川區役所指名入札
小石川高等小學校建築工事　四六〇、一〇〇圓（落札）松村組
甲府地方裁判所指名入札
甲府地方裁判所陪審院法廷及陪審院宿舍其他新營工事　四三、八五〇圓（落札）五十嵐松太郎
復興局橫濱出張所工事指名入札
第九號路線街路擴築工事　二一、〇〇〇圓（超過）石川庄吾
長野地方裁判所指名入札

長野地方裁判所陪審院法庭及陪審員宿舍其他新營工事　七二、〇〇〇圓（落札）守谷駒次郎
東京府土木部指名入札
岩淵橋々鐵部構造製作架設工事　二四九、〇〇〇圓（落札）橫河橋梁製作所
復興局第三出張所指名入札
幹線第三十七號路線自三輪町淺草町工事　六七、九八〇圓（落札）飛島組
神奈川縣廳工事指名入札
國道第一號線高座郡茅ヶ崎地內道路改良工事　三五、〇〇〇圓（超過）森下平太郎
大藏省營繕管財局指名入札
長崎稅關廳舍其他新築工事　一九五、九三二圓（落札）大林組
遞信省營繕課指名入札
濱松郵便局電話事務室新築工事　三〇四、五七一圓四〇（落札）安藤組
遞信省營繕課指名入札
再入札　一二九、六七〇圓（超過）工藤恒吉、一一六、九八〇圓（隨契）畑江工業合資會社
東京市役所指名入札
濱松町自動車庫改築工事　八七、四四〇圓（落札）大倉土木株式會社
東京市役所　一般競爭入札



第一區中段枝線自駒込神明町至同坂下町工事　八五、九〇〇圓（超過）鈴木辰五郎
水道局松井町出張所事務所其他新築工事　三二〇、四七〇圓（超過）西村常吉
水道局本鄉區給水塲事務所及公舍其他新築工事　二五、〇〇〇圓（落札）小田末吉
復興局第四出張所指名入札
福島橋新設工事　五二、〇〇〇圓（落札）飛島組
大島川改修第二二區其五岸壁工事　二六、一九〇圓（落札）前田榮次郎
遞信省營繕課指名入札
濱松郵便局電話事務室新築工事　三〇四、五七一圓四〇（落札）安藤組
東京市役所指名入札
小石川隣保館新築工事　一八七、八〇〇圓（落札）戶田利兵衛
復興局第二出張所指名入札
祝橋新築工事　二五、七五〇圓（落札）大丸組
東京市役所（四月十九日開札一般競爭入札）
水道局本鄉給水塲事務所及公舍其他新工事　二五、〇〇〇圓（落札）小田末吉
水道局松井町出張所事務所新設工事　同再入札　二八、八五〇圓（超過）江波戶善之助
遞信省經理局

東京中央電話局門新設其他工事　一一五、四二四〇圓七〇（超過）大林組
名古屋鐵道局
中央線坂北停車塲新築工事　三九、九〇〇圓（落札）岡谷組
郡山市役所指名入札
郡山市金透小學校增築工事　一七、八〇〇圓（落札）吉松龜吉
郡山傳染病院新設工事　四一、八〇〇圓（落札）吉松龜吉
函館土木事務所工事入札
町村道奧尻村青苗蔬溝間の內島頭川蔬溝間道路工事　三七、九八〇圓（落札）稻葉治郎左衛門
準地方費道函館福山線知內福山間道路工事　三四、五〇圓（落札）黑川市松
同江差岩內線乙部蚊柱間道路第二工區改良工事　三一、八〇〇圓（落札）森川平治
東京市役所（二十三日開札指名入札）
湊橋改築工事　一四二、三〇〇圓（落札）安藤熊吉
仙臺鐵道局山形保線事務所工事指名入札
山形驛改築工事　一二、二〇二圓（落札）佐藤宗治
北山形驛本線連絡工事　二五、九〇〇圓（落札）丸山慶治
復興局第三出張所指名入札

幹線第三十二號自泪橋至常磐線踏切工事　一四、七〇〇圓（落札）飛島組
東京市土木局第二出張所指名入札
神田區末廣町金澤町街路築造工事　一二、七〇〇圓（落札）上田佐助
神奈川縣工事指名入札
橫濱第一中學校講堂其他新增築工事　七八、五〇〇圓（落札）眞砂組
愛知縣丹羽郡犬山町役塲工事入札
町立犬山高等女學校々舍移築工事　一〇、三〇〇圓（落札）鈴木爲吉
文部省建築課廣島出張所指名入札
二五（廣島）高等學校生徒集會所新營工事　一二、三〇〇圓（落札）藤田一郎
神奈川縣廳工事公入札
精神病院敷地々均及道路新設工事　一九、八四〇圓（超過）渡邊久吉
仙臺市都市計畫課工事公入札
仙臺市電氣軌道第三次工事　五一、九〇〇圓（隨契）大島榮吉
東京府營繕課（三十日開札）指名入札
東京府立工業試驗塲新築工事再入札　一〇五、六〇〇圓（超過）青木孝太郎
新潟市役所工事指名
榮小學校新築工事　二九七、〇〇〇圓（落札）清水組
東京市役所（三日開札指名入札）
赤坂區役所廳舍新築工事　一八五、七〇〇圓（落札）竹田組
新架橋一六A鐵部製作工事（五月七日開札指名入札）二八、一八〇圓（落札）淺野造船所
室蘭土木事務所工事入札
町村道平取山門別間道新設工事　三四、九〇〇圓（落札）松川小太郎
町村道歌別小越間第一工區道路新設工事　一六、九〇〇圓（落札）山本政吉
町村道田原標中德別間第二工區道路改良工事　一八、四〇〇圓（落札）武田才一郎
町村道歌笛繪笛間第二工區道路新設工事　一五、九五〇圓（落札）谷萬吉
新潟縣廳工事指名入札
萬代橋架換工事中基礎工事　七三二、八〇〇圓（超過）間組
東京市役所
東京市中央卸賣市場神田分塲新築工事（五月五日開札）指名入札　一〇一八、五〇〇圓（落札）大阪橋本組
本鄉區役所廳舍新築工事指名入札（五月七日開札）一九七、八五〇圓（落札）戶田組
道路課第四出張所廳舍事務所其他新築工事公入札（五月七日開札）一七、七〇〇圓（落札）神

保安太郎
横濱市役所工事指名入札
吉田小學校新築工事　二五一、五〇〇圓（落札）
飯田國榮
新潟縣廳工事指名入札
萬代橋架換工事中基礎工事　七三二、八〇〇圓（豫定超過）　間組
陸軍省工事指名入札
幹部學校（仙臺、熊本、豐橋）　四一、八〇〇圓（隨意契約）　安田新吉
警視廳工事指名入札
新場橋警察署新築工事　八五、六〇〇圓（落札
森田彦隆
復興局第二出張所指名入札
姐橋新設及幹線二號路線内組橋假取付工事　一四五、八〇〇圓（落札）　前田榮次郎
復興局土木課指名入札
美倉橋新設工事　七四、五〇〇圓（超過）　鹿島組
北海道廳建築課工事入札
廳立函館商船學校附屬住宅二棟新築工事　一〇、四三〇圓（落札）　澁谷源吉
山形市職業紹介所工事入札
山形市職業紹介所新設工事（鐵筋混凝土造）　七、五〇〇圓（落札）　岳南組
復興局土木部

門縣橋新設工事　五四、六〇〇圓（落札）　大丸組
神奈川縣廳工事指名入札
八幡橋警察署及中村町消防磯子出張所新築工事　一一八、五五〇圓（超過）　鹽澤金太郎
荏原郡碑衾町役場工事指名入札
碑衾小學校々舍增築工事　四一、五二〇圓（落札）　江中組
遞信省營繕課工事指名（十日開札）
簡易保險局新築工事　三五七八、〇〇〇圓（落札）　大林組
栃木縣土木課工事入札
安蘇郡佐野町大橋々梁工事　一三、七八〇圓（落札）　大豆田貞次郎
上都賀郡日光町道路工事　一九、一九六圓（落札）　漆原久次郎
東京市役所指名入札
隅田尋常高等小學校分教室新築工事　一八、三四八圓（落札）　武田八郎次
東京府荏原郡大崎町役場指名入札
第四日野小學校增築工事　五〇、四八〇圓（落札）　日本土木建築株式會社
大藏省營繕管財局（指名入札）
千住製絨所第五工場（機械工場）新築其他工事　四三三、〇〇〇圓（落札）　清水組
復興局第三出張所工事（指名入札）

幹線第四四號線土工其他工事　三七、五〇〇圓（落札）　飛島組
關東廳工事指名
奉天理事公住新築工事
再入札
二四、三七〇圓（超過）　吉川康
北海道建築課工事入札
北海道廳林業試驗場野幌本場附屬官舍六棟新築工事　二八、一〇〇圓（落札）　大平市太郎
復興局第一出張所指名入札
櫻川筋櫻橋上流岸壁工事　二二、八〇〇圓（落札）　中野喜三郎
横濱市役所財務課工事指名入札
中村町託兒所新築及隣保館其他附屬新設工事　二七、〇〇〇圓（落札）　大林組
石川縣廳工事指名
縣立金澤商業學校特別教室新營工事　三二、〇〇〇圓（落札）　眞柄要助
東京市役所（指名入札十四日開札）
新架橋十六A新築工事　七二、四〇〇圓（落札）　小泉岩吉
警視廳工事（指名入札）
瀧ノ川警察署建築工事　五九、七〇〇圓（落札）　大鄉彌太郎
東京市役所工事指名入札
淀橋淨水場ポンプ室外四廉新築工事　一四五、





四〇〇圓（落札）　淺野同族株式會社
東京府土木課工事指名入札
南足立郡綾瀨村大字五兵衞新田地先綾瀨川改修工事
同再入札
一五、八〇〇圓（落札）　高橋久太郎
海軍爆藥廠土木工事坪數約三萬坪　八九、二〇〇圓（落札）　伊塚市藏
函館市役所工事指名入札
西海岸道路外市道改修工事　四一、七四二圓（隨契）　森川平作
復興局土木部工事指名入札
美倉橋新設其他工事　五七、二四五圓（落札）
合資會社間組
支部省工事（指名入札）
東京高等學校正門外八廉新營工事　一五、八〇三圓（隨契）　井上合資會社
大藏省營繕管財局工事指名入札
日本橋郵便局舍新營及修繕工事　五二、三〇〇圓（落札）　鈴木太平
復興局第一出張所（芝公園）工事指名（五月十九日開札）
幹線第四號線自目比谷至數寄屋橋間車道一部舖裝工事　一一、九〇〇圓（落札）　宮永平作
東京市役所工事指名入札
大塚病院特別病舍建設工事　三二一、五〇〇圓

（落札決定保留）最低　戶田組
東京鐵道局指名（入札二十日開札）
川崎變電所增改築工事　八四、九〇〇圓（落札）
宮永平作
東京遞信局工事（指名入札二十日開札）
靜岡縣駿東郡金岡村及沼津市内電信電話地下線路新設工事
同再入札　一七、三〇〇圓（超過）　石川省吾
東京市役所工事（公入札二十一日開札）
三之橋排水區北三葉町、三笠町、清水町附近一部枝線工事　一五、四八〇圓（落札）　武井與四郎
復興局第一出張所工事（指名五月二十二日開札）
京橋川筋京橋水谷橋間一部改修工事　二二、九五〇圓（落札）　廣橋彌太郎
内閣印刷局總務工事（競爭入札）
印刷部材料課工場一室、二室新築其他工事　二八、七八〇圓（落札）　大鄉組
神奈川縣廳
八幡警察署並磯子消防出張所新築工事　一一五、〇〇〇圓（隨契）　鹽澤金太郎
工事公入札
芝浦日ノ出町公衆食堂新築工事
同再入札
一二、一五〇圓（超過）　高橋哲介
工事公入札
三ノ輪市營住宅移築第二期及玉姬町住宅移築工事　二八、九五〇圓（超過）　大阪出水組
二七、四〇〇圓（超過）　大阪出水組、二六、九〇〇圓（隨意契約）　大阪出水組
復興局第三出張所指名入札
東京中央電話局淺草分局屋上三階新築其他工事
二六、三〇〇圓（再入札超過）　飛島組
神田區役所（指名入札）
小川小學校建築工事　二六二、八〇〇圓（落札）
錢高組
横濱財務課工事（指名入札）
稻荷臺小學校增築及模樣替工事　三六、〇〇〇圓（落札）　宇津木組
東京鐵道局工務課（指名入札）
前橋驛ホーム改築工事　八三、九九〇圓（落札）
青木孝次郎
朝鮮慶北道會計課（工事入札）
女子高等普通學院新築工事　八四、八〇〇圓（落札）　岡本小三郎
文部省建築課甲府出張所（指名入札）
第十八山梨高等工業學校講堂外七廉新營工事
一二、八六〇圓（隨契）　内藤半次郎
復興局第一出張所工事（指名入札）
幹線第四號線目目比谷至數寄屋橋車道一部舖裝工事　一一、九〇〇圓（落札）　宮永平作
石川縣土木課營繕課

第一高等女學校生徒控所改築工事　一三、五八〇圓(落札)　米田次郎吉
吳海軍工廠建築部舞鶴出張所
舞鶴要港部管內建物震災復舊工事及甲六號官舍外五八廉復舊工事　一四、二〇〇圓(不調)　伊塚市藏
四平街小學校屋內体操場兼講堂增築其他　一四、八〇〇圓(落札)　大倉土木
東京府龜戶町江戶川土水町村組合工事(指名入札)
千住町鐵管敷設及附屬工事
再入札
一三、三〇〇圓(落札)　谷吉喜代
尾久町同工事　三五、九八〇圓(超過)　高橋組
再入札
三四、二〇〇圓(超過)　勝村幾之介
關東廳
旅順魚菜市場新築工事　二三、三〇〇圓(落札)　本田與一
福島地方裁判所(指名入札)
福島地方裁判所陪審法廷及陪審員官舍新築工事　四七、三〇〇圓(落札)　岳南組
橫濱市役所工事(指名入札)
橫濱小學校本館並附屬家新築其他工事
二四七、七四五圓(落札)　大倉土木株式會社
指名入札
京橋川京橋水谷橋間一部改修工事　三二、九五〇圓(落札)　廣橋彌太郎
濱町排水區馬喰町及久松町附近枝川工事　五六、八八〇圓(落札)　戶澤八五郎
東京市電氣局(指名入札)
春日町電壓所新築工事　一〇五、七〇〇圓(隨契)　清水組
東京府下蒲田町役場工事(指名入札)
相生小學校增築工事
再入札
二五、二五〇圓(落札)　森安之助
神奈川縣廳工事(指名入札)
神奈川縣秦野線下秦野北々多村間道路開鑿並隧道工事　五〇、八五〇圓(落札)　今泉小源次
滿鐵長春事務所
四平街驛專用線用貨物倉庫新築工事　三六、八四〇圓(落札)　大倉土木
南滿奉天事務所
鐵嶺醫院傳染病棟增築　一〇、八五八圓(落札)
久保田伊平
熊本建設事務所(指名入札)
國都線第二工區工事　九二五、〇〇〇圓(隨契)
西松組熊本支店
神奈川縣都岡村役場工事(入札)
都岡小學校新築工事　四〇、〇〇〇圓(隨契)
丸大組鈴木佐一
關東廳地方部
長春高等女學校々舍增築
五四、九七〇圓(落札)　近藤壽三郎
東京市土木局第三出張所
第三二地區劃整理街路第八〇號路線新堀雨水渠覆蓋工事　二一、二〇〇圓(超過)　手島助次郎
東京市役所一般競爭(入札二十一日開札)
補助街路第三十八號路線一部築造工事　三四、七〇〇圓(超過)　野村專太郎
東京市土木局第三出張所工事(指名入札二十六日開札)
第四三地區內區劃整理街路第一六、一八、二〇號路線全部第一七、一九、二一、四〇、四一、四二、四四號路線一部築造工事　一六、九五〇圓(超過)
日本築造株式會社
東京市役所工事(指名入札廿八日開札)
古川改修混凝土護岸改修工事　三五、八〇〇圓(落札)　南出豐作
東京府營繕課工事(指名入札六月三日開札)
府立中野家政女學校々舍增築外二廉工事　一〇、五〇〇圓(落札)　井野久太郎
近衛師團經理部工事(指名入札三十日開札)
陸軍航空部補給部所澤支部屋根其他二廉工事
同再入札
一〇、五〇〇圓(隨意契約)　栗田組
東京市土木局第三出張所工事(指名入札)



第四二地區內區劃整理街路第一八、二三、二七ノ一、二、五八、五九ノ一、二、五路線全部第二五號路一部築造工事　一六一、〇〇〇圓(落札)　戶田組
東京市役所工事(指名入札六月四日開札)
芝浦ポンプ場上家新築工事　一六一、〇〇〇圓(落札)　戶田組
東京遞信局工事(指名入札六月六日開札)
府下大森町入新井町地內電話地下線新設及增設工事　二二、四六九圓(落札)　飛島組
秋田縣酒造組合研究會
工業試驗場新築工事　二二、七〇〇圓(落札)
高橋八重治
補助街路第六十八號線一部築造並下水渠改良工事　四四、八五〇圓(落札)　野口組
水道局三味線堀出張所事務室及附屬其他十廉新築工事　二五、二五〇圓(落札)　江波戶善之助
補助街路第七號線街路築造並下水渠改良工事　二〇〇圓(落札)　高橋組
東京市役所工事(公入札六月七日開札)
補助街路第七號線一部築造並下水渠改良工事(第一地區及地區外)　四三、二五圓(落札)　大倉土木株式會社
滿鐵地方部
奉天醫科大學生寄宿舍新築　六七、七二八圓(落札)　戶田利兵衛
宮城縣土木課工事(公入札)
氣仙沼中學校新築工事　五五、八〇〇圓(落札)
小野寺良亮
第九師團經理部
步兵第七聯隊及野村經理作業場蒸汽汽罐付屬煙突風害復舊工事　六、九〇〇圓(落札)　越田利右衛門
安東乙種社宅新築　四一、五〇〇圓(落札)　三田芳之助
山形地方裁判所(指名入札)
山形地方裁判所陪審院法廷陪審員宿舍其他新營工事　四二、〇〇〇圓(落札)　勝又春一
東京府南多摩郡南村役場
南村小學校新築工事　一五、六〇〇圓(隨契)
橫田幸太郎
關東廳地方部
瓦房店小學校增築工事　一八、五〇〇圓(落札)
草場又一
河口公學堂々舍增築其他
一六、九七〇圓(落札)　石井本一
新橋保線事務所(指名入札)
川崎發電所修繕場模樣替其他工事　一七、八〇〇圓(落札)　內田源之助
大藏省營繕局(指名入札)
諸官衙及假廳舍其他整理の內內閣印刷局廳舍改築其他工事　三一、四〇〇圓(落札)　木曾周太郎
東京市役所(指名入札二十八日開札)
古川筋改修工事　三五、八〇〇圓(落札)　南出豐作
芝浦喞筒場上家新築工事　一六一、〇〇〇圓(落札)　戶田利兵衛
明治專門學校(指名入札)
明治專門學校寄宿舍其他新築工事　三三、七〇〇圓(落札)　坂本柳太
復興局隅田川出張所特命
藏前橋鋼拱架設工事　七二、三五六圓(隨契)
東京石川島造船所
東京市役所(指名入札四日開札)
田中町簡易宿泊所田中町質屋新築工事　九八、七〇〇圓(落札)　戶田利兵衛
牛込區役所廳舍電氣設備工事　一四、九五〇圓(超過)　東光商會
再入札
一四、四〇〇圓(超過)　豐國電氣工業所
補助街路第六十八號路線街路築造並下水渠改良工事　四四、八五〇圓(落札)　野口組
補助街路第七號一部築造並下水渠改良工事　三八、二〇〇圓(落札)　高橋組
水道局三味線堀出張所事務室及附屬家其他工事　二五、二五〇圓(落札)　江波戶善之助

帝國生命保險株式會社（指名入札）
帝國生命ビルヂング建築工事　九一六、九六五圓（落札）　竹中工務店
神奈川縣廳工事（指名入札）
御殿線道路改修工事　一三二、九〇〇圓（超過）
小方正之助
新橋保線事務所（指名入札）
大井工場附屬官舍移轉其他工事　三七、九九〇圓（落札）　山口忠五郎
關東廳埠頭事務所
埠頭構內第一埠頭石炭積出線路模様替　一二、七〇〇圓（落札）　華勝公司
宮城縣土木課
宮城縣氣仙沼中學校体操場兼生徒控所柔道場並に宿直便所工事　二八、八〇〇圓（隨契）　小野寺良亮
東京株式取引所工事指名
東京株式取引所新築工事　五六三、〇〇〇圓（落札）　清水組
東京市役所（指名入札）
中ノ橋改築工事　三六、八五〇圓（落札）　大野銓吉
關東廳奉天事務所
鐵嶺乙種社宅工事　一二、九八〇圓（落札）　近藤壽三郎
蘇家屯內種及丁種社宅新築工事　二六、五四〇圓（落札）　細川穗太郎
關東廳地方部
營口病院隔離病室新築工事　三三、九五〇圓（落札）　川畑喜次郎
遼陽小學校增改築其他工事　一二、九〇〇圓（落札）　笠原弘
撫順高等女學校內部雜作工事　二五、三〇〇圓（落札）　細川穗太郎
大山第二注射場改造線路土工工事　四四、三〇〇圓（落札）　吉川康
撫順新市街各所車道舖裝工事　一二、四八〇圓（落札）　矢野組
撫順中學校內部雜作工事　一六、二五〇圓（落札）　矢野組
荒玉水道町村組合工事（公入札六月七日開札）
第一號給水場事務所外七廠建築工事　一三、六六〇圓（落札）　北野明吉
東京市役所工事指名入札（六月九日開札）
中ノ橋改築工事　三六、八五〇圓（落札）　大野銓吉
新架橋第一二一B新築工事　三一、五一〇圓（落札）　宮永平作
東京市役所工事（指名入札六月十一日開札）
廣尾市立病院特別病室機關室新設工事　三六、八九〇圓（落札）　荒川組
東京遞信局工事（指名入札六月十日開札）
長距離電話「ケーブル」用川越鐵塔新設工事再入札　三〇、〇〇〇圓（落札）　森下組
東京市役所（指名入札十一月開札）
東京市芝廣尾病院特別病室附屬汽罐室其他新築工事　三六、八九〇圓（落札）　荒川常吉
大藏省營繕管財局工事（指名六月十日開札）
農事試驗場廳舍其他新營工事　四一六、八〇〇圓（落札）　松村組
復興局土木部工事（指名入札六月十五日開札）
神田川筋改修工事第二工區其一岩壁其他工事同再入札　五五、九五〇圓（落札）　間組
東京市役所工事指名入札（六月十四日開札）
新架橋六〇L新築工事同再入札　一九、四八〇圓（超過）　前田組合資會社
大藏省營繕管財局工事（指名入札六月十三日開札）
警視廳細菌檢查所分室新築工事　三五、四〇〇圓（落札）　大阪出水組
東京第二改良事務所（指名入札）
市街線第四工區其四、十六鐵假設其他二廳工事　六六、八〇〇圓（落札）　錢高組
東京市役所工事（公入札六月十六日開札）
第一高段幹線自芝區白金三光町至新廣尾町殘部工事　四八、八〇〇圓（落札）　神谷太一郎
警視總監官房會計課營繕係工事（指名入札六月十七日開札）
高田警察署建築工事　六六、九八〇圓（落札）
井上組
東京市役所工事（指名入札）
街路第十二號線舖車道工事再入札　二四、三五〇圓（超過）　日本石油株式會社
司法省工事（指名入札）
東京地方裁判所臨時部假廳舍新營工事　五三、四九〇圓（落札）　三神爲吉
栃木縣御厨町役場工事（入札）
御厨町小學校々舍增築工事　二二、三九五圓（落札）　龜田長平
東京市役所工事（指名入札六月二十一日開札）
第一東京市立中學校給水及淨化裝置工事　二一、六〇〇圓（落札）　田中庄一
神奈川縣廳工事（指名入札）
戶部警察署及西戶部消防新築工事　二一八、〇〇〇圓（落札）　久良木組
近衛師團經理部工事（指名入札六月三十二日開札）
陸軍々醫院學校移轉改增築工事　一〇二七、〇〇〇圓（落札）　大林組
東京府營繕課工事（指名入札）
東京府立青梅實科高等女學校屋內体操場兼講堂新築二廳工事　二四、二七〇圓（落札）　岩浪馬次郎
南千住入會橋々梁工事一五、九七〇圓（超過）　岡部議一
再入札　一五、四五〇圓（超過）　岡部誠一
仙臺市役所（指名入札）
第二回市廳舍混凝土打工事　二二、〇〇〇圓（落札）　內田吉太郎
宮城縣
白石町大張村間道改修工事一廳　四二、一五〇圓（落札）　田中清太郎
富山地方裁判所工事（指名入札）
富山地方裁判所陪審法廷及陪審員宿舍新營工事　五二、六七〇圓（落札）　井上保三郎
岡山建設事務所（指名入札）
姬津線第一工區工事　七四、五〇〇圓（落札）
藤原作十郎
舞鶴要港部工作部
舞鶴要港部建造物整理の內工作部造兵課機鈑工場新營工事　二七一、六七〇圓（落札）　大田益二
東京市役所（指名入札二十一日開札）
第一東京市立中學校給水衛生淨化槽工事　二一、六〇〇圓（落札）　田中章一
東京府營繕課（指名入札）
復興局第二出張所（指名入札）
日本橋川筋一部改修工事　七九、九〇〇圓（落札）　宮長平作
札幌土木事務所
石狩郡當別厚田郡厚田間第二工區道路新設工事　一九、二〇〇圓（落札）　大槻延市
關東廳地方部
開原病院傳染病新築工事　一三、二七〇圓（落札）　近藤壽三郎
關東廳奉天事務所
鞍山中學校武道場增築工事　一〇、八〇〇圓（落札）　笠原弘
長春高等女學校寄宿舍增築　一〇、五三〇圓（落札）　荒井敏郎
遼陽驛上屋新築　一四、五五〇圓（落札）　吉川康
靜岡縣
府縣道二俣水窪線光明村龍川村間道路改築工事　一〇一、〇〇〇圓（落札）　小方正之助
同下田伊東線城東村稻取町間道路改築工事　一〇六、七〇〇圓（落札）　石川省吾
府縣道一俣水線窪龍山村道路改築工事　二三、四〇〇圓（落札）　鹿島組
東京府營繕課（指名入札）
府立化學工業學校給水衛生設備工事　二五、八五〇圓（落札）　芝江初五郎

大藏省營繕管財局（指名入札）
郡山地方專賣局須賀川出張所傳動裝置工事　一一、二九二圓（落札）　櫻田機械製造所
橫濱市役所工事（指名入札）
十全醫院病室棟其他工事　一六九、七〇〇圓（落札）　戶田組
警視廳工事（指名入札）
高田警察署建築工事　六七、九〇〇圓（落札）　井上保三郎
司法省會計工事（指名入札）
東京地方裁判所民事部假廳舍新營工事　五三、四九〇圓（落札）　三神爲吉
宇都宮商業會議所（一般競爭入札）
宇都宮商業會議所新築工事　七七、三〇〇圓（超過）　馬上組
再入札
七五、八〇〇圓（超過）　馬上組
滿鐵地方部
四平街甲種一棟乙種二戶新築工事　一三、〇九五圓（落札）　今井行平
鐵嶺各社宅新築工事　四七、四四〇圓（落札）　山崎英武
青梅
高等學校屋內体操場兼講堂新築工事　二四、二七〇圓（落札）　岩浪馬次郎
中央試驗所第四館及大豆工場新築工事　四一、五八〇圓　矢野健次郎
文部省司計掛（指名入札）
東京高等師範學校火災復舊暖房工事　二七、五〇〇圓（落札）　齋藤省三
神田區役所（指名入札）
芳林小學校給水排水工事　一〇、三五八圓（落札）　齋藤省三
芳林小學校暖房工事　一五、一六〇圓（落札）　日本暖房商會
大連埠頭事務所
東寺兒溝火藥庫建築工事　一二、一七三圓（落札）　間瀨增吉
滿鐵地方部
教育專門學校附屬小學校增築　五三、七〇〇圓（落札）　大倉土木
宇都宮商業會議所
商業會議所新築工事　七〇、〇〇〇圓（隨意契約）　馬上鐵藏
靜岡縣土木課
府縣道松崎土肥線田方郡西豆村村內道路改築工事　四一、八〇〇圓（落札）　小野德次郎
同加茂郡仁科地內道路改築工事
第十一師團經理部工事（入札）
松山城內小銃射擊場內移轉改築其他工事　三四、五七一圓（落札）　坂本榮藏
名古屋工廠會計部工事（入札）
本部塀第十一號木柵修繕工事　一〇、八〇〇圓（落札）　內藤信次郎
北海道空知支廳北海土功組合事務所工事（入札）
幹線第三區自一三三〇鎖至一四三〇鎖間水路堀鑿工事　一一四、八〇〇圓（落札）　山田太郎
第四工區自二六二鎖至二七二〇鎖間水路堀鑿工事　一一八、〇〇〇圓（落札）　地崎組
東京市役所（指名入札二十五日開札）
下水課業平橋停場上家新築工事　一四六、〇〇〇圓（落札）　錢高組
京都府宇治町役場
兎道小學校々舍一棟及附屬建物增築工事總建坪二百七坪餘　二八、三八〇圓（落札）　林松太郎
深川區役所（指名入札）
六間堀小學校電氣工事　五、五六三圓（落札）　日本電飾株式會社
川南小學給水工事　二二、三九五圓（落札）　三機工業株式會社
群馬縣（指名入札）
群馬縣蠶業取締所境支所改築工事（鐵筋コンクリート二階建）七二、二〇〇圓（落札）　中島八三郎
東京府營繕課工事（指名入札六月二三日開札）
東京府立化學工業附帶電氣設備工事　四一、三〇〇圓（落札）　芝江初五郎
復興局土木部工事（指名入札六月二十八日開札）



萬年橋新築工事　七四、九〇〇圓（落札）　大林組
區劃整理街路第三五號路線工事　一〇、八四八圓（落札）　石長三郎
海軍省經理局工事（指名入札六月二十七日開札）
火藥庫其他復舊之內火藥庫新營外三廉工事　二二、二四〇圓（落札）　竹田組
滿鐵地方部
安東鐵道西部下水管布設　一五、九八〇圓（單獨）　大倉土木
東京市役所工事（指名入札六月二十八日開札）
新架橋一一九ノ外一橋新築工事　一七、四三〇圓（落札）　大阪出水組
復興事業局工事（指名入札）
復興事業局移動式收容バラック建築工事　七七、〇〇〇圓（落札）　清水組
東京市土木局第三出張所（指名入札）
淺草區田原町二、三丁目東仲町西仲町街路築造工事　一〇、八四四圓（落札）　西崎善五郎
盛岡建設事務所（指名入札）
久慈線第四工區土工其他工事　三二三、八〇〇圓（落札）　鹿島精一
橫濱市役所工事（指名入札）
橫濱商業專修學校雨天体操場其他新築工事　三五、八六五圓（超過）　大倉土木株式會社
神奈川縣廳工事
女子師範學校炊夫室其他新築工事　一八、四〇〇圓（特命）　久良木組
栃木縣工事指名（入札）
縣立沼田中學校改築工事（鐵筋混凝土三階建）一七三、四〇〇圓（落札）　井上保三郎
宮域縣廳工事（入札）
第二中學校第一期工事　二七二、六二〇圓（超過）　仁田組
栃木縣佐野町役場工事（指名入札）
秋山川架橋工事　一三、八〇四圓　田組
荏原郡池上村池上信用組合工事（指名入札）
池上信用組合事務所新築工事　一九、〇〇〇圓（落札）　君島爲次郎
宮內省
高松宮殿邸官舍新築工事　五八、〇〇〇圓（隨契）　曾根英太郎
東京市土木局第三出張所
本鄉區元町二丁目街路築造工事（左ノ通リ隨意契約ス）一五、六〇〇圓　伊藤與五郎
橫濱市役所工事（指名入札二十九日開札）
瀧頭小學校新築工事　二五三、〇〇〇圓（落札）　日本土木建築株式會社
東京市役所工事（指名入札）
牛込區役所廳舍電氣設備工事　一〇、九五〇圓（落札）　島田房太郎
東京府土木課工事（指名入札七月一日開札）
第四號國道千住大橋架換工事ノ內上部構造工事　六八、六〇〇圓（落札）　大林組
府縣道第二四四號福生淺川線西多摩郡秋泊村小川道路改修工事
再入札
二七、五〇〇圓（超過）　森田仲藏
荏原郡矢口村役場工事（指名入札七月一日開札）
矢口村小學校新築工事　二一、六九〇圓（落札）　月村組
滿鐵奉天事務所
本溪湖滿鐵俱樂部移轉改築工事　一八、三五〇圓（落札）　細川積太郎
東京市役所（一般競爭入札三十日開札）
仙臺堀川筋深川區清住町混凝土塊護岸改築工事　二四、〇〇〇圓　落札）　神谷太一郎
南滿洲鐵道部
昭和二年度馬家塘海面埋立の內陸揚土砂埋立及護岸一部築造　五六、三四五圓（落札）　吉川康
東京府土木課（指名入札三十日開札）
府縣道第二四四號福生淺川線西多摩郡東秋泊村小川道路改修工事　三〇、三五〇圓（超過）　森田仲藏
東京市役所
牛込區役所廳舍電氣設備工事　一〇、九五〇圓（落札）　島田房太郎

瀝鐵地方部
長春各社宅新築工事の内丙種十二戸建　二八、五七〇圓(落札)　大同組
東京第二改良事務所(指名入札)
鶴見驛構内土工工事　一八九、〇〇〇圓(落札)　菱川組
東京市土木局第三出張所
本郷區元町二丁目街路築造工事(超過の分)　一五、六〇〇圓(隨契)　伊藤與五郎
神奈川縣廳工事(指名入札)
商工實習學校雨天体操場其他新築工事　三三、三〇〇圓(超過)　村上菊藏
復興局第四出張所(指名入札)
幹線第十號街路一部自三、六六七至四、一五六米突間地上ヶ其他工事　二七、九四〇圓(落札)　鹿島精一
長岡建設事務所(指名入札)
會津線第四工區工事　九三、〇〇〇圓(落札)　伊藤甚作
宮城縣土木課
宮城縣第二中學校鐵筋混凝土新築工事　二三、六、〇〇〇圓(隨契)　仁田寅藏
大藏省營繕管財局(指名入札)
諸官衙假廳舍整理の內文部省改築假廳舍及東京稅務監督局並神田橋稅務署新營假廳舍暖房裝置工事　一〇、八〇〇圓(落札)　日本暖房商會
臨時窒素研究所工事(公入札七月七日開札)
實驗室復舊工事　一一、九三九圓(超過)　石井丑之助
東京府土木課工事(指名入札七月七日開札)
第五十九號神田千住線北豊島郡南千住町字通新道路(長四百間巾九間)工事　四八、三〇〇圓(落札)　日本アスヂット會社
一等大路第三類第九號線一部荏原郡目黒町大字上目黒地內道路改修工事　三七、八〇〇圓(落札)　榎本政吉
第百十一號瀧谷廠布線豊島郡瀧谷町地內道路改修工事(此坪二千三百二坪二合)　三九、九五〇圓(落札)　本多治三郎
東京市役所工事(指名入札)
下ノ橋改築工事　四六、八〇〇圓(落札)　大野鉾吉
芝浦職業紹介所新築工事　一四、三〇〇圓(超過)　株式會社野村組
神奈川縣廳
農蠶學校講堂其他新築工事　二六、七〇〇圓(隨契)　齋藤萬治
東京市土木局第二出張所(指名入札)
第一地區區劃整理街路四五號線築造工事　一六、七五〇圓(落札)　坂本組
大藏省營繕管財局(指名入札)
瀧谷憲兵隊廳舍移轉改築其他工事　一九、五五〇圓(落札)　加藤賀幸
東京府營繕課(指名入札)
實科工業學校電氣附帶設備工事　四七、九七〇圓(超過)　古島宮次郎
再入札
二五、三〇〇圓(落札)　古島宮次郎
復興局土木部
高橋新設工事　一三五、〇〇〇圓(落札)　加藤賀幸
平作
大藏省營繕管財局(指名入札)
獸疫調査所研究室其他新築工事　六八、八〇〇圓(落札)　小川組
東京府土木課工事(指名入札七月十三日開札)
再入札
四九、八〇〇圓(超過)　辻紋次郎
東京第一改良事務所(指名入札)
大宮工場鍛冶職場內機械基礎新設工事　二八、四〇〇圓(落札)　錢高組
文部省司計掛(指名入札)
中央氣象臺官舍其他整理工事　一一、二〇〇圓(落札)　鴨志田新太郎
東京府土木課(指名入札九日開札)
放射道路二等大路第一期第十二自東京市小石川區辻町市郡界至北豊島郡西巢鴨町池袋下リ谷二十一番地道路改修工事　九九、九八〇圓(落札)　栗原源藏
財團法人同潤會工事(指名入札)
保土ヶ谷大岡町住宅一號形式住宅模様替工事　一一、二八〇圓(落札)　木村半治
東京市役所
自市ヶ谷河田町至同谷町殘部枝線工事　四七、九七〇圓　下田助次郎
再入札
四七、四五〇圓(超過)　下田助次郎
復興局土木部工事(指名入札)
中の橋新設工事　八七、九五〇圓(落札)　中野喜三郎
遞信省營繕課工事(指名入札)
世田ヶ谷郵便局々舍新築工事　六八、八〇〇圓(落札)　小川組
東京府土木課工事(指名入札七月十三日開札)
第二十號芝溝口線荏原郡碑衾村內柿木坂一五、八五〇圓(落札)　田中鐵五郎
下谷區役所(指名入札)
龍泉小學校建築工事　三七八、三〇〇圓(落札)　戸田組
東京府土木課(指名入札)
二十間川筋深川區千田町混凝土塊護岸改築工事　二四、七〇〇圓(落札)　田淵源次郎
八幡製鐵所工事(指名)
炭滓運搬鐵道秋山隧道工事　六七七、五〇〇圓(落札)　有馬組
東京市土木局第三出張所(指名入札)
第四二地區區劃整理街路第四、五一、五六、一部五、七、十一、十五、五二、六三、五四、五五　全部淺



郡山地方專賣局須賀川出張所暖房裝置工事　三、一七〇〇圓(落札)　大和工業株式會社
横濱市水道局工事(指名入札四月四日)
本局事務所新築工事　一九、二七〇圓(超過)
庄司組
東京市役所(指名入札五日開札)
境淨水場第七號濾過池築造工事　二七一、三〇〇圓(落札)　竹田組
街路第一一七、一二八、二二六號路線自三河臺町區界至青山一丁目自青山南町一の一舖道工事　一〇八、五〇〇圓(落札)　都市工業株式會社
復興局第四出張所(指名入札)
大島川岸壁改修第二工區其六工事　一九、八〇〇圓(超過)　辻紋次郎
本所區役所(指名入札)
業平小學校給水工事　一五、五〇〇圓(落札)　經塚茂
仙臺遞信局(指名入札)
仙臺郵便局電話室事務舍二階建繼外七廉工事　一九、二七〇圓(落札)　佐藤勘助
盛岡建設事務所
久慈線八木中野間第四工區土工工事　三二三、八〇〇圓(落札)　東京鹿島組
遞信省營繕課工事(指名入札七月六日開札)
東京中央郵便局假舍ヲ東京遞信局倉庫ニ移築工事　二二、六三〇圓(落札)　石綿金太郎
横濱市役所工事(指名入札)
震災記念會館新築工事　一一四、〇〇〇圓(落札)　松村組
赤坂郵便局舍其他新營工事　一七二、八四八圓(落札)　大倉土木會社
文部省改築假廳舍及東京稅務監督局並ニ神田橋稅務署新營假廳舍暖房裝置　一〇、八〇〇圓(落札)　日本暖房商會
王子電氣軌道株式會社(指名入札)
赤羽線延長土工工事　二二五、七〇〇圓(落札)　山形已之次郎
復興局第四出張所(指名入札)
大島川岸壁改修第二工區其六工事　一九、八〇〇圓(超過)　辻紋次郎
本所區役所(指名入札)
業平小學校給水工事　一五、五〇〇圓(落札)　經塚茂
仙臺遞信局(指名入札)
仙臺郵便局電話室事務舍二階建繼外七廉工事　一九、二七〇圓(落札)　佐藤勘助
盛岡建設事務所
久慈線八木中野間第四工區土工工事　三二三、八〇〇圓(落札)　東京鹿島組
遞信省營繕課工事(指名入札七月六日開札)
東京中央郵便局假舍ヲ東京遞信局倉庫ニ移築工事　二二、六三〇圓(落札)　石綿金太郎
横濱市役所工事(指名入札)
震災記念會館新築工事　一一四、〇〇〇圓(落札)　松村組

草區淺草町玉姫町一部街路工事　一三、二〇〇圓（落札）　佐藤榮太郎
第二師團經理部（指名入札）
元騎兵二聯隊兵舍其他を仙臺陸軍教導學校學生舍其他に模樣替工事　一二、六〇〇圓（落札）　内田吉太郎
横濱市役所工事（指名入札十二日開札）
江吾田小學校敷地々均並擴張工事　一〇、九九〇圓（超過）　小島太三郎
以上再入札
一〇、四三〇圓（超過）　小島太三郎
第一師團經理部
東京灣要塞司令部備砲班派出事務室其他新營工事　二五、三六〇圓（超過）　石井猶吉
再入札
二四、九八〇圓（落札）　石井猶吉
北海道建設事務所
石北線東三工區土工事　一六四、七〇〇圓
飛島組
復興局土木部（指名入札）
南千住運河新鑿工事の内水門工事　一四、三七一圓（落札）　月島機械株式會社
中の橋新設工事　八七、九五〇圓（落札）　中野喜三郎
横濱市役所工事（指名）
元衛小學校敷地々均工事　三一、二六三圓（落札）　小島太三郎
大藏省營繕管財局（指名入札）
世田谷郵便局其他新築工事　六八、〇〇〇圓（落札）　小川組
九段坂軌條入替新設工事　一五、〇〇〇圓（落札）　前田組
神奈川縣廳工事（指名入札十六日開札）
師範學校特別教室其他新築工事　二一七、五〇〇圓（超過）　久良木組
遞信省營繕課工事（指名入札十六日開札）
小傳馬町郵便局新築工事　四一、七五〇圓（落札）　日本土木建築株式會社
東京府土木課工事（指名入札）
府縣道第六七號田無溝口線豐多摩郡高井戶町荏原郡松澤村地内道路改修工事延長五四四間四分　一ケ所　二八、八五〇圓（落札）　齊藤文藏
海軍省經理局工事（指名入札）
水路部震災復舊の内物品檢査所又倉庫新營外十二廉工事　九三、四五〇圓（落札）　富島組東京出張所
關東廳工務所
大石橋内社宅新築　一六、八二五圓（落札）　井行平
東京市役所工事（指名入札）
神田區役所廳舍新築工事　二二七、〇〇〇圓（落札）　錢高組
仙臺橋橋梁工事　二六、九五〇圓（落札）　平島甚太郎
南滿鐵道部
埠頭構内三十一、三十二號倉庫移轉改築工事　二一三、六七〇圓（落札）　福井高梨組
滿鐵地方部
瓦房店丁種社宅新築工事　一九、四六〇圓（落札）　草場又一
遞信省經理局
電氣試驗所平磯出張所事務所及磯濱分室物置新築其他工事　一〇、七九〇圓（落札）　茨木土木株式會社
東京府土木課（指名入札十八日開札）
府縣道第六十七號田無溝口線豐多摩郡高井戶町荏原郡松澤村地内道路改修工事　二八、八五〇圓（落札）　齋藤文藏
横須賀水道局鶴見出張所（指名入札）
鶴見管内水道鐵管埋設工事
再入札
二二、八〇〇圓（超過）　工藤要次郎（左の如く隨契）一七、五九〇圓　工藤要次郎
東京市役所工事（入札）
新架橋五八A新築工事　四六、九五〇圓（落札）　神谷太一郎
廣尾市立病院及特別病室煖罐室其他機械設備工事　二六、八五〇圓（落札）　齋藤省三



淺草藏前片町軌條變更工事　三二、四〇〇圓（落札）　橋本組工業合資會社
近衛師團經理部
陸軍科學研究所材料實驗室其他工事の内瓦斯彈格納庫其他新築外一廉模樣替工事　二四、八五〇圓　橋本組工業合資會社
再入札
二四、三八〇圓（超過）　橋本組工業合資會社
復興局土木部（指名入札）
遞信省自動車庫移築工事　一六、九九〇圓（落札）　高梨幾太郎
東京市電氣局工事（指名入札）
新谷町自動車々庫新營外五廉工事（左の金額を以て隨意契約す）八八、〇〇〇圓　竹田組
海軍省經理局工事（指名入札）
平塚火藥庫銀ビン試驗場新營工事　一二、三〇〇圓（落札）　加藤組
文部省建築課岡山出張所（指名入札）
岡山醫科大學附屬醫院内科病室其他一廉工事　一一三、二五六圓（落札）　野崎秀雄
滿鐵地方部
海城給水塔改築工事　二二、七二〇圓（落札）　原半次郎
關東廳
關東廳々舍增築工事　二二、二五二圓（落札）　築島米藏
遼陽小學校增築工事　一二、九〇〇圓（落札）　笠原弘
遼陽醫院炊事場其他工事　八、六三圓（落札）
同人
鐵嶺乙種社宅新築工事　一二、九八〇圓（超過）　井野工務所
東京市土木局第三出張所工事（指名入札）
第四二地區内補助街路第二號線二部築造工事　一〇、九三〇圓（落札）　戸澤八五郎
長岡建設事務所（指名入札）
飛城線第三工區工事　三〇六、五〇〇圓（落札）　飛島組
滿鐵地方部
鐵嶺機關庫附近線路模樣替其他工事に伴ふ機關庫一部改築工事　一四、七二五圓（落札）　近藤壽三郎
東京建築事務所工事（指名入札二十一日開札）
大郡線第五工區土工其他工事　一八三、五〇〇圓（落札）　鐵道工業合資會社
新橋保線事務所（指名入札二十一日開札）
東京鐵道局教習所舊校舍及附屬家修繕模樣替工事　三五、四〇〇圓（超過）　東海工業合資會社
東京市土木局第二出張所
第十地區内日本橋自魚井町至浪花町補助街路第六十號線一部築造工事　一〇、八三〇圓（落札）　飛島組
大藏省營繕管財局（指名入札）
内閣印刷局紙部水路用目黑川附替工事
再入札
三四、八〇〇圓（落札）　東海工業合資會社
關東廳長春地方部
感化部井の頭學校々舍其他增改築工事　二五、

四平街內種社宅四戶建一棟新築工事　八、五〇〇圓（落札）　矢野組
四平街甲種一棟乙種二戶新築　一三、〇九五圓（落札）　今井行平
滿鐵地方部
瓦房店內種社宅十二戶新築工事　二四、七〇〇圓（落札）　草場又一
奉天ヤマトホテル暖房裝置　一五、五〇〇圓（隨契）　清水組
東京第一改良事務所（指名入札）
東北本線荒川橋梁增設其二五橋梁撤去工事　七四、九〇〇圓（落札）　間組
東京市養育工事（公入札）
感化院井の頭學校々舍其他改築工事　二三、八八〇圓（落札）　齊藤文藏
神奈川縣廳工事（指名入札）
山下町消防署新築工事　七六、〇〇〇圓（落札）
日本土木建築株式會社
遞信省營繕課工事（指名入札二十三日開札）
橫濱中央電話局新築其他工事　四三六、〇〇〇圓（落札）　安藤組
東京遞信局工事（指名入札七月二十五日開札）
靜岡見付間長距離電話ケーブル架設工事の內第一號目靜岡市至靜岡縣安倍郡長田村間電話地下線新設工事　二八、四〇〇圓（落札）　及川武之進
第二號目靜岡縣安倍川長田村至同縣志太郡廣幡村間電話地下管路新設工事　二五、〇〇〇圓（落札）　高見增藏
第三號目靜岡縣志太郡廣幡村至同縣青島町間電話地下管路新設工事　四七、八七六圓一〇（落札）　古久根組
水村三保村大字神繩神尾田地內間道路震災復舊工事
再入札
四二、九五〇圓（落札）　今泉小源次
東京市土木局第三出張所
第四〇地區內補助街路第三六號路線一部築造工事　二五三、〇〇〇圓（超過）　細川穗太郎
宮內省內匠寮工事（公入札）
橫濱水道局工事（指名入札）
平沼水管橋架設及鐵道地下暗渠並舊水管撤去工事　一八、五〇〇圓（落札）　原木組
福岡郡山門郡山川村役場工事（入札）
村立公民學校建築工事　二五、〇〇〇圓（落札）　大庭仙三郎
松尾道之助
宮城縣牡鹿郡渡ノ波町役場工事（入札）
渡ノ波防砂工事　一七、一〇〇圓（超過）　石井丑之助
從助
札幌土木事務所
空知郡晉江村高津山線新設工事　一九、三四〇圓（落札）　高橋龍太郎
東京市役所工事（入札）
玉姬職業紹介所新築工事　一四、七四八圓（落札）　大鄉組
府下南葛飾郡南綾瀨村役場（七月二十六日開札）
同村尋常高等小學校改築工事
再入札
一一八、五〇〇圓（超過）　石井丑之助
關東廳陸軍經理部
撫順陸軍兵舍新築其他工事　二五三、〇〇〇圓（超過）　細川穗太郎
宮內省內匠寮工事（公入札）　四二、六〇〇圓（超過）　荒川常吉
關東廳土木課
大連聖德小學校增築工事　二六、五二〇圓（落札）　大庭仙三郎
東京市役所工事（入札）
築地川東支川筋京橋築地護岸改築工事　九、三四〇圓（落札）　神谷太一郎
大正記念館建設工事　二三、〇〇〇圓（超過）
江波戶善之助
東京府土木課工事（指名入札七月二十九日開札）
第一號東京原木線豐多摩郡澁谷町地內道路工事　五五五五間巾一二間　六、四九五〇圓（落札）
初山別村尋常高等小學校改築工事　一九、三四〇圓（落札）　高橋龍太郎
東京市役所工事（入札）
玉姬職業紹介所新築工事　一四、七四八圓（落札）　大鄉組
府下南葛飾郡南綾瀨村役場（七月二十六日開札）
同村尋常高等小學校改築工事
再入札
一一八、五〇〇圓（超過）　石井丑之助
關東廳陸軍經理部
撫順陸軍兵舍新築其他工事　二五三、〇〇〇圓（超過）　細川穗太郎
宮內省內匠寮工事（公入札）　四二、六〇〇圓（超過）　荒川常吉
關東廳土木課
大連聖德小學校增築工事　二六、五二〇圓（落札）　大庭仙三郎
東京市役所工事（入札）
築地川東支川筋京橋築地護岸改築工事　九、三四〇圓（落札）　神谷太一郎
大正記念館建設工事　二三、〇〇〇圓（超過）
江波戶善之助
東京府土木課工事（指名入札七月二十九日開札）
第一號東京原木線豐多摩郡澁谷町地內道路工事　五五五五間巾一二間　六、四九五〇圓（落札）





日本石油株式會社
南多摩郡淺川村大字上柄田橫山村大字下長房入會武藏御渡遣擴築道路工事（七月二十七日開札）
一八、三五〇圓（落札）　青木孝太郎
府下南葛飾郡寺島町役場（指名入札）
寺島第三小學校敷地土盛其他工事　一六、九五六圓三〇錢（落札）　下川和三郎
東京府都市計畫課工事（指名入札）
一等大路第三類第十號線豐多摩郡千駄ヶ谷大字千駄ヶ谷下道道路改修工事　一一、六〇〇圓（落札）　大林組
第一師團經理部工事（指名入札）
富士飛行場新設工事
再入札
四二、七〇〇圓（超過）　小形朝之助
北海道長萬部種馬所
第一覆馬場外五棟修繕工事　一一、七九〇圓（落札）　青木岩次良
神奈川縣高座郡大野村役場工場（入札）
大野尋常高等小學校並南北分校增築工事　一二、〇〇〇圓（落札）　田中積次
橫濱市土木局工事（指名入札二十九日）
新田間川派川下流護岸工事　一〇八、七〇〇圓（落札）　鴻池組
東京府土木課（指名入札）
一等大路第三類第十號線の一部道路改修工事



一一、六〇〇圓（落札）　大林組
上野保線事務所（指名工事）
鴻巢熊ヶ谷間補線工事　三七、五〇〇圓（落札）　大倉土木株式會社
石井鶴次郎
財團法人日本放送協會工事（指名）
北海道支部演奏所新築工事　一場所　中島公園
招魂館裏手　六七、四〇〇圓（落札）　木田保造
神奈川縣廳工事（公入札）
師範學校特別教室其他新築工事
再入札
一八九、四六〇圓（超過）　長正志
滿鐵
運河藤家電間立體交叉土工其他工事　四〇、七七三圓（隨契）　吉川康
橫濱市土木局工事（指名入札）
中央卸市場護岸工事　八六、〇〇〇圓（落札）　和田三造
飛鳥組
二本橋架換工事　五五、三五〇圓（落札）　宮長平作
紅葉橋鋼鈑工事　一四四、五八〇圓（落札）　藤森喜十郎
邊亮平
橫濱市瓦斯局工事（指名入札）
瓦斯發生爐室增築工事　一〇、六七〇圓（落札）　市川金太郎
滿鐵長春事務所
四平街消防社宅其他新築工事　一三、四七〇圓（落札）　矢野組
赤羽變電變電所新築其他第四回工事　三四、五〇〇圓（落札）　大倉土木株式會社
石川縣鹽至郡兜村役場
兜小學校新築校舍工事
再入札
四五、三七〇圓（落札）　米田豐次郎
東京府土木課工事（指名入札八月三日開札）
第六〇號往原郡目黑町大字自中目黑一八七八至下目黑一四三五番地道路工事　三四、九五〇圓（落札）　大丸組
岩手縣黑澤尻町役場工事（競爭入札七月三十日開札）
和賀郡黑澤尻實科高等女學校本校舍新築工事　二五、八〇〇圓（落札）　和田三造
福島縣石城郡夏井村役場工事（入札）
夏井小學校增築工事　一一、四二六圓（落札）
常盤工業株式會社
山梨縣土工事（指名）
長澤長坂間熱玉線改修工事　一二、八〇〇圓（落札）　藤森喜十郎
滿鐵地方部
大連中央溫室增改築工事　一〇、六七〇圓（落札）　市川金太郎
滿鐵長春事務所
四平街消防社宅其他新築工事　一三、四七〇圓（落札）　矢野組

大連市役所
屠獸場增築工事　一八、七六〇圓（落札）　間瀬增吉
關東郡經理部（指名入札）
撫順陸軍守備隊兵舍新築其他工事
再入札　一〇八、三〇〇圓
二四九、八五〇圓（落札）　細川穗太郎
東京市役所（指名入札四月開札）
堺橋改築工事　四二、四五〇圓（落札）　宮永平作
木場喞筒汚水喞筒工事　二四、四八六圓（最低）
藤田鑛業株式會社　右は最低制限未滿無効
二九、六六〇圓（落札）　日立製作所
大横川筋本所區西横川河岸護岸改築並石垣修築工事　一二、三四五（落札）　泉名永藏
岡山建設事務所（指名入札）
三吳線三原口第二工區土工工事　一七三、八〇〇圓（落札）　松浦伊平
東京府土木課（指名入札八月九日開札）
第百二十七號千住三河島線北豐島郡南千住町大字千住南道路改修工事　一四、九七〇圓（落札）　齋藤喜惣次
朝鮮平安南道廳工事（指名入札）
高等女學校增築工事　八四、八〇〇圓（超過）
矢野武一
第二八地區內補助街路第八號路線築造工事　一

三、四五〇圓（落札）　米澤助五郎
文部省（指名入札）
東京高等師範學校附屬便所ボール除金網取設外三廉工事　一八、四五〇圓（落札）　吉田熊次郎
陸軍造兵廠名古屋工廠工事（公入札）
熱田構內電力架空線及地下線增設工事　一二、四六〇圓（落札）　澁谷英
同潤會工事（指名入札八月八日開札）
三の輪アパートメント新築工事　一〇圓（落札）　神谷太一郎
司法省營繕掛仙臺地方裁判所分工事（指名入札）
仙臺地方裁判所陪審院法廷及陪審員宿舍新營工事　一二四、九八〇圓（落札）　佐藤勘助
東京府營繕課工事（指名入札八月六日開札）
東京府立青山師範學校本館階上下壁外十三廉修繕工事
再入札　一六、三〇〇圓（超過）　植松孝晴
近衞師團經理部
富津試驗射場軌道布設及車庫新築工事　四一、六〇〇圓（落札）　米澤助五郎
關東廳土木課
大連第二中學校官舍新築　四五、九八〇圓（落札）　高倉助太郎
新潟縣工事（入札）
安原川用排水工事　四三、八〇〇圓（落札）　伊藤三郎
大阪市役所工事（指名入札）
浪速高等學校々舍建築工事　五三〇、〇〇〇圓（落札）　大林組
東京市電氣局（指名入札十三日開札）
京橋交叉日本橋南詰間軌道位置變更工事　六六、五八〇圓（落札）　中野喜三郎
郡山市役所（指名入札）
郡山市役所廳舍新築基礎杭打及敷地埋立工事　一八、五〇〇圓（落札）　增子勘助
復興局第一出張所工事（指名入札）
白銀橋新設工事（高欄を除く）　六三、〇〇〇圓（落札）　橋本組工業合資會社
復興局土木部（指名入札）
福島橋新設工事　五二、七五〇圓（落札）　近藤土木合資會社
東京建設事務所（指名入札）
大郡線第二工區土工工事
再入札　一八八、〇〇〇圓（落札）　本田治三郎
大阪市西區役所
觀小學校々舍增改工事　一鐵筋コンクリート造二階建（一部平家）延坪千百四十五坪　二四五、九〇〇圓（落札）　中島組
東江小學校々舍並ニ講堂增築工事　一校舍　鐵筋コンクリート造三階建　一講堂　同二階建



此延坪六百九十七坪　二七〇、五〇〇圓（落札）
新組
第一師團經理部工事（指名入札）
歩兵第三聯隊兵舍改築に伴ふ排水設備工事　五〇、〇〇〇圓（落札）　松村組
歩兵第三聯隊兵舍改築に伴ふ給水衛生工事
再入札　九一、五〇〇圓（超過）　松村組
歩兵第三聯隊兵舍改築に伴ふ暖房設備工事　七二、九八七圓（落札）　合資會社建材社
歩兵第三聯隊兵舍改築に伴ふ蒸氣汽罐据付工事　七五、八四〇圓（落札）　月島機械製作所
東京市役所工事（指名入札八月十一日開札）
靈岸島排水區靈岸島町及越前堀町附近下水枝線工事　六二、九八〇圓（落札）　飛鳥組
愛宕排水區南佐久間町及田村町附近下水枝線工事　五一、六〇〇圓（落札）　戸澤八五郎
東京市土木局第三出張所工事（指名入札八月九日開札）
第一八地區內補助街路第八號路線一部築造工事　一三、四五〇圓（落札）　米澤助五郎
東京府工事（指名入札）
府縣道第二四號府中中野線北多摩郡三鷹村下連雀新川入會　一二、二〇〇圓（落札）　齋藤文藏
東京市役所工事（指名入札八月十三日開札）
三之橋區小泉町横網町及松井町附近一部枝線工事　一九、九三〇圓（落札）　野口組
遞信省工事（指名入札八月十三日開札）
銚子無線電信局受信所新築工事　一六、八六〇圓（超過）　平野武雄　一三、一五〇圓（隨契）
平野武雄
東京府北豐島郡下高井戸間送水鐵管敷設工事　一八、九〇〇圓（超過）　高橋兵助
八九、二八〇圓（超過）　高橋兵助
東京府荒玉水道町村組合役場工事（指名入札）
諸官衞假廳舍整理の內遞信省汽罐室移築其他工事　二五、九〇〇圓（落札）　木曾周太郎
遞信省工事（入札）
八幡市役所工事（指名入札）
八幡市役所廳舍增築工事　五四、八〇〇圓（落札）　井上次助
大藏省營繕管財局工事（指名入札）
山形縣鶴岡市鶴岡稅務署廳舍新營其他工事
再入札　三一、二〇〇圓（落札）　丸藤甚五郎
新潟縣高田稅務署廳舍其他新營工事　四三、九〇〇圓（落札）　大阪出水組
東京市土木局第二出張所工事（指名入札）
文部省管東京商科大學支障建物及工作物移轉其他工事再入札
一九、九八五圓（落札）　石井壯之助
東京遞信局工事（指名入札八月廿日開札）
第一號　靜岡縣自安倍郡長田村至志太郡六合村間貨荷線輪用櫓並庫新設工事　一四、〇〇〇圓（落札）　高見增藏
第二號　靜岡縣自榛原郡金谷町至磐田郡田原村間貨荷線輪用櫓新設工事　一二、三〇〇圓（落札）　勝呂組出張所
横濱市土木局工事（指名入札）
八千代橋架換工事　三六、四〇〇圓（落札）　宮永平作
深川區役所工事（指名入札）
深川區市立八名川小學校建築工事　三七三、〇〇〇圓（落札）　青木孝太郎
東京建設事務所工事（指名入札十五日開札）

木原線第一工區土工々事　五八、四〇〇圓（落札）
有田芳太郎
近衛師團經理部工事（指名入札）　小田末吉
兵器貯藏設備移轉工事の內兵器庫新築其他工事
一、二二、〇〇〇圓（落札）　藤田組
東京府土木課工事（指名入札）
戸塚吉祥寺線豐多摩郡井荻町大字上井草道路工
事長三百二十四間七分有効幅員五間　二一、九
五〇圓（落札）　齋藤由五郎
復興局第四出張所工事（指名入札）
幹線第三號街路一部（深川區西平井町地內）新
設工事　五三、八二四圓九五（落札）　小山代吉
東京市役所工事（公入札八月廿三日開札）
芝區白金三光町地先暗渠改築工事　一四、四四
〇圓（超過）　吉川平藏
東京府土木課（指名入札十日開札）
府縣道第二十四號府中中野線北多摩郡三鷹村下
連雀新川入會道路改修工事　一二、二〇〇圓（落
札）　齋藤文藏
新橋保線事務所工事（指名）
汐留驛側線增設其他工事　三九、三〇〇圓（落
札）　錢高組
同愛會工事（指名入札十日於橫濱市役所）
同愛會橫濱記念病院新築其他工事　二五七、〇
〇〇圓（落札）　清水組
淺草區役所（指名入札）

淺草小學校假校舍移轉工事
再入札　二三、二〇〇圓（超過）　小田末吉
仙山本線第二工區土工工事　二四二、九〇〇圓
（落札）　伊藤甚作
日本放送協會東北支部（指名入札）
東北支部スタヂオ新築工事　七〇、〇〇〇圓（落
札）　工藤延治郎
東京第一改良工務所（指名入札）
王子驛擴張第一四其十九王子跨線々路鐵桁架設
其他工事　二四、九〇〇圓（落札）　小山代吉
北海道廳工事（公入札）
廳立網走中學校舍其他新築工事　一三四、三〇
〇圓
名古屋地方裁判所工事（指名入札）
名古屋地方裁判所陪審法廷並陪審員宿舍新築工
事　一三四、〇〇〇圓（落札）　山本直寬
福島市役所（指名入札）
第五尋常小學校增築工事　建坪百五坪　便所
昇降口雨天体操場　二〇、四八〇圓（落札）　渡
邊平七
滿鐵工務事務所
萬家嶺水源用井戶試堀　六四〇圓（隨契）　原半
次郎
滿蒙物資參考館及地質調查所改築工事　一三、

四〇〇圓（落札）　今井行平
滿鐵々道部
安東驛中ホーム擴張及之に伴ふ線路模樣替內中
ホーム移轉改築工事　三一、九四〇圓（落札）
高岡又一郎
關東廳埠頭工務所
埠頭第二ホーム營業所改築工事　二二、九六〇
圓（落札）　矢野組
關東廳土木課
大連嶺前屯小學校增築其他工事　三三、四七〇
圓（落札）　廣垣治助
滿鐵地方事務所
鞍山中國人戎種社宅改築工事　一二、七四〇圓
（落札）　山崎武英
上田市役所工事（公入札）
上田市營運動場中野球場工事　一六、九八〇圓
（落札）　野口組
栃木縣鳥山町島山町役場
鳥山町傳染病隔離舍新築工事　一二、八〇〇圓
（落札）　東原盛
圖書庫新營工事　一一、九〇〇圓（落札）　江村
好吉
橫濱市役所工事（指名入札）
大鳥小學校本館及附屬家新築工事　二四六、五
〇〇圓（落札）　鴻池組
橫濱市土木局工事（指名入札）



第十二地區大部下水工事　五四、八四〇圓（落札）
小原宗明
第十三地區內側溝工事　二七、三一五〇圓（落札）
松尾百太郎
東京市役所圓般（競爭入札廿五日開札）
水道局本鄉區元町出張所廳舍其他新築工事
再入札
一七、三五〇圓（落札）　北野明吉
司法省營繕掛（札幌地方裁判所扱）指名入札
札幌地方裁判所陪審員宿舍新營工事　五〇、七
〇〇圓（落札）　金垣幸助
文部省（指名入札）
東京盲學校教室及工務室外三廉新營工事　二九
、五〇〇圓（落札）　勝又春一
神奈川縣廳工事（指名入札）
鎌倉師範學校特別教室其他改築工事　一七八、
四〇〇圓（隨契）　長正志
東京市役所（指名見積）
芝區白金三光町暗渠改造工事　一二、六八七圓
（超過）　野村兼吉
內務省神社局工事（指名入札）
鎌倉鶴岡八幡宮神橋脇橋復舊工事　一二、八五
〇圓（落札）　長正志
復興局第一出張所（指名入札）
京橋區高橋（自八丁堀至本湊町間に架す）擴築工
事　二六、九五〇圓（落札）　中島鹿一

東京市電氣局（指名入札廿九日開札）
日本橋區上槇町西河岸橋間街路兩側電燈工事
二四四圓三四（落札）　三村常治
濱松町自動車庫出張所新築外三廉工事　二九、
九四八圓（落札）　大倉土木株式會社
關東廳土木課
金州農事試驗場昆虫研究室其他新築工事
、九〇〇圓（落札）　新谷竹二郎
淺草區役所（指名入札）
小島小學校建築工事　二八二、三〇〇圓（落札）
藤本清次郎
大藏省營繕管財局
東京區裁判所二長町出張所並商事調停事務取扱
所廳舍新築其他工事　七九、三〇〇圓（超過）
鈴木太平
滿鐵工務部
大石橋社員俱樂部增築改築工事　一五、〇一二
圓（隨契）　伊賀原岩吉
大連ヤマトホテル溫水管其他改築工事　一五、
二五〇圓（落札）　竹山吉次
關東廳土木課大連出張所
大連民政署增築工事　三二、九五〇圓（落札）
市川金太郎
警視廳營繕係
南千住警察署建築工事　六七、七〇〇圓（隨契）
日本土木建築會社

朝鮮忠淸南道大田面役場
太田小學校改築工事　二四、七〇〇圓（落札）
明田源之助
文部省司計掛（指名入札）
橫濱高等商業學校寄宿舍其他新營工事　七四、
五〇〇圓（落札）　井上合資會社
朝鮮忠淸南道廳
忠淸南道廳舍增築工事（木造二階建總建坪百四
十坪）　一二、七九〇圓（落札）　河野淸之助
三重縣南牟婁郡木本村木本村役場
四木本尋常高等小學校增築工事　一七、六〇〇
圓（落札）　橋爪粂十郎
宮內省內匠寮工事（指名入札八月三十日開札）
宮城正門復舊工事　三九、五〇〇圓（落札）　曾
根英太郎
宮內省內匠寮
多摩御陵御休所其他新築工事　六二、〇〇〇圓
（落札）　大林組
警視廳營繕係工事（指名入札八月廿九日開札）
千住警察署建築工事
再入札
七二、二〇〇圓（超過）　井上保三郎
福岡縣鑛山監督局
石炭坑爆發豫防調查所移轉改築工事　二一、八
五〇圓（落札）　末永卯七郎
東京市役所工事（公入札）

神田川筋本郷區湯島護岸改築工事　一〇、六七〇圓（落札）　野村健吉
復興局第四出張所工事（指名入札）
幹線第二八號街路二部新設工事
再入札
一三、五八〇圓（超過）　鈴木辰五郎
横濱市土木局請負（指名入札）
河川浚渫土運搬請負　三二、七五〇圓（落札）
熊坂組
下谷區役所（指名入札）
練塀小學校建築工事　二七三、四〇〇圓（落札）
藤本清次郎
横濱市土木局工事（指名入札）
本町外四個所下水工事　六二、〇〇〇圓（落札）
日本石油株式會社
文部省建築課京都出張所工事（指名入札）
京都高等蠶業學校乾繭實驗室並汽罐室新營工事
一五、六〇〇圓（落札）　森下新造
文部省建築課新潟出張所
新潟醫科大學附屬醫院產科婦人科病室其他工事
三二、八五〇圓（落札）　竹田市太郎
東京府營繕課工事（指名入札）
東京府立化學工業學校表門外五廉新設工事　六〇、八八〇圓（落札）　芝江初五郎
復興局第二出張所工事（特命入札）
淀橋新設附帶護岸工事　一九、八九三圓　大倉土木株式會社
東京市電氣局工事（指名入札）
尾張町交叉點京橋分岐線入替工事　三七、七三〇圓（落札）　大塚盛一
東京府營繕課
府立豐島師範學校附屬小學校暖房裝置外二廉工事　三二、五〇〇圓（落札）　大阪電氣商會
中村町地內內務部路面工事　二一、九三〇圓（落札）　渡邊久吉
横濱市土木局工事（指名入札）
第九十地區內內務部路面側溝工事　一一四、七〇〇圓（落札）　小林福太郎
新橋保線事務所（指名入札）
品川大井町間四哩三十鎖附近路盤改修工事　一五、九八〇圓　阪神工業株式會社
横濱市土木局工事（指名入札）
寶橋架換工事　二五、三八〇圓　村田良之助
復興局第四出張所（指名入札）
幹線第五三號街路自幹線十號至濱園橋開路面工事　一七、三五〇圓（落札）　古久根組
横濱市役所工事（指名入札）
公設浴場其他新築工事　一六、〇〇〇圓（落札）　古島宮次郎
大藏省營繕管財局（指名入札）
警視廳々舍基礎其他工事　九七、八〇〇圓（落札）　安藤組
本所原庭警察署建築工事（指名入札九月十二日開札）　一〇七、〇〇〇圓（落札）　日本土木建築株式會社
大藏省營繕管財局（指名入札）
松本稅務署廳舍其他新營工事
再入札
五三、八〇〇圓（落札）　村田良之助
宮城縣土木課（指名入札）
仙臺警察署新築其他附屬工事　八八、四五〇圓（隨契）　幸田喜藏
復興局第二出張所工事（指名入札九月十二日開札）
東堀留川改修一部自親父橋堀留間岸壁共同物揚場工事　一〇三、五〇〇圓（落札）　宮長平作
東京市土木局第三出張所工事（指名入札九月十二日開札）
第二九地區補助街路第九一號路線一部築造工事　一四、九三〇圓（落札）　渡邊豐重
復興局第四出張所工事（指名入札九月十二日開札）
幹線二十二號街路一部橫網町地內新設工事　一二、六〇〇圓（落札）　泉名永藏
東京府營繕課工事（指名入札九月十二日開札）
東京府立實科工業學校工場附屬家外三廉工事　一九、九〇〇圓（落札）　古島宮次郎
大藏省營繕管財局（指名入札）
警視廳々舍基礎其他工事　九七、八〇〇圓（落札）　安藤組



横濱市役所工事（指名入札）
蒲田町市設小賣市場新築工事　二一、六五〇圓（落札）　成山瀧藏
芝區役所工事（指名入札）
愛宕尋常小學校煖房設備工事
再入札
一三、三三〇圓（落札）　大倉商事株式會社
岐阜建設事務所（指名入札）
高山線第八工區土工工事　九九八、〇〇〇圓（落札）　日本工業合資會社
財團法人同潤會工事（指名入札）
赤羽住宅一部模樣替工事　一六、七三四圓（落札）　飯島泰德
陸軍省工事（入札）
澁谷憲兵隊下士詰所新築其他工事　一四、八〇〇圓（落札）　中島八三郎
愛知縣廳工事（指名入札）
豐橋第二中學校第二期工事（鐵筋混凝土造三百七十四坪）　四七、八〇〇圓（落札）　河合兵十
復興局建築部公園課工事（指名入札九月六日開札）
相生橋中の島石垣階段步道手摺築造工事　一二、六〇〇圓（落札）　水野甚次郎
東京遞信局工事（指名入札九月十三日開札）
第二號靜岡縣志太郡島田町榛原郡金谷町間電話地下線新設工事　三八、〇〇〇圓（落札）　古久根組
第二號靜岡縣小笠郡日坊村同郡西山口村間電話地下線新設工事　三八、四〇〇圓（超過）　森下平太郎
再入札
三七、八八〇圓（落札）　本多治三郎
大藏省營繕管財局工事（指名入札九月十三日開札）
農林省假廳舍改築其他工事　一（落札）　大林組
本所郵便局廳舍新築工事
再入札
二一一、〇〇〇圓（超過）　藤田組
近衛師團經理部工事（指名入札）
近衛步兵第二聯隊大隊本部震害復舊工事　近衛步兵第一聯隊第六號兵舍其他震害復舊工事　一七三、八〇〇圓（落札）　林德松
東京市役所工事（指名入札）
枕橋改築工事　九五、八〇〇圓（落札）　水野甚次郎
大阪府
市岡警察署廳舍新築工事　一〇九、五〇〇圓（落札）　大林組
大阪市役所
東野田四丁目道路舖裝工事　二三、六〇〇圓（落札）　辻紋治郎
下關市役所工事（入札）
向山小學校新築工事　一七七、五〇〇圓（落札）　吉村和三郎
復興局第三出張所工事（指名入札九月十五日開札）
幹線十二號街路擴築後（自湯島五丁目至本鄉三丁目工事）　一四、〇三〇圓（落札）　勝村幾之介
東京市土木局第二出張所工事（指名入札九月十四日開札）
第十地區日本橋補助街路第九號線一部築造工事　一四、五八〇圓（落札）　飛島組
復興局第四出張所（指名入札十二日開札）
幹線第二十八號街路二部自清住町至幹線十號新設工事　一二、〇〇〇圓（落札）　坂本和吉
東京府荏原郡目黑町役場工事（指名入札九月十五日開札）
目黑町立鳥森小學校建築工事　四八、〇〇〇圓（落札）　勝村幾之介
東京市役所工事指名見積
芝區白金三光町喑渠改造工事　一二、八〇〇圓（超過）　野村健吉
司法省營繕掛工事（指名入札）
札幌地方裁判所陪審員宿舍新營工事　五七、〇〇〇圓（落札）　金垣幸助
東京府土木課（指名入札）

第二十二號芝溝線荏原郡目黒町上目黒道路改修工事　延長百五十一間五分有効巾員六間　三一、五〇〇圓（落札）　竹下幾太郎

海軍省經理局工事（指名入札九月十七日開札）

技術研究所敷地造成工事外一廉　四七、五九〇圓（落札）　大丸組

陸軍造兵廠會計部工事（指名入札九月十七日開札）　一四、八〇〇圓（落札）　阿合組

岩鼻火藥製造所硝石倉庫新築外三件工事　再入札　六四、六〇〇圓（落札）　德田鹿藏

横濱市役所工事（指名入札）　四〇、六〇〇圓（落札）　磯子區役所新築工事

小川吉五郎

復興局土木部工事（指名入札九月十九日開札）

淺草橋新設工事　九一、九五〇圓（落札）　間組

復興局第一出張所工事（指名入札九月十九日開札）

幹線第一六號路線街路工事　一一、八〇〇圓（落札）　宮長平作

復興局第四出張所工事（指名入札九月十九日開札）

石島橋新設其他工事　三一、四四〇圓（超過）

齋藤助六

東京府土木課工事（指名入札九月十九日開札）

豊多摩郡高井戸町地内西荻窪停車場中高井戸線路改修工事　一七、〇八〇圓（落札）　鹽坂組

茨城縣那珂郡額田村役場　額田小學校增築工事　一五、〇〇〇圓（落札）　丸山慶治

額田大工組合

東京鐵道局工務課（指名入札）

横濱生糸檢査所請願側線新設工事　一四五、〇〇〇圓（落札）　原木組

横濱市水道局工事（指名入札）

根岸町地内內號路面及側溝工事　一二、二〇〇圓（落札）　荒井泰々吉

神奈川縣廳工事（公入札）

國道第三十一號線久良岐郡金澤町字富岡谷津地内第二工區の一部道路改修並橋梁新營工事　四三、三〇〇圓（落札）　加藤猶吉

東京市役所（指名工事入札十三日開札）

杭橋改築工事　九五、八〇〇圓（落札）　水野甚次郎

東京府營繕課工事（指名入札）

東京府立第六中學校々庭修繕工事　一六一、一二〇圓（落札）　野村專太郎

宮城縣土木課（指名入札）

丸森橋鐵製橋體製作及組立工事　一三、四八〇圓（不調）　横川橋梁製作所

神奈川縣廳工事（指名入札）

農林學校本館其他建築工事　四三、九七五圓（落札）　鴻ノ池組

盛岡保線工務所（指名入札）

盛岡工事塗工場新設其他工事　一六一、一二〇圓（隨契）　丸山慶治

額田大工組合

東京鐵道局工務課（指名入札）

横濱生糸檢査所請願側線新設工事　一四五、〇〇〇圓（落札）　原木組

横濱市水道局工事（指名入札）

根岸町地内內號路面及側溝工事　一二、二〇〇圓（落札）　荒井泰々吉

神奈川縣廳工事（公入札）

國道第三十一號線久良岐郡金澤町字富岡谷津地内第二工區の一部道路改修並橋梁新營工事　四三、三〇〇圓（落札）　加藤猶吉

東京市役所（指名工事入札十三日開札）

杭橋改築工事　九五、八〇〇圓（落札）　水野甚次郎

東京府營繕課工事（指名入札）

東京府立第六中學校々庭修繕工事　一六一、一二〇圓（落札）　野村專太郎

宮城縣土木課（指名入札）

丸森橋鐵製橋體製作及組立工事　一三、四八〇圓（不調）　横川橋梁製作所

神奈川縣廳工事（指名入札）

農林學校本館其他建築工事　四三、九七五圓（落札）　鴻ノ池組

盛岡保線工務所（指名入札）

盛岡工事塗工場新設其他工事　一六一、一二〇圓（隨契）　丸山慶治

額田大工組合

大連民政署內赤十字社大連支部（指名入札）

日本赤十字社大連委員支部社宅新築工事　一六、三五八圓（落札）　池內新八郎

東京府土木課工事（指名入札九月廿日開札）

一等大路第三類第十八號淀橋角筈自一丁目至三丁目道路改修工事　六八、〇〇〇圓（落札）　野村專太郎

第二〇號芝溝口線荏原郡大崎町上大崎道路改修工事　二八、九五〇圓（落札）　增田磯吉

文部省建築課盛岡出張所

盛岡高等農林學校育種實驗室外一廉工事　一六、六六〇圓（隨契）　吉田他人

滿鐵鐵道部

奉天ヤマトホテル新築に伴ふ强電及弱電工事　七二、一五八圓（隨契）　清水組

東京府營繕課工事（指名入札）

大連驛構內側第一種聯動裝置新設（勞供）工事　五、八五八圓（特命）　福興商會

南關嶺驛構內線路有効延長其他（勞供）　四、八一三圓（特命）　福興商會

芝區役所工事（指名入札九月十八日開札）

芝愛宕高等小學校建築工事　二六八、八〇〇圓（落札）　鴻ノ池組

滿鐵撫順地方事務所

撫順醫院傳染病棟新築工事　三四、九七二圓（落札）　三田芳之助

文部省建築課新潟出張所（指名入札）

新潟醫科大學附屬醫院傳染病室外五廉新營工事　八二、一七八圓（隨契）　大石彦太郎

滿鐵地方

永安臺丁種社宅新築工事　五四、二〇〇圓（落札）　矢野組

仙臺保線事務所（指名入札）

一關平泉間驛新設工事　三八、八八〇圓（落札）　小野寺彌左衛門

新橋保線事務所（指名入札十七日開札）

池袋大塚間路盤改修工事　一三、四八〇圓（落札）　坂本組

朝鮮總督府鐵道局（大田工務所指名入札）

湖南線萬頃江鐵橋架設工事　二六七、〇〇〇圓（落札）　大倉土木

東京市役所（指名入札二十日開札）

自芝區巴町至芝公園改良下水道幹線工事　一六四、〇〇〇圓（落札）　清水組

業平橋排水區向島一部枝線工事　二三、九七〇圓（落札）　藤田平藏

街路第四八〇號路線麻布六本木——一ノ橋鋪道工事　三五、八〇〇圓（落札）　日本石油會社

補助街路六九號路線街路修築工事　四七、二〇〇圓（落札）　神谷太一郎

神奈川縣廳工事（指名入札二十一日）

川崎中學校本館其他建築工事　一一四、〇〇〇圓（落札）　花咲組

復興局土木部（指名入札）

大和橋改築其他工事　五四、九〇〇圓（落札）　岩崎組

東京市電氣局（指名入札廿一日開札）

京橋變電所新築外三廉工事　四八、三〇〇圓（落札）　鐵高組

新架橋九〇橋新築工事　二三、九五〇圓（落札）　遠藤隆一

街路四七、四六號自牛込區市ヶ谷見附至牛込見附鋪道工事　八七、九五〇圓（落札）　大倉土木株式會社

第一廳舍處理工場新築工事　一一七、七〇〇圓（超過）　淺野同族株式會社

札幌鐵道局工事（指名入札）

札沼線第一工區工事　一七九、〇〇〇圓（落札）　今井久吉

弘前市役所工事（公入札）

弘前病院室增築外八廉工事　三六、五〇〇圓（落札）　相馬一郎

東京府土木課工事（指名入札九月廿二日開札）

第六〇號鈴木新田川崎線荏原郡矢口町獵師町道路改修工事　三〇、五三〇圓（落札）　三尾金助

第七號吾嬬行德線葛飾郡瑞江村行德村入會に架す今井橋木橋工事

再入札
二八、一六〇圓(落札)　須賀平三郎
陸軍造兵廠會計部工事(指名入札九月廿三日開札)
王子火藥製造所木工場溶室新築外三件工事
再入札
二三、〇〇〇圓(超過)　栗田繁次郎
火工廠十條兵器製造所第廿三號家屋延工場修繕外二件工事　一〇九、七〇〇圓　田島重吉
再入札
九七、三〇〇圓(超過)　田島重吉
東京市役所工事(入札)
新架橋區六二B外二橋新築工事　一七、八八〇圓(落札)　金巻組
岡山建設工務所工事(指名入札)
三吳線第三工區土工工事　七〇八、八〇〇圓(落札)　松本組
瀨見長澤間四十七哩五十七鎖附近雪覆災害復舊工事　二八、〇〇〇圓(落札)　山岸又七
新橋保線事務所(指名入札)
東海道本線東海寺裏橋梁擴張其他工事　一七三〇〇〇圓(超過)　田島三好
再入札
一六九、〇〇〇圓(田島三好)
川崎市役所工事(公入札)
淺田分教場其他埋立工事　二四、二八〇圓(落札)　高須榮次郎
神奈川縣廳工事(公入札廿八日)
府縣道片瀨鎌倉郡腰越津村地內道路擴張工事
二四、八〇〇圓(落札)　加藤榮助
海軍省經理局工事(指名入札九月廿八日開札)
加熱火藥庫新營外二廠工事　一〇、八〇〇圓(超過)　竹田組
再入札
一〇、四八〇圓(落札)　竹田組
復興局土木部工事(指名入札三日開札)
鎌倉橋新設工事　一〇七、九七〇圓(落札)　田島三好
近衛師團經理部工事(指名入札十月一日開札)
近衛步兵第一、二、三、四聯隊營內射場新設其他工事　二六七、〇〇〇圓(落札)　清水組
東京府土木課工事(指名入札三日開札)
府道第四五號中野板橋線豐多摩郡中野町地內道路改修工事長五九三間八分巾員五間　二六、三〇〇圓(落札)　平沼鎌次郎
覆興局第四出張所(再入札)
石島橋新設工事　二九、〇〇〇圓(落札)　助六
橫濱市土木局工事(指名入札)
海岸通外十六箇所下水工事　七五、四〇〇圓(落札)　日本石油株式會社
東京鐵道局工務課(指名入札)
蒲田電車擴張工事　三〇九、〇〇〇圓(落札)　山口忠五郎
東京府下澁谷町役場工事(指名入札)
猿樂尋常高等小學校增築工事　四二、〇〇〇圓(隨契)　佐藤平治
東京市役所工事(指名入札四日開札)
京橋區役所廳舍並京橋圖書館新築工事　四八六、八〇〇圓(落札)　錢高組
大塚職業紹介所新築工事　一一、一六〇圓(抽籤落札)　上遠喜三郎
本所區役所(指名入札)
東京市立柳島尋常小學校新築工事　四二七、〇〇〇圓(落札)　大林組
復興局土木部(指名入札)
茅場橋新設工事　八七、九〇〇圓(落札)　富長平作
鐵道省第一改良事務所(指名入札)
秋葉原驛擴張其三十土層貨物積卸場新設其他工事同其三十一假貨物積卸場新設其他工事　一六九、八〇〇圓(落札)　錢高組
岐阜建設事務所(指名入札)
紀勢線土工其他工事　八四九、八〇〇圓(落札)　西本健次郎
近衛師團經理部工事(指名入札三日開札)
陸軍航空本部技術部新築工事　五五〇、〇〇〇圓(落札)　高梨定吉
橫濱市港灣部工事(指名入札)





港灣部廳舍新築其他工事　四一、七〇〇圓(落札)　淺井隆德
海軍燃料廠採炭部工事(入札)
第六坑選炭機改修及同工場增築工事　一八、九八〇圓(落札)　田原健三郎
近衛師團經理部(指名工事四日開札)
葉山守衛隊詰所其他新築工事　二六、七五〇圓(落札)　山田松之助
東京市役所指名工事(六日開札)
富島橋改築並富島橋下水伏設工事　一一四、七〇〇圓(超過)　水野甚次郎
下谷區池の端自七軒町至茅町下水暗渠補設工事(一般競爭工事)　二七、〇〇〇圓(落札)　平野松藏
關東廳地方部
中央公園野球場擴張工事　一七、九〇〇圓(落札)
近衛師團經理部(指名入札)
氣球隊繫留床新設工事　二三、二〇〇圓(落札)　米澤助五郎
文部省建築課金澤出張所工事(指名入札四日開札)
金澤醫科大學附屬藥學專門部教室及實驗室外五廉改築工事　七五、六〇〇圓(落札)　高岡仁作
文部省建築課大阪出張所工事(指名入札)
大阪高等工業學校釀造科採鑛冶金科本館震災復舊其他工事　一六〇、五〇〇圓(超過)　大阪橋本組
木株式會社
同鑄物其他工場震災復舊修繕工事　一一、一〇〇圓(隨契)　大倉土木株式會社
神田區役所工事(指名入札五日開札)
今川小學校建築工事　三四四、〇〇〇圓(隨契)　大倉土木株式會社
大阪橋本組
再入札
三四三、〇〇〇圓(超過)　大阪橋本組
富島橋改築工事及富島橋下水伏設工事　九九、五〇〇圓(落札)　近藤土木合資會社
東京市電氣局工事(指名入札五日)
半藏門五番町間軌道位置變更工事　一八、五〇〇圓(落札)　株式會社原木組
復興局第四出張所工事(指名入札六日開札)
小名木川筋改修第三區其一九岸壁其他工事　二三、九六〇圓(落札)　宮長平作
北豐島郡長崎町役場工事(指名入札六日開札)
長崎町第二尋常小學校新築工事　六六、九五〇圓(落札)　須賀野熊次
文部省工事入札
熊本藥學專門學校教室其他火災復舊工事　四八、八〇〇圓(落札)　飯田壽一
仙臺高等工業學校寄宿舍移轉外十五廉工事　五三、七八〇圓(落札)　內田吉太郎
同圖書閱覽室外二廉新營工事　二二、四七五圓(落札)　內田吉太郎
大藏省營繕管財局(指名入札十日開札)

麴町郵便局集配局舍其他新築工事　一三七、〇〇〇圓（落札）　松村組
農事試驗場廳舍衛生工事　一三、〇〇〇圓（落札）　日本水道衛生工事株式會社
第一師團經理部
騎兵學校通信講堂新築工事　一一、三〇〇圓（落札）　勝又春一
東京府土木課工事（指名入札十一日開札）
第二二號芝溝線北多摩郡砧、柏江村地内道路改修工事長一、二一二間五分有効巾員四間
再入札
二一、七〇〇圓（超過）　石井寅三
東京市役所工事（指名入札十一日開札）
綠町賃屋新築工事　一一、六〇〇圓（落札）　木田保藏
陸軍造兵廠會計部工事指名入札（十二日開札）
王子火藥製造所本工場棉乾燥室新築他二廉工事
六八、四〇〇圓（落札）　竹田組
板橋火藥製造所第一九二號家汽罐室其他修繕工事
再入札
一〇、七七〇圓（超過）　周參見昌隆
日本橋區役所工事指名入札（十二日開札）
十思尋常小學校々舍新築並附帶工事及假校舍移轉工事　二八七、六〇〇圓（落札）　鴻ノ池組
復興局第四出張所工事指名入札（十三日開札）横

十間川筋改修第二工區其一岸壁其他工事　一八四八〇圓（落札）　水野組
文部省仙臺出張所
仙臺高等工業學校寄宿舍移轉其他十五廉工事　五三、七八〇圓（落札）　佐藤勘助
仙臺高等工業學校書庫閲覽室修築工事
再入札
二四、九〇〇圓（最低超過）　内田吉太郎
横須賀市役所
宇東川改修工事　三三、七〇〇圓（不調）　日の出組
横濱市土木局工事指名入札
武藏橋詰より驗河橋に至る護岸工事　二三、六八〇圓（落札）　堀内組
鐵道省岐阜建設事務所指名入札
越美南線第六號區土工其他工事　九一、〇〇〇圓（落札）　周參見昌隆
鐵道省盛岡建設事務所指名入札
五能線第八工區土工其他工事　二五、七八〇圓（落札）　栗原源藏
東京府土木課指名入札（十三日開札）
府縣道第三號青梅甲府線西多摩郡三田村大字澤井下分道路改修工事　二五、七八〇圓（落札）　岩浪馬二郎
復興局第二出張所指名入札
楓川改修左岸殘部工事　五九、五〇〇圓（落札）



下田政造
横濱市役所工事指名入札（廿日開札）
結核療養所新築工事　二四、五〇〇圓（超過）
齋藤萬治
再入札
二三、八九〇圓（超過）　齋藤萬治
京橋區役所指名入札
築地尋常小學校給水衛生工事　一八、七〇〇圓（落札）　炭田正文
大藏省營繕管財局指名入札（十四日開札）
東京地方裁判所林町出張所並商事調停事務取扱所新築其他工事　九一、〇〇〇圓（落札）　周參見昌隆
大藏省營繕管財局指名入札（十四日開札）
東京區裁判所林町出張所及商事調停事務所新營其他工事　九一、〇〇〇圓（落札）　周參見昌隆
東京府土木課工事指名入札（十四日開札）
府縣道第一號青梅甲府線西多摩郡三田村大字澤井上分、澤井下分道路改修工事　二五、七八〇圓（落札）　岩浪馬二郎
府縣道第二四四號福生、淺川線西多摩郡福生村地内道路改修工事
再入札
一二、一三〇圓（落札）　野村健吉
文部省廣島出張所指名入札
廣島高等師範學校理科學教室外二廉新營工事



一四、六二九圓（隨契）　山本直寛
鐵道省盛岡建設事務所指名入札
大船渡線第九區土工其他工事　三三六、〇〇〇圓（落札）　有田芳太郎
米子建設事務所
三江線第二工區土工其他工事　三〇八、五〇〇圓（落札）　坂根惣太
神戸出張所指名入札
神戸高等商船學校教室及實驗室外三廉新築工事　六四、九七〇圓（隨契）　井上合資會社
東京電氣局工事指名入札（十九日開札）
御成門附近軌道位置變更工事　二六、四〇〇圓（隨意契約）　宮長平作
赤坂見附軌道位置變更工事　一四、三〇〇圓（落札）　古久根組
福島保線事務所指名入札
福島驛改築其他貨物積卸場改築其他工事　二〇〇、二〇〇圓（隨契）　大島組
小野新町驛本家增築其他工事　一、七四二圓（隨契）　渡邊元藏
飯坂療養所原湯改築工事　一、一九七圓（落札）　遠藤玉藏
東北產業博覽會事務所
東北產業博覽會第二本館新築工事　六八、六〇〇圓（隨契）　仁田貞藏
遞信省經理局工事指名入札（廿一日開札）

京橋通郵便局新築工事　四九、九九二圓七五（超過）　間組
四五、九五〇圓　三好組
千鳥橋改築工事　一六、五〇〇圓（落札）　平島市太郎
高砂橋復舊工事　一六、八〇〇圓（超過）　石井佐四郎
東京市電氣局指名入札
電力課青山出張所新築外二廉工事　二二、三〇〇圓（超過）　木曾周太郎
横須賀市役所工事入札
宇東川改修工事　二九、〇〇〇圓（隨契）　日の出組
東京市土木局第四出張所指名入札　第五六地區區劃整理街路第九號一部及二十三號路線築造工事　一七、八三〇圓（超過）　藤田平藏
東京市役所工事指名入札（廿三日開札）
柳島公衆食堂新築工事　二二、七四〇圓（落札）　森田福市
大藏省營繕管財局工事指名入札（廿一日開札）
諸官衙假廳舍整理の内大藏省假廳舍改築及增築其他工事　一二三、七〇〇圓（落札）　大林組
東京府土木局工事指名入札（廿二日開札）
八號國道八王子市横山町外三ケ町地内道路工事　三二、五四五圓（落札）　青木孝太郎

復興局第二出張所工事指名入札（廿四日開札）
神田川改修工事の内自鮫地河岸一號地先十五號地先間岸壁其他工事　一九、九五〇圓（落札）　間組
復興局第三出張所工事指名入札（廿四日開札）
幹線第五號路線擴築部街路工事　一〇、〇五八圓（落札）　大鄉組
横濱市役所工事指名入札
浦島小學校雨天体操場其他新築工事　五二、〇〇〇圓（超過）　庄司組
府縣道第八十八號恩方八王子線南多摩郡元八王子村地内改修道路工事　一一、二二〇圓（落札）　奥住相次郎
東京府土木課工事指名入札（廿四日開札）
南足立郡新井村大字西新井道路工事　一四、五八〇圓（超過）　下川和三郎
東京市役所工事指名入札（廿五日開札）
自末廣橋至木場ポンプ場下水道幹線工事　三二七、〇〇〇圓（落札）　飛島組
深川圖書館暖房裝置工事　一四、三四三圓（超過）　三機工業株式會社
自薩摩原至札ノ辻間下水幹線工事　一四六、〇〇〇圓（超過）　伊藤德太郎
女橋外一橋改築工事　七八、五八〇圓（超過）　飛島組
業平橋排水區柳島町横川町附近下水一部枝線工

事　二六、二〇〇圓（超過）　田淵源次郎
横須賀海軍建築工事指名入札（廿四日開札）
横須賀軍法會議廳舍其他新營工事　九五、八五〇圓（落札）　鈴木忠七
坂橋町役場工事公入札
坂橋町立第四尋常小學校建築工事
再入札
三一、九九〇圓（落札）　武林由助
東京市復興局第四出張所指名入札（廿四日開札）
第六十地區深川區平久町地均工事　一一、六二〇圓（超過）　小室英司
東京府北豊島郡千住町役場指名入札
町立第四尋常小學校新築工事　三六、三八〇圓（落札）　澤井仙太郎
小石川大塚辻町市郡界より北豊島郡西巢鴨町大字池袋字下り谷戸狀道路用洗石利外一點　二〇、一五〇圓（落札）　ゼネラル商會
陸軍造兵廠會計部指名入札（廿七日開札）
八幡原火藥庫使所第一四號倒移轉外九件工事
四九、六四〇圓（不調）　井上保三郎
大藏省營繕管財局指名入札
議院本館第五回石材工事　二七五、一〇〇圓（落札）　中野喜三郎



# 木材及製材製産高（大正十四年）

| 府縣名 | 板材價額 | 府縣名 | 板材價額 |
|---|---|---|---|
| 北海道 | 六、〇〇七、〇一九 | 青森 | 二、一七八、九二七 |
| 岩手 | 七二四、三一六 | 宮城 | 三〇七、九七八 |
| 秋田 | 二、六七八、八八七 | 山形 | 一、〇〇一、四〇一 |
| 福島 | 七四〇、一八二 | 茨城 | 一七八、六二八 |
| 栃木 | 二九六、二〇五 | 群馬 | 一三八、七二五 |
| 埼玉 | 三一七、五四八 | 千葉 | 八二、七九五 |
| 東京 | 六、九六〇、三一八 | 神奈川 | 二、四九一、〇五五 |
| 新潟 | 四三五、一二九 | 富山 | 七七四、八二三 |
| 石川 | 一、一六八、九六六 | 福井 | 八五、〇九七 |
| 山梨 | 一五二、〇六三 | 長野 | 四五、六一六 |
| 岐阜 | 二四九、四五二 | 靜岡 | 八三三、三二四 |
| 愛知 | 四、九三八、六八九 | 三重 | 七二一、八四七 |
| 滋賀 | 二、〇〇〇 | 京都 | 二五三、八〇六 |
| 大阪 | 五、二七七、一七〇 | 兵庫 | 一、〇四六、九九一 |
| 奈良 | 四二三、五〇五 | 和歌山 | 一、一九八、七九三 |
| 鳥取 | 一二、四四九 | 島根 | 一五六、九一四 |
| 岡山 | 九四、九四二 | 廣島 | 一、二七七、三四三 |
| 山口 | 一六一、三三四 | 德島 | 一、三二三、二〇七 |
| 香川 | 一六、二五〇 | 愛媛 | 二九〇、二五三 |
| 高知 | 三九〇、四一四 | 福岡 | 四二〇、〇〇二 |
| 佐賀 | 三、〇六八 | 長崎 | 二〇〇 |
| 熊本 | 五二二、五六五 | 大分 | 八五九、七四五 |

| 府縣名 | 價額 | 府縣名 | 價額 |
|---|---|---|---|
| 宮崎 | 八〇七、七八四 | 鹿兒島 | 二七四、三〇三 |
| 沖繩 | 一〇四、二六八 | | |
| 計 | | | 六三、八〇九、七六五 |

十三年

角材

| 府縣名 | 價額 | 府縣名 | 價額 |
|---|---|---|---|
| 北海道 | 四、四五三、七八四 | 青森 | 二、五七七、三二三 |
| 岩手 | 二七四、五三七 | 宮城 | 一八一、七五九 |
| 秋田 | 六二三、七〇一 | 山形 | 一七〇、二三一 |
| 福島 | 二五三、七八四 | 茨城 | 一四七、九〇六 |
| 栃木 | 一九五、七四六 | 群馬 | 二〇五、六二〇 |
| 埼玉 | 五七六、二三八 | 千葉 | 九七、〇八一 |
| 東京 | 二、一九〇、八七四 | 神奈川 | 一、一四八、九七一 |
| 新潟 | 二二二、八六九 | 富山 | 一三四、四九二 |
| 石川 | 四七〇、七九五 | 福井 | 一七八、〇九三 |
| 山梨 | 二五一、三八一 | 長野 | 七八、九八〇 |
| 岐阜 | 一四一、二九三 | 靜岡 | 二、〇六一、六二〇 |
| 愛知 | 一、七三五、一四五 | 三重 | 二五三、八〇六 |
| 滋賀 | 四、二〇〇 | 京都 | 一、一三四、四八五 |
| 大阪 | 四、一三六、七八五 | 兵庫 | 一、〇四六、九九一 |
| 奈良 | 六八、五三二 | 和歌山 | 一、一九八、七九三 |
| 鳥取 | 八八、三二四 | 島根 | 一五九、三二五 |
| 岡山 | 三六、一七六 | 廣島 | 六〇四、五七一 |
| 山口 | 九二、五七六 | 德島 | 一二〇、一四八 |
| 香川 | 六九、〇四一 | 愛媛 | 一四九、九三〇 |
| 高知 | 一五六、一一八 | 福岡 | 一六一、七六九 |

| 府縣名 | 價額 | 府縣名 | 價額 |
|---|---|---|---|
| 佐賀 | 一〇四、〇四二 | 熊本 | 七一、四九八 |
| 大分 | 六八、四七〇 | 宮崎 | 一七三、五三七 |
| 鹿兒島 | 五〇、四八〇 | | |
| 計 | | | 二八、三二〇、一二〇 |

十三年

ベニヤ板

| 府縣名 | 價額 | 府縣名 | 價額 |
|---|---|---|---|
| 北海道 | 一、二五五、一四五 | 靜岡 | 四六一、八八九 |
| 愛知 | 四、三〇〇 | 兵庫 | 六七、八五七 |
| 廣島 | 七、二〇〇 | | |
| 計 | | | 一、七九六、三九一 |

十三年

丸材

| 府縣名 | 價額 | 府縣名 | 價額 |
|---|---|---|---|
| 北海道 | 五四、九二〇 | 青森 | 一五、〇二七 |
| 岩手 | 三四、二五〇 | 山形 | 二、〇一八 |
| 福島 | 一、〇〇〇 | 茨城 | 九三〇 |
| 栃木 | 四、八五〇 | 千葉 | 一〇、二〇〇 |
| 埼玉 | 五六、八五一 | 神奈川 | 二二、〇三〇 |
| 東京 | 二二、〇三〇 | 富山 | 二三、七〇〇 |
| 新潟 | 二二、〇三〇 | | 八、〇五九 |
| 石川 | 六、四八〇 | 山梨 | 七九、二五〇 |
| 岐阜 | 一九三、三五〇 | 靜岡 | 一六、五七五 |
| 愛知 | 一七七、五八八 | 京都 | 七〇、八九八 |
| 大阪 | 五三八、六六七 | 兵庫 | 四一、五三五 |
| 奈良 | 一二、三八五 | 和歌山 | 一五、三九六 |
| 鳥取 | 五〇〇 | 岡山 | 二六、三九五 |
| 廣島 | 七六七、三七〇 | 香川 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 愛媛 | 一三〇,〇〇〇 | 大分 | 一二,〇九二 |
| 宮崎 | 二,〇〇〇 | | |
| 計 | 二,一一二,三〇七 | | |
| 十三年 | 四,四七三,二一〇 | | |

其他の木材

| | | | |
|---|---|---|---|
| 北海道 | 四,一八三,六五六 | 青森 | 三八五,八三一 |
| 岩手 | 二四六,一七一 | 宮城 | 一四一,九六四 |
| 秋田 | 一,九五七,二七六 | 山形 | 一〇一,六〇〇 |
| 福島 | 一九九,八五九 | 茨城 | 四七,二九六 |
| 栃木 | 一三,七六二 | 群馬 | 七三,〇四〇 |
| 埼玉 | 七〇,一一〇 | 千葉 | 三四,〇八四 |
| 東京 | 二,〇六九,四九二 | 神奈川 | 六一四,〇九七 |
| 新潟 | 九三,九二一 | 富山 | 一九八,六二六 |
| 石川 | 六,〇〇〇 | 福井 | 一二,〇〇〇 |
| 山梨 | 五七,三六四 | 長野 | 四,〇五五 |
| 岐阜 | 一六五,六六八 | 靜岡 | 二,〇五三,七三三 |
| 愛知 | 九一九,四三〇 | 三重 | 七七七,六五七 |
| 京都 | 四七九,三九九 | 大阪 | 一,一六七,二〇三 |
| 兵庫 | 七三六,四六六 | 奈良 | 八五八 |
| 和歌山 | 五六九,二三〇 | 鳥取 | 一二,八〇四 |
| 島根 | 三〇,四〇〇 | 岡山 | 一五八,二七〇 |
| 廣島 | 一八二,二〇一 | 山口 | 一八,四九八 |
| 德島 | 二四九,四八〇 | 香川 | 一七三,二四〇 |
| 愛媛 | 五三,六一〇 | 高知 | 二一三,五五〇 |
| 福岡 | 八六,四九六 | 佐賀 | 一,七一八 |
| 長崎 | 六,五八五 | 熊本 | 四六,四九五 |
| 大分 | 一六八,三六五 | 宮崎 | 一六六,〇九二 |
| 鹿児島 | 四〇,三七五 | 沖縄 | 一四一,五〇〇 |
| 計 | 一八,九四三,五二七 | | |
| 十三年 | 一二,三七七,三一六 | | |

建具及家具

| | | | |
|---|---|---|---|
| 北海道 | 四四一,九八〇 | 青森 | 六八,〇九八 |
| 岩手 | 二四,二五五 | 宮城 | 一七四,一四七 |
| 秋田 | 二八九,〇四七 | 山形 | 二七,八〇〇 |
| 福島 | 九九,二〇四 | 茨城 | 一六,五〇〇 |
| 栃木 | 四七,五五五 | 群馬 | 二二九,五三〇 |
| 埼玉 | 一四一,二二〇 | 千葉 | 五三,一二四 |
| 東京 | 三,七四一,九三九 | 神奈川 | 三七七,一四四 |
| 新潟 | 三三九,八二六 | 富山 | 一四〇,九七五 |
| 石川 | 四九九,二一〇 | 山梨 | 一一,七〇〇 |
| 長野 | 五五,一五〇 | 岐阜 | 四四六,二五七 |
| 靜岡 | 四四九,六八六 | 愛知 | 五九七,四三五 |
| 三重 | 一六七,七〇五 | 滋賀 | 七三,一三〇 |
| 京都 | 一一八,一〇五 | 大阪 | 一,九七七,三三五 |
| 兵庫 | 六八六,九一九 | 和歌山 | 三七三,六八四 |
| 鳥取 | 一二三,一三三 | 島根 | 四四,九〇〇 |
| 岡山 | 一一二,七八三 | 廣島 | 五二七,五七二 |
| 山口 | 三八,一一二 | 德島 | 一二二,四六四 |
| 香川 | 二五八,六七〇 | 愛媛 | 一四,二五〇 |
| 高知 | 二〇,〇〇〇 | 福岡 | 六六,一一七 |
| 長崎 | 七九,一七五 | 熊本 | 八六,九二〇 |
| 大分 | 四八,九〇〇 | 宮崎 | 四一,八五五 |
| 鹿児島 | 一五,四五〇 | | |
| 計 | 一三,二七八,二四一 | | |
| 十三年 | 一二,五四六,七四二 | | |

普通煉瓦

| | | |
|---|---|---|
| 北海道 | 一二,〇二四,九一七個 | 二五四,三三九円 |
| 青森 | 四七〇,八〇〇 | 一六,一七四 |
| 岩手 | 二四二,五〇〇 | 七,六一五 |
| 宮城 | 七二五,九〇〇 | 二二,二五〇 |
| 秋田 | 一,五〇九,四〇〇 | 四一,七二二 |
| 山形 | 八〇,〇〇〇 | 二,二八五 |
| 廣島 | 一,三〇二,八八二 | 三九,七二二 |
| 茨城 | 六七六,八五五 | 二二,五九〇 |
| 栃木 | 四,〇七三,八五〇 | 一二二,一九八 |
| 群馬 | 六二五,〇〇〇 | 一八,三七五 |
| 埼玉 | 三二,一三四,五一八 | 七一三,九五〇 |
| 千葉 | 六四六,八三〇 | 二五,六〇五 |
| 東京 | 一一,二三三,六六一 | 二五七,二九〇 |
| 神奈川 | 二,九三四,〇〇〇 | 五八,六八〇 |
| 新潟 | 九六七,〇〇〇 | 二六,三一五 |
| 富山 | 四六八,〇七一 | 一四,〇四二 |
| 石川 | 二二四,二〇〇 | 六,五一八 |
| 山梨 | 九一四,〇〇〇 | 四七,六六〇 |
| 長野 | 九六二,二〇〇 | 二八,七三五 |
| 岐阜 | 八〇九,五五二 | 一九,〇三〇 |
| 靜岡 | 四,五八一,六五〇 | 一一二,四六六 |
| 愛知 | 二〇,四五二,〇〇〇 | 四〇五,五〇七 |





| | | |
|---|---|---|
| 三重 | 三,七六九,五五九 | 七八,六二六 |
| 滋賀 | 一六,〇一一,八〇〇 | 二八四,六七七 |
| 京都 | 一,三一〇,〇〇〇 | 三〇,〇〇〇 |
| 大阪 | 一〇一,七三二,九六四 | 二,三二一,七二二 |
| 兵庫 | 三二,八五六,四二七 | 四五七,八七八 |
| 奈良 | 六二〇,〇〇〇 | 一八,九二五 |
| 和歌山 | 三二五,〇〇〇 | 九,六五〇 |
| 島根 | 三八五,九五〇 | 一五,七九八 |
| 岡山 | 一,〇二五,五七三 | 三六,七六一 |
| 廣島 | 一五,三五九,七〇〇 | 二五〇,七六九 |
| 山口 | 五,〇六三,三〇〇 | 一一二,二二六 |
| 德島 | 一,二三三,五〇〇 | 二一,〇八三 |
| 香川 | 五八,七二五,五六二 | 一,一八〇,七二五 |
| 愛媛 | 六,二〇九,四八三 | 一二九,六一〇 |
| 高知 | 五二〇,〇〇〇 | 四,四四五 |
| 福岡 | 一七,九二七,一〇〇 | 三〇九,一九七 |
| 佐賀 | 七,九五二,五〇〇 | 一二五,七三七 |
| 長崎 | 二,六八九,九〇〇 | 五〇,四〇八 |
| 熊本 | 一,五四〇,〇〇〇 | 三六,七六〇 |
| 大分 | 五五二,五〇〇 | 一一,二三三 |
| 宮崎 | 一,三〇九,二〇〇 | 四一,〇一〇 |
| 鹿児島 | 九四六,六〇〇 | 三一,一六七 |
| 沖縄 | 五五二,六四〇 | 二五,六六七 |
| 計 | 三六四,九九一,〇四三 | 七,八二六,七四一 |
| 十三年 | 三五三,三一四,八九二 | 八,〇七七,三七〇 |

耐火煉瓦

| | | |
|---|---|---|
| 北海道 | 八〇,〇〇〇個 | 七,五〇〇円 |
| 岩手 | 五九二,五五七 | 五三,三三〇 |
| 福島 | 六,九五六,五四八 | 五三五,二七六 |
| 栃木 | 三九,一二五 | 三,一四〇 |
| 東京 | 三,一七八,〇四五 | 二一五,三〇七 |
| 神奈川 | 六二,〇〇〇 | 七,四四〇 |
| 新潟 | 一二,〇〇〇 | 四八〇 |
| 岐阜 | 五八八,〇〇〇 | 五〇,〇〇〇 |
| 愛知 | 三,八一二,六六二 | 一七一,八三四 |
| 三重 | 一五,〇〇〇 | 一,五〇〇 |
| 京都 | 一,四〇二,〇〇〇 | 一八一,〇〇〇 |
| 大阪 | 七,八一三,六三八 | 一,〇一七,一六三 |
| 兵庫 | 七二〇,四三一 | 二五五,〇一七 |
| 鳥取 | 二七〇,〇〇〇 | 六,七五〇 |
| 島根 | 二,〇〇〇 | 八〇 |
| 岡山 | 一五,〇九一,九七三 | 一,一八六,七五九 |
| 廣島 | 一三五,二三六 | 一三,五二三 |
| 福岡 | 一〇,五六一,八三七 | 一,一五九,九九五 |
| 大分 | 三七,五五〇 | 二,二五三 |
| 計 | 三一,一七八,〇四五 | 二,一二三,三〇七 |
| 十三年 | 五一,四九五,九四二 | 四,七一一,四〇七 |

張付煉瓦

| | | |
|---|---|---|
| 北海道 | 一〇一,二〇〇個 | 三,〇三六円 |
| 栃木 | 一,七〇〇,〇〇〇 | 八六,〇〇〇 |
| 東京 | 三,六六〇,〇〇〇 | 一五八,一〇〇 |
| 新潟 | 五五〇,〇〇〇 | 一三,七五〇 |
| 岐阜 | 四,七九二,〇〇〇 | 三六一,〇〇〇 |
| 愛知 | 一四,七七二,〇七〇 | 七七四,三二八 |
| 京都 | 八〇,〇〇〇 | 七,六〇〇 |
| 大阪 | 二二〇,〇〇〇 | 一五,〇〇〇 |
| 岡山 | 四,七二九,二八五 | 二七七,三三二 |
| 計 | 三〇,六一四,五五五 | 一,六九六,一三六 |
| 十三年 | 二五,一七八,八一五 | 一,四九二,九九五 |

其他の煉瓦

| | | |
|---|---|---|
| 北海道 | 二五〇個 | 一〇〇円 |
| 岩手 | 一,一六一,三〇〇 | 三五,八三九 |
| 宮城 | 二五七 | 五〇 |
| 東京 | 一〇〇,〇〇〇 | 三,〇〇〇 |
| 岐阜 | 六〇〇,一二〇 | 一八,六四七 |
| 愛知 | 二〇〇 | 五五〇 |
| 大阪 | 一,二六九,六三一 | 一二〇,七〇五 |
| 岡山 | 一,九六六,二八〇 | 二八九,九四八 |
| 山口 | 二,〇二二,三四〇 | 六二,九二二 |
| 香川 | 五〇,〇〇〇 | 二,五〇〇 |
| 福岡 | 一,六五一,〇〇〇 | 一七,一一三 |
| 長崎 | 一〇〇,〇〇〇 | 一,五〇〇 |
| 熊本 | 一,〇三七,一七八 | 一七,六三二 |
| 鹿児島 | 四二六,五九〇 | 九,三八四 |
| 計 | 一〇,三八五,一四六 | 五六九,八九〇 |
| 十三年 | 九,一三七,六六九 | 三五二,七八二 |

屋根瓦

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 三、八〇八、〇一三、三〇六 | 大阪 | 三七、一八八 | 福島 | 三三、五六七 |
| 青森 | 四七八 | 兵庫 | 七七六、八六二、三八七、二八四 | 茨城 | 二二、〇二五、一、五〇九、六〇三 |
| 岩手 | 三、六九四 | 奈良 | 一、一三、二一四 | 栃木 | 二、一三、二一四 |
| 宮城 | 五二、〇六二 | 和歌山 | 一二八、五五九、一、〇一三、一六一 | 群馬 | 八、〇一三、一六一 |
| 秋田 | 五二、五五五 | 鳥取 | 四二、五五二 | 埼玉 | 四二、五五二 |
| 山形 | 一三三、九七五 | 島根 | 三三、八九四 | 千葉 | 三三、八九四 |
| 福島 | 一三七、八三三 | 岡山 | 三五、七七八 | 東京 | 三五、七七八 |
| 茨城 | 二八四、七五五 | 広島 | 一七一、四〇五 | 神奈川 | 一七一、四〇五 |
| 群馬 | 一三六、一四七 | 山口 | 八〇九、三七九 | 新潟 | 八〇九、三七九 |
| 埼玉 | 三〇六、七二八 | 徳島 | 一七二、九四一 | 富山 | 一七二、九四一 |
| 千葉 | 八六、六七八 | 香川 | 二〇九、五三七 | 石川 | 二〇九、五三七 |
| 東京 | 一〇七、三六〇 | 愛媛 | 二六五、一六三 | 福井 | 二六五、一六三 |
| 神奈川 | 七、一四五 | 高知 | 五九九、六八〇 | 山梨 | 五九九、六八〇 |
| 新潟 | 一〇一、〇一二 | 福岡 | 四九、九五六 | 長野 | 四九、九五六 |
| 富山 | 一八七、六一九 | 佐賀 | 五三四、六二〇 | 岐阜 | 五三四、六二〇 |
| 石川 | 二一二、六二一 | 長崎 | 九二〇、七六九 | 静岡 | 九二〇、七六九 |
| 福井 | 一二〇、九一三 | 熊本 | 九三九、八八八 | 愛知 | 九三九、八八八 |
| 山梨 | 六〇、七一二 | 大分 | 七三七、八一三 | 三重 | 七三七、八一三 |
| 長野 | 一四一、六三〇 | 宮崎 | 二九〇、一六〇 | 滋賀 | 二九〇、一六〇 |
| 岐阜 | 三五〇、九六八 | 鹿児島 | 七一四、八二九 | 京都 | 七一四、八二九 |
| 静岡 | 三〇五、〇六七 | 沖縄 | 一、四六八、八六二 | | |
| 愛知 | 九七二、〇六四 | 計 | 一、四六五、三九三 | | |
| 三重 | 二五六、八七〇 | | | | |
| 滋賀 | 一〇〇、一三〇 | | | | |
| 京都 | 一四六、七五九 | | | | |

セメント瓦

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 岩手 | 一 | 大阪 | 二一五 | 福島 | 三三、五六七 |
| 山形 | 二七、二〇一 | 高知 | 一六、一二 | 茨城 | 二七、二〇一 |
| 福島 | 二三、〇二五、一、五〇九、六〇三 | 大阪 | 二一五 | 栃木 | 二三、〇二五、一、五〇九、六〇三 |
| 群馬 | 七七六、八六二、三八七、二八四 | 兵庫 | 七七六、八六二、三八七、二八四 | 埼玉 | 七七六、八六二、三八七、二八四 |
| 東京 | 一、一三、二一四 | 奈良 | 一、一三、二一四 | 千葉 | 一、一三、二一四 |
| 神奈川 | 一二八、五五九、一、〇一三、一六一 | 和歌山 | 一二八、五五九、一、〇一三、一六一 | 東京 | 一二八、五五九、一、〇一三、一六一 |
| 新潟 | 四二、五五二 | 鳥取 | 四二、五五二 | 神奈川 | 四二、五五二 |
| 富山 | 三三、八九四 | 島根 | 三三、八九四 | 新潟 | 三三、八九四 |
| 石川 | 三五、七七八 | 岡山 | 三五、七七八 | 富山 | 三五、七七八 |
| 福井 | 一七一、四〇五 | 広島 | 一七一、四〇五 | 石川 | 一七一、四〇五 |
| 山梨 | 六、三七五 | 山口 | 六、三七五 | 福井 | 六、三七五 |
| 長野 | 一、六〇〇 | 徳島 | 一、六〇〇 | 山梨 | 一、六〇〇 |
| 岐阜 | 六、六五三 | 香川 | 六、六五三 | 長野 | 六、六五三 |
| 静岡 | 一六、四九三 | 愛媛 | 一六、四九三 | 岐阜 | 一六、四九三 |
| 愛知 | 三〇、八七八 | 高知 | 三〇、八七八 | 静岡 | 三〇、八七八 |
| 三重 | 一三四、二九〇 | 福岡 | 一三四、二九〇 | 愛知 | 一三四、二九〇 |
| 滋賀 | 三六、一九四 | 佐賀 | 三六、一九四 | 三重 | 三六、一九四 |
| 京都 | 八一、一四〇 | 長崎 | 八一、一四〇 | 滋賀 | 八一、一四〇 |
| 大阪 | 八、二〇八 | 熊本 | 八、二〇八 | 京都 | 八、二〇八 |
| 兵庫 | 一八、〇七八 | 大分 | 一八、〇七八 | 大阪 | 一八、〇七八 |
| 奈良 | 一四、三一五 | 宮崎 | 一四、三一五 | 兵庫 | 一四、三一五 |
| 和歌山 | 六、八七七 | 鹿児島 | 六、八七七 | 奈良 | 六、八七七 |
| 鳥取 | 一九、一〇一 | 沖縄 | 一九、一〇一 | 和歌山 | 一九、一〇一 |
| 島根 | 四〇、〇〇〇 | 計 | 四〇、〇〇〇 | 鳥取 | 四〇、〇〇〇 |
| 岡山 | 一三、五〇〇 | 大分 | 一三、五〇〇 | 島根 | 一三、五〇〇 |
| 広島 | 九、〇〇〇 | 鹿児島 | 九、〇〇〇 | 岡山 | 九、〇〇〇 |
| 山口 | 一、七〇〇 | 計 | 一、七〇〇 | 広島 | 一、七〇〇 |
| 徳島 | 三、一〇〇 | 十三年 | 三、一〇〇 | 山口 | 三、一〇〇 |
| 香川 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 徳島 | 一、〇〇〇 |
| 愛媛 | 一九、〇〇〇 | | 一九、〇〇〇 | 香川 | 一九、〇〇〇 |
| 高知 | 五、〇〇〇 | | 五、〇〇〇 | 愛媛 | 五、〇〇〇 |
| 福岡 | 六、〇〇〇 | | 六、〇〇〇 | 高知 | 六、〇〇〇 |
| 佐賀 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 福岡 | 一、〇〇〇 |
| 長崎 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 佐賀 | 一、〇〇〇 |
| 熊本 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 長崎 | 一、〇〇〇 |
| 大分 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 熊本 | 一、〇〇〇 |
| 宮崎 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 大分 | 一、〇〇〇 |
| 鹿児島 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 宮崎 | 一、〇〇〇 |
| 沖縄 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 鹿児島 | 一、〇〇〇 |
| 計 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 沖縄 | 一、〇〇〇 |
| 十三年 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 計 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 十三年 | 一、〇〇〇 |

其の他

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 五〇〇 | 北海道 | 五〇〇 | 北海道 | 五〇〇 |
| 岩手 | 一、七〇〇 | 岩手 | 一、七〇〇 | 岩手 | 一、七〇〇 |
| 宮城 | 六、九二〇 | 宮城 | 六、九二〇 | 宮城 | 六、九二〇 |
| 山形 | 一三八、四一〇 | 山形 | 一三八、四一〇 | 山形 | 一三八、四一〇 |
| 福島 | 三五〇 | 福島 | 三五〇 | 福島 | 三五〇 |
| 茨城 | 一、二七〇 | 茨城 | 一、二七〇 | 茨城 | 一、二七〇 |
| 栃木 | 二、三〇〇 | 栃木 | 二、三〇〇 | 栃木 | 二、三〇〇 |
| 群馬 | 一、〇〇〇 | 群馬 | 一、〇〇〇 | 群馬 | 一、〇〇〇 |
| 埼玉 | 一、〇〇〇 | 埼玉 | 一、〇〇〇 | 埼玉 | 一、〇〇〇 |
| 千葉 | 一、〇〇〇 | 千葉 | 一、〇〇〇 | 千葉 | 一、〇〇〇 |
| 東京 | 六五、五六〇 | 大阪 | 二一五 | 福島 | 三三、五六七 |
| 福島 | 三三、〇二五、一、五〇九、六〇三 | 高知 | 一六、一二 | 茨城 | 二七、二〇一 |
| 和歌山 | 二九、四二 | | | 栃木 | 二三、〇二五、一、五〇九、六〇三 |
| 香川 | 三六、二三一 | | | 埼玉 | 七七六、八六二、三八七、二八四 |
| 愛媛 | 三、一九〇 | | | 千葉 | 一、一三、二一四 |
| 高知 | 一、一七九、八九五 | | | 東京 | 一二八、五五九、一、〇一三、一六一 |
| 福岡 | 五八、五一六 | | | 神奈川 | 四二、五五二 |
| 佐賀 | 六二、三四二 | | | 新潟 | 三三、八九四 |
| 長崎 | 四五、一七九 | | | 富山 | 三五、七七八 |
| 熊本 | 四〇、一〇四 | | | 石川 | 一七一、四〇五 |
| 大分 | 五八、五一六 | | | 福井 | 六、三七五 |
| 宮崎 | 一、七九六、八九五 | | | 山梨 | 一、六〇〇 |
| 鹿児島 | 八六、六二七 | | | 長野 | 六、六五三 |
| 計 | 一、七九六、八九五 | | | 岐阜 | 一六、四九三 |
| 十三年 | 八六、六二七 | | | 静岡 | 三〇、八七八 |
| | | | | 愛知 | 一三四、二九〇 |
| | | | | 三重 | 三六、一九四 |
| | | | | 滋賀 | 八一、一四〇 |
| | | | | 京都 | 八、二〇八 |
| | | | | 大阪 | 一八、〇七八 |
| | | | | 兵庫 | 一四、三一五 |
| | | | | 奈良 | 六、八七七 |
| | | | | 和歌山 | 一九、一〇一 |
| | | | | 鳥取 | 四〇、〇〇〇 |
| | | | | 島根 | 一三、五〇〇 |
| | | | | 岡山 | 九、〇〇〇 |
| | | | | 広島 | 一、七〇〇 |
| | | | | 山口 | 三、一〇〇 |
| | | | | 徳島 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 香川 | 一九、〇〇〇 |
| | | | | 愛媛 | 五、〇〇〇 |
| | | | | 高知 | 六、〇〇〇 |
| | | | | 福岡 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 佐賀 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 長崎 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 熊本 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 大分 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 宮崎 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 鹿児島 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 沖縄 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 計 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 十三年 | 一、〇〇〇 |





| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 福島 | 三三、五六七 | 広島 | 三、七九四、九五〇 | 東京 | 六五、五六〇 |
| 茨城 | 二七、二〇一 | 山口 | 四、二八〇、〇二二 | 大阪 | 二一五 |
| 栃木 | 二三、〇二五、一、五〇九、六〇三 | 徳島 | 一二、五四三 | 高知 | 一六、一二 |
| 埼玉 | 七七六、八六二、三八七、二八四 | 香川 | 三六、二三一 | | |
| 千葉 | 一、一三、二一四 | 愛媛 | 三、一九〇 | | |
| 東京 | 一二八、五五九、一、〇一三、一六一 | 高知 | 一、一七九、八九五 | | |
| 神奈川 | 四二、五五二 | 福岡 | 五八、五一六 | | |
| 新潟 | 三三、八九四 | 佐賀 | 六二、三四二 | | |
| 富山 | 三五、七七八 | 長崎 | 四五、一七九 | | |
| 石川 | 一七一、四〇五 | 熊本 | 四〇、一〇四 | | |
| 福井 | 六、三七五 | 大分 | 五八、五一六 | | |
| 山梨 | 一、六〇〇 | 宮崎 | 一、七九六、八九五 | | |
| 長野 | 六、六五三 | 鹿児島 | 八六、六二七 | | |
| 岐阜 | 一六、四九三 | 計 | 一、七九六、八九五 | | |
| 静岡 | 三〇、八七八 | 十三年 | 八六、六二七 | | |
| 愛知 | 一三四、二九〇 | | | | |
| 三重 | 三六、一九四 | | | | |
| 滋賀 | 八一、一四〇 | | | | |
| 京都 | 八、二〇八 | | | | |
| 大阪 | 一八、〇七八 | | | | |
| 兵庫 | 一四、三一五 | | | | |
| 奈良 | 六、八七七 | | | | |
| 和歌山 | 一九、一〇一 | | | | |
| 鳥取 | 四〇、〇〇〇 | | | | |
| 島根 | 一三、五〇〇 | | | | |
| 岡山 | 九、〇〇〇 | | | | |
| 広島 | 一、七〇〇 | | | | |
| 山口 | 三、一〇〇 | | | | |
| 徳島 | 一、〇〇〇 | | | | |
| 香川 | 一九、〇〇〇 | | | | |
| 愛媛 | 五、〇〇〇 | | | | |
| 高知 | 六、〇〇〇 | | | | |
| 福岡 | 一、〇〇〇 | | | | |
| 佐賀 | 一、〇〇〇 | | | | |
| 長崎 | 一、〇〇〇 | | | | |
| 熊本 | 一、〇〇〇 | | | | |
| 大分 | 一、〇〇〇 | | | | |
| 宮崎 | 一、〇〇〇 | | | | |
| 鹿児島 | 一、〇〇〇 | | | | |
| 沖縄 | 一、〇〇〇 | | | | |
| 計 | 一、〇〇〇 | | | | |
| 十三年 | 一、〇〇〇 | | | | |

セメント瓦

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 岩手 | 一 | 大阪 | 二一五 | 福島 | 三三、五六七 |
| 山形 | 二七、二〇一 | 高知 | 一六、一二 | 茨城 | 二七、二〇一 |
| 福島 | 二三、〇二五、一、五〇九、六〇三 | 大阪 | 二一五 | 栃木 | 二三、〇二五、一、五〇九、六〇三 |
| 群馬 | 七七六、八六二、三八七、二八四 | 兵庫 | 七七六、八六二、三八七、二八四 | 埼玉 | 七七六、八六二、三八七、二八四 |
| 東京 | 一、一三、二一四 | 奈良 | 一、一三、二一四 | 千葉 | 一、一三、二一四 |
| 神奈川 | 一二八、五五九、一、〇一三、一六一 | 和歌山 | 一二八、五五九、一、〇一三、一六一 | 東京 | 一二八、五五九、一、〇一三、一六一 |
| 新潟 | 四二、五五二 | 鳥取 | 四二、五五二 | 神奈川 | 四二、五五二 |
| 富山 | 三三、八九四 | 島根 | 三三、八九四 | 新潟 | 三三、八九四 |
| 石川 | 三五、七七八 | 岡山 | 三五、七七八 | 富山 | 三五、七七八 |
| 福井 | 一七一、四〇五 | 広島 | 一七一、四〇五 | 石川 | 一七一、四〇五 |
| 山梨 | 六、三七五 | 山口 | 六、三七五 | 福井 | 六、三七五 |
| 長野 | 一、六〇〇 | 徳島 | 一、六〇〇 | 山梨 | 一、六〇〇 |
| 岐阜 | 六、六五三 | 香川 | 六、六五三 | 長野 | 六、六五三 |
| 静岡 | 一六、四九三 | 愛媛 | 一六、四九三 | 岐阜 | 一六、四九三 |
| 愛知 | 三〇、八七八 | 高知 | 三〇、八七八 | 静岡 | 三〇、八七八 |
| 三重 | 一三四、二九〇 | 福岡 | 一三四、二九〇 | 愛知 | 一三四、二九〇 |
| 滋賀 | 三六、一九四 | 佐賀 | 三六、一九四 | 三重 | 三六、一九四 |
| 京都 | 八一、一四〇 | 長崎 | 八一、一四〇 | 滋賀 | 八一、一四〇 |
| 大阪 | 八、二〇八 | 熊本 | 八、二〇八 | 京都 | 八、二〇八 |
| 兵庫 | 一八、〇七八 | 大分 | 一八、〇七八 | 大阪 | 一八、〇七八 |
| 奈良 | 一四、三一五 | 宮崎 | 一四、三一五 | 兵庫 | 一四、三一五 |
| 和歌山 | 六、八七七 | 鹿児島 | 六、八七七 | 奈良 | 六、八七七 |
| 鳥取 | 一九、一〇一 | 沖縄 | 一九、一〇一 | 和歌山 | 一九、一〇一 |
| 島根 | 四〇、〇〇〇 | 計 | 四〇、〇〇〇 | 鳥取 | 四〇、〇〇〇 |
| 岡山 | 一三、五〇〇 | 大分 | 一三、五〇〇 | 島根 | 一三、五〇〇 |
| 広島 | 九、〇〇〇 | 鹿児島 | 九、〇〇〇 | 岡山 | 九、〇〇〇 |
| 山口 | 一、七〇〇 | 計 | 一、七〇〇 | 広島 | 一、七〇〇 |
| 徳島 | 三、一〇〇 | 十三年 | 三、一〇〇 | 山口 | 三、一〇〇 |
| 香川 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 徳島 | 一、〇〇〇 |
| 愛媛 | 一九、〇〇〇 | | 一九、〇〇〇 | 香川 | 一九、〇〇〇 |
| 高知 | 五、〇〇〇 | | 五、〇〇〇 | 愛媛 | 五、〇〇〇 |
| 福岡 | 六、〇〇〇 | | 六、〇〇〇 | 高知 | 六、〇〇〇 |
| 佐賀 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 福岡 | 一、〇〇〇 |
| 長崎 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 佐賀 | 一、〇〇〇 |
| 熊本 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 長崎 | 一、〇〇〇 |
| 大分 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 熊本 | 一、〇〇〇 |
| 宮崎 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 大分 | 一、〇〇〇 |
| 鹿児島 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 宮崎 | 一、〇〇〇 |
| 沖縄 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 鹿児島 | 一、〇〇〇 |
| 計 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 沖縄 | 一、〇〇〇 |
| 十三年 | 一、〇〇〇 | | 一、〇〇〇 | 計 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 十三年 | 一、〇〇〇 |

其の他

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 五〇〇 | 北海道 | 五〇〇 | 北海道 | 五〇〇 |
| 岩手 | 一、七〇〇 | 岩手 | 一、七〇〇 | 岩手 | 一、七〇〇 |
| 宮城 | 六、九二〇 | 宮城 | 六、九二〇 | 宮城 | 六、九二〇 |
| 山形 | 一三八、四一〇 | 山形 | 一三八、四一〇 | 山形 | 一三八、四一〇 |
| 福島 | 三五〇 | 福島 | 三五〇 | 福島 | 三五〇 |
| 茨城 | 一、二七〇 | 茨城 | 一、二七〇 | 茨城 | 一、二七〇 |
| 栃木 | 二、三〇〇 | 栃木 | 二、三〇〇 | 栃木 | 二、三〇〇 |
| 群馬 | 一、〇〇〇 | 群馬 | 一、〇〇〇 | 群馬 | 一、〇〇〇 |
| 埼玉 | 一、〇〇〇 | 埼玉 | 一、〇〇〇 | 埼玉 | 一、〇〇〇 |
| 千葉 | 一、〇〇〇 | 千葉 | 一、〇〇〇 | 千葉 | 一、〇〇〇 |
| 東京 | 六五、五六〇 | 大阪 | 二一五 | 福島 | 三三、五六七 |
| 福島 | 三三、〇二五、一、五〇九、六〇三 | 高知 | 一六、一二 | 茨城 | 二七、二〇一 |
| 和歌山 | 二九、四二 | | | 栃木 | 二三、〇二五、一、五〇九、六〇三 |
| 香川 | 三六、二三一 | | | 埼玉 | 七七六、八六二、三八七、二八四 |
| 愛媛 | 三、一九〇 | | | 千葉 | 一、一三、二一四 |
| 高知 | 一、一七九、八九五 | | | 東京 | 一二八、五五九、一、〇一三、一六一 |
| 福岡 | 五八、五一六 | | | 神奈川 | 四二、五五二 |
| 佐賀 | 六二、三四二 | | | 新潟 | 三三、八九四 |
| 長崎 | 四五、一七九 | | | 富山 | 三五、七七八 |
| 熊本 | 四〇、一〇四 | | | 石川 | 一七一、四〇五 |
| 大分 | 五八、五一六 | | | 福井 | 六、三七五 |
| 宮崎 | 一、七九六、八九五 | | | 山梨 | 一、六〇〇 |
| 鹿児島 | 八六、六二七 | | | 長野 | 六、六五三 |
| 計 | 一、七九六、八九五 | | | 岐阜 | 一六、四九三 |
| 十三年 | 八六、六二七 | | | 静岡 | 三〇、八七八 |
| | | | | 愛知 | 一三四、二九〇 |
| | | | | 三重 | 三六、一九四 |
| | | | | 滋賀 | 八一、一四〇 |
| | | | | 京都 | 八、二〇八 |
| | | | | 大阪 | 一八、〇七八 |
| | | | | 兵庫 | 一四、三一五 |
| | | | | 奈良 | 六、八七七 |
| | | | | 和歌山 | 一九、一〇一 |
| | | | | 鳥取 | 四〇、〇〇〇 |
| | | | | 島根 | 一三、五〇〇 |
| | | | | 岡山 | 九、〇〇〇 |
| | | | | 広島 | 一、七〇〇 |
| | | | | 山口 | 三、一〇〇 |
| | | | | 徳島 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 香川 | 一九、〇〇〇 |
| | | | | 愛媛 | 五、〇〇〇 |
| | | | | 高知 | 六、〇〇〇 |
| | | | | 福岡 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 佐賀 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 長崎 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 熊本 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 大分 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 宮崎 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 鹿児島 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 沖縄 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 計 | 一、〇〇〇 |
| | | | | 十三年 | 一、〇〇〇 |

セメント工場別月産能力

（△印減）

| | 聯合會査定 | 推定 | 數量 | 價額 | 數量 | 價額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 千樽 | 千樽 | % | | % | |
| 淺野 | 七五六、五〇〇 | 九一三 | 三三 | 一、九〇五 | 二四 | 二三 |
| 東京 | 八六、五〇〇 | 九七 | 三三 | 神奈川 | 二四 | 二三 |
| 川崎 | 一八九、〇〇〇 | 二二九 | 三三 | 北海道 | 一三 | △二二 |
| 門司 | 二五〇、〇〇〇 | 二六八 | 三五、五九六 | | 七一 | 一五 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 一四五、〇〇〇 | 二一〇 | | 大阪窯業 | 六〇、五〇〇 | 二、八五一、九八〇 | |
| 臺灣 | 五五、〇〇〇 | 七八 | | 宇部 | 三三〇、〇〇〇 | 四五 | |
| 大阪 | 三一、〇〇〇 | 三一 | | 帝國 | 一〇、八〇〇 | 一七 | |
| 小野田 | 二七三、〇〇〇 | 三三〇 | | 電化 | 一二、八〇〇 | 一七 | |
| 小野田 | 一二〇、〇〇〇 | 一一六 | | 櫻 | 二九、五〇〇 | 四四 | |
| 大連 | 五七、〇〇〇 | 八三 | | 三河 | 一四、五〇〇 | 一九 | |
| 平壤 | 六九、〇〇〇 | 一〇〇 | | 三重 | 一一、七〇〇 | 一八 | |
| 愛知 | 二七、〇〇〇 | 三一 | | 計 | 一、八二三、〇〇〇 | 二、四二二 | |
| 豐國 | 一二六、五〇〇 | 一九四 | | 生產額 | | | |
| 門司 | 八一、五〇〇 | 一一〇 | | 北海道 | 九、二四〇、〇〇〇 | 円 | |
| 名古屋 | 四五、〇〇〇 | 六一 | | 青森 | 一七六、七〇八 | 一九 | |
| 佐賀(休) | 一五、三〇〇 | 二三 | | 山形 | 二〇、〇〇〇 | 四 | |
| 日本 | 一一〇、五〇〇 | 一五一 | | 福島 | 六三九、七三七 | 三 | |
| 八代 | 五〇、五〇〇 | 六八 | | 茨城 | 一三三、三〇〇 | 一 | |
| 佐伯 | 六〇、〇〇〇 | 八三 | | 埼玉 | ? | ? | |
| 磐城 | 一〇五、四〇〇 | 一一三 | | 東京 | 九三五、四五四 | 五 | |
| 四ッ倉 | 七五、〇〇〇 | 九〇 | | 神奈川 | 九五〇、〇〇〇 | 一 | |
| 湊 | 一八、〇〇〇 | 二二 | | 愛知 | 九六六、二二三 | 五 | |
| 東京 | 一二、四〇〇 | 一八 | | 三重 | 五三、六三九 | 九 | |
| 秩父 | 六〇、〇〇〇 | 八三 | | 大阪 | 七〇五、〇九二 | 三 | |
| 大分 | 九一、〇〇〇 | 一三六 | | 兵庫 | 三二〇、九四三 | 一 | |
| 津久見 | 五五、〇〇〇 | 八五 | | 和歌山 | 四二七、四一二 | 二 | |
| 由良 | 三六、〇〇〇 | 五一 | | 岡山 | 三六、〇〇〇 | 一 | |
| 土佐 | 四八、〇〇〇 | 七三 | | 山口 | 一、四九一、〇四八 | 八 | |
| 東亞 | 三二、〇〇〇 | 四二 | | 高知 | 四六四、〇九九 | 二 | |
| 中央 | 三四、〇〇〇 | 五〇 | | 福岡 | 二、九四四、八九三 | 一四 | |



| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 熊本 | 五三九、〇二七 | 二、八五一、九八〇 | | 愛媛 | 一、四一三、四八〇 | 五三、九三六 | |
| 大分 | 八六四、一四四 | 四、六〇二、七九二 | | 高知 | 五、三三〇、〇〇〇 | 三二〇、三〇〇 | |
| 計 | 一三、三二七、七一九 | 六六、四九四、九三九 | | 福岡 | 三八六、九四〇 | 一八、〇一八 | |
| | ? | 七九二、七二五 | | 熊本 | 一、七五〇、〇〇〇 | 六〇、二〇〇 | |
| 石灰 | | | | 大分 | 三、九五四、五〇〇 | 一六六、一四〇 | |
| 北海道 | 二三八、四〇〇 | 一九、五〇五 | 円 | | 六七、八七二、七九三 | 三、〇二三、〇五三 | |
| 栃木 | 一四、〇六三、四六三 | 五七九、二四七 | | 計 | ? | 五一、九〇五 | |
| 群馬 | 四〇、〇〇〇 | 三、五〇〇 | | 十三年 | 一〇八、六四七、六六〇 | 四、三七〇、二七四 | |
| 東京 | ? | 二四、七七二 | | | | | |
| 新潟 | 二、八〇〇、七六〇 | 一一八、三五七 | | | | | |
| 富山 | 二、七四一、八〇〇 | 一六七、一六七 | | | | | |
| 石川 | 一、二九六、七五九 | 四二、〇九一 | | | | | |
| 福井 | 二、九五三、一七一 | 一一四、〇八四 | | | | | |
| 長野 | 一、一八六、〇〇〇 | 七二、〇〇〇 | | | | | |
| 岐阜 | 一二、一三四、五五六 | 四一六、〇〇八 | ? | | | | |
| 靜岡 | 二〇〇、〇〇〇 | 八、〇〇〇 | | | | | |
| 愛知 | 六四五、〇〇六 | 七八、七一〇 | | | | | |
| 三重 | 七三七、五〇〇 | 一二九、三〇〇 | | | | | |
| 滋賀 | ? | 一九、五三三 | | | | | |
| 京都 | 一二〇、〇〇〇 | 六、〇〇〇 | | | | | |
| 和歌山 | 一五二、四二二 | 一一、九〇五 | | | | | |
| 島根 | 一三、〇〇〇 | 七九七 | | | | | |
| 岡山 | 六一九、五七六 | 八九、一九二 | | | | | |
| 廣島 | 二、四〇二、八六五 | 一〇三、八七五 | | | | | |
| 山口 | 九、九九六、一八八 | 三七八、七四五 | | | | | |
| 德島 | 二、六九六、四〇七 | 一五五、九六七 | | | | | |

# 東京大阪主要材料價格並指數表

## 東京主要建築材料價格並指數表

昭和二年六月末現在（東京市中居拂）

| 名稱 | 單位 | 價格 | 指數 |
|---|---|---|---|
| 割栗石(六ヶ村) | 川岸配立坪 | 三七、〇〇 | 二七四 |
| 砂利(玉川一寸) | 同 | 三四、〇〇 | 二五二 |
| 砂利(玉川六分) | 同 | 三七、〇〇 | 二二四 |
| 砂(玉川) | 同 | 一六、〇〇 | 三四七 |
| セメント(大樽) | 一樽 | 五、一〇 | 一五五 |
| 生石炭(鼠) | 十貫俵 | 、六二 | 二四八 |
| 煉瓦(燒過一等) | 萬本 | 三三〇、〇〇 | 二三六 |
| 同(燒過四等) | 同 | 二六〇、〇〇 | 二四八 |
| 同(並燒一等) | 同 | 三二〇、〇〇 | 二六七 |
| 煉瓦(並燒三等) | 萬本 | 二五〇、〇〇 | 二六五 |
| 花崗石稻田(五切以下) | 一切 | 二、四〇 | 三六五 |
| 橫根澤(五切以下) | 同 | 二、五〇 | 四一八 |
| 須賀川(三切以下) | 同 | 一、五〇 | 三〇〇 |
| 大谷(三尺角) | 同 | 、四七 | 二三五 |
| 丸鐵(六分丸) | 十貫目 | 三、三五 | 一二〇 |
| 角鐵(六分角) | 同 | 三、四〇 | 一一三 |
| 平鐵(巾二寸厚二分) | 同 | 三、四五 | 一三五 |
| アングル(二吋半二分) | 同 | 三、三五 | 一一六 |
| ジョイスト(十吋三分) | 同 | 三、八五 | 一二〇 |
| チャンネル(七吋三分) | 同 | 四、〇〇 | 一二一 |
| 鐵板(4×8三分) | 同 | 三、九〇 | 一三〇 |
| 亞鉛引平板(三十番) | 一枚 | 、九八 | 一二三 |
| 同生子板(三十番六尺) | 同 | 、八三 | 一二八 |
| 銅板(完尺七十目付) | 一貫目 | 四、二〇 | 一四〇 |
| 丸釘(二寸十二番十六貫) | 一樽 | 八、〇〇 | 一二五 |
| 生松丸太(二間末口五寸) | 一本 | 二、四〇 | 三一九 |
| 杉二間(押四寸) | 同 | 一、七〇 | 二六二 |
| 檜二間(同) | 同 | 三、八〇 | 三四五 |
| 欅二間(山挽四寸並) | 同 | 四、二五 | 二八三 |
| 栂二間(山挽四寸眞去二寸無節) | 同 | 一八、〇〇 | 四〇一 |
| 松二間(挽材並) | 立方尺 | 二、〇〇 | 三三三 |
| 米松角材(マーチヤンタブル) | 同 | 、九〇 | 一一九 |
| 欅九尺巾尺二、一寸五分(挽材中等品) | 同 | 一七、〇〇 | 四二五 |
| 杉丸太(二間尺二秋田三方物) | 尺締 | 三〇、〇〇 | 四二九 |
| 檜丸太(二間尺二尾州三方物) | 同 | 六五、〇〇 | 四三三 |
| 杉二間板割(極摺八寸厚六分五厘) | 一枚 | 一、一五 | 二三〇 |
| 杉一間四分板(巾尺小節) | 同 | 、五〇 | 二五〇 |
| 北海松二間板割(極八寸厚六分) | 同 | 、五五 | 一六五 |
| 杉二間大貫二番 | 一丁 | 、三〇 | 一七六 |
| 松一間四寸敷居(並) | 同 | 、三五 | 二九二 |
| 松二間二寸角(同) | 一本 | 、三五 | 二九二 |
| 三州瓦並兩面磨(六四判引掛) | 百枚 | 九、五〇 | 二五〇 |
| 同地燒片面磨(切込棧) | 同 | 七、〇〇 | 三一九 |
| スレート(一等品並厚12×6) | 同 | 六、〇〇 | 二七三 |
| 石綿盤(灰白色一六吋) | | 二一、〇〇 | 一五〇 |
| 硝子四等品(並枚三八入) | 一箱 | 九、〇〇 | 一二二 |
| 同三等品(正一分六九入) | 仝 | 二一、〇〇 | 一七五 |
| 平均 | | | 二三九 |

昭和二年九月末現在

| 名稱 | 單位 | 價格 | 指數 |
|---|---|---|---|
| 割栗石(六ヶ村) | 川岸配立坪 | 三六、五〇 | 二七〇 |
| 砂利(玉川一寸) | 同 | 三四、〇〇 | 二五二 |
| 砂利(玉川六分) | 同 | 三七、〇〇 | 二二四 |
| 砂(玉川) | 同 | 一六、〇〇 | 三四七 |
| セメント(大樽) | 一樽 | 四、九〇 | 一四八 |
| 生石灰(鼠) | 十貫俵 | 、六二 | 二四八 |
| 煉瓦(燒過一等) | 萬本 | 三二〇、〇〇 | 二二八 |
| 同(燒過四等) | 同 | 二五〇、〇〇 | 二三八 |
| 同(並燒一等) | 同 | 三一〇、〇〇 | 二五八 |
| 同(並燒三等) | 同 | 二五〇、〇〇 | 二六五 |
| 花崗石稻田(五切以下) | 一切 | 二、二〇 | 三三四 |
| 橫根澤(五切以下) | 同 | 二、五〇 | 四一八 |
| 須賀川(三切以下) | 同 | 一、五〇 | 三〇〇 |
| 大谷(三尺角) | 同 | 、四七 | 二三五 |
| 丸鐵(六分丸) | 十貫目 | 三、四〇 | 一二一 |
| 角鐵(六分角) | 同 | 三、五〇 | 一一七 |
| 平鐵(巾二寸厚二分) | 同 | 三、五〇 | 一三七 |
| アングル(二吋半二分) | 同 | 三、七〇 | 一二八 |
| ジョイスト(十吋三分) | 同 | 三、九〇 | 一二二 |
| チャンネル(七吋三分) | 同 | 三、九〇 | 一一八 |
| 鐵板(4×8三分) | 同 | 四、〇〇 | 一三三 |
| 亞鉛引平板、三〇番) | 一枚 | 、九七 | 一二一 |
| 同生子板(三〇番六尺) | 同 | 、八二 | 一二六 |
| 銅板(定尺七〇目付) | 一貫目 | 四、二〇 | 一四〇 |
| 丸釘(二寸一二番一六貫) | 一樽 | 八、三〇 | 一二九 |
| 生松丸太(二間末口五寸) | 一本 | 二、四〇 | 三一九 |
| 杉二間(押四寸) | 同 | 一、七〇 | 二六二 |
| 檜二間(同) | 同 | 四、二〇 | 三八二 |
| 欅二間(山挽四寸並) | 同 | 四、〇〇 | 二六六 |
| 栂二間(山挽四寸眞去二方無節) | 一本 | 一九、二〇 | 四二八 |
| 松二間(挽材並) | 立方尺 | 二、〇〇 | 三三二 |
| 米松角材(マーチヤンタブル) | 同 | 、九〇 | 一一九 |
| 欅九尺巾尺二、一寸五分(方材中等品) | 同 | 一七、〇〇 | 四二五 |
| 杉丸太(二間尺二秋田三方物) | 尺〆 | 三〇、〇〇 | 四二九 |
| 檜丸太(二間尺二尾州三方物) | 同 | 六五、〇〇 | 四三三 |
| 杉二間板割(極摺八寸厚六分五厘) | 一枚 | 、九五 | 一九〇 |
| 杉一間四分板(巾尺小厚) | 同 | 、五〇 | 二五〇 |
| 北海松二間板割(極八寸厚六分) | 同 | 、五四 | 一六二 |
| 杉二間大貫二番 | 一丁 | 、三〇 | 一七六 |
| 松一間四寸敷居(並) | 同 | 、三三 | 二七五 |
| 松二間二寸角(同) | 一本 | 、三三 | 二七五 |
| 三州瓦並兩面磨(六四判引掛) | 百枚 | 九、〇〇 | 二三七 |
| 同地燒片面磨(切込棧) | 同 | 七、〇〇 | 三一九 |
| スレート(一等品並厚12×6) | 同 | 六、〇〇 | 二七三 |
| 石綿盤(灰白色一六吋角) | 同 | 二一、〇〇 | 一五〇 |
| 硝子四等品(並板三八入) | 一箱 | 九、〇〇 | 一二二 |
| 同三等品(正一分六九入) | 同 | 二〇、〇〇 | 一六七 |
| 平均 | | | 二三七 |

## 大阪主要建築材料價格並指數表

昭和二年六月末現在

| 名稱 | 單位 | 價格 | 指數 |
|---|---|---|---|
| 栗石(市內河岸渡) | 立坪 | 二六、五〇 | 三三一 |
| 砂利(同) | 同 | 二九、〇〇 | 三二三 |
| 川砂(同) | 同 | 一四、〇〇 | 六〇八 |
| セメント(同) | 樽 | 五、五〇 | 二二〇 |
| 石灰土佐產 | 俵 | 、七〇 | 二六九 |
| 生石灰 | 十貫 | 、八〇 | 三七〇 |
| 煉瓦並燒一等(市內河岸渡) | 千個 | 二三、〇〇 | 二五六 |
| 同二等品(同) | 同 | 二一、五〇 | 二六九 |
| 同燒過一等品(同) | 同 | 二四、〇〇 | 二五三 |
| 煉瓦燒過二等品(同) | 同 | 二二、〇〇 | 二五九 |
| 空洞煉瓦三枚掛用 | 同 | 一一〇、〇〇 | 〇二二 |
| 花崗石(北米產荒石五戈以下) | 切 | 二、〇〇 | 三三三 |
| 龍山石(青本四五) | 間 | 一、九〇 | 二七一 |
| 間知石(控二尺) | 面坪 | 二三、〇〇 | 三一九 |
| 三尺板石(中切) | 坪 | 二三、〇〇 | 三一九 |
| 丸鐵(徑四分ヨリ八分マデ平均) | 十貫 | 三、六五 | 〇九一 |
| 角鐵(四分ヨリ八分マデ平均) | 同 | 三、八五 | 〇九九 |
| 平鐵(二吋ヨリ二吋半厚一分ヨリ二分) | 同 | 四、一〇 | 〇七九 |
| アングル(二吋ヨリ五吋マデ等邊) | 十貫 | 四、一〇 | 〇九八 |
| ジョイスト(四吋ヨリ一二吋マデ平均) | 同 | 四、四〇 | 〇九一 |
| チャンネルプレート(同) | 同 | 四、六〇 | 一〇七 |
| 厚一分ヨリ三分マデ平均 | 同 | 四、四〇 | 〇八四 |
| 亞鉛引平板三十番 | 枚 | 一、〇五 | 一〇五 |
| 同浪板六尺 | 同 | 、九〇 | 一〇八 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 銅板十オンス(磨板定尺モノ) | 百片 | 七〇、〇〇 | 一三五 |
| 洋釘　(二吋半) | 一六貫 | 一、八六〇 | 一二三 |
| 生松丸太(二間末口五寸)本 | | 二、四〇 | 二四〇 |
| 杉二間四寸角(二等品)才 | | 一五 | 三〇〇 |
| 松二間挽立材(大サ八寸以下) | 尺〆 | 二四、〇〇 | 三一四 |
| 檜二間同(眞持小節八寸以下) | 同 | 四八、〇〇 | 三一四 |
| 臺灣檜同(眞去無節尺以下) | 同 | 九〇、〇〇 | 一一三 |
| 杉窓枠材(眞去小節)同 | 同 | 四三、〇〇 | 二三五 |
| 規造作材(同無節) | 同 | 二〇〇、〇〇 | 三五四 |
| 栂山角　(同) | 同 | 九二、〇〇 | 三八三 |
| 米利堅松角材(並通品一等材) | 立方尺 | 、九五 | 一四二 |
| 同平材　(同) | 同 | 一、三五 | 一三五 |
| 同床板(巾六吋厚一吋一等材) | 百呎 | 七、〇〇 | 一五六 |
| チーク角材(同) | 立方尺 | 六、五〇 | 二四八 |
| 同板子材　(同) | 同 | 七、五〇 | 三二八 |
| 杉六分板(小節巾七吋以下)坪 | | 三、一〇 | 三四四 |
| 杉板割(並材巾六吋)同 | | 三、四〇 | 三四三 |
| 北海松同　(同) | 同 | 一、七〇 | 二二〇 |
| 杉四一貫　(並) | 丁 | 三八 | 二一〇 |
| 杉木摺小舞 | 坪 | 一、一〇 | 一六九 |
| 亞鉛引平板三十番 | 枚 | 一、〇五 | 一〇五 |
| 同浪板六尺　同 | | 、九〇 | 一〇八 |
| 鋼板十オンス(磨板定尺モノ) | 百斤 | 七〇、〇〇 | 一三五 |
| 洋釘　(二吋半) | 一六貫 | 一、八六〇 | 一二三 |
| 生松丸太(二間末口五寸)本 | | 二、四〇 | 二四〇 |
| 杉二間四寸角(二等品)才 | | 一五 | 三〇〇 |
| 松二間挽立材(大サ八寸以下) | 尺〆 | 二四、〇〇 | 三一四 |
| 檜二間同(眞持小節八寸以下) | 同 | 四八、〇〇 | 三一四 |
| 臺灣檜同(眞去無節尺以下) | 同 | 九〇、〇〇 | 一一三 |
| 杉窓枠材(眞去小節)同 | 同 | 四三、〇〇 | 二三五 |
| 規造作材(同無節) | 同 | 二〇〇、〇〇 | 三五四 |
| 栂山角　(同) | 同 | 九二、〇〇 | 三八三 |
| 米利堅松角材(並通品一等材) | 立方尺 | 、九五 | 一四二 |
| 同平材　(同) | 同 | 一、三五 | 一三五 |
| 同床板(巾六吋厚一吋一等材) | 百呎 | 七、〇〇 | 一五六 |
| チーク角材(同) | 立方尺 | 六、五〇 | 二四八 |
| 同板子材　(同) | 同 | 七、五〇 | 三二八 |
| 杉六分板(小節巾七吋以下)坪 | | 三、一〇 | 三四四 |
| 杉板割(並材巾六吋)同 | | 三、四〇 | 三四三 |
| 北海松同　(同) | 同 | 一、七〇 | 二二〇 |
| 杉四一貫　(並) | 丁 | 三八 | 二一〇 |
| 杉木摺小舞 | 坪 | 一、一〇 | 一六九 |
| 松四一貫　(並) | 丁 | 、三八 | 二一〇 |
| 瓦淡路(兩面磨六四桟瓦) | 屋根坪 | 八、〇〇 | 三九八 |
| 瓦中和泉　(同) | 同 | 一、〇三 | 三三〇 |
| 瓦谷　川　(同) | 同 | 一三、五〇 | 三六四 |
| 土居葺(杉機械扮一等品二吋五分) | | 一、一五 | 二三〇 |
| 石綿盤葺手間共(十六吋角二吋半重ネ下葺一號フエルト) | 同 | 一三、〇〇 | 二六〇 |
| 天然スレート一等黑色 | 同 | 一、一五 | 二三〇 |
| (葺足四寸以下葺一號フエルト) | 同 | 一三、〇〇 | 二六〇 |
| 板硝子並一分(ハメ込ニテ手間共) | 平方尺 | 、一五 | 一二五 |
| 同正一分　(同) | 同 | 、二〇 | 一〇五 |
| 同磨二分(長二尺巾二尺以内) | 同 | 一、八〇 | 二〇〇 |
| 同綿二分(長五尺巾三尺)枚 | | 五、三〇 | 一八九 |
| ペンキ三回塗 | 面坪 | 二、五〇 | 三五七 |
| ワニス四回塗 | 同 | 三、五〇 | 二六九 |
| 平　均 | | 二、一〇 | 二一九 |
| 昭和二年九月末現在 | | 二六、〇〇 | 三二五 |
| 栗石(市内河岸渡) | 立坪 | 二九、〇〇 | 三二三 |
| 砂　利　(同) | 同 | 一四、〇〇 | 六〇八 |
| 川　砂　(同) | 同 | 一、六九 | 一六九 |



| | | | |
|---|---|---|---|
| 瓦淡路(兩面磨六四桟瓦) | 屋根坪 | 八、〇〇 | 三九八 |
| 瓦中和泉　(同) | 同 | 一、〇三 | 三三〇 |
| 瓦谷　川　(同) | 同 | 一三、五〇 | 三六四 |
| 土居葺(杉機械扮一等品二吋五分) | | 一、一五 | 二三〇 |
| 石綿盤葺手間共(十六吋角二吋半重ネ下葺一號フエルト) | 同 | 一三、〇〇 | 二六〇 |
| 天然スレート一等黑色 | 屋根坪 | 七、五〇 | 一一五 |
| (葺足四寸以下葺一號フエルト) | 同 | 一三、〇〇 | 二六〇 |
| 板硝子並一分(ハメ込ニテ手間共) | 平方尺 | 、一五 | 一二五 |
| 同正一分　(同) | 同 | 、二〇 | 一〇五 |
| 同磨二分(長二尺巾二尺以内) | 同 | 一、八〇 | 二〇〇 |
| 同綿二分(長五尺巾三尺)枚 | | 五、三〇 | 一八九 |
| ペンキ三回塗 | 面坪 | 二、五〇 | 三五七 |
| ワニス四回塗 | 同 | 三、五〇 | 二六九 |
| 平　均 | | 二、一〇 | 二一九 |
| 昭和二年九月末現在 | | 二六、〇〇 | 三二五 |
| 栗石(市内河岸渡) | 立坪 | 二九、〇〇 | 三二三 |
| 砂　利　(同) | 同 | 一四、〇〇 | 六〇八 |
| 川　砂　(同) | 同 | 一、六九 | 一六九 |
| セメント　(同) | 樽 | 五、〇〇 | 二〇〇 |
| 石灰土佐產 | 俵 | 、七〇 | 二六九 |
| 生　石　灰 | 十貫 | 、八〇 | 三七〇 |
| 煉瓦並燒一等 | 千個 | 二三、〇〇 | 二五六 |
| 同　二等品(同) | 同 | 二一、五〇 | 二六九 |
| 同燒過一等品(同) | 同 | 二四、〇〇 | 二五三 |
| 同二等品　(同) | 同 | 二二、〇〇 | 二五九 |
| 空洞煉瓦三枚掛用 | 同 | 一一〇、〇〇 | 〇二二 |
| 花崗石(北米產荒石五寸以下) | 切 | 二、〇〇 | 三三三 |
| 龍山石(青木四五) | 間 | 一、九〇 | 二七一 |
| 間知石(控二尺) | 面坪 | 二三、〇〇 | 三一九 |
| 三尺板石(中切) | 坪 | 二三、〇〇 | 三一九 |
| 丸鐵(徑四分ヨリ八分マデ平均) | 十貫 | 三、六〇 | 〇九〇 |
| 角鐵(四分ヨリ八分マデ平均) | 同 | 三、八〇 | 〇九七 |
| 平鐵(二吋ヨリ二吋半厚一分ヨリ二分) | 同 | 四、〇〇 | 〇七七 |
| アングル(二吋ヨリ五吋マデ等邊) | 十貫 | 四、〇〇 | 〇九五 |
| ジョイスト(四吋ヨリ一二吋マデ平均) | 同 | 四、三〇 | 〇八九 |
| チャンネル(同) | 同 | 四、五〇 | 一〇五 |
| プレート(厚一分ヨリ三分マデ平均) | 同 | 四、三〇 | 〇八三 |

昭和二年十一月に於ける十三都市卸賣物價指數（大正十年乃至十二年の全三箇年平均價格を一〇〇とし單純算術平均の方法に依り算出せるもの）は總平均八七・一にして之を前月の八七・六に比較すれば六厘の低落に當り調査品目五十六種中前月に比し騰貴せるもの十三品、低落せるもの二十二品、保合のもの二十一品なり而して之を十三都市別に觀れば平均指數の最も高きは福岡の九一にして金澤の九〇、高知の八九、神戸、京都及横濱の各八八、仙臺の八七、大阪、名古屋、廣島、小樽及新潟の各八六、東京の八五の順序にして又之を八大分類別に觀れば平均指數の最も高きは肉類の一〇〇・三にして雜類の九七・八、穀類の九七・六、調味及嗜好品の九七・一、燃料の八八・四、肥料の八〇・〇、衣料品の七九・五順次に之に亞き其最も低きは建築材料の七四・七なり然れども之を各其前月に比較すれば建築材料は九厘、雜類は五厘、肉類は三厘燃料は二厘の騰貴を示し之に反して穀類は二分九厘、衣料品は一分六厘、調味及嗜好品は九厘、肥料は四厘の何れも低落を示せり尙ほ本月の總平均を前年同月に比較すれば三分三厘の低落に當る

◎都市卸賣物價概況　商工省の調査に係る昭和二年十一月の十三都市卸賣物價概況左の如し（商工省）

建築材料十三都市別卸賣物價指數

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| セメント | 六〇 | 五八 | 六六 | 五八 | 六三 | 六二 | 六八 | 六五 | 五七 | 七〇 | 五九 | 五八 | 七一 | 六三 | 六四 | 七四 |
| 煉瓦 | 八二 | 八六 | 八〇 | 七一 | 六八 | 七〇 | 八一 | 九三 | 九八 | 九一 | 七六 | 七八 | 七八 | 八一 | 八一 | 八九 |
| 瓦 | 六四 | 五八 | 七一 | 一四七 | 五四 | 七六 | 六八 | 八六 | 一〇四 | 一〇八 | 七三 | 六七 | 七五 | 八一 | 七八 | 七七 |
| 銑鐵 | 七七 | 八八 | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | 八三 | 八三 | 八三 |
| 丸鐵 | 七一 | 七四 | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | 七三 | 七一 | 七六 |
| 鋼板 | 八一 | 八九 | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | 八五 | 八六 | 七五 |
| 電氣銅 | 一〇九 | 七八 | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | ｜ | 九四 | 九一 | 一〇五 |
| 亞鉛鍍板 | 六四 | 六五 | 六九 | 六三 | 六六 | 八二 | 六二 | 七九 | 六〇 | 六三 | 六八 | 六四 | 七九 | 六八 | 六七 | 七八 |
| 鐵力板 | 九四 | 七九 | 九二 | ｜ | 八五 | 七一 | 八四 | 七七 | ｜ | 八一 | 八五 | 九〇 | 八四 | 八四 | 八七 | 九一 |
| 丸釘 | 五三 | 五三 | 五四 | 五四 | 五七 | 五六 | 五六 | 五三 | 五三 | 五三 | 五四 | 五五 | 五二 | 五四 | 五四 | 五七 |
| 角山杉材 | 六四 | 六三 | 六五 | 七三 | 七二 | 七八 | 七四 | 七九 | 六五 | ｜ | 七八 | 九一 | 五五 | 七二 | 七一 | 七〇 |
| 杉板 | 五一 | 五一 | 五〇 | 五三 | 五三 | 八二 | 六二 | 六九 | 四三 | ｜ | 五九 | 六五 | 四九 | 五七 | 五四 | 六七 |
| 疊表 | 七七 | 八四 | 六七 | 七五 | 七八 | 八二 | 八一 | 八三 | 八三 | 八二 | 七三 | 八六 | 五四 | 七七 | 七六 | 七六 |
| 平均 | 七三 | 七一 | 六八 | 七四 | 六六 | 七三 | 七一 | 七五 | 七〇 | 七八 | 六九 | 七三 | 六六 | 七四・七 | 七四・〇 | 七八・二 |



# 第四編 學藝會

## 建築關係學校

### 大學

■東京帝國大學工學部建築科　東京市本鄕區元富士町に所在し、工學部長塚本靖氏、建築科長佐野利器氏、其沿革は明治十八年東京大學工藝學部と工部大學を合併したるに其基を置き、明治十九年勅令第三號帝國大學令の公布に依り帝國大學內工科大學となり、大正七年勅令第十二號を以て帝國大學令改正せられ同年現在の工學部となり、其の學部を十一學科に分ち建築科は其一である。而して建築科は明治六年工學部に造家學科を置かれた所に端を發し、同九年英人コンドル氏を聘して洋式建築の養成の任に當らしめ同十二年十一月に第一回卒業生を產み爾後現在に及んだのである。其設備は陳列室其他講義の說明、計畫製圖の參考及實驗の用に供する爲め須要の標本模型並に器械を整備して有る。參考として建築科の講義並に擔任講師左の如し

(備考講師並教授報告の分丈掲載す)

以下同じ

建築計畫工博塚本靖氏、建築史同伊東忠太氏、建築構造(第二)同佐野利器氏、東洋建築史同關野貞氏、建築構造(第一)內田祥三氏、彫塑術新海作太郎氏、建築施工法同山下壽郎氏、庭園學大江新太郎氏、建築材料工博中村達太郎氏、自在畫同石井萬吉氏、建築學第一講座分擔同伊豫田實氏、建築學製圖同武藤清氏、建築學第一講座分擔大澤邦吉氏、建築學製圖同二見秀雄氏、濱田稔氏、建築學助教授岸田日出刀氏である。

■京都帝國大學工學部建築科　京都市上京區吉田町に所在し、工學部長松村鶴造氏、建築科長工學博士武田吾一氏、其沿革は明治三十年九月理工科大學を開設し、大正三年七月理工大學を分離し新に工科大學を開設し、同八年二月帝國大學令改正に依り工科大學は工學部と改稱、同九年九月建築科を設置した。

■早稻田大學理工學部建築學科　東京府豐多摩郡戶塚町大字下戶塚六四七に所在し、工學部長山本忠興氏、建築科長工學博士內藤多仲氏、其沿革は明治四十一年二月理工科新設、同四十二年二月建築學科豫科開始同四十三年九月建築科本科授業開始、大正九年四月大學令に依り早稻田大學理工科を早稻田大學理工學部と改稱、同八年三月九月及四月高等豫科第五部修了者中第一種を理工學部第一學年に入學許可した。建築學科の設備は製圖教室特別教室各一棟、標本室は意匠部構造部の二室、又東洋建築と西洋建築との二種に分ち模型標本を備ふ。

### 專門學校

■東京高等工業學校建築科　東京府荏原郡碑衾村大字衾大岡山所在、校長中村幸之助氏建築科長前田松韻氏。其沿革は明治十四年五月東京職工學校の名を以て淺草藏前に創設せられ、同二十三年附屬職工徒弟學校を置く。同年三月東京工業學校と改稱。同二十七年六月工業教員養成所を設け本校長の監理とす。同三十三年三月工業教員養成所に附屬工業補習學校を設く、同三十四年五月東京高等工業學校と改稱。同三十五年三月工業教員養成所を本校の附設工業教員養成所附屬工業補習學校を本校の附屬に改む。大正十年三月附屬職工徒弟學校廢止、同十三年三月附屬工業補習學校廢止、同年四月本校の位置を荏原郡碑衾村大字衾大岡山に變更した。修業年限三ヶ年。

■名古屋高等工業學校建築科　名古屋市中區御器所町所在、校長工學博士森彥三氏、建築科長土屋純一氏である。其沿革は明治三十八年二月の創立になり、建築外四科を設置して建築科は

修業年限三ヶ年、同四十一年八月研究生及選科生の規程を設けた。

■横濱高等工業學校建築科　横濱市大岡町所在　校長は鈴木達治氏、建築科長中村順平氏、大正九年四月開校し大正十二年の大震火災に罹り校舍及設備の大部分を烏有に歸したが、鋭意復興に努力し災後一ヶ年を經ずして復舊の功を擧げた。大正十四年三月建築科を新設す。建築科外三科を設置し、修業三ヶ年である。

■神戸高等工業學校建築科　（電本局四三）神戸市水笠通二丁目所在、校長廣田精一氏、建築科長古宇田實氏、其沿革は大正六年八月兵庫縣知事より設置を申請し兵庫縣及神戸市より金九萬八千圓の創立費寄附を申出たるに依り寺內內閣時代岡田文部大臣之を許可した。同十年十二月九日勅令を以て官制を公布せられ、同十一年四月第一回入學生を收容し授業を開始した。建築科の外に電氣機械の二科あり、修業年限三ヶ年である。

■福井高等工業學校建築科　福井縣吉田郡西藤島村所在、校長關盛治氏建築科長坂部保治氏、大正十二年十二月十日勅令第五百一號を以て文部省直轄諸學校官制を改正して福井高等工業學校設置の件を公布せられ大正十三年四月より授業を開始した。建築科外四科を設置す修業年限三ヶ年、選科二ヶ年である。

■東京美術學校建築科　東京市下谷區上野公園　西四軒寺跡所在、校長正木直彥氏建築科主任岡田信一郎氏、其沿革は明治二十年十月勅令第五十一號を以て設置せられ同二十二年二月授業開始大正三年九月文部省令第二十八號を以て本校各科の規程を定め此省令に依り豫備科は各科に分屬せられ圖案科は第一部工藝圖案、第二部建築裝飾に分つ、大正十二年五月文部省令第二十五號を以て建築科を置く。

■南滿洲工業專門學校建築科　南滿洲大連市伏見町所在、校長今景彥氏建設工學科長岡大路氏建築分科主任鈴木順三氏、明治四十四年五月南滿洲鐵道株式會社が南滿洲工業專門學校と命名して創立、大正十一年四年南滿洲工業專門學校と改稱し組織を改む。入學資格は中學校を卒業したる者專門學校入學者規程に依り試驗檢定に合格したる者、若くは文部大臣に於て之と同等以上の學力ありと認定せられた者である。修業年限を三ヶ年とし專門學校令に依る徵兵猶豫の特典あり。猶ほ寄宿舍の設備もある。

■朝鮮京城東崇洞所在、校長工學博士三山喜三郎氏、建築科長小河弘道氏。創立大正五年四月京城工業專門學校と稱し同十一年四月朝鮮敎育令の改正に伴ひ組織を改め京城高等工業學校と稱す。入學資格は中學校卒業、修業年限三ヶ年である。

■私立攻玉社高等工業學校　東京府荏原郡大崎町桐ヶ谷所在、校長工學博士丹羽鼎彥氏、修業年限三ヶ年、入學資格中學校卒業程度。

■日本大學高等工學校　東京市神田區駿河臺北甲賀町十二所在、校長工學博士佐野利器氏、土木科々長工學博士茂庭忠次郎氏、建築科々長工學士笠原敏郎氏、機械科々長工學博士竹村勳吾氏にして修業年限二ヶ年、入學資格中學校卒業程度、尙專攻科の設けあり。

■東京工業專修學校　東京市麻布區新堀町七所在、校長工學博士中村幸之助氏、財團法人組織である。科別は建築、機械、電氣、應用化學、修業年限三ヶ年、入學資格中學卒業。

## 中等學校

■私立東京工科學校　東京市神田區錦町三ノ一〇所在、校長梅小路定行氏、建築科の外に五科を設置す、入學資格小學校卒業程度である。

■中央工學校　東京市神田區仲猿樂町所在、校長は林練作氏にて修業年限二ヶ年半、入學資格小學校卒業程度である。

■東京建築學校　東京市神田區三崎町水道橋際にあり、校長秋元春朝氏、修業年限二ヶ年半、入學資格小學校卒業程度である。

■私立目白工學校　東京府下目白下落合四三七所在、校長柏原文太郎氏、修業年限二ヶ年半、入學資格小學校卒業程度である。

■私立東京商工學校　東京市神田區淡路町二ノ一所在、校長山下谷次氏、建築科の外五科を併置す、修業年限二ヶ年半、外に高等科半ヶ年、入學資格小學校卒業程度。

■私立法政大學工業學校　東京市麹町區富士見町四ノ一二所在、校長法學博士松室致氏、建築科の外に土木科を設置す、修業年限四ヶ年、入學資格小學校卒業程度である。

■私立日本大學商工學校　東京市本所區横網町所在、校長加納金助氏、建築科長高橋貞太郎氏夜間授業にして修業年限二ヶ年半、入學資格小學校卒業程度である。

■私立保善工業學校　（電墨五四九五）東京市本所區横網町にあり、校主安田善次郎氏、修業年限二ヶ年半、入學資格小學校卒業程度。

■私立工手學校　東京市外淀橋町字角筈所在、校長は的場中氏である。明治二十一年創立、同三十一年財團法人に組織を改め、本科は土木、機械、電工、建築、造船、採鑛、冶金、應用化學の八科で豫科を設け修業年限は始め本科二ヶ年豫科半ヶ年であつたが現制は本科一ヶ年半豫科一ヶ年とした。大正二年九月電工學科に修業年限一ヶ年の高等科を設け更に大正十一年九月土木、機械、建築の三學科に高等科を增設した

■東京高等工商學校　第二校舍市外大森町諏訪（電話大森三〇三二八番）第二校舍芝區芝浦町三丁目（電話高輪一五七〇番）主木建築の外電氣工學科、商業學科、入學資格中學校卒業程度。

■私立早稻田大學附屬早稻田工手學校　東京市外戸塚町、校長理學博士德永重康氏、建築科主任工學博士內藤多仲氏、明治四十四年三月創立、大正十一年三月規定變更、修業年限を三年とし之を豫科三期、本科二期、高等科一期としてゐる。早稻田大學の建物全部を共用し電氣工學實驗場、機械工學實驗場其他の設備がある。

■東京府荏原郡大崎町大字桐ヶ谷字小平四七七所在、校長大沼文哉氏、文久三年癸亥年舊烏羽藩士故近藤眞琴氏の創立になり爾來度々組織を改正し明治三十四年十二月工學校と改稱し土木科中に建築の一科を加へ進んで大正九年九月現在の組織に改め新に建築科を設け修業年限を豫科六ヶ月本科一年六ヶ月としたる。入學資格は豫科中學第二年修了の者若しくは之と同等以上の學力を有する者、本科初級は中學入學資格は豫科中學第四學年修了の者若くは之と同等以上の學力を有する者、本科初級は中學有するものである。

■東京工學校　東京市本鄕區眞砂町一八所在、校長工學博士加茂正雄氏、建築科長久野節氏である。入學資格尋常小學校卒業程度で修業年限は二ヶ年である。

■私立岩倉鐵道學校　東京市下谷區上車坂町五七所在、校長由田英太郎氏、造家科の外に四科を設置す、財團法人の組織で明治三十年の創立である。入學資格は中學校二學年修業程度若しくはそれと同等以上の學力を有する者で卒業年限は二ヶ年半である。

■私立日本鐵道學校　東京市赤坂區南町六丁目東京農業大學內所在、校長荒川五郎氏、建築科の外に三科を設置す、修業年限二ヶ年半、入學資格小學校卒業程度。

■私立關西工學專修學校　（電北二二五八）大阪市北區樋之口町所在、校長工學博士井岡安氏、建築科長池田實氏、修業年限晝間部三ヶ年半、夜間部二ヶ年半である。入學資格は中學校二學年修業程度の學力ある者としてある。

■私立關西商工學校　大阪市西淀川區大仁町所在校長工學博士本賀義美氏、建築科長池田實氏明治三十五年十月の創立である。修業年限は二ヶ年、入學資格は滿十四歲以上の男子で相當の學力ある者は無試驗入學を許す。建築科外六科を設置す。

■東京府立實科工業學校　東京市本所區林町二丁目所在、校長津田信良氏、建築科長伊藤谷藏氏、家具科、染工科長中根武氏、明治三十二年二月設立、職工學校と稱し建築科、家具科其他に四分科を置き修業年限を三ヶ年とした。大正

五年四月左官科、塗工科其他二分科を增設、同九年四月實科工業學校と改稱、同十四年四月學則を改正し建築科の修業年限五ヶ年其他は三ヶ年である。入學資格高等小學校卒業程度である

■藏前工業專修學校　東京市芝區三田四國町に所在し、校長工學博士吉武榮之進氏、財團法人の組織で入學資格は初等工業部尋常小學校卒業程度、中等工業部は高等小學校卒業程度、高等工業部豫科は中學校四學年修業程度で、修業年限は初等工業部中等工業部高等工業部は各二ヶ年、高等工業部は一ヶ年である。

■京都市立第一工業學校　京都市上京區烏丸通り上立賣上る所在、校長岩森彌助氏、建築科長高丘治季氏、明治二十七年十月創立京都市立染織學校と稱し同年十一月假校舍で授業を開始、同二十八年四月釜座通椹木町上ル新校舍に移轉同八年四月京都市立工業學校と改稱した。入學資格は小學校卒業程度である。建築科外五科を設置す、修業年限五ヶ年。

■大阪府立西野田職工學校　大阪市此花區大岡町二丁目所在、校長飯田吉三郎氏、建築部長酒井勇三郎氏、明治四十一年四月設立晝間修業年限三ヶ年、同四十一年十二月附設高等補習學校開始夜間修業年限四ヶ月、大正三年今泉分校開始同五年分校獨立、同六年四月大阪工業專修學校中等部附設、同十一年高等科修業年限五ヶ年を新設した。

■大阪府立今宮職工學校　大阪市西成區西四條二丁目所在、校長佐藤秀也氏、建築科長嬉野武氏である、大正三年四月開校建築科外四分科を置く。同六年四月より夜間部增設二部制とし同十一年四月より晝間部を本科高級科として高級科生に對しては中學校と同等の學校と認定せられた。入學資格は小學校卒業程度である。

■大阪市立都島工業學校　大阪市北區善源寺町にあり、校長杉田稔氏、建築科外三科に分つ修業年限は豫科二ヶ年本科四ヶ年で入學資格は尋常小學校卒業程度と改めた。建築科外四科を設置す。

■兵庫縣立工業學校　神戸市兵庫大開通、校長三木昌吉氏、明治三十五年十一月創立さる建築科の外に四科を置く修業年限四ヶ年とす。

■神奈川縣立工業學校　橫濱市神奈川町平尾前二七〇〇所在、校長秋山岩吉氏、建築部、家具部長仙波昇作氏である。明治四十四年五月開校同時に建築科を設置、修業年限三ヶ年とし入學資格を高等小學校卒業程度としたが大正四年四月圖案科を增設し且つ家具科を建築科より分立同十年四月修業年限を五ヶ年とし入學資格を小學校卒業程度と改めた。建築科外四科を設置す學校卒業程度若くは之と同等以上の學力を有する者である。建築科外三科を設置す。

■栃木縣立宇都宮工業學校　宇都宮市西原町所在、校長安美賀氏、建築科長岩井多喜一郎氏、大正十一年七月創立、建築、木工、土木の三科を設置し、同十三年學則を改め五年制度とした入學資格は小學校卒業程度である。

■奈良縣立吉野工業學校　奈良縣吉野郡吉野村大字飯貝所在、校長本橋重治氏、明治三十七年四月創立吉野郡立吉野實業學校と稱し、大正七年四月組織變更同時に校名を奈良吉野工業學校と改稱、同十一年四月縣營移管豫科本科の區別を廢し五ヶ年制度の工業學校とし建築、工藝の二科を存す。入學資格小學校卒業程度。

■神戸工業高等專修學校　神戸市水笠通二丁目所在、校長廣田精一氏、建築科外三科を併置して居る。入學資格は中學校第二學年修業程度若しくは之と同等以上の學力を有する者、修業年限三ヶ年である。

■三重縣津市立工業學校　三重縣津市愛宕町所在、校長清水德松氏、市の設立に係り大正六年四月創立、建築科、木材工藝科の二科を有し、修業年限は本科三ヶ年、研究科二ヶ年、入學資格は高等小學校卒業程度である。

■名古屋市立工藝學校　南區熱田西町、校長深見久七氏、木工科主任香取五郎氏である。大正六年二月の創立に係り木工科圖案科金工科を置く、大正十年修業年限三年を五年に變更す。





■名古屋工業學校　東區御器所町所在、校長林聖徽氏、大正九年四月創立學科は土木、建築、機械、電工の四科にして各第一部(晝間)第二部(夜間)を設け更に第二部は前期(四月入學)後期(十月入學)の二とす、修業年限第一部は四ヶ年第二部は二ヶ年とす、聽講生の設備あり一科又は數ヶ目を選び聽講することが出來る。

■靜岡縣立濱松工業學校　濱松市濱松寺島町所在、校長山本又六氏、建築科長大井宗二氏、大正七年三月開校し同十三年四月より修業年限二ヶ年の建築科を增設ず。

■市立甲府工藝學校　甲府市工町に所在し、校長管井知守氏、建築科長溝口松雄氏である。大正六年四月實徒弟學校令により設置、指物挽物の二科を置く、同七年四月新に漆工科を加設、同十年四月漆工科を塗工科と改稱し別に建築科を加設した、入學資格は高等小學校卒業程度である。建築科外三科を設置す、修業年限四ヶ年入學資格は高等小學卒業程度である。

■長野縣立長野工業學校　長野縣上水內郡岸田村大正六年八月創立、修業四ヶ年、建築科、土木の外四科を設置す。

■島根縣立工業學校修道館　松江市大正町所在校長椅元喜藏氏、建築科長安東忠士氏、明治四十年開校、翌四十一年四月縣立に變更、大正十年四月選科(修業一ヶ年)を加設す。修業年限三ヶ年、入學資格高等小學卒業程度、建築科の外二科を設置す。

■岡山縣立岡山工藝學校　岡山市東古松に所在し、校長浦上時次郎氏、木工科長は福田淡氏である。大正三年設立、科目は木工、金工、塗工の三科である。

■廣島縣立廣島工業學校　廣島市千田町沖一ノ割所在、校長は勢家純藏氏、建築科長玉井隆五郎氏、明治三十年八月廣島縣職工學校設置、大正五年二月校名を廣島縣立廣島工業學校と改稱した、科目は建築、電氣、機械の三科にして修業年限四ヶ年、入學資格高等小學校の卒業程度である。尚附設廣島縣立補習學校の設備がある。

■廣島縣立二十日市工業學校　廣島縣佐伯郡二十日市町所在、校長佐々木章夫氏、建築科、家具科を設置し、修業年限三ヶ年、入學資格高等小學卒業程度である。尚附設として修業年限二ヶ年の塗料挽物兩選修科がある。

■和歌山縣立工業學校　和歌山市撞木町所在、校長竹森良一氏、建築科長小川幸三氏、大正三年貳月設立、同年建築科指物科を設置、同四年應用化學科を加設、指物科を家具科と改稱す、修業年限三ヶ年、入學資格高等小學卒業程度である。尚特設として夜間教授の專修科がある。自十月至十二月の三ヶ月を一期として四期修了す。

■德島縣立工業學校　德島市前川町所在、校長は老田他鹿藏氏、建築科長川口辰治郎氏、明治三十五年十一月開校、高等小學校卒業程度を以て入學資格としたが大正十一年四月入學資格を尋常小學卒業程度とし本科の修業年限を五ヶ年に延長し附設職工徒弟學校を廢止して修業二ヶ年の專修科家具科を設置した。科目は本科の染織科、建築科と專修科家具科とである。

■香川縣立工藝學校　高松市宮脇町所在、校長山本正三郎氏、明治三十一年三月創立、本科修業年限を五ヶ年として入學資格を小學校卒業程度とす。彫金、鑄金、鎚金、家具、彫刻、蒔繪、螺鈿、建築の八科に分れる。尚附設として建築製圖、彫刻科の專修科生を每年二期に募集し夜間教授す。

■愛媛縣松山工業學校　松山市南味酒町所在、校長池內勉氏、明治四十二年九月創立、科目は土木科、建築科、家具科の三科で修業年限三ヶ年にして入學資格は高等小學程度である。

■福岡縣立福岡工業學校　福岡市東港町所在、校長は藤川勝丸氏、建築科長今村新吉氏、明治二十九年四月開校、三十五年採鑛科を加設し同三十六年に修業年限三ヶ年を四ヶ年に延長し、大正二年に專修科を設け、同十四年に專修科を廢止す。科目は染織、機械、採鑛、應用化學建築に分つ。入學資格高等程度。

■福岡縣立浮羽工業學校　浮羽郡田主丸町所在　校長及建築科主任は渡邊安藏氏である。明治三十九年設立、同四十年六月竹工科設置、同四十五年竹工科廢止、大正六年四月塗物專修科設置　同十年三月同科廢止同十二年四月縣へ移管。

■福岡縣立大牟田工藝學校　福岡縣大牟田市明治町所在、建築科外二科を有し大正十一年六月の創立、修業年限は本科三年、入學資格は尋常小學校卒業程度である。

■宮崎縣立宮崎工業學校　（電五五九）宮崎市上別府所在、校長中村速一氏、建築科長鹿島透氏　明治三十七年十二月宮崎郡立職業學校として創立認可、大正十年三月縣立工業講習所となり同十二年五月に宮崎縣立工業學校創立認可を受けた。建築、家具、塗工の三科がある。

■鹿兒島縣立加治木工業學校　鹿兒島縣姶良郡加治木町所在、校長秋山信太郎氏、明治四十三年六月創立、建築、家具の二科あり修業年限三ケ年、入學資格は高等小學校卒業程度である。

■鹿兒島縣立工業學校　鹿兒島市草牟田町所在　校長竹內次夫氏、建築科長宇都眞吾氏、大正八年五月設立認可を受く。修業年限三ケ年。

■鹿兒島縣立薩南工業學校　鹿兒島縣川邊郡知覽村、分校同郡枕崎町所在、校長鈴木壽貫氏、建築科長村永水江氏、明治四十二年九月知覽村立工業徒弟學校設立、大正十四年四月更に薩南工業學校と改稱し、郡制廢止と共に縣立となる　修業年限三ケ年。

■熊本縣立工業學校　熊本縣飽託郡七江村所在　明治三十三年四月設立、同四十三年竹工科設置、同四十五年竹工科廢止、校長竹村得太郎氏、建築科は本科と專修科に分つ、入學資格は高等小學校卒業程度。

■熊本市立商工學校　熊本縣熊本市新町所在、校長佐藤松次郎氏、明治三十三年四月の設立に係り工學部を建築科、木材工藝科、塗工科の三科に分ち、修業年限は本科三年、研究科二年、入學資格尋常小學卒業程度である。

■大分縣立工業學校　大分市勢家町所在、校長高木秀太郎氏、建築科長田代長吉氏、明治三十五年一月別府町及濱脇町組合立として設立認可同四十三年四月大分縣立別府工業徒弟學校と改稱、大正四年四月大分縣立工業徒弟學校と改稱同七年四月甲種程度として、機械科、電氣科、建築科設置、同十二年四月鶴崎町に分校を置き之に建築科家具科を設置し乙種程度により經營してゐる。

■大分縣日田工藝學校　大分縣日田郡日田町、校長小野京市氏、明治四十年三月創立、修業年限三ケ年、入學資格尋常小學校卒業程度。

■宮城縣立仙臺工業學校　仙臺市北一番丁所在　校長は橫澤多利吉氏、建築科長太田連氏、明治二十九年八月創立、建築科、家具科、機械科、土木科を置く、修業年限を五ケ年、入學資格小學校卒業程度。

■福岡縣浮羽工業學校　福岡縣浮羽郡田主丸町、校長渡邊安藏氏、明治三十九年六月創立、建築家具科を置く、修業年限三ケ年、入學資格尋常小學校卒業程度。

■沖繩縣立工業學校　首里當藏町所在、校長渡邊喜三氏である。明治三十五年四月首里區立工業徒弟學校設立、同十年六月縣立工業學校と改稱した。建築科、家具科、漆工科の三科で各本科に選科と研究科とを置く。

■臺北洲立臺北工業學校　臺北市大安一二甲一八五所在、校長高井利五郎氏、建築科長新井英次郎氏、大正三年六月臺灣總督府工業講習所官制公布、同七年九月同所內に臺灣總督府工業學校開始、同八年四月工業講習所は臺灣公立臺北工業學校と改稱した、同十年四月臺灣總督府工業學校は臺北州立臺北第一工業學校、公立臺北工業學校は臺北州第二工業學校と改稱し、十二年四月に右二校を現稱の下に統一合併した。建築、機械、土木、應用化學、電氣の五科で修業年限五ケ年、入學資格小學校卒業程度である。

■臺北洲立臺北工業學校　臺北市大安一二甲一八五所在、校長高井利五郎氏、建築科長新井英次郎氏、大正三年六月臺灣總督府工業講習所官制公布、同七年九月同所內に臺灣總督府工業學校開始、同八年四月工業講習所は臺灣公立臺北工業學校と改稱した、同十年四月臺灣總督府工業學校は臺北州立臺北第一工業學校、公立臺北工業學校は臺北州第二工業學校と改稱し、十二年四月に右二校を現稱の下に統一合併した。建築、機械、土木、應用化學、電氣の五科で修業年限五ケ年、入學資格小學校卒業程度である。





學校卒業程度、尙時修科の設置あり修業年限二ケ年。

■青森縣立工業學校　弘前市馬屋町所在、校長は大竹巽氏、建築科長牟賀榮藏氏、明治四十三年四月設立、大正十四年一月組織を變更し尋常小學校卒業者を收容して修業年限を五ケ年とす　教科目は建築、機械、木材工業、土木の四科にして尙附設として建築、家具兩部の選科、研究科がある。

■青森市工藝學校　青森市浦町、校長武田省三氏、大正二年五月創立、建築科、家具、建具を置く、修業年限三ケ年、入學資格尋常小學校卒業程度。

■秋田縣立能代工業學校　秋田縣山本郡能代港町校長畑江翁氏、昭和二年三月創立、修業年限五ケ年入學資格尋常小學校卒業程度。

■秋田縣立秋田工業學校　秋田市金砂町、校長鈴木定一氏、明治三十六年四月創立、建築科の他に二科を置く、修業年限三ケ年、入學資格高等小學校卒業程度。

■山形縣立鶴岡工業學校　山形縣西田川郡鶴岡町、校長川上爲正氏、大正九年二月創立、建築科の他に三科を置く、修業年限五ヶ年、入學資格尋常小學校卒業程度。

■山形縣立米澤工業學校　米澤市南堀端町所在　校長は川邊申松氏、建築科長馬哲三氏、明治三十年四月市立として開校同三十二年四月縣立となる、同三十五年度より建築科、機械科新設、大正九年三月山形縣立米澤工業學校と改稱。染織、建築、機械の三科より成る。修業年限五ケ年、入學資格高等小學卒業程度。

■岩手縣立工業學校　岩手縣盛岡市市丸所在、校長高橋清章氏、建築科外二科設置す。明治三十一年四月創立、岩手縣實業學校と稱し同三十一年五月授業開始、同三十四年工業學校規程に基き組織變更同年六月岩手縣立工業學校と改稱した。修業年限三ケ年、入學資格高等小學卒業程度。

■市立富山工業學校　富山縣上新川郡堀川村、校長は青木外吉氏、木工科主任梨本正太郎氏である。明治二十年七月創立、金澤工業學校と稱し同三十四年五月石川縣工業學校と改稱、大正十三年四月より修業年限五年とし機械、漆工、染色、圖案繪畫、窯業、木工の五科である。

■北海道廳立札幌工業學校　北海道札幌市南十四條西十二丁目所在、校長橋本竹之助氏、大正五年十月文部大臣より設置許可。同月北海道廳令第六號を以て學則發布、同六年四月授業開始　同九年二月組織變更前校名の北海道廳立札幌工藝學校を北海道廳立札幌工業學校と改稱同三月土木建築科を增設した。修業年限三ケ年、入學資格は高等小學校程度である。

■北海道廳立函館工業學校　北海道函館市新川町所在、校長瀧澤一馬氏、建築科長志賀龜之助氏である、大正十年三月北海道廳に移管した。修業年限三箇年で入學資格は高等小學校卒業程度である。

■北海道廳立苫小牧工業學校　北海道膽振國勇拂郡苫小牧町所在、校長は畑江翁氏、土木建築科長增田長人氏、大正十二年三月設立、同年四月苫小牧公立高等小學校內にて授業開始、同十三年二月現校舍へ移轉した。修業年限三箇年で入學資格は高等小學校卒業程度。

## 建築協會

◎社團法人建築學會　東京市麴町區永樂町二丁目二番地　（電話丸ノ內一六一六番）

（會長）塚本靖、（名譽會長）曾禰達藏、中村達太郎、（副會長）大熊喜邦、中條精一郎、（常議員）今井兼次、（主計）小川清次郎、尾山貫一、北澤五郎、（主記）小林政一、下元連、橘敎順、（編輯）瀧澤眞弓、高松政雄、田中實、內藤多仲（主記）野田俊彥、舟橋喜一、（主計）柳井平八、

（編輯）渡邊清、

會員數、（名譽員）一名、（正員）一、四二一名、（特別員）二一八名、（終身賛成員）五五名、（賛成員）一三一名、（准員）四一、六八三名

沿革　明治十九年七月造家學會、三十年七月建築學會と改稱、三十八年社團法人設定

創立以來の會長　青木周藏、渡邊譲、中村達太郎、渡邊洪基、曾禰達藏、横河民輔、辰野金吾

塚本靖

事業　建築雜誌刊行、講演及講習會開催、標準仕樣の創案、建築材料規格統一、帝都復興に關する建築上の諸問題に關し研究調査、建築上の災害の防止、建築法規の研究

◎日本建築協會　大阪市西區土佐堀通一ノ一大同生命ビル内（電話土佐堀四二六五番）

（理事）片岡安、宗兵藏、日高胖、（監事）横濱勉

松本禹象

會員數、（會員）四〇九名、（名譽會員）八〇名、（地方會員）一九九名、（終身賛助員）五二名、（特別賛助員）三〇名、（普通賛助員）三五四名、計一、二四名

沿革　大正六年三月三十日關西建築協會として創立、八年一月三十日日本建築協會と改稱

創立以來の會長、理事長　（會頭）工博片岡安、（副會頭）片岡安、宗兵藏、（理事長）片岡安、葛野壯一郎、横濱勉、池田賓、松本禹象、園部文雄

事業　調査研究、會報、雜誌（建築と社會）及圖書の刊行並發賣、住宅改善に關する調査研究

◎日本建築士會　東京市丸ノ内海上ビルヂング七階、（電話丸ノ内九三〇番）（大阪支部）大阪市北區中島二丁目江商ビルヂング日本建築協會内

（理事長）長野宇平治、（庶務理事）堀越三郎、高松政雄、（會計理事）門政吉、中島外吉

創立以來の理事長　工博長野宇平治、中條精一郎、櫻井小太郎

會員數、（正員）一二〇名、（名譽會員）一九名、（特別維持會員）六四名、（特別賛助會員）四四名、（正會員）四八六名、（准會員）二一名、計六三四名

沿革　大正十一年三月八日創立、同四月五日事務所を京城府黄金東拓閣上第十五號室に設く、二十五日雜誌「朝鮮と建築」を發行、十二年八月、事務所現在の所に移轉、十三年三月會則を改正、更に十一月會則を改正し社團法人の許可を受く

創立以來の會長、理事長　（副會長）岩井長三郎

中村與資平、（理事長）中村誠、（會長）岩井長三郎、（副會長）池田賓太郎、中村誠

事業　建築一般の調査研究及重要事項の決議並其實行促進會誌其他の刊行、講演、講習、展覽會の開設、紹會應答

會費　（特別會員）入會金三〇〇圓

◎社團法人滿洲建築協會　大連市紀伊町八十五番地、（電話三四一九番）（奉天支部）奉天橋立町五番地

（會長）小野木孝治、（副會長）青木菊治郎、岡大路、（主記）内田銈司、臼井健三、狩谷忠麿、高



宮元三郎、三田昇之助、横井謙介、（會計）植木茂、範田定憲、高岡又一郎、辰巳銀二、長谷川辰次郎、平澤儀平、和田喜藏、（編輯）伊藤清藏

太田宗太郎、鈴木正雄、福田庄一郎、宗像主一

村田治郎、保田虎太郎、湯本三郎、藥科淺吉

會員數、（終身會員）二名、（賛助會員）二六名、（正會員）四七三名、（准會員）一一六名

沿革　大正九年十一月二日滿鐵建築茶菓會を基礎とし全滿建築關係業者に依つて創設、十二年九月社團法人組織とす、大正十二年十二月現在の地に會舘建築す、（工費五一、〇〇〇圓）

創立以來の會長　松村重光、小野木孝治（現在）

事業　建築一般の調査研究及重要事項の實行、會誌、圖書の出版、講習講演（滿洲協會）、展覽會等の開催、紹介及質議應答

◎建築資料協會　東京丸ノ内東京商工奬勵舘内

（會長）内田嘉吉、（副會長）兒玉孝顯、（幹事長）早崎龜壽、（幹事）淺野物産株式會社山口萬次郎

三稜社中村恒、三菱商事株式會社中谷芳邦、油脂化工矢中龍太郎、（書記長）岡田由之助

會員數、會費　（特別會員）五七名、（正會員）年三〇圓一八名

沿革　大正十三年十一月創立

事業　建築資料の調査研究並講演講話、共同型錄雜誌等の刊行、取引上に於ける非違の警戒及矯正

◎名古屋工業會　名古屋市中區御器所町、名古屋高等工業學校内

（會長）森彦三、（副會長）土屋純一、（理事長）練方武次、（理事）上村義夫、船橋弘一、河原外喜男、國友孝、太田元亮、佐竹菊次郎、松岡修一

加藤富次郎、松田昌平

會員　（正會員）二、一四二名、（特別會員）二一八名、計二、二六〇名

名稱、目的、事務所　本會を名古屋工業會と稱す。本會は會員相互の親睦を圖り、併せて工業の發展に資するを以て目的とす。本會は本部を名古屋に置き各地區要の個所に支部を設く支部の區劃は細則による。

事業　本會は會報及會員名簿を刊行す、其刊行方法は細則に據るものとす。本會は前二條の外臨機左の事項を行ふ。

一、工業の發展に資すべき人材の養成、二、工業の發展の爲必要なる究研調査及功績の表彰

# 學會及協會動靜

## 建築學會

### 建築法規改正に關する調査特別委員會

大正十五年十一月二十九日　自午後六時　至同七時五十分　第一回

出席者　小林君　天羽君　武富君　橘君　高松君　竹内君　田中君　德永君　內藤君　松井君　菱田君

### 建築材料聯合調査會

昭和二年二月二十五日　自午後六時　至同八時三十分　第二回

出席者　委員長橫河君　幹事松井君　淺井君　中村君　吉田君　渡邊君　小山君　伊藤君代矢島君

### 建築材料聯合調査會特別委員會（タイル）

昭和二年三月四日　自午後六時　至同八時

出席者　委員長橫河君　幹事松井君　大熊君　和田君　中村君　吉田君

### 建築電氣設備聯合委員會

大正十五年十二月十日　自午後五時三十分　至同七時　第五回

出席者　委員長會禰君　幹事內藤君　內坂君　第二部會

昭和二年三月二十八日　自午後六時　至同八時半　第六回

出席者　委員長會禰君　幹事內坂君　主査中島君　川元君　竹內君　中村君　密田君　實費精算式施行契約書案聯合調査會　（小委員會）

大正十五年十月十四日　自午前十一時　至午後二時　第二回

幹事高橋君　出浦君　渡邊君　山下君　島田君　伊藤君

講　演　會

大正十五年十月二十九日　自午後六時　至同十時

一、會場帝國鐵道協會　一、司會者野田主記

一、演題及講演者　耐震構造問題に就て　工學博士眞島健三郎君　換氣に就て　特別員佐久間末彥君　一、聽講者約三百五十名

見　學

昭和二年一月二十二日　自午後一時　至同三時　第二回

場所麴町小學校現場　引卒者　下元主記　參加者一一五人

標準仕樣調査委員會

大正十五年十月十二日　自午後六時　至同九時　第三十回

出席者　松井君　中村君　古茂田君　山下君　八木君　島田君　住木君

大正十五年十一月九日　自午後五時　至同八時　第三十六回

出席者　住木君　齋藤君　島田君　古茂田君　下元君

大正十五年十二月四日　自午後六時　至同八時半　第三十七回

出席者　松井君　島田君　德永君　本田君

昭和二年三月一日　自午後六時　至同八時　第三十八回

出席者　松井君　大澤君　木下君　古茂田君　齋藤君　島田君　清水君　德永君　中村君　住木君

昭和二年三月八日　自午後六時　至同七時三十分　第三十九回

出席者　松井君　中村君　島田君　住木君

昭和二年三月十四日　自午後七時　至同九時三十分　第四十回

出席者　松井君　島田君　中村（傳）君　清水君　木下君　齋藤君　中村（琢）君

建築法規改正に關する調査特別委員會

昭和二年四月七日　自午後六時　至同八時十五分　第二回

出席者　內田君　武富君　菱田君　松井君　野田君　佐藤君　高松君　荒木君　德永君　橘君　中村君

標準仕樣調査委員會

昭和二年四月五日　自午後六時　至同九時　第三十回

出席者　木下君　島田君　德永君　中村（傳）君　八木君　住木君

昭和二年四月十九日　自午後六時　至同九時　第三十一回

出席者　松井君　中村（傳）君　清水君　木下君　島田君　齋藤君





昭和二年四月二十六日　自午後七時　至同九時三十分　第四十三回

出席者　松井君　住木君　中村（傳）君　島田君　八木君　木下君　田口君

見　學

（一）一、日時昭和二年四月六日　自午後一時三十分　至同四時　一、場所同潤會澁谷アパートメントハウス　一、指揮者中村主記　一、參觀者　三百二十五名　（二）日時昭和二年四月二十三日　自午後一時三十分　至同四時　一、場所議院建築場　一、指揮者　中村主記　一、參觀者四八七名

### 建築材料聯合調査會タイル調査特別委員會

昭和二年六月二十二日　自午後六時　至同八時三十分

出席者　委員長橫河君　幹事松井君　中村君　和田君　津田君　戶田君代川又君

見　學

昭和二年六月十八日　自午後一時　至同三時

一、場所日本橋區本革屋町　三井本館及同第三號館建築場　一、指揮者中村主記　一、參觀者六六四名

### 標準仕樣調査委員會

昭和二年七月十二日　自午後六時　至同九時二十分　第四十八回

出席者　中村君　住木君　大澤君　八木君　森井君

### 防火地區建築組合金に關する委員會

昭和二年八月十日　自午後六時　至同八時半　第一回

出席者　佐野君　中村（傳）君　北澤君　堀越君　竹內君　松井君　武富君　山田君　高橋君　野田君　中條君　中村（琢）君　森井君

標準仕樣調査委員會

昭和二年九月十三日　自午後六時十五分　至同八時三十分　第四十九回

出席者　松井君　中村（傳）君　住木君　清水君　木下君　森井君

昭和二年九月二十日　自午後六時　至同九時十分　第五十回

出席者　中村（傳）君　住木君　島田君　大澤君　八木君　森井君

建築法規改正に關する調査特別委員會

昭和二年九月十六日　自午後六時　至同九時　第三回

出席者　內田君　武富君　荒木君　內藤君　野田君　篠原君　高松君　竹內君　德永君　森井君

昭和二年九月二十九日　自午後六時　至同八時　第四回

出席者　內田君　武富君　菱田君　德永君　佐藤君　內藤君　竹內君　野田君　丹橋君　森井君

建築材料聯合調査會タイル調査特別委員會

昭和二年九月十五日　自午後六時　至同九時　第四回

出席者　委員長橫河君　幹事松井君　委員大熊君　中村（傳）君　戶田君代大內君　委員吉田君　和田君　津田君

標準仕樣調査委員會

昭和二年十月十一日　自午後六時　至同八時　第五十一回

出席者　中村君　島田君　住木君　清水君　木下君　森井君

建築士法案調査に關する特別委員會

昭和二年十月十二日　自午後五時四十分　至同九時

出席者　橫河君　竹內君　野田君　大熊君　菱田君　佐野君　中村君　武富君　森井君

建築士法案調査に關する特別委員會

小委員會

昭和二年十二月二十六日　自午後六時　至午後九時

出席者　中村君　佐野君　福田君　高松君　竹內君　野田君　橫川君　櫻井君　堀越君　森井君

建築見學

昭和二年十二月三日　自午後二時　至同四時

一、場所府下目黑町上目黑駒場

イ航空研究所風洞室　ロ尘飛行機部實驗室　ハ東京帝國大學農學部化學教室　ニ仝化學實驗室

一、指揮者中村主記　一、參觀者八十五名

第一回建築資料（塗料）講習會

一、日時　昭和二年十一月十一より廿二日まで　の內十日間每日午後六時より開講但し日曜は休講

一、會場　府立東京商工奬勵館講堂

二、講習科目　塗料
三、細目　時間割　講師
一、建築資料に就て　一時間　東京帝國大學教授工博　佐野　利器
二、塗料の一般　二時間　東京高等工業學校教授工博西田桂太郎
三、ペイント及水性ペイント六時間　東京帝國大學教授工博　田中　芳雄
仝　一時間半　東京工業試驗所　工士　藤木　經明
五、ヴニスラック及エナメル三時間　東京工業試驗所　工士　平野　茂
仝　一時間三十分　鐵道　技師　廣瀬　誠一
六、漆　一時間三十分　東京工業試驗所　技師　澤口　悟一
七、特種塗料　一時間三十分　仝　工士　平野　茂
八、色彩學の概念　一時間三十分　東京美術學校講師工博　大澤三之助
九、塗料の施工　八時間　內務省技師　工士　大江新太郎
仝　仝　東京高等工業學校教授工博西田桂太郎
仝　仝　營繕管財局　技師　津田元四郎
仝　仝　汽車製造株式會社技師　澤田　義一
十、東京ペンキ塗請負業組合代表講演　一時間三十分
五、終了式　一時間　六、講習證書交附
講習者には終了證書を交附す　七、聽講者及
定員、中等學校卒業程度の學力ある者又は實
務に經驗ある者、約八十名
全國高等專門學校建築科學生作品展覽會
一、會場　名古屋高等工業學校內
一、日時　五月十四日午後より十五、十六日二日半
一、出品目錄
東京高等工業學校出品
二年生作品
マウンテンヴ井ラ　一枚
商店　二枚　小島　陽
小住宅　二枚　笹島　清造
圖書館　三枚　中野順次郎　揚　金
卒業計畫
テニスマン、クラブ　六枚　櫻田　文雄
ホテルを持つ娛樂場　六枚　芹澤　勝敬
市街地に建つ劇場　十枚　星野　榮一
ビール製造工場　七枚　吉永　光
丘に建つ禮拜堂　八枚　有賀　義起
計　四十五枚
名古屋高等工業學校
二年生作品
公舘一部　一枚　加藤　幸夫
洋風住宅　二枚　橫山　秀哉
百貨店　三枚　鈴木不二男
日本住宅　四枚　山口　潔
喫茶室々內裝飾　一枚　橫山　秀哉
銀行支店　四枚　早川　俊一
圖書舘　六枚　白井　周二
三年生作品
中學校　四枚　長坂　昇
仝　四枚　土田幸三郎
卒業計畫
ホテル　四枚　眞木　稔夫
シネマ、ハウス　六枚　島村　武夫
歌劇場　九枚　土田幸三郎
計　四十八枚
橫濱高等工業學校
古代ギリシヤ及ローマ建築詳細圖面　二十一枚
日本建築及詳細圖　七枚
海軍省正面中央　三枚
橫濱市美術舘　二枚
大舞踏室內の大ストーブ　一枚



某地御用邸內フランス庭園　四枚
喪の廣場　一枚　久保田　稔
戰役記念　一枚　宮田　秀甫
觀櫻遊覽船　二枚
海水浴場に於けるカシノ　一枚
公園內橋梁　一枚
世界飛行歡迎記念門　一枚
大正記念舘　二枚
計　四十七枚
神戸高等工業學校
二年生作品
カシノ　五枚　米津　忠夫
シネマ、シアター　三枚　小川　健三
樣式演習　一枚　岡田　鴻記
構造演習　五枚　內輪善四郎
仝　仝　三枚　中川　文雄
三年生作品
構造演習　一枚　巽　純一
卒業計畫
須磨浴場ホテル　十八枚　巽　純一
美術協會　十枚　出張　龍三
或る山岳會の俱樂部　十枚　中村　勝郎
水力發電所　十枚　谷垣　正雄
福井高等工業學校
二年生作品
公衆浴場　二枚　石川　久
仝　仝　二枚　林　敏夫
仝　仝　一枚　山崎　實
小百貨店　一枚　安田彦次郎
卒業計畫
オートモビル、ビルデイグ九枚　井上　正朔
勞働會館　七枚　山口　義雄
南滿洲工業專門學校
卒業計畫　五枚　青山　武雄
高臺寺月見臺實測圖　九枚
仝　傘亭實測圖　十一枚
仝　時雨亭實側圖　十枚
東京高等工藝學校
裝飾畫　三枚
室內裝飾、撞球室　一枚　齋藤　四郎
仝應接室を兼ねたる書齋　一枚　倉林益太郎
室內裝飾某クラブ寢室　一枚　井上　某
仝　仝　食堂　一枚　仝
東京帝國大學工學部
卒業計畫
飛行機々体製作工場　九枚　吉川　清一
都市ホテル　七枚　吉田　辰夫
京都帝國大學工學部
貸事務所　一枚　榎　利夫
圖書舘　一枚　宮崎　謙二
コムボジシヨン、ドロウイング　一枚　出水　正雄
仝　一枚　千原　隆三
仝　一枚　大谷　正之
日光陽明門實測圖　一枚　增田　誠一
卒業計畫

某市山の手に建つクラブホテル　二枚　林　茂治
共同住宅館　三枚　神阪　三郎
十和田國立公園の建築設備三枚　東畑　謙三
早稻田大學理工學部
卒業計畫　九枚　年光　巳
公衆浴場　十三枚　松野　二男
乘合自動車々庫　十三枚　今井　猛雄
中央停車場
陳列せられたる圖面は、いづれも最近の作品である

## 日本建築協會

地震と建築通俗講演會

一、日時　昭和二年三月十八日午後六時―十時

二十分

一、會場　朝日會館　記事　一、昭和二年三月七日午後六時奥丹後地方に於て大震火勃發するや本協會は仝月九日第四部（災害）委員及常務會聯合會を開き之が對策につき議したる結果災害委員增田清氏外三名を實地踏査の爲め直に震源地方に派遣することに決し四氏は翌日出發今回踏査を了りたるを以て大阪朝日新聞後援の下に本夕「地震と建築」通俗講演會を開催し調査報告並に震火災建築に付て宣傳する所あらんとするものなり　一、定刻正六時宗副會長司會者となり片岡會長演壇に立ち開會の辭を述べ次いで左の順序に講演を開始し何れも拍手の裡に無事終了せり

司會者　副會長宗兵藏　開會の辭　會長片岡安　丹後地方震火災實地踏査報告　災害委員增田清　救護班到着前震災地　大阪朝日新聞記者平井常次郎　丹後地方震火災活動寫眞　大阪朝日新聞社　地震と家　委員長渡江悌夫　丹後地方災害火災活動寫眞　大阪朝日新聞社　一、本夕聽講者無慮一千餘名何れも熱心なる態度を以て靜聽せられ盛會裡に閉會を告ぐるを得しは本會の欣幸とする所にして又講演者其他の勞を多謝するものなり　一、尚當夜參會者有志より震災義捐金を新聞社の手に依り募集して金百五十八圓七十錢の醵金あり直に仝社に寄託せり

建築職工講習會聯合協議會

昭和二年九月十六日自午後五時至九時

一、場所　建築業協會關西支部事務所

出席者　市役所小山君（市視學）建築業協會三木君（竹中工務店）平塚君（竹中工務店）（松村組）松尾君（鴻池組）本協會、小笠原君（第二部委員）酒井君（仝上）松本君（仝上）

協議事項　一、科目　造作及左官講習會と決定　二、會場　大阪市小學校　（大寶）　三、期間　昭和二年三月一日午後六時―八時第一回　一、會場　江商ビルデング集會室　出席者委員渡邊參久、谷民藏、松室重光、佐藤正次郎、三木來三、下浦光衛　記事　一、委員長及幹事の互選を行ひ左の通り當選決定せり、委員長松室重光　幹事谷民藏、仝下浦光衛　一、次で松室委員長座長となりて左の事項を協議決定せり（一）本委員會の定例開會日を毎月十日以後の初めの月曜日午後六時協會々議室に於て行ふ事（二）建築に關係ある電氣、機械、土木、化學、圖案、裝飾等の各部專門委員を囑託すること（三）右委員候補は各部の學會又は協會又は團體に依賴し推薦を乞ふこと

災害委員會

一、日時　昭和二年三月一日午後六時―八時第

講師及科目時間　日本建築協會委員へ一任のこと　五、聽講者募集其他建築協會委員に一任のこと

法制委員會

一、日時　昭和二年三月二日午後六時―八時第一回　一、會場江商ビルデング集會室　出席者委員橫濱勉、久賀弘文　理事片岡安、常務坪井誠一、德政金吾　記事　一、委員長及幹事の互選を行ひ左の通り當選決定せり　委員長池田實氏、幹事野呂長四郎氏

資料委員會

一、日時　昭和二年三月一日午後六時―八時第一回　一、會場　江商ビルデング集會室　出席者委員渡邊參久、谷民藏、松室重光、佐藤正次郎、三木來三、下浦光衛　記事　一、委員長及幹事の互選を行ひ左の通り當選決定せり、委員長松室重光　幹事谷民藏、仝下浦光衛　一、次で松室委員長座長となりて左の事項を協議決定せり（一）本委員會の定例開會日を毎月十日以後の初めの月曜日午後六時協會々議室に於て行ふ事（二）建築に關係ある電氣、機械、土木、化學、圖案、裝飾等の各部專門委員を囑託すること（三）右委員候補は各部の學會又は協會又は團體に依賴し推薦を乞ふこと

災害委員會

一、日時　昭和二年三月一日午後六時―八時第一回　一、會場　江商ビルデング集會室　出席者委員池田宮彦　波江悌夫　中島智喜　黑田茂　八木幸次郎　增田清　理事宗兵藏　日高胖　常務坪井誠一　松室重光　阪口芳三郎　德政金吾　吉井長七　池田谷久吉　波江悌夫　八木幸次郎　一、本夕は去る七日丹後地方大震火災勃發に付之れが實地踏査をなすや否や事急を要する場合なれば即刻實行を期するため常務會をも共に開き協議せり　一、先づ委員長及幹事の選擧を行ひ投票の結果左の通當選決定せり　委員長波江悌夫　幹事池田宮彦　八木幸次郎　一、波江委員長席に着き簡單なる挨拶ありて協議に入る　一、緊急問題として今回の北丹地方震火災勃發の對策には協議をなし左の通り決定せり（一）震源地附近實地踏査、委員四名派遣のこと（二）京阪神及堺等の震災調査、殘留委員全部及び臨時委員　一、調査費支出に付常務會と協議の結果左の通り支出を承諾あり

一回　一、會場　江商ビルデイング集會室　出席者　委員池田宮彦、黑田茂、增田清　記事　一、出席者少數にして半數にも達せざるに付委員長及幹事互選を行はず本月九日本委員會を開き之を行ふことに決す　一、從て其他の協議事項も夫れ迄延期することゝして散會す

災害委員會

一、日時　昭和二年三月九日午後五時―九時

一、會場　本協會會議室　出席者　委員池田宮彦　波江悌夫　中島智喜　黑田茂　八木幸次郎　增田清　理事宗兵藏　日高胖　常務坪井誠一　松室重光　阪口芳三郎　德政金吾　吉井長七　池田谷久吉　波江悌夫　八木幸次郎　一、本夕は去る七日丹後地方大震火災勃發に付之れが實地踏査をなすや否や事急を要する場合なれば即刻實行を期するため常務會をも共に開き協議せり　一、先づ委員長及幹事の選擧を行ひ投票の結果左の通當選決定せり　委員長波江悌夫　幹事池田宮彦　八木幸次郎　一、波江委員長席に着き簡單なる挨拶ありて協議に入る　一、緊急問題として今回の北丹地方震火災勃發の對策には協議をなし左の通り決定せり（一）震源地附近實地踏査、委員四名派遣のこと（二）京阪神及堺等の震災調査、殘留委員全部及び臨時委員　一、調査費支出に付常務會と協議の結果左の通り支出を承諾あり　震源地々方旅費、委員四名に對し二百圓支出市內附近旅費委員四名に對し、五十圓支出（委員長に一任）（備考）堺市は堺在住の人に依頼すること、兵庫縣は置鹽氏に依頼すること（一）派遣人選及日限を左の通り決定、人選出張者候補員左の通り決定中島委員、黑田委員、增田委員、八木委員、市內附近調査は左の委員其他、池田委員置塩委員、渡邊委員、波江委員長　出張日限自由とす　出張旅費、前渡しのこと　一、左の諸氏を災害委員に依囑することを議し可決直に常務會へ要求し承諾ありたり　大阪府警察部消防課長土井末吉氏（八木常務より依囑）仝工場課地方技師菅野久一氏（池田谷常務より依囑）一、災害委員中辭退申出に付補欠の件委員岡本茂樹及田邊兩氏辭退申出に付左の二氏を依囑することに決定　常務會承認　委員永澤毅一氏落藤藤吉氏　一、臨時震災調査委員囑託の件　左の諸氏に右委員を願ふことに決定常務會承認（大阪府）山本久吉氏（大阪市）大野直平氏（神戸）谷田寶氏（堺市）浦英之助氏　尚左の二氏より調査材料提供を乞ふこと（京都方面）武田吾一氏（神戸方面）古宇田寶氏　一、常務會より本月例會は震災に關する通俗講演會を開催十七、八日頃擧行の豫定に付夫れまで調査を進められたき要求あり承諾、一、三月十一日正午委員會開催のことに決定　一、派遣員四名の名刺作成のこと　一、會長名を以て依頼狀作成のこと

## 懸賞競技圖案規定並當選者發表

### 名古屋覺王山日暹寺鐘樓建築設計圖案懸賞募集規定

第一條　覺王山日暹寺は本規程により鐘樓の建築設計圖案を募集す

第二條　應募設計圖案は昭和二年十月三十一日正午迄に到達するやう名古屋市東區覺王山日暹寺事務所に提出すべし

第三條　設計要件左の如し

一、鐘樓は日暹寺境內に建立するものにして口經九尺五寸高さ龍頭上端まで十七尺五寸重量約一萬貫の梵鐘を架するものとす

二、建築敷地は周圍廣潤なる平坦地にして安全地耐力一平方尺に付約三噸とす

三、建築材料の選擇及構造方法は設計者の任意とす

四、建築樣式は我邦の佛寺建築に調和すべきものたるを要す

第四條　應募設計圖案は左の事項を具備するを要す

一、平面圖　縮尺五十分の一　二、立面圖　二

面 縮尺五十分の一 三、斷面圖 二面 縮尺五十分の一 四、詳細圖 縮尺十分の一 五、說明書

第五條 圖面は總て原圖紙に墨を以て書き寸法は日本尺に依り記入すべし、說明書に意匠の要旨及材料構造の概略を簡單に記載すべし

第六條 圖面及書類には總て署名に代ふるに各葉暗號を記し別に暗號のみを表記せる封筒内に應募者の住所職業氏名及暗號を明記したる紙片を封入すべし暗號は文字に限る

第七條 設計圖面及書類は一括して堅牢なる容器に納め嚴封を施し表面には宛名、應募者の暗號及應募設計圖案たることのみを表示すべし

第八條 應募に關する費用は一切應募者の負擔とす

第九條 應募設計は下記委員之を審査す審査の結果に對しては說明を求め又は異議を申出つることを得ず

京都帝國大學教授 武田吾一 名古屋高等工業學校教授 土屋純一 日暹寺執事 山田奕鳳

第十條 審査の上當選者には下記等級に依り賞金を贈呈す

一等賞 一名 一千五百圓 二等賞 一名 一千圓 三等賞 二名 金五百圓 尙選外佳作若干名に對して多少の金額を贈呈することあるべし

第十一條 審査は昭和二年十月十五日に結了するものとす

第十二條 次の各號の一に該當するものは之を審査せす

一、他人の意匠を剽竊せりと認めたるもの

二、本規定に違背せりと認めたるもの

第十三條 當選したる設計圖案は日暹寺の所有に歸し實施の場合には取捨變更することあるべし

第十四條 當選せさる設計は十二月末日迄に提出者の希望あるものに限り日暹寺の費用を以て之を還附すべし

第十五條 應募設計圖案は審査終了後公衆の展覽に供することあるへし 但し選外圖案は暗號の儘とす

第十六條 應募設計圖案の保管及還附に關し萬一損害を生することあるも日暹寺は其賠償の責に任せず

第十七條 應募に關する質疑は日暹寺事務所宛書面を以て承合することを得 以上

當選者發表

應募圖案百四十九通に達したが其審査の結果左の通り通知があつた

一等(賞金一千五百圓)名古屋市東區新出來町三ノ一八城戶武男 二等(賞金一千圓)大阪市北區空心町二ノ六五 山本延次 三等(賞金五百圓)一席 東京市本鄕區丸山新町四一 森口三郎 二席 大阪府豊能郡箕面村平尾 大原芳知

選外佳作(賞金一百圓)東京市外田端町五〇六 草間市太郎 東京市外尾久町下尾久 島川精 名古屋市中區南伏見町二ノ一二 松永阡一郎 東京市外雜司ヶ谷 忽那仁作 東京市本鄕區駒込林町 渡邊仁

# 學事及會合(昭和三年三月)

## 東京帝國大學卒業生論文

事務所建築 西脇安
勞働者住宅に就て 曾我部幸次郎
劇場建築論 市浦健
建築哲學 谷口吉郎
古代日本の紋様 今林恒太郎
高層架構の研究 田口完
建築と錯覺 興石武
光彈性學實驗 横山不學
中村進
輕量コンクリートの溫度傳導に關する常數に就て
架構の間隔に就て 三浦忠夫
水平力に依る矩形架構内の曲能率に就て 五井孝夫
解析建築美學 寺島和夫
自然光に對する建築の設計 吉村辰夫
土性に關する考察 日夏義雄
架構材の常數に就て 田中達次郎
架構の不規則强制振動に關する實驗的考察 奥田勇
小林秀彌
住宅地の敷地計劃
水平力を受ける高層架構の應力に就て 西村源與茂
吾國に於ける洋風建築の發達 大和嘉一郎
複式立体架構 桐本楠雅
長柱に就て 井村次一郎
天正より寛永に至る和城の研究 井坂冨士雄
地業に就て 近藤正造
架構建築に於ける鐵筋コンクリート構造と鐵骨 小栗讃吾
コンクリート構造この經濟的比較 鳥井捨藏
垂直荷重を受くる矩形架構の曲能率に就て
小園貞助
大戰以後の近代建築(ルコルビュジュ論)
前川國男
集合住宅 乙部勝

## 卒業計畫圖題名

事務所建築 西脇安
勞働者宿泊所 曾我部幸次郎
劇場 市浦健
製鐵所 谷口吉郎
水產倉庫 今林恒太郎
地下鐵道停車場 田口完
博物館 興石武
中央郵便局 横山不學
市街地旅館 三浦忠夫
東京市に建つ屠場 五井孝夫
塵芥燒却場 中村進
療養所 寺島和夫
埠頭 吉村辰夫
公會堂 日夏義雄
工業大學 田中達次郎
停車場 奥田勇
清涼飲料水工場 小林秀彌
中央市場 西村源與茂
百貨店 大和嘉一郎
農村會館 桐本楠雅
貸工場 井村次一郎
遊覽地の旅館 井坂冨士雄
ホテル 近藤正造
倉庫 小栗賛吾
科學研究所 鳥井捨藏
圖書館 小園貞助
放送局 前川國男
工業地に建つ『アパートメントハウス』 鈴木久吉
航工港 乙部勝

## 京都帝國大學卒業論文及計畫

計 演舞場 荒木正利
計 アパートメントハウス 嵐田周男
計 ゼネラル、ホスピタル 石川頒一
計 女學校 井出正雄
計 ホテル 大里富雄
計 リシアルクラブ 樫根英郎

論　飛行機格納庫　勝野正之
計　外科病院　加納龍一
計　病院　千原隆一
計　フレンチシャーに型りたる貴伸の大邸宅　中村綱
計　アパートメン、ホテル　中村太郎
論　同　同　中島活石
計　音樂學校　野島安太郎
計　小學校
論　鎌倉再建の東大寺大佛殿復興　藤島義一
計　府廳舍　松宮誠一郎

## 早稻田大學建築科論文

圖書館　井上信之介
自動車庫建築　橋爪大藏
和城とその城制に就て　土井秀正
地下鐵道の停車場に就て　戸田精一
住宅論　富塚卓三
大傳法院大塔に就て　尾崎哲二
色彩の研究　大浦悅郎
仝　田澤英二
東京市に於ける事務所建築に就て　岡田遠彌
都市と住宅問題　奥本吾策
濕度の建築に及ぼせる影響　渡邊平
不靜定架構の理論と應用　渡邊日露司
特種外科病院　川口廣武
キヤシーノ　土井秀正
ホテル　富塚卓三
終点停車場　戸田精一
民衆への會館　大浦悅郎
圓形劇場　男澤英二
工場員寄宿舍　岡田達郎
美術館　奥本吾策
產業組合中央會館　渡邊平
海濱ホテル　渡邊日露司
病院建築　川口廣武
圖書館　柿沼龍雄
スケート倶樂部　神谷新一
停車場　田中儀一
ラケット倶樂部　高谷隆太郎
劇場　高辻伊豫
民衆への娛樂場　中津忠富
天文臺建築　中村太郎
寫眞館(キネマ)　中口秀
マンサートホテル　長鹽英雄
停車場　中久保三男
体育館　黑田祝三郎
工場　黑木勇
attlie tie elur　國友義行
活動寫眞館　八戸高峰
田園都市市立小學校　山家泰
貯蓄銀行　山口確郎
デバウトメントストアー　山崎一男
シテーホテル　安田勝
印刷工場　藤原忠男
デバウトメントストアー　蒔田博
小學校建築　藤澤勝男
娛樂場　原田有
コンシテー、ハウス　原澤東吾
倶樂部　本間英夫
工藝學校　都丸芳男
ホテル　劉建熾
水力發電所　岡本三良助
ホテル　岡本俊介
民衆會館　勝田千利
アパウトメント、ホテル　鎌谷宗勝
倶樂部　加藤熊雄
無線電信局　楊金
レークサイドガデン　田中錦壽
理化學研究所　高石喜久夫
倶樂部　高橋梅太郎
ホテル　武村市太郎
火葬場　高田幸雄
公衆浴場　相馬克已
停車場　蘇榮先
小泉雅男
遠藤英次郎
明石信道
淺野昌雄
齊藤寬治
澤木英男
城戸七太郎
木村信
木下涼
北村一義
北村秀治
金充基
小島陽
近藤壽



仝　構造手法の變遷に就きて　小泉雅男
建築物の基礎に就て　遠藤英次郎
建築に於けるCampositionに就て　明石信道
支那に於ける建築裝飾に就て　淺野昌雄
仝　齊藤寬治
一般都市住宅問題と產業都市論　高辻伊豫
自動車置場の問題より見たるGARAGE　澤木英男
運動競技に關する建築物施設　城戸七太郎
天文臺建築論　木村信
仝　木下涼
建築論　北村一義
仝　北村秀治
工場建築　金充基
滿洲に於ける防寒設備に就て　小島陽
日向、椎葉村の民家　近藤壽
都府權隨考
建築用木材に就て
三德三佛寺に就て
乾繭所建築に就て
事務所建築に就て
仝
都市小學校
耐震問題に就て
社會問題としての住宅問題

煙突設計及計算に就て　片野俊彥
新建築論　柿沼龍雄
建築小論　神谷新一
不靜定架構の解法に就て　田中儀一
建築物の方位と家相に就て　高谷隆太郎
pubLicbLiLdlng內に生ずるcirCuLationに就て　澤木英男
我國の埠頭に於ける建築意匠　城戸七太郎
橋梁意匠と基礎的研究　木村信
高田市の住宅　木下涼
自立式無線塔に就て　北村一義
地域制　北村秀治
朝鮮住宅に就て　金充基
茶室素讀　清水直一郎
住の一形式としての諸工學的作物の蒐集とそれに就ての建築學的考察　柴田齊男
Commercial in Buildongs　島延雄
江戸の町家　瀨上善兵衛
筏柴觀世音寺考　關屋正知
仝　筋田祐貞
山家泰　鈴木文男
山口確郎　吉田常男
劇場照明に就て
STApiumとpoolの建設　三橋武男

## 計畫

集合住宅　井上信之介
近代建築史より見たる私的考察　原田有
木造家屋保存に就きて　原澤東吾
倉庫建築と其の設備　本間英夫
陳列窓の構造と其の照明　都丸芳男
都市計畫論前編　劉建熾
建築音響に就て　岡本三良助
剛節架構に就て　岡本俊介
佛敎會館建設について　勝田千利
『サナトリアム』に就て　鎌谷宗勝
橫濱主要地に於ける建築物の基礎と其の地質との關係　加藤熊雄
住宅政策　楊金
停車場の平面構成　田中錦壽
『インフルエンスライン』と架構の型態　高石喜久夫
遊泳場に就て　高橋梅太郎
Die Thearie der Rammfuciwerke　武村市太郎
劇場建築に就て　高田幸雄
未定　相馬克已
少、青年求職者に與へる合宿所　蘇榮先
勞働者に對する建築的設備の研究　中野順次郎
等音曲線に就て　村山儀三郎
セメント工場に就て　宇野武夫
畜舍改革論　益尾辰雄
下水に就て　小島陽
木村幸次郎　近藤壽
木村清治
加納勳
遠藤英次郎

## 東京高等工業學校論文

彈性論を主とせる構造理論の史的考察

体育研究所に就て　淺沼　登
病院に就て　佐藤良顯
アパート建設論　笹林文平
旅館建築考　笹島清造
應用彈性論　坂本啓一
市廳建築に就て　金宗亮
住宅建築　姜學唐
余の理想が深川公園に建設せんとする兒童倶樂部に就て　神馬源太郎
耐震構造學上の主張　薔然
圖書館の沿革（古代及中世期）　杉山森道
住宅照明論　鈴木高義

## 神戸高等工業學校計畫

貯蓄銀行　母里久哉
鷹取山倶樂部　堂垣正温
料亭　遠藤二郎
公衆浴場　遠藤久美
新聞社　古谷富三郎
『無産勞働者の家』　長谷川三男八
『地方刑事法院』　早川眞雄
寶塚温泉ホテル　日野勝好
製絲工場　市川今朝茂
長田アパートメント　木原義治
Villa　小林謙三
一等郵便局　小池太郎

City Hall　安田敏政
或る停車場　米津忠夫
映畫協會　菅井昌輿
神戸商品陳列場
美術學校及び研究所
醸造工場
庭球協會
佛教會館
Takarazuka Golf culb
公會堂
或る樂器商店と其の經營する奏樂堂
幼稚園を主体とする林間學校
新聞社
船員協會
共同住宅
放送局
Lyric Thatre
勞働者集會所
停車場前のホテル
好劇者の倶樂部
レストラント
圖書館
（論文）版の研究（曲能率を受くる場合）
税關廳舍計劃
京城三法院建築試案
青年會を有つ敎會堂
アパートメントハウス
病院建築設計
舊京城府廳舍跡に建つビルデイング試案
特科　下村　淳
特科　金東洙
選科　久松太郎
同　孫民秀
本科　佐々木勇
同　眞鍋靜雄
本科　桑原利夫
前神春雄
松成信夫
永谷常夫
中川文雄
西尾亨
能田悦造
大林武
越智隆晴
小田正保
小川健三
岡田鴻記
大久保清
大澤一郎
大隅武夫
柴原薫
下山貞一
曾我貫一
竹中嘉市
寺澤古巳
植地修
内輪善四郎
和田盛郎
山村正倫
科野正一
澁谷信
白井周二
日沖一

六甲山ホテル　安田敏政
圖書館　米津忠夫
　菅井昌輿

## 名古屋高等工業學校計畫

十字路に建つ百貨店設計圖　井上秋太郎
街角に建つ劇場の草案　稻垣進
競技場設計圖　羽太二男
劇場　服部弘
衣ケ浦傘松附近に建つ海濱倶樂部傘霞莊設計圖　早川俊一
神都公會堂設計試案　西島幸次郎
縣廳舍設計圖案　堀田道彦
清流木曾川に望みホテルを持てる公衆浴場草案　土岐不二男
市街地に建つ兒童小劇場　戸田一郎
公園内に建つ公會堂設計圖　片岡廣二
集合住宅設計圖　吉田勝治
佛敎會館設計圖　横山秀哉
遊覽空中電車停車場設計圖　野々垣常光
大衆文化の發達に捧げらるゝ圖書館の草案　山田稔
文化指導會館　山崎和三郎
美術館設計圖　山口潔
移民地に建つ日本人會館設計圖　府川光之助
公會堂の試み　小松單一



高等學校建築試案　本科　佐々木勇
歌劇場設計圖　同　眞鍋靜雄
遊園地の建築計畫　本科　下村淳
郊外遊園地の建物　特科　金東洙
公園内に建つ市民音樂堂の試案　鈴木忠臣
美術學院設計試案　鈴木不二雄
山麓に建つ某邸宅設計圖　加藤鐵一郎
總督府廳舍設計圖　林金樹
郊外に建つ勞働者合宿會館試案　奏欲修

## 南滿洲工業專門學校計畫

停車場　浦塘國義
旅館　桶田邦雄
海濱運動倶樂部　梶原勇雄
市場　中山岩男
市街に建つ旅館　坂本登
哈市に建つ日支露倶樂部　武方織太
博物館　千葉武夫
納骨堂　筒鹽信雄
消防屯所　仁林寰
滿蒙文化協會　堀江遼
獨身宿舍　豆谷正雄
繪畫展覽會場　三田昇一郎
結核療養所　楊河正幸

## 京城高等工業學校計畫

## 各建築物工事概要

### 時事新報社建築工事概要

一、位置　東京市麹町區八重洲町一丁目一番地
一、敷地面積、八二〇坪四、一、建築面積六五二坪、三、内本館、四三五坪八、工場、二一六坪五、一、延坪數、二九二一坪一五、内本館地階、四二六坪四、一階、四三五坪八、二階、四二六坪四、三階、四二六坪四、四階、四二六坪一、五階、四二六坪一、屋上突出部、二五坪五
一、塔家、八坪五、鳩舍、六坪二五、計、二六〇七坪四五、一、工場　地階、九七坪二、一階、二一六坪五合、計、三百十三坪七合、一、建物高、軒高七十一尺五寸、塔家屋根迄九十八尺、一、工程起工、大正十四年八月、竣工、大正十五年十二月、一、各階の配置、地階、倉庫、從業員宿直室、更衣室、汽罐室、變電室、電池室、煖房通

風室、浴室、小使室、其他、一階、營業室、應接室、發送室、印刷工場、鉛版工場、鑄造工場、ルラー場、豫備印刷室、其他、二階、編輯室、校正室、電信室、長距離電話室、社員宿直室、工務室、文撰工場、紙型工場、其他、三階、社長室、重役室、會議室、客室、圖書室、電話交換室、食堂、寫眞室、豫備室、其他、四階、貸事務室、五階、大講堂、貸事務室、其他、屋上水槽室、昇降機々械室、鳩舍、其他昇降機室、階段室、便所等各階に配置す。一、構造、鐵筋コンクリート造、印刷工場、鐵筋コンクリート造基礎、根切り深十二尺八寸掘下げ、各柱下に、三本乃至六本のペデスタル式鐵筋コンクリート杭（長約六十尺）を打込み、其上に鐵筋コンクリート基礎版及礎梁を築造す。壁、床、柱、本館外壁、柱、床は全部鐵筋コンクリート造とし、間壁は主要なる耐震壁を鐵筋コンクリート造、其他を木骨ラス張り、淡喰塗とす。印刷工場は柱、梁を鐵骨造とし鐵筋コンクリートにて被覆し、壁床は本館同樣鐵筋コンクリート造とす。屋根、鐵筋コンクリート造陸屋根とし、マルソイド防水工事を施したる上、表面小砂利敷き仕上げとす。尙塔家は鐵筋小屋組の上に銅板葺きとす。一、外部仕上げ、外側四面共各階窓臺下の部分をモルタル塗とし、其他は全部人造石塗洗出し仕上げとし、軒廻の彫刻及腰バンドは蛇紋石粒入色付人造石張付けとす。窓は全部スチールサッシュを使用す。一、内部仕上げ、天井一般事務室は白漆喰直塗、五階は漆喰張、天井各階便所はメタル、シーリング、大講堂はコルク張り。壁、一般事務室は白漆喰塗、モルタル塗幅木、廊下は腰ペンキ塗、大講堂は壁水性ペンキ色は腰白色タイル張り、大講堂は壁及廣間は大理付、腰羽目コルク張り、一階女關及廣間は大理石張り、三階社長室及客室は壁紙張り。床、一般事務室はリノリウム敷、廊下は人造石塗研出し、一階廣間、玄關、營業室客溜り、便所はタイル敷、其他各工場はアスファルト又はモルタル塗。一、階段、三個所總て鐵筋コンクリート造とし、前記同樣防火扉を附す。尙各階に三個所宛消火栓を設備す。一、電氣設備、電灯、配線は總てコンヂットチューブに納め、コンクリート中に埋設し、一般事務室は半間接照明、各工場は間接、直接兩照明を併用し尙停電の用意として、自動切換裝置による蓄電池を設備す。電氣時計、親時計を一階營業室に置き各所に五十個の子時計を配置す。避雷針、塔家旗竿、煙突、其他合計四個所設置す。一、印刷工場設備、印刷工場には獨逸アルバート會社製超高速輪轉機四臺聯結のもの四基（現在は二基だけ据付）と、補助マルノニー機數臺を据付くるものにして、輪轉機の基礎は震動を避くる爲めに建物の基礎と全然切放し、一基毎に各



さ二百十尺一晝夜約一萬石の揚水量ある鑿井を設け、エヤーリフト及其の他、自動ポンプによりて屋上水槽に揚水し、各階の便所、洗面所、浴室、各工場其他に給水す。尙汽罐室に設置せるリチヤードソン、ボイラーにより地階各洗面所竝に浴室に温水を供給す。一、排水、各階便所汚水及排水は中庭に設けたる汚水處理槽に導きて淨化したる後、自動ポンプにより市設下水に排出す。一、防火裝置、各階を二（地階、一階は三）防火區に分ち、鐵筋コンクリート壁にて仕切り、各入口にはスチール、シヤッター又は鐵扉を取付く、又各階段室の周壁は鐵筋コンクリート造とし、前記同樣防火扉を附す。尙各階に三個所宛消火栓を設備す。一、電氣設備、電灯、配線は總てコンヂットチューブに納め、コンクリート中に埋設し、一般事務室は半間接照明、各工場は間接、直接兩照明を併用し尙停電の用意として、自動切換裝置による蓄電池を設備す。電氣時計、親時計を一階營業室に置き各所に五十個の子時計を配置す。避雷針、塔家旗竿、煙突、其他合計四個所設置す。一、印刷工場設備、印刷工場には獨逸アルバート會社製超高速輪轉機四臺聯結のもの四基（現在は二基だけ据付）と、補助マルノニー機數臺を据付くるものにして、輪轉機の基礎は震動を避くる爲めに建物の基礎と全然切放し、一基毎に各

獨立に本館同樣ペデスタル杭十二本を打込みたる上に、厚十尺のコンクリート基礎盤を作り、其上に機械を据付く。尙印刷工場天井高を約二十四尺とし、輪轉機上部にラベリング、クレーンを設置し、卷取紙其他の運搬の用に便す。一、設計監督　櫻井小太郎建築事務所、工學博士、櫻井小太郎、工學士、石原信之、現場主任廣瀨喜之助、構造計算、織本道三郎、工事請負大林組

## □東京朝日新聞社建築工

### 事概要

位置、東京市麹町區有樂町三丁目一番地、

建築工事

工程、地質檢査大正十四年二月、地鎭祭施行、大正十四年三月十日、準備工事、（自大正十四年三月十日至同年十一月三十日）基礎鐵筋コンクリート工事（自大正十四年十二月九日至同十五年一月六日）根伐工事、（自大正十四年十一月一日至同年十一月三十日）仕上及び造作工事、（自大正十五年七月廿七日至昭和二年三月十九日）竣工、昭和二年三月十九日、即ち、地鎭祭施行後落成まで通計七百三十九日間、本工事着手後落成まで五百四日間の日子を要したことになる。使用材料（主なるもの）砂利、一、五七〇立坪、砂一、〇〇〇立坪、セメント、二一、一五八樽、鐵骨（主要構造部）一、七九五噸、鐵筋、六六九噸、堰板、七、三八三坪、煉瓦、三一二、三六〇本、アスファルト、一三、四二六貫、鐵網、二、九一八坪、リシン、四〇九樽、スチール・サッシュ、一七、五九三平方尺、スチール・ドアー、二四五個所、スチール・シヤッター、二、九〇七平方尺、電力、五五、四〇〇キロワット。所要職工、延人員、約十二萬人、敷地、本社屋の敷地は面積九百九十八坪四合で不規則な五角形をなし、前面は日比谷から築地に通ずる三十六メートル道路に面し、數寄屋橋を詰の廣場を控へて居る。東側は外濠に臨み、北及西の二面はそれ〳〵十五メートル、十一メートルの道路に接し僅かに東北の一隅に於いて邦樂座と隣つてゐるだけである。位置としては周圍密達、交通至便眞に新聞社屋の位置として絶好の場所と言はねばならぬ。坪數、建坪、延坪、各階各室坪數は左の通りである。建坪、六九一・七九坪、延坪、六三二・五四坪、地階、六三二・〇坪、一階、六九一・〇一坪、地階、九七八・〇一坪、中二階一四八・七二坪、一階、六九一・七九坪、中二階一四八・七二坪、二階、五四一・四五坪、三階、五三三・八八坪、四階、四七七・九九坪、五階、三二〇・四二坪、六階、三二〇・四二坪、七階、二五九・三二坪、八階、三八・四五坪、塔屋、一三・〇四坪、但し右坪數は、外壁の眞を以て計つたもので、バルコン、庇、空濠の類及び屋上突出物は計算に入れてない。尙ほ右の內四階の食堂娛樂室の一廓と、一階、荷解き場、自動車庫、鍛冶場等の附屬家一廓とは、純然たる鐵骨鐵筋コンクリート造りであるが、假設的のもので將來本社屋擴張の際には、此等を取毀して增築することの出來る樣になつてゐる。そのために現在北側に三百坪餘の空地が殘存してゐるのであるが、增築の曉には總延坪數は六千二百坪に上るのであらう。高さ、數寄屋橋畔の地盤と、北側の地盤とは高低の差があるが、橋詰の本社玄關を標準地盤とし、之よりの高さを示せば左の通りである。正面部分軒高（地盤よりパラペットの上端まで）一〇二尺、塔屋頂上パラペット上端（同上）一三〇尺、屋上鐵塔頂上（同上）一八〇尺、鐵塔頂上避雷針先端、一八八尺、煙突頂上、一三〇尺、高　地階、ボイラー室、一五尺、更衣室、倉庫等一二尺、機械室、紙庫室九尺五寸、一階營業室、印刷工場、一九尺五寸、其他、一〇尺

構造の概要

更に構造を說明すれば、本社屋の構造は鐵筋コンクリート構造で、耐震耐火的使命の完了を期してゐる。そして敷地の關係上、用途の多樣である關係上、平面圖で見る如く、不規則な平面的計畫であり、また最上階に柱の少ない大きな大ホールを有する爲め、構造は極めて困難なものであつた。今、構造上の大要を概說すれば、柱——は鐵骨に米國ベツレヘム日型を選んだ。それは工作が比較的容易なのと、も一つは本建築の如き不規則な平面を有するものに於ける梁と柱との取附けの困難を幾分減ずることが出來るからである。そして凡ての鐵骨柱は、全部鐵筋コンクリートで被覆してある。梁——は、小梁に於いてはI型を用ひたが、大梁に於ては張間（柱と柱の距離）形狀の不同によつて、張間の大きなものはベレート・ガーダーを用ひ、特に地震橫力の分擔を大ならしめるため、外壁柱を連結するウオール・ガーダーは全部スパンドレル型に構成し、其の有效性を意匠の許し得る限り大にし、外壁體鐵筋コンクリートの密着を完全にし其の應力を大ならしめて、構造的に且つ經濟的に兩立させた。間仕切り壁體——は、意匠の平面的計畫と一致せしめた鐵筋コンクリート、即ち所謂耐震壁とし、之に橫力の分擔を大ならしめ、剛なる各階鐵筋コンクリート床板と共に、常時的でない地震力に備へて安全を期してゐる。基礎——は、別項にも述べた通り、平版式基礎、即ち鐵筋コンクリート總地形で、其最底部は地盤線より十八尺五寸の深さの密實な鼠色砂層に位し、その試驗結果（別項參照）は安全地耐力三噸半であるが、設計上の最大壓力は一噸八分であつて、安全地耐力の餘裕は本建築物の最も意を强くする點で、杭打地形のそれに比して、工期の短縮と工費の節減に及ぼした影響の大であつたことは特筆すべきものであると思ふ。

社屋内の設備

社屋内の新設備の王として九臺の朝日式超高速度輪轉機を第一に數へねばならぬが、この外建築附帶設備としては左の通りである。昇降設備表玄關左側に据付けてある三臺の客用昇降機は米國オーチス・エレヴエーター會社製で、二臺は地下階から七階まで、一臺は地下階から屋上までの間を昇降する。機械は三相交流二百弗ヴオルトの電動機で運轉せられ、積載荷重二千封度（二百四十貫）昇降速度毎分二百呎の能力を有し、昇降籠の大きさは間口五呎奥行六呎であるから平均十四五人の乘客を收容して昇降することが出來る。各階乘降口には總て防火扉を取付け、一階と六階大講堂出入口にはスリーパネル・ツースピード・ドーアを設け、出入口の開きを大にして多人數の乘降に便利な樣にしてある。それで、一階玄關から大講堂に行くとすれば、その昇降程約六十九呎であるから、約二十一秒時で達することが出來る。昇降機の機械室は、昇降路の直上に設けられ、機械室内に据付けられた調速機に鋼索を以て連結された安全機は昇降籠下に取付けられてゐる。故に昇降籠を吊す五本の鋼索が一時に切斷された場合は言ふまでもなく、何かの故障で昇降籠が規定の速度（一分間二百呎）よりも一二割位の過速度で下降する場合があつても、直ちにこの調速機の作用で安全機が動いて昇降籠の下降するのが安全に停止され、同時に電動機に送られる電流も遮斷される。其他昇降籠の鐵製壁戶及び各階出入口扉には安全電氣接續器を取付け、扉が開け放しの儘である時は、機械の運轉を不可能ならしめる等の安全設備一切を完備してゐる。他の社員用昇降機（地階より五階までのもの）は、内外エレヴエーター會社の容量變更式人員用エレヴエーターで、平常の積載量は二千封度（二百四十貫）で、速度毎分百五十呎である。これは、人員の昇降に使用するもので、必要に應じ積載量を四千封度（四百八十貫）速度毎分五十呎に變更し、金庫等の重量物の昇降に使用することが出來る。この容量變更の方法は、正齒車減速方法によるもので、捲揚





機の電磁制動機枠に裝置した二組の齒車裝置をハンドルによつて移動するのみで簡單に行はれ在來の平衡重量錘增加等の繁雜の手數を要しない特徵がある。同昇降機の出入口には、片開き鋼製防火扉を設け、必要に應じて固定扉も共に前方に回轉せしめ、出入口全部を開放することが出來る。暖房裝置、左の二系統から成つてゐる。第一、温風加熱裝置によるもの——工場、營業室、編輯室、講堂等の各室への送風はこれによる。第二、放熱器を用ひた低壓蒸氣暖房裝置によるもの——前記以外の各室は主としてこの方法により、前記の各室も補助としてこれによる。本裝置の大要を述べると、地下室に米國アメリカン・ラヂエーター會社製のアイデアルボイラー №—459—0 二臺及び №—3003—0 一臺を据付け、大型二臺は地下室より五階までの暖房用に、小型一臺は六階以上の暖房用としてある。このボイラーにはオイル・バーナーを取付け、地下室に裝置された容量五十五石の重油タンク二個から自動的に給油される樣になつてゐる。燃料として石炭を使用する必要の起つた場合はオイル・バナーを取外して、火床に僅少の改造を施せば容易にその目的を達することが出來る。第一の温風加熱裝置は、先づ屋上から新鮮な空氣を導入するため、通風機とコンクリート製通風塔がある。新鮮な空氣はこの塔によつて地下室に導かれ、加熱器、空氣洗滌器、空氣再加熱器を經て、適度の温度と濕度とを與へられ、多翼型のセントリフユーガル・ファン（容量毎分三萬八千立方尺、電動機二十馬力）によつて、鐵板製ダクトを通じて各室に分布せられる。この温風の出口には各レデスターを附けて大ホール（講堂）だけは椅子席の下に設けられてゐるマッシュルーム通風口を用ふ。新鮮空氣取換度數は講室一時間に三回、其他の各室は三回乃至五回である。前記の空氣加熱器及び再加熱器は、ドイツのブデラス鐵工株式會社製ロンビカス・ヒータを使用した。第二の放熱器使用低壓暖房裝置は、重力循環式であつて、前記ボイラーから發生される蒸氣は、二封度以下の低壓を以つて主管分岐管を通じ放熱器に至る。この放熱器は百四十二組、放熱面積合計五千九百七十四平方尺である。この裝置は特種の配管方法によつて、放熱作用を迅速ならしめる樣になつてゐる。又復歸水の循環は、コンデンセーションポンプの作用による。前記放熱器はすべてドイツのブデラス株式會社製品を使用し、ロガナ型及びローラー型の二種である。又鐵管及び壁型放熱器は米國ナイヤガラ・ラヂエーター會社製品を使用した。尙ほ配管方法は、獨立配管に屬し、その調節は汽罐室に於いて調節用主瓣によつて自由に行ふことが出來る。暖房裝置によつて保證する室内の温度は左の通りである。事務室、華氏、六十五度、工場同、六十度、講堂、同、六十度、食堂、同、六十五度、換氣と冷風　換氣裝置による各室の平均換氣度數は左の通りである。事務室、一時間付、五回、印刷室、同、七回、講堂、同、五回便所、喫煙室、活字鑄造場、厨房、十五回、換氣方法としては、各所に電動直結低速無音のプロペラ・ファンを壁又は室内に取付け、所要の換氣を行ふ樣になつてゐる。但し講堂では特に電動セントリフユーガル・ファン（容量毎分一萬三千立方尺、五馬力）を屋上に備へてある。又、冷風裝置は、多期に於ける温風暖房の目的を以て設計された設備を、夏期に利用して目的を達する樣になつてゐるもので、通風塔から地下に導き入れた空氣は、地下百五十尺より湧出する鑿井の水によつて空氣洗滌器内に絶えず冷却され、温風を送ると同じダクトを通じて必要の場所に導き出される。井水は華氏六十度以下の冷水で、一分間に六十立方呎の割合で間斷なく洗滌用として供給され、夏期の室内温度を外氣よりも華氏五度乃至六度低下させることが出來る。鑿井揚水裝置、鑿井は本館中央部地下に深さ百五十尺、直徑十二吋半の鐵管を挿入して地下水を汲み上げるもので、水質は無色透明、華氏六十度、水量一晝夜一萬四千石を得ること

が出來る。この水は、防火、便器洗滌、洗面、手洗等はもとより、冷房裝置用、鎔鈑冷却用等一切の水源に充てられてゐる。この鑿井の近傍に於いて地下室床下に約五百石を容る貯水槽を設け、汲上げた井水をこれに貯へ、且つ夾雜物を沈澱せしめてゐる。又萬一揚水不可能なる場合のために、四吋の水道管をこの貯水槽に導き何時でも放水せしめることが出來る樣にしてある。揚水方法は、壓搾空氣揚水式で、米國インガーソールランド會社製三十馬力空氣壓搾機を使用し、この機械は揚水專用のものでなく、他の工場用として平常運轉されてゐるから、貯水槽内の水が減少すれば自動的に開弁して鑿井内に壓搾空氣を送り揚水し、滿水すれば機械は運轉しながら送風を自動的に中止する裝置と、同時に空氣が空氣槽に充滿すれば自然機械の運轉を休め、一定度の壓力以上に上らしめず、更に空氣が減少すれば自然運轉を開始する自動起動裝置と、兩樣の完全な設備を備へてゐる。防火設備、各階に總計三十餘ケ所の消火栓があつて各々長さ百尺のホースを備へてゐる。又、其の消火栓のスウイッチによつて、直ちに地下室の防火ポンプが運轉を始め、高壓力の水を噴出せしめる裝置がしてある。ポンプは、ゐのくち式十五馬力多段タービンポンプである。給水と給湯、屋上に鐵筋コンクリート製の約五十石を容れる水槽が二個ある。これに井水及び上水を各別に貯水してある。又、地下室には井水貯水池からこの屋上水槽に揚水するための十馬力多段タービンポンプが二臺ある。上水揚水用としては同じポンプ一臺を備へて、常に自動的に一定以上の水を貯へる樣になつてゐる。この屋上水槽から、各階の必要場所に給水してゐる。又地下室に、直徑三尺五寸長さ十五尺の貯湯槽が設置されてゐて、米國クワニー會社のボイラーでこの貯湯槽内の水を一時間に華氏百六十度の熱湯に溫めてゐる。この貯湯槽からは、各階洗面所手洗所はもとより、工場用、浴槽用なほすべてに給湯され、又ゐのくち式一馬力渦巻ポンプによつて湯を循環せしめ、冷えた湯は貯湯槽に送り返して溫い湯が常に水栓から出る樣になつてゐる。排水排氣、排水排氣について特に留意し、工場寫眞製版所等から流出する劇烈な藥液を混入した汚水は、これに耐へる陶管を以て特種の排水設備を施し、排便水はすべて地下床下に設けられた汚水處理槽に流下せしめて淨化する樣にしてある。汚水處理槽は幅二十尺長さ五十尺の大きさがあつて、一千人分の淨化の容量を有してゐる又、地下室の排水は、全部ボイラー室内の排水溜に集め、ゐのくち式六吋五馬力渦巻ポンプ二臺で下水に放流する樣になつてゐる。衛生裝置、陶器類は主に東洋陶器會社の新型を網羅し、米國製品を以て不足を補ひ、完備と衛生とを期した。特に工場用諸衛生設備に意を用ひ、他に比類少なき完備をしたものである。これ等の裝置の大體は次の如くである。大便器、四十ケ所、小便器(壁型壁掛共)五十五ケ所、洗面器、手洗器、七十ケ所、流し場、十五ケ所、飲料水泉、三ケ所、シヤワー、四ケ所給水栓類、約二百ケ所。掃除裝置、米國スペンサー・タービン・クリナー會社の十五馬力の眞空掃除裝置を設備し、各階に總計八十ケ所の掃除口を設けてある。この掃除口には會社獨特の完備した各種掃除用具及びゴム・ホースを連結して、室内や器具類の塵芥を吸收掃除し、この塵芥は本機を經て煙突内に吐き出されて燒却される樣になつてゐる。掃除は同時に六ケ所を行ふことが出來る。以上各衛生設備に要した管類は直徑二分一吋以上十吋まで延長約二萬尺以上に達し、傘類約三百個に上る。電氣設備、電力を使用するに當つて最も不都合のことは、停電に遭遇することである。殊に新聞社の如き機械運轉の中止を絶對に嫌ふ所では、この點に特に注意を要する。本社に於ては東京電燈株式會社から電力の供給を受けてゐるが、特に會社丸之内及び京橋兩變電所から專用中線によつて送電を





受け、一ケ所の變電所の故障では停電せぬやうに準備してある。本社の受電電力は、動力用として明電舍製一〇〇KVA變壓器七臺（内一臺は豫備）電燈用としては同じく七五KVA變壓器四臺（内一臺は豫備）あつて、合計八百二十五キロワット一千一百馬力である。この電力は若しこれを全部電燈用とすれば二十四燭光の電燈が二萬七千五百燈を點燈することが出來る。この電力は實際に於いては、電動機約百臺八百馬力と三千個の電燈と數個のアーク燈（寫眞用）に用ひられてゐる。照明裝置に對しては特別の注意を拂つてある。特に工場照明にはドイツのカールツアイス合資會社の最新輸入品及び東京工業社のシルバーライトを使用し、良好なる照明と高能率とを發揮してゐる。編輯局内其他にも前記ドイツ照明器によつてその能率の增進が計つてある。尙ほ大講堂の照明設備は特に意を用ひ、映寫演藝用としての完全を期し、一流劇場に比して遜色なき間接照明法を施してある。大講堂に於いても一の注意すべきことは、寫眞撮影の場合にマグネシウムを絶對に用ひる必要なき樣、一千五百ワットの高燭光電球十個を施設し、之に撮影時に當つて約一倍半の過電壓を加へ、一個約二萬燭光計二十萬燭光の驚くべき光力を出さしめ、晝を欺くやうになつてゐる。電話設備、本社内に於ける電話設備としては交換臺は左の四臺である。共電式並列複式交換臺、三臺（六座席）、局線回路容量、百回線（實裝三十回線）、私設回路容量、三百回線（實裝百回線）接續紐回路、六十對（各座十對宛）、共電式特殊交換機、一臺、前者は社内外の一般通信用電話に使用せられ、後者は構内電話二十回線で、印刷科、活版科、其他の工場用として使用せらる又電話機は、共電式卓上電話機、八七個、同壁掛電話機、一九個、磁石式電話機、一九個、同壁掛電話機、一八個、計、一四三個、其他配線盤發電機等の設備は左の通りである。配線盤、一臺、試驗分線盤、一臺、蓄電池（二一八アンペア時）三組、電動發電機、一臺、（三相交流電動機、二百ヴオルト、二馬力直流發電機三十ヴオルト、一・二KW）、信號用電動發電機、二臺、（三相交流電動機、二百ヴオルト、八分の一馬力單相交流電動機、七十ヴオルト、十六サイクル）各種信號設備、信號設備としては、活版科から印刷科に對するもの、又印刷科から發送課に至るもの等がある。即ち取換面表示設備、地方版降版通知表示、地方版刷始刷終表示、驛名用表示、發送用表示、自動車用表示、出勤退出表示、號外用信號其他があつて、全部ラムプ式でその數及ぶ。其他、停電の場内の應急五百八十二個に及ぶ。其他、停電の場内の應急設備として、豫備等が設備され變電室、電信室電話交換室、受付、大廣間等へ蓄電池から電力を供給して點燈される。又電氣時計設備は親時計一個、塔時計一個あつて、子時計は片面、兩面を各室に裝備してある。

工事關係者

設計及施工、合名會社竹中工務店、意匠設計、工學士石本喜久治、構造計算、工學士藤井彌太郎、工事主任、工學士戸塚端、煖房換氣工事、合資會社建材社、衛生工事、齋藤久孝事務所、電氣工事豊國電氣工業所、電話工事、沖電氣株式會社、電氣時計、東京計器製作所、昇降機、三機工業株式會社内外エレベーター株式會社、鑿泉日本鑿泉合資會社、

## □東京電力株式會社東京火力發電所建築工事概要

東京火力發電所は三萬五千キロワット發電機二臺、二千五百キロワット一臺、カーチス式汽罐四基を設備し、容量、設備に於て本邦最新式と稱せらる。位置、神奈川縣橘樹郡田島町大川町（東京灣埋立地四號）起工、大正十五年二月一日、竣工、昭和二年三月十五日、數地面積二萬坪、建坪、七百六十四坪七合、内譯、電氣室、六九、三五、汽機室、三二九、五八、汽罐室三六五、七七、延坪、一千七百六十三坪八合六

勾、軒高、電氣室汽機室は地盤より七十五呎、汽罐室は八十七呎六吋、汽罐室最頂部まで一百八呎。

配　　室

電氣室、一階、所內用變壓器室、電動發電機室蓄電池室、二階、石炭分析室、便所、三階、補助配電盤室、四階、事務室、オイルスウ井チ及ブスコンパートメント、五階、應接室、オイルスウ井チ及ブスコンパートメント、六階、事務室、主要配電盤室。汽機室、一階、凝汽器、循環喞筒、給水加熱裝置等を設備す。二階、三萬五千キロワット發電機二臺、二千五百キロワット所內發電機一臺を設備す。天井移動起重機は主捲七十五噸。汽罐室、一階、强壓送風機、殘滓排出喞筒、便所、浴場、手洗場、二階、汽罐室、三階誘導送風機室、四階、貯炭槽、構造、鐵骨鐵筋コンクリート造。基礎、地盤面より汽罐室は八呎、汽機室、電氣室は十四呎掘下げ、松杭末口七寸、長さ二十五呎を砂層に打込み、聯合式鐵筋コンクリート地形となし、荷重の分布を均等ならしむ。主要汽機の基礎は特に壓搾空氣を使用し、コンクリート潛函を地盤面より九十一呎の硬質砂層に達せしむ。構造主體、柱、桁、梁小屋組等凡て鐵骨構造とし、柱は鐵筋コンクリートにて包み、周圍壁及間仕切壁は何れも鐵筋コンクリート造耐震壁とす。煙突、鐵板製にして內部は耐火煉瓦竝にメタルラス張りの上にモルタル塗りを施したるものにて「ライニング」を施す。煙突は三階誘導送風機室の鐵梁の上に其底部を一吋四分の一のアンカーボールト二十二本を以て締付け、頂口徑一一呎、高さ七〇呎地盤面より一四〇呎四基を設備す。貯炭槽、鐵板製にして內部はコンクリートにて「ライニング」を施せり。炭槽數八ケ總容量一千噸とす。屋根、ハイリップ張り、鐵筋コンクリートを以て構成し、アスファルト防水層を設け、表面豆砂利散布。外部壁面、セメントモルタル刷毛引仕上、腰廻りは人造石洗出し。內部壁面及天井、電氣室、汽機室は凡て白漆喰仕上、腰はセメントモルタル塗りの上に、ストーンコートペンキ塗り一部タイル張り。汽罐室は全部セメントモルタル塗り。床面、電氣室の各事務室及主要配電盤室はリノリューム張、汽機室の一部、電氣室の各階は人造石研ぎ出し、其他はセメントモルタル塗り。出入口及窓、大入口は捲上げシャッターを使用、外部窓はコッパースチール製のサッシュ內部建具は木製。階段、電氣室主要階段は鐵筋コンクリート造、人造石磨ぎ出しとし、其他は鐵製を使用す。

設　　備

昇降機、米國オチス會社製一臺を設備す、積載量壹噸、自動運轉裝置をなす。煖房、所要各室に電熱煖房を設備す。給水、鑿泉井より屋上貯水槽に導き、事務室、便所、浴室等所要の各所に給水す。衛生裝置、便所は凡て洗滌式として汚水は經塚式淨化槽を經て淨化し、放水路に連絡せしめ、海に放流す。換氣、汽罐室、汽機室は温度高くこれを調節する爲、屋上モニターに回轉式スチールサッシュを嵌込み、二分の一馬力發動機四臺を小屋組上に設備し、プッシュボタンに依り自由に開閉し得る裝置をなす。照明電氣室はチエーンペンダント其他はパイプペンダントを使用す。電話、所內にはシーメンス會社製二十口自動交換電話器を設備し、要所にこれを配置す。電氣時計、東京計器製電氣時計を各所に設置す。

東京火力發電所工事主要材料報量書

| 名稱 | 建物 | 機械基礎 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 鐵骨 | 一、四九四、〇〇〇米噸 | 米噸 | 一、四九四、〇〇〇米噸 |
| 鐵筋 | 三九八、〇〇〇立坪 | 九七五、〇〇〇立坪 | 四五五、〇〇〇立坪 |
| 砂利 | 七九二、〇〇〇立坪 | 三三〇、〇〇〇立坪 | 一、一二四、〇〇〇立坪 |
| | 五七六、〇〇〇樽 | 二〇〇、〇〇〇樽 | 七六、〇〇〇樽 |
| セメント | 二一、八〇〇、〇〇〇本 | 四、四八〇、〇〇〇本 | 二六、二八〇、〇〇〇本 |
| 鐵網ラス | 一八、〇〇〇、〇〇〇坪 | | 一八、〇〇〇、〇〇〇坪 |
| 松杭 | 二、二五八、〇〇〇本 | 七五、〇〇〇本 | 二、八九三、〇〇〇本 |





設計、工學博士內藤多仲、設計監督、東京電力株式會社技師、伊勢田義質、同技手、古賀勘次郎、同、岡野芳藏、同、藤井秀雄、施工者、清水組、工事主任、岸高武現場主任、下田節二、鐵骨製作者、浦賀船渠株式會社

□横濱正金銀行東京支店

建築工事概要

位置、東京市日本橋區本兩替町五、六、七、八番地、北鞘町七、八、九番地。敷地、九百十二坪。本館、規模、建坪壁心にて六百二十四坪、階數地上六階、地下二階、延坪四千一百五十七坪軒高さ百十一尺、總高百十七尺（六階陸屋根扶壁上端迄）第二地階十二尺、第一地階十二尺一階四十二尺、二階十四尺、三階十四尺、四階十四尺、五階十五尺、六階十三尺。建築樣式、希臘羅馬式。各階配置、第二地階、煖房汽罐室換氣機室、喫煙室、印刷室、倉庫、變電室、蓄電室、昇降機室廣間。一階、營業室、客溜、金庫室、應接室、支配人室、玄關廣間、昇降機室、廣間。中二階、帳簿庫、電話交換室、昇降機室廣間。二階、事務室、電信機械室、應接室、昇降機室廣間、帳簿庫。三階、頭取室、重役室、事務室、應接室、帳簿庫、昇降機室廣間。四階支店長室、監査役室、大廣間、重役會議室、事務室、應接室、帳簿庫、昇降機室廣間。五階、重役食堂、談話室、豫備食堂、配膳室、圖書室事務室、應接室、帳簿庫、昇降機室廣間。六階行員食堂、厨房、配膳室、雜品庫簿書保存室、昇降機室廣間。屋上、水槽室、昇降機機械室。構造、基礎、地表面以下深さ三十尺及二十三尺柱脚下部最も深きものは三十七尺にして鐵筋コンクリート基礎を定置し鐵筋コンクリート擁壁を廻らす、基礎を定置せる天然地盤は粘土交砂無水層にして著しき耐壓力を有す。防濕層、地階下層及擁壁外圍にアスファルト防濕層を設く建物主體、建物の主體は鐵骨鐵筋コンクリート構造にして外壁、主要間仕切壁、柱、床、階段、陸屋根床は一體の耐震架構造を形成す、主なる構造用鋼材は米國製品なり。外裝、外部の仕上げとなる石材は米國山縣北木島產花崗石及び茨城縣稻田產花崗石にして其加工は主として機械作業に依る、蓋し本邦に於ける此種の最初の試みなりとす。但し五階以上の壁、軒蛇腹、扶壁は人造石造にして手工仕上げをなせり。屋根、陸屋根上面に防水アスファルト工事を施し磚瓦を以て舖裝す。營業室上部に在る中坪屋根は營業室採光の爲め硝子張裝コンクリート構造にして該中坪上部は鐵網を張殼け以て硝子部分を保護す。窓鐵扉、一階に於ける各窓及西側隣地に面する各階窓は電動開閉裝置を有する卷込防火鐵扉の設備を有す。窓硝子障子は鐵製にして英國製品及本邦製品を用ひ、英國製透明網入硝子を嵌込みたり。室內仕上、內壁面、間仕切及び天井は漆喰塗上げにして床はコンクリート構造にして、其上面に更に厚さ五寸內外火山砂利の輕量コンクリート中間層を施し之れに諸理說管を藏置せしむ。二階各事務室及二階以上にある各事務室床はリノリウム敷仕上にしてチーク製幅木を附す。三、四、五階に於ける應接室會議室其他特殊の室はチーク製腰羽目を設け床は寄木張なり。各階廊下幅木は大理石製、昇降機室廣間腰羽目及昇降機出入口廻り額緣は大理石張。三、四、五階廊下及昇降機室廣間床は大理石の緣を廻らし中間は護謨瓦を敷く。建具、各階に於ける廣間出入口には鐵製唐戶を裝し、各階各室の出入口にはチーク製唐戶を裝す、建具金物の主なるものは米國製品を用ふ。營業室、天井高さ三十二尺七寸にして、格天井は金屬板打出模樣飾を附し大白色ペンキ塗を施す、腰羽目は伊太利產大理石張、客溜の床は本邦產大理石敷事務室部分はリノリウム敷壁は漆喰塗淡黃色に仕上ぐ、營業臺甲板は本邦產花崗石磨き板を用ひ、圍障格子は銅製にして窓口上下格子戶を附す。玄關、表玄關出入口廻り扉及び上部格子は青銅製にして該出入口內側に青銅製風除屏障を設く。金庫及帳簿庫、一階に於ける主金庫、第一地階に於ける豫備金庫、二階乃至五階に於け

る帳簿庫四室は鐵筋コンクリート主體鋼板張特殊構造にして出入口及非常口扉は米國モスラー會社、同ヘリングホール會社、同ヨーク會社製品を用ひ中二階帳簿庫扉は本邦製品なり。機械的設備、煖房裝置、本建物煖房裝置は全部低壓眞空式蒸汽煖房裝置にして送汽竝に還水主管を第二地下室天井下に配置する「アップフイード」配管とす。汽罐は米國「アメリカンラヂエーター」會社製「アイデアル」七十九吋「ウオーターチューブボイラー」四基とし、眞空喞筒は米國「ナッシユ、エンヂニヤリング」會社製眞空及吸水喞筒とす。換氣及、冷房裝置、營業室は換氣裝置をなし、夏季に於ては此の裝置を冷房用に供するものとす、其の方法は第二地階機械室に第一加熱器空氣洗滌脫濕機煽風機第二加熱器、混氣室等を設備し、同階天井下に配置せる風道に依り、第一階營業室内「レヂスター」に至る送風管を設置し、之れに依り温度及濕度を調節せる空氣を營業室に送るものとす、盛夏の季節には後出の鑿井より冷水を使用し、前記空氣洗滌及脫濕機に依り外氣を適度に冷却し、之れを營業室に送り冷房するものとす。第一地階各室、便所、浴室、厨房は各別に機械的に排氣裝置をなす。汽罐室は煙突と建物との空隙を利用して自然換氣をなさしむ。給水裝置、飲料、厨所等の用水は水道上水を使用し、雜用水は鑿井水を使用す何れも屋上に貯水槽を設置し、前者は市上水道より後者は鑿井水貯水槽より、吸水喞筒により給水せられ、それを貯水槽より立下り、配管により所要の箇所に給水するものとす。給水喞筒は上水雜用水用共、電動機直結の「タービン」式喞筒なれ共、停電の場合に處する爲め、別に石油發動機を設置し、之れに依りて運轉なし得るものとす。鑿井裝置、本館西側通路下に内徑十二吋半の鑿井を設け「エーヤリフト」裝置に依り汲揚げ、之れを附屬家第一地階下水槽に貯へ、之れを夏季冷房用雜用水、消火用撒水用に供するものとす。井水汲揚用空氣壓搾機は電動機にて短調帶にて運轉するものにして第二地下機械室に設備す。給湯裝置、第二地下階機械室に「ストレーヂタンク」を設置し之れに給水管を連結し、別に煖房用汽罐又は給湯加熱用小型蒸汽罐より蒸汽管を本「タンク」内に設置せる蛇管に連結し、湯を作り、之れを給湯管により各階の給湯栓に送るものとす。而して各給湯栓は別に循環喞筒の作用により給湯管内に湯の温度の降下を防止す。防火裝置、消火栓は各階に通じて三十五ヶ所にして、第二地下階機械室に設置せる「ターピン」式消火喞筒にて給水するものとす、而して本配管は平素屋上雜用給水槽に連結せらるるものにして、出火の際消火栓箱を開き水管を引き出せば、先づ屋上水槽の水頭にて消火し、同時に消火喞筒運轉を開始し、之れに依る水頭が前記屋上水槽の水頭に超過するに至れば、該水槽と消火栓とは自動的に絶緣し、專ら消防喞筒にて給水せらるものとす、而して喞筒運轉と同時に機械室内警報用電鈴を鳴らすものとす。消火喞筒は電動機「ガソリン」機關に直結するものにして、停電の場合には「ガソリン」機關により運轉す。別に「サイアミーズコンネクション」を設置し、これに火災の際警視廳消防喞筒を接續し、該喞筒により室内消火栓に給水し得るものとす。衛生裝置、各階洗面所、便所等の排水は合計六ヶ所より立下り第二地下階天井に達し、横走し地下室、便所洗面所等の排水を合して汚水淨化槽に入る。汚水淨化槽は腐敗槽、好氣菌槽、濾過槽、消毒槽よりなり、屋外に設置し鐵筋「コンクリート」造とす。消毒槽により處理せられたる水は汲揚喞筒により市下水管に排出せしむ。昇降機、昇降機は客用四臺人員及荷物用一臺、料理用二臺、文書用三臺とす。客用は米國「エービーシー」會社製にして、人員及荷物用と料理用は日本「エレベーター」會社製、文書用は米國「エレベーターサップライ」會社製とす。電氣設備、變電室設備、電力は東京電燈株式會社より供給を受け、三相交流五十「サイクル」最大電壓三千三百「ヴオルト」のものを變壓器により動力竝電熱用として二百十「ヴオルト」電燈竝電熱用とし百五「ヴオルト」に降壓し配置するものとす。變壓器は動力竝電熱用七十「キロヴオルトアンペア」三臺、電燈竝電熱用五十「キロヴオルトアンペア」三臺、(内一臺豫備)を設備す。停電を防止する爲め送電線二組を引込み一方の停電に對し支障なく使用し得る樣設備せり。電燈設備、配線は總て金屬管工事にして、營業室は室内中柱及周圍の柱よりXレー反射笠を有する反射器に依る間接照明を用ひ、更に裝飾「ブラケット」燈及「スタンド」を併用し、「カウンター」には「スクリーン」内に「チューブランプ」を使用す。事務室には半間接照明器具を使用し重役室には特殊の器具を設備す。電燈個數約一〇五〇個、差込個數約三四〇個。動力用、電動機、昇降機給水換氣其他用として百十臺約三百馬力を設備す。電熱設備、電氣湯沸器用として三「キロワット」又は二「キロワット」のもの使用せらるゝ樣十二ケ所に設備し、厨房には電熱器三「キロワット」以内のものに限り必要に應じ使用差支なき樣設備す。電話設備、局線用百對「ケーブル」を引き込み、中二階交換室に三座席共電式併列複式交換機六臺を設置し、配線は金屬管工事により約六十個の私設電話を設備す、其他行内相互通話には別に交換機を設く





百「ヴオルト」のものを變壓器により動力竝電熱用として二百十「ヴオルト」電燈竝電熱用とし百五「ヴオルト」に降壓し配置するものとす。變壓器は動力竝電熱用七十「キロヴオルトアンペア」三臺、電燈竝電熱用五十「キロヴオルトアンペア」三臺、(内一臺豫備)を設備す。停電を防止する爲め送電線二組を引込み一方の停電に對し支障なく使用し得る樣設備せり。電燈設備、配線は總て金屬管工事にして、營業室は室内中柱及周圍の柱よりXレー反射笠を有する反射器に依る間接照明を用ひ、更に裝飾「ブラケット」燈及「スタンド」を併用し、「カウンター」には「スクリーン」内に「チューブランプ」を使用す。事務室には半間接照明器具を使用し重役室には特殊の器具を設備す。電燈個數約一〇五〇個、差込個數約三四〇個。動力用、電動機、昇降機給水換氣其他用として百十臺約三百馬力を設備す。電熱設備、電氣湯沸器用として三「キロワット」又は二「キロワット」のもの使用せらるゝ樣十二ケ所に設備し、厨房には電熱器三「キロワット」以内のものに限り必要に應じ使用差支なき樣設備す。電話設備、局線用百對「ケーブル」を引き込み、中二階交換室に三座席共電式併列複式交換機六臺を設置し、配線は金屬管工事により約六十個の私設電話を設備す、其他行内相互通話には別に交換機を設く

出勤退出、表示設備、南玄關守衛詰所に本盤を置き、開閉器により各階事務室に設備しある表示器の電燈を點滅して、重役其他の出勤退出を示す。電氣時計、東京阿部式電氣時計製作所電氣時計にして、附屬家二階に親時計二個を設置し、各室及廊下に子時計九十八個を取付く。停電用、豫備燈、各廊下の角及階段附近に豫備燈を設備し、停電竝に送電回復に對し自働點滅裝置を施す。右電源には蓄電池を使用す。非常報知器、各階廁間に設備し、銀行執務、守衛詰所小使室、機械係室、變電室等に非常に際し信號をなす裝置を施す。避雷針設備、煙突上部屋上周圍其他に二十三本を設置す。

建坪竪心にて九十坪、建物軒高さ四十七尺、配置延坪三百七十八坪、建物容積、三、二九八、〇〇〇、立方尺

第二地階、水槽、第一地階、小使室、湯沸場、物置、一階廣間、自動車庫、二階、宿直室、事務室、三階、宿直室、四階、豫備室、屋上昇降機機械室、階段室、構造、基礎、建物主體、鉄骨鋼材、三、三七三、噸、鐵筋コンクリート、七五六、〇四七、立方尺(三、五〇〇、立方坪)、外裝用石材、九九、九二四、立方尺、内部漆喰塗、三五二、二六〇、平方尺(九、七八五、平方坪)窓硝子、二〇、〇四七、平方尺、内部大理石、三一、五九八、平方尺、職工延員數、約三〇〇、〇〇〇、人(五月迄)、建物面積、一九一、四六八、平方尺、建物容積、三、二九八、〇〇〇、立方尺

## □東京電燈株式會社千住火力發電所新築工事概要

位置、東京府南足立郡千住町千住二丁目堤外西耕地自一二四七至一二八〇番地千住四丁目堤外西耕地自六六五至一六二六番地、敷地、坪數一萬六千一百坪。敷地標高、海拔十尺。發電力、五萬キロ。建物坪數、汽罐室二階建(地下室付)二棟、建坪、五八一、五九六坪、延坪、一、一五七、九四四坪、汽機室、二階建、一棟、建坪二六五、七〇八坪、延坪、四一九、五九五坪、ボンプ室、二階建(地下室付)一棟、建坪、二七六四二坪、延坪、八三、五九二坪、配電室、二

負の方法に依り施工せり。

| 統計 | |
|---|---|
| 根切掘鑿、 | 九五八、六〇八、立方尺(四、三五 |

階建(中二階付)一棟、建坪、一九一、三六五坪
延坪、五一〇、五七一坪、合建坪、一、〇六六、
三一一坪、合延坪、二、一七一、二七〇坪、建
物構造、基礎、オレゴンパイン杭末口10㌢より
12㌢長百呎より百十呎迄を二千三百九十三本打
ち込みたり(一本の支持力十五噸)。壁體、鐵骨鐵
筋混凝土にして、内部白漆喰塗及セメントモル
タル塗仕上げ外部總體砥石摺り仕上げ、床及屋
根、鐵骨鐵筋混凝土、床モルタル塗及リグノイ
ド、屋根ブレミア、ルーフイング張り砂利付け
建物高さ、汽罐室、ポンプ、配電室軒高四十八
呎、汽機室軒高七十七呎(地盤より)煙突、基
礎、地盤上二呎六吋迄鐵筋混凝土。鐵身、下部
直徑十八呎、頂部直徑十五呎、高二百六十呎工
期、大正十四年四月一日より杭打に着手、同年
八月三十一日に至る。百五十三日間に於いて汽
罐室一棟建坪二百九十坪七八九を除きたる建坪
七百七十五坪六一三、延坪一千五百九十二坪七
三を竣工せしめたり(第一期工事)。大正十四年
九月より同十五年十月に至り殘工事竣工(第二
期工事)。工事に使用したる重なる機械、荷揚用
デリック百二十呎(20HP)一基、同百呎(30HP)
一基、鐵骨建方用デリック、百二十呎(35HP)
一基、同百呎(35HP)一基、鐵骨リベット用コ
ムプレッサー四十五馬力、一臺、混凝土ミキサ
ー、十七切(20HP)二臺、二十四切(20HP)一臺
七切五分(10HP)一臺、混凝土打用スチールタ
ワー、百四十呎(20HP)三基、水替用ポンプ、セ
ントルフューガル(10HF)一臺、同同(7.5HP)
二臺、材料運搬臺車、四十臺、同軌道、三百間
製材用丸鋸(10HP)一臺、同鉋(5HP)一臺、主
要材容量、セメント、二萬四千五百樽、混凝土
一千七百五十立坪、鐵筋、八百英噸、鐵骨、一
千二百英噸、從業各職、十四萬三千七百六十五
人、地質、敷地内ボーリング五ヶ所、上總掘一
ケ所施行の結果、地盤面下百十四尺に至りて、厚
二十尺以上の砂利層を發見したるを以て、四基
礎杭の打止りを此層内としたり。設計及監督、
東京電燈株式會社建設部建築係、囑託、工學博
士内藤多仲、技師鈴木憲太郎、請負、合資會社、清水組、工事長内山熊八郎、工
事主任岸高武、同上須藤隼人

## □株式會社川崎銀行建築概要

位置、東京市日本橋區通三丁目八、九、一〇番地
敷地、參百五十六坪八合四勺、建物高、六十五
尺五寸(地盤よりパラペット上端まで)。總延坪
一千一百二十九坪八合四勺。内譯(壁眞にて測
りたるものとす)。地階、二六六坪一三、一階二
六三坪〇〇、中二階、一二〇坪六八、二階、一
三八坪九〇、三階、二三一坪六八、屋階、九坪
三二、各階に左の室を配置す。地階、重役食堂
行員食堂、調理室、湯沸場、小使室、更衣室、
下足室、汽罐室、機械室、石炭庫、食庫、蓄電
池室、ポンプ室、變電室、喫煙室、洗面所、便
所。一階、營業室、金庫室、貸付室、公衆溜、
應接室、客用電話室、階段室。中二階、應接室
書庫、階段室、廻廊。二階、頭取室、重役室、
第一應接室、業務部室、調査部室、庶務部室、
外國部室、交換係室、電話交換室、保管金庫、
書庫、應接室、階段室、洗面所、便所。三階、
會議室、控室、大食堂、特別室、監査役室、秘
書室、給待室、特別應接室、書庫、配膳室、調
理室、階段室、洗面所、便所。屋階、昇降機機
械室、タンク室、空氣取入室。工事期間、大正十
年八月起工し昭和二年六月竣工す。構造概要建
物の主體は總て鐵筋コンクリート造にして一部
鐵骨を併用し耐火耐震構造とす。外觀、本建築
の外觀はレネッサンス式にして、外壁は總て稻
田産花崗石を使用し五遍小叩仕上とす。各階窓
には英國ヘンリーホープ會社製サッシュ及大野
式防火シャッターを使用し、裏側各階窓には特
に防火鐵扉を併用す。窓硝子は總て英國ペルキ
ントン會社製十六分の三吋厚磨板を使用す。各
玄關出入口には膜唐戸及防火扉を、一階窓には
面格子を嵌込み何れもブロンズ製色付仕上とす
屋根陸屋根床上に完全なる防水工事を施し五寸
角タイル貼り仕上とす。内部、營業室、公衆溜





大食堂、會議室、特別室、重役室、控室、特別
應接室の天井は總て石膏彫刻色付仕上げとし、
頭取室及第一應接室の天井は格天井となし、チ
ーク材を使用しワニス塗仕上げとす。營業室客
溜のキャピタル、ベース、額緣、長押、シャッタ
ーケース及カウンタースクリーン何れもブロン
ズ製にして色付仕上げとし、公衆溜壁面及柱共
北木産花崗石を使用し水磨き仕上げとす、公衆
溜及階段室の床は獨逸製モザイックタイル張り
とし、營業室、貸付室、頭取室、重役室、第一
應接室、大食堂、會議室、控室及一階應接室の
腰羽目、額緣、建具共總てチーク材を使用しワ
ニス塗仕上げとす。其他各室及廊下は米檜及米
松を使用しワニス及ペンキ塗仕上げとす。南側
階段室の腰羽目は佛國産大理石を、段及蹴上板
は北米産水磨き花崗石を使用し、手摺、手摺子
梁桁は何れもブロンズ製仕上げとし、中央階段
室は腰羽目一部を米松ペンキ塗仕上げとし其他
は何れもチーク材を使用しワニス塗仕上げとし
北側階段室は腰羽目、段板、蹴上板及梁桁等何
れも人造研出仕上げとし、手摺はブロンズ製色
付仕上げとす。頭取室、重役室、第一應接室、
會議室、大食堂、特別室、控室の壁面は西陣緞
子貼り、特別應接室は砂壁仕上げとし床は二重
張りとし寄木及コルク仕上げとし絨毯を敷く、
其他各室及廊下の天井壁面は漆喰塗及石膏仕上
とし、床はリノリューム敷とす。地階各室、各
階便所、同洗面所の壁面は五寸角タイルを、床
はモザイックタイル及人造石研出し仕上げとす
一階金庫室、三階書庫の扉マンホール及同内設
備は米國モーズラー會社製を、二階書庫、同保
管金庫の扉マンホール及内部設備は獨逸アーン
ハイム會社製を、中二階書庫及三階書庫の内部設備
金庫店製を、中二階書庫及三階書庫の内部設備
は國末金庫店製を使用す。家具は一部クルミ材
を使用せる外總てチーク材を使用し、特に頭取
室、第一應接室はマホガニー材を使用す。中央
階段室に米國オーチス・エレベーター會社製昇
降機壹基を設置。消火設備、各階に消火栓函を
設置し、各函内のスプリンチに依り水道栓及屋上
タンクに連絡せる消火栓ポンプを自動的に起動
せしめ、消火栓に送水し得る設備をなす。煖房
設備、重力式循環温水煖房裝置にして、汽罐は
獨逸ブデラス會社製のローラー式 L W VII 七
一〇型二基を使用し放熱器はローラー型二柱及
三柱式及コルト型を使用す。通風設備、空氣洗
滌機、空氣加熱器、送風器等を地階機械室に設
置し、空氣の温濕度を調整し、ダクトを經て室
内に送風する設備をなす。換氣設備、排氣用送
風機を使用し、地階各室の汚濁空氣を屋外に排
除する設備をなす。冷却設備、エアリフトを使
用し、一時間二百石以上の冷水を深井戸より地
階タンクに揚水し、通風機械室に送水しダクト
を經て夏期室内を冷房する設備をなす。オゾン
發生設備、獨逸シーメンス會社製オゾン機ORA三號を使用し室内空氣を淨化する設備をなす
配電設備、電力は東京電燈會社より供給を受け
發電系統を異にする二ケ所の變電所より地中線
にて地階變電室に高壓を引込み、動力、電燈の
各變壓器を以て自家用となし、低壓の幹線を別
に設けたる主要配電盤へ導き、動力、電熱、電
燈の各種に分ち配電する設備をなす。電燈設備
電線はチューブ内に挿入隱蔽配線とし各階に配
電盤を置き、各室入口脇又井戸により點滅す
各室及廊下にはシャンデリア、パイプペンダン
トを、客溜、營業室にはブラケットを机上には
スタンドを設備す。電話設備、百五十回線用自
働交換機及局線中繼臺を設置し、自働交換によ
り内外に通話をなし、尚各支店との五十回線直
通電話を設備す。時計設備、英國マグネタ電氣
時計會社製親時計を營業室に設置し各階各室に
子時計を配置す。給水設備、電動機直結タービ
ンポンプにより屋上タンクに給水す。衛生設備
便所は總て水洗式とし汚水淨化槽を經て市設下
水に放流す。尚各階洗面所、便所、調理室、湯
沸場、地階廊下には給水給湯の設備をなす。其
他、屋上には避雷針八基を設置し、各室には扇
風器及電鈴の設備をなし、調理室、湯沸場及地

階廊下には、瓦斯設備をなし、各窓シヤツターには閉鎖表示裝置をなし、屋外二ケ所には撒水栓を設置し、地階床下には地中に布設したる土管を別に設けたる井戸に導き地階下水溝の雨水雜水と共に自動スヰツチによりポンプを起動せしめ地下水を絶えず排水する設備をなす。設計監督、株式會社、川崎銀行建築部、獨逸建築技師矢部又吉、主任北川正彌、技師田中庄造、技師河津祐一、現場監督山本敏一、同宮代一三、同小管儀三郎、主要ナル工事關係者、清水組代表社員清水釘吉、工事長野口半之助、設計部八木憲一、同中山源治、同横山嚴、同廣澤紀行、工事部深澤勝久、同中名生繁、同中村良吉、同石川要、同石川誠治、同出口勝一、中野組、代表者中野喜三郎、工事主任金岡博之、主要ナル工事施工者、本工事は内部造作ヲ除ク外總テ直營トス。基礎、主體鐵筋コンクリート工事、内部造作工事其他、合資會社清水組、外部花崗石工事、中野組、煖房、換氣、送風裝置、金庫扉及同内部設備、モザイックタイル、合資會社建材社、金庫扉内部設備、三井物産株式會社、金庫扉、竹内金庫店、書庫内部設備、國末金庫店、ブロンズ工事、田島製作所、同、杉本商店家具、常盤木工所、同、木下家具製作所、室内裝飾及敷物、高島屋呉服店裝飾部、敷物、渡邊喜一商店、モザイックタイル工事、宮澤商店、衛生、排水及消火設備、日本水道衛生工事株式會社、動力、電燈、電話工事、株式會社原安商會、スチールサッシュ、株式會社三柏商會、同東京建鐵株式會社、硝子工事、岡田俊一商店、シヤッター、大野正營業所、電氣時計、バーデンス商會、昇降機、米國貿易株式會社、ロッカー、ロネオ貿易株式會社、セメント、淺野セメント株式會社、鑿井工事、日本鑿泉株式會社

## 藤山工業圖書館改築工事概要

本館は素ど煉瓦石造建築なりしが、大正十二年九月の大震災に遭遇し被害を蒙りしを以て、殘存部の車寄鐵筋混凝土造の一部を原形の儘存し其他を全部鐵筋混凝土に改造せしものにして從て樣式手法も改む但し各部造作及窓入口建具等の大部分は在來のものを使用せり。一、所在地東京市芝區白金臺町一丁目五十六番地、一、建物高、車寄前面より軒蛇腹上端迄五十三尺五寸同塔屋バラペット上端迄五十六尺。一、坪數總延坪、三三八坪一三（柱眞々にて）内譯、地階一〇七坪〇六、一階、一〇七坪〇六、二階、七六、四〇、三階、四七、六一、一、各階室配置地階、琅戲室、休憩室、浴室、宿泊室、整理室豫備室、炊事場、供待、小使室、物置、便所、煖房汽罐室、石炭庫。一階、外玄關、閲覽室、談話室、喫煙室、研究室、新聞雜誌室、書庫、事務室、洗面所、便所。二階、食堂、講堂、日本座敷、豫備室、書庫、洗面所、便所。三階、展望室、休憩室、物置、書庫、一、工事日數、大正十四年八月一日起工、大正十五年七月三十日竣工。一、構造概要、本館は總て鐵筋混凝土構造とす。一、外部、外壁面は主として多胡石粉入り、擬石塗り仕上げとし、一部貼付煉瓦及大理石等を使用し、屋根は主として陸屋根とし防水「セメントタイル」敷きとし、一部銅板瓦棒葺き方形屋根とす。外部各窓障子は總て「スチールサッシ」とし、書庫及地階豫備室の各窓には内側に防火鐵扉を使用す。外部の主要なる出入口には防火「シヤッター」を使用す。一、内部、床は車寄外玄關を花崗石水磨き、玄關及便所洗面所を「タイル」敷きとし、其他主として「リノリーム」敷きとし、一部人造石塗り疊敷き等とす。壁は主として漆喰塗りとし、主要なる室は壁貼り砂壁「ペンキ」色付け仕上げとし、玄關は腰大理石、浴室便所洗面所外玄關等腰は「タイル」貼とす。天井は談話室は石膏製「ペンキ」古味色付け、研究室を鳥の子紙貼りとし、其他主として漆喰塗りとし、主要なる室は「ペンキ」色付けとす。一、書庫入口、金庫扉を使用す。一、煖房設備、重力循環温水煖房裝置とす。一、給水設備、市水道線直結にして各階所要の個所へ給水す。一、衛生設備、各





階便所は總て水洗式とし、汚水は淨化槽に依り淨化し下水に放流す。各洗面器、浴槽、流場には給水給湯の設備をなす。各器具は東洋陶器株式會社製品を使用し、各「カラン」類は和製上等品を使用す。一、電燈電熱設備、電燈約一四〇燈「コンセントプラッグ」約四〇個及電氣煖房設備七室容量二〇「キロワット」を設備す。配線は總て第四種線を「シエラーダクトコンヂットチューブ」内に挿入「シンダーコンクリート」内に隱蔽配線とし、地階及一階に配電盤を設置す。電燈は半間接照明を主とし各室に適當なる器具を取付く、尚は主要なる室には温水煖房の補助として、電氣煖房裝置を三階講堂には活動寫眞映寫用「アーク」燈設備をなす。一、電話設備、必要に應じ電話甲種增設に據る交換裝置を設備し得る樣、主要なる個所一〇個所に對し後日適宜に配線をなし得る樣配管す。別に各室より事務室及小使室に對し呼鈴設備をなす一、避雷針設備、煖房用煙突及び屋上旗竿頭部に突針を裝置すると共に、銅葺屋根及鐵梯子等の屋外金屬體を總て地中板に接續し簡單なる「ネツトウワーク」を構成せり。一、設計及施工合資會社清水組、設計者、前技師長田中實、工事擔當者、工事主任山田耕作

## 電氣倶樂部會館新築工事概要

一、所在地、東京市麴町區有樂町一丁目五番地
一、工程、地鎭祭、大正十五年五月五日、起工（自大正十五年六月二十一日至同八月二十八日）基礎鐵筋混凝土工事（自同八月二十九日至同十月五日）鐵筋混凝土主體工事（自同十月五日至同昭和二年三月二十五日）上棟式、昭和二年三月十五日、仕上及造作工事（自昭和二年三月五日至同八月三十一日）竣工、昭和二年八月三十一日。
一、敷地面積、二七一坪一三五。一、建坪數、一九三坪四四四。一、總延坪數、一二二一坪八五六。内譯、地階、一九三坪四四四、一階、一九三坪四四四、二階、一九二坪七二七、三階、一九二坪七二七、中四階三坪五〇四、屋階、九坪、屋上階、四坪、一六階、一五九坪九八一、六階、一四階、一九二坪七二七、三階、一九二坪七二七、二階、一九三坪四四四、一階、一九三坪四四四、地階、一九三坪四四四。一、構造概要、基礎「ペデスタルパイル」式「コンクリート」地形とす。壁體床柱、鐵筋「コンクリート」造、六階一部の床並に柱は鑄骨鐵筋「コンクリート」造とす。屋根、一部を除く他、鐵骨鐵筋「コンクリート」造とす一、外部仕上、外部は總て粗面「タイル」張りとし、正面並に北面は適所に同「タイル」を模樣風に張り出したる他、大阪窯業平坂工場特製「テラカッタ」を以て裝飾せり。二、内部仕上天井及壁、大部分漆喰塗粗面仕上とし、講堂は一部を除くの他全部羅紗張となし音聲の反響を防ぐ、談話室、圍碁將棋室、玄關等の壁は大華石張、各階便所等は腰壁「タイル」張とせり。三、四階各室及琅戲室は小形檜板張玄關、一階「ホール」一、二階甲階段室二階「ホール」應接室、談話室、圍碁將棋室等は「タイル」張とし、其他五六階各室一階貸室等は「リノリューム」敷、日本室、宿直室は疊敷、他は人造磨き出し、便所は「モザイック、タイル」張とせり一、强電流設備、電燈、電熱、電動機用の電力は東京電燈株式會社より自家用契約に依り供給（電壓三三〇〇ヴオルト、最大容積、冬季五〇〇キロワット、夏季二〇〇キロワット）を受くるものにして、尚停電に備ふるため久保町變電所、丸ノ内變電所の二系統を地中線にて變壓室に引込みたり。電燈照明、器具の形狀を各室の用途竝に室内裝飾に調和する樣設計製作し其數約五百燈とせり。電熱、地階厨房に料理用として米國「ウエスチングハウス」會社製、同「ゼネラル」會社製「ホテル」型「レンヂ」各一臺四階配膳室其他に電熱設備をなしたり。煖房、全部電熱設備にして壁掛型「ストーブ」を使用せり、尚大小食堂、講堂等には温風煖房換氣裝置

をなし、二階談話室及應接室の煖爐には「マヂコール、ファイヤー」を設備せり。私設電話、日本電氣株式會社製單式交換機一臺、壁掛電話機十個、卓上電話機五個を設置し、尚加入本電話機二加入に對し一個の增設電話を裝置す。非常用電鈴、地階一階に大型電鈴各一個、地、一、二階に押釦各一個宛を裝置し、火災其他の非常報知用に供す。高聲電話、一、二、三、四、五各階に裝置し、二階に「トランスミッター」を置き、隨時「ラヂオ」裝置に接續し得る樣設備せり。直通電話「ウエスターン」會社製「インターホーン」電話機を地階二、三、四各階間に裝置し直通會話をなし得る樣設備せり。其他「ラヂオ」裝置竝に東京電氣時計株式會社製、親時計一個、子時計四個を設備せり。一、衞生設備給水は市設水道より五馬力電動機により屋上階「タンク」に導き之を各階に供給す。洗面所給水は獨逸「ユンケル」會社製湯沸機を設備せり。便所は總て水洗式とし、汚水は淨化槽に依り淨化し市設下水道に放流す。一、防火設備、各階々段室其他重要なる個所に防火扉又は捲上げ「シヤッター」を設けたる他、各階に消火栓を設置し非常の場合には屋上階「タンク」揚水用の電動機を自動的に右消火栓に直結し、三吋鐵管を通じて高壓の水を放出し得る樣裝置せり。一昇降機、米國「オーチス」會社製客用一臺、荷物用一臺、小使用一臺、計三臺を設備せり。一、建築概要本建築は耐震耐火の目的を以て鐵筋「コンクリート」造とし、本館及附屬舍を結合して完全なる枡形平面を作り、且つ要所に耐震壁を設け堅牢なる各階鐵筋「コンクリート」床版と共に地震力に備へたり。又防火壁を以て建物を四區劃に分ち、各區劃壁には防火戸を設けて、火災の局限に便せしめたり。各階々高は地階八尺五寸一階十一尺五寸、其他各階十尺五寸とす。基礎は前建築殘存地階床版上に繫梁を以て各柱脚を連結したる平版式鐵筋「コンクリート」總地形を造れり。猶前建築に於ては杭の負荷力一本に付十七噸半なりしも、本工事に於ては十三噸半に輕減し、更に要所に增杭をなし、杭の負荷力に餘裕を存せしめ、安全率を增大して建築物の安全を期せり。一、外部仕上げ、腰積みは群馬産市城石野面仕上げ、外部は「セメントタイル」張り大さ煉瓦小口四枚掛けとし、色合は灰白色に少量の淡黃色を加味し、其他は花崗人造石塗洗出し仕上げとし、附屬舍及本館中庭廻りは「セメントタイル」塗りとす。正面及側面出入口には「スチールドア」を設け、外部各窓には江東サッシュ「スチールケースメント」を用ひたり。一、內部造作、事務室、天井、壁共純白漆喰塗り、床「リノリューム」敷きとす。廊下及階段、天井、壁共純白漆喰塗り、腰壁「セメント」漆喰塗り、床人造石塗り研出し仕上げとす





田商事會社製料理用「リフト」一臺を設備せり

建築工事設計監督、渡邊仁建築工務所、建築工事請負、大倉土木株式會社

## 昭和ビルヂング新築工事概要

一、所在地、東京市麹町區八重洲町一丁目一番地、一、工程、地鎭祭、大正十四年十一月廿四日。工事着手、大正十五年二月廿五日。根伐杭打工事（自大正十五年三月廿一日至同五月十二日）鐵筋「コンクリート」工事（自大正十五年五月十三日至同十月廿一日）竣工、（自大正十五年十月廿一日至昭和二年七月廿日）

工事着手より迄日數五百二十二日

一、敷地面積、七〇〇、〇〇〇坪。一、建坪、五五〇、一〇〇坪。一、總延坪、三、五二六、九二〇坪。一、各階坪數竝各室配置、地階（五〇、五四〇坪。六階（四三五、三八坪）事務室三四八、六二〇坪。便所、六、一四〇坪。湯沸場、四、九九〇坪。「エレベーター」室、五、〇九〇坪。廣間、階段、廊下、七〇、五四〇坪。六階（四三五、三八坪）事務室三四八、六二〇坪。便所、六、一四〇坪。湯沸場、四、九九〇坪。「エレベーター」室、五、〇九〇坪。廣間、階段、廊下、七〇、五四〇坪。屋上階（二七、四九坪）昇降機械室、水槽室、階段室等。一、樣式、近世式にして總て實用本位とし、寶寶堅牢を設計の主旨とせり。一、建物の高さ、地盤面上「パラペット」上端迄七十二尺九、五九〇坪）事務室、三七六、五三〇坪。賣店、二一、七二〇坪。便所、六、一四〇坪。「エレベーター」室、五、〇九〇坪。湯沸所、四、九九〇坪。廣間、階段、廊下、一二六、〇九〇坪。通路上、九、〇三〇坪。二階（五四六、八〇坪）事務室、四三七、三〇二坪。便所、六、一四〇坪。湯沸所、四、九九〇坪。「エレベーター」室、五、〇九〇坪。廣間、階段、廊下、九三、二七八坪。三階（五四六、八〇坪）事務室四三五、九四〇坪。便所、六、一四〇坪。湯沸場、四、九九〇坪。「エレベーター」室、五、〇九〇坪。廣間、階段、廊下、九四、六四〇坪。四階（四三五、三八坪）事務室、三四八、六二〇坪。便所、六、一四〇坪。湯沸場、四、九九〇坪。「エレベーター」室、五、〇九〇坪。廣間、階段、廊下、七〇、五四〇坪。五階（四三五、三八坪）事務室三四八、六二〇坪。便所、六、一四〇坪。湯沸場、四、九九〇坪。「エレベーター」室、五、〇九〇坪。廣間、階段、廊下、七〇、五四〇坪。六階（四三五、三八坪）事務室三四八、六二〇坪。便所、六、一四〇坪。湯沸場、四、九九〇坪。「エレベーター」室、五、〇九〇坪。廣間、階段、廊下、七〇、五四〇坪。屋上階（二七、四九坪）昇降機械室、水槽室、階段室等。一、樣式、近世式にして總て實用本位とし、寶寶堅牢を設計の主旨とせり。一、建物の高さ、地盤面上「パラペット」上端迄七十二尺



ト」漆喰塗り、床人造石塗り研出し仕上げとす

廣間及玄關、天井、壁共純白漆喰塗り、腰廻り德島産大理石貼り、床大阪窯業會社及壇陶會社製「モザイックタイル」貼り玄關內階段石は茨城産小御影石研出し仕上げとす。食堂及湯沸場天井、壁共純白漆喰塗り、腰廻の壇陶會社製「タイル」貼り、床人造石塗研出し仕上とす。便所及洗面所、天井、壁共純白漆喰塗り、腰廻り壇陶會社製白色「タイル」貼仕上げとす陶器類は東洋陶器會社製品を使用せり。一、主要附帶設備、イ煖房設備、重力式低壓蒸氣煖房裝置にして「ボイラー」は「モナーク」型下向通無煙式鑄三臺を設置し、其の放熱容量二三、〇〇〇平方呎にして「ボイラー」より發生する蒸氣は二封度以下の低壓を以て主管分岐管を通し、各階各室の放熱器に至る。放熱器は百七十四組、放熱面積二二、二八〇平方呎「ナショナル、ラジエーター」會社製「アイデアル、クラシック」型六柱式とす又凝結水の循環は地階及一階は「コンデンセーション、ポンプ」の作用に依り、二階以上は自然重力により復歸するものとす。此の煖房裝置に依り保證する室內溫度は華氏六十五度（室外溫度華氏三十度の時）とす。ロ、電氣設備、電燈及動力用電力は東京電燈株式會社より專用地下線により三相三線式最大電壓三、三〇〇「ヴオルト」送電を受け之れを地階變電室に導き、遞減變壓器二組に依り動力用として二一〇「ヴオルト」電燈用として一〇五「ヴオルト」に低壓し、之を各室への配線は「ガーラント、チューブ」に納め「コンクリート」中に埋込とす。各室の電燈個數、四八三灯。コンセント個數、一六三個所。スヰッチ、二六二個所。ハ、電話設備二四〇回「ケーブル」線を地下線に依りて地階變電室內試驗分線盤に導き更に各階に設けたる「ターミナル」盤に分岐し之より各室に分線す。而して一、二三回には五〇回線「ターミナル」盤、二五回線「ターミナル」盤各一基を設け四、五、六階には二五回線「ターミナル」盤各一基を設備す。ニ、昇降機設備、表玄關廣間に二臺、裏玄關廣間に一臺設備せる昇降機は米國「オーチス、エレヴエーター」會社製にして電動十一馬力半、容量二、〇〇〇封度、昇降速度昇降速度毎分二百呎、昇降籠の大さ間口六呎、奥行五呎なり、一臺平均約十四人の乘客を收容して一階より六階まで昇降す。其の他昇降籠の鐵製籠込戸及各階入口扉には安全電氣接續器を取付け扉開放時の運轉を不可能ならしむ。各階の乘降口扉は「タイラー」會社製「ツーパネルワン、スピード、ドーア」とす。ホ、衞生設備、給水、屋上に鐵筋「コンクリート」水槽を設け市設水道幹線より三吋鑄鐵管を分岐し、計量器を經て

五馬力電動「ポンプ」により前記水槽に揚水し、重力式自動給水法に依り各要所に給水す。此の外特別計量器を經て撒水用竝に「ボイラー」用の水栓を四個所に設けたり。排水、各階より鑄鐵管を以て時事新報社側汚水淨化槽に導き更に直接自然勾配により市下水管に放流す但し手洗の排水は別管を用ひて直接市下水管に放水す。排氣、各階湯沸場及便所には屋上に達する排氣管を設備せり。給湯、各階湯沸場に三個の瓦斯湯沸釜を据付各所に給湯す。便所、大便洗滌には「フラッシバルブ」小便洗滌には「シスターン」を使用し一定時間毎に自働的に放水する樣裝置せり。ヘ、消火設備、電氣「スヰツチ」付自働消火栓設備を各階に一ヶ所宛裝置し、消火栓箱内の「スヰツチ」に依り五馬力揚水「ポンプ」を働かしめ、同時に電動裝置に依り屋上主管の水栓を閉鎖し所要個所に放水し得る如くせり。尙「ポンプ」運轉不可能の時は重力式により放水するものとす。ト、「メール、シュート」米國「カトラーメールシュート」會社製品を使用し、各階廣間に設けたる投入口より、直ちに一階廣間に於ける郵便函に導く。チ、「ダスト、シュート」各階湯沸所前廊下に設備せる投入口より地階機械室内に導き適宜取出し處分せしむ經營、内外ビルヂング株式會社、設計及施行、大倉土木株式會社、構造設計及計算、工學博士阿部美樹志

## 同潤會アパートメント建築工事概要

| 名稱 | 澁谷「アパートメント」 | 青山「アパートメント」 | 東大工町「アパートメント」 | 中ノ鄕「アパートメント」 | 柳島「アパートメント」第一期 |
|---|---|---|---|---|---|
| 位置 | 東京府豐多摩郡澁谷町代官山八三七番地 | 東京府豐多摩郡千駄ヶ谷町大字隈田赤羽一番地 | 東京市深川區東大工町四八番地 | 東京市本所區中ノ鄕町八八番地 | 東京市本所區柳島元町一二番地 |
| 敷地坪數 | 四八一一・〇〇 | 一三六二・六八 | 五四四・三二 | 一〇八六・六〇 | 七六八・八〇 |
| 棟數 | 二五 | 一〇 | 一一 | 六 | 三 |
| 收容戶數 | 二階建一三 三階建 他ニ食堂 娛樂室 二九八 | 三階建 一三八 | 四階建 八一 三階建 他ニ食堂 診療室 娛樂室 二七二・二五 | 三階建 一〇二 | 三階建 六六 |
| 總建坪 | 一二二八・一〇 | 五五九・九二 | 一〇三一・五八 | 三六九・八一 | 二六一・二三 |
| 總延坪 | 三一三九・二七 | 一七七六・三五 | 六・七二 | 一一五〇・〇五 | 七五二・二六 |
| 一戶當り敷地坪數 | 一六・一四 | 九・八七 | | 一〇・六五 | 一一・六五 |
| 一戶當り建築延坪 | 一〇・五四 | 一二・八七 | 一二・七三 | 一一・二八 | 一一・四〇 |
| 工程 | 自大正一四、一一、二〇至昭和二、三、七 | 自大正一四、一一、九至昭和二、四、一〇 | 自大正一五、四、九至昭和二、三、一九 | 自大正一四、八、二六至大正一五、八、六 | 自大正一四、一二、一至大正一五、九、二九 |
| 設計及工事監督 | 同潤會建設部建築課 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 工事請負 | 大阪橋本組 | 神谷太一郎 | 戶田組 | 安藤組 | 森田組 |



| 各棟內譯 | A號 | B號 | C號 | D號 | E號 | F號 | J號 | S號 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 三連 | 二連 | 二連 | 一連 | 一連 | 甲乙丙 | 一棟 | 一棟 |
| | 一棟 | 五棟 | 一〇棟 | 九棟 | 一棟 | | | |
| | 一一棟 | 一一棟 | 一一棟 | 一一棟 | 一一棟 | | | |
| 各戶內譯 | | | | | | | | |
| 一 階 | 一 | 二 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| | 二戶各三疊及店舖(三坪) | 二戶各六疊 | 二戶各六疊 | 二戶各八疊 | 二戶各八疊 | 一戶四疊半 | 食堂及店舖 | 食堂及店舖 |
| 二 階 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | | |
| | 二戶各六疊 三疊 | 二戶各六疊 三疊 | 二戶各六疊 四疊半 | 二戶各八疊 三疊 又ハ各六疊 四疊半 | 一戶四疊半 又ハ各六疊 四疊半 | 一戶八疊 四疊半 | | |
| 三 階 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | | |
| | 二戶各六疊 四疊半 | 二戶各六疊 四疊半 | 二戶各六疊 四疊半 | 二戶各八疊 四疊半 二間 | 一戶八疊半 又ハ各六疊 二間 | 一戶八疊 四疊半 三疊又ハ二間 | | |
| 計 | 一號館 一棟 | 一號 二連 一棟 | 一號 二連 一棟 | 一號 三連 一棟 | 一號 三連 一棟 | 一號 六戶 | 一號館 一棟 | 一號館 一棟 |
| | 二號館 一棟 | 二號 二連 一棟 | 二號 二連 一棟 | 二號 四連 一棟 | 二號 四連 一棟 | 二號 六戶 | | |
| | | | | | | 三號 二連 二棟 | | |
| | 獨身者室 十二戶 | 普通 二四戶 | | | | 獨身者室 一八戶 | | |
| | 娛樂室及八疊 四疊半 三戶 | 獨身者室 三一戶 | | | | 獨身者室 三一戶 | | |
| | 同上 | 計 二四戶 | | | | 計 二四戶 | | |

右各戸ニ尚玄關臺所便所押入アリ

構造及設備大要

基礎、地質に應じ杭打、屏風杭打又はベタ打、鐵筋「コンクリート」造とす。外壁仕上、全部粗面人造石洗出。床仕上、居室「コルク」張の上に簿縁二重張、一部は化粧「コルク」張仕上但し、中ノ郷「アバートメント」及柳島「アバートメント」(第一期)は疊敷。各戸入口玄關、廊下、臺所及その他の土間防水「モルタル」仕上及一部板張。階段踏面及踊場、豆砂利洗出し又は「アスファルト」塗仕上。屋根仕上、凡て陸屋根「ルーフイング」三層貼り「シングル・コンクリート」防水モルタル塗仕上、一部「ルーフイング」の上に豆砂利撒布、内部壁及天井仕上「コンクリート」直に漆喰塗、壁の一部防水「モルタル」「ペンキ」塗。階段室の壁、一部人造石洗出。三階居室にて木摺天井漆喰塗仕上とせるものあり。造作及建具、造作、軸部は米松を主とし、其他に米栂混用、各戸玄關出入口扉は木製鐵板張。建具は一般に米杉、すべて硝子障子使用、仕上は「ペンキ」塗及「ワニス」拭き、居室及臺所の窓には換氣小窓を附す。設備、各戸臺所には瓦斯、給排水の設備、臺所用一般家具を設備し、尚塵芥處理のため各戸に塵芥投入口を設け、臺所より直ちに「シュート」に依つて屋外塵芥箱に通ず。便所は水洗式、洗濯場及物干場は屋上に設く、居屋の煖房用として瓦斯引込、特に獨身「アバートメント」には各室に瓦斯重寶臺を備へ火鉢兼七輪代用とす

## 三越呉服店本店修築工事概要

一、建物の位置東京日本橋區駿河町。一、建坪地下室、一、一六九坪〇一八。一階より五階迄各一、一六九坪〇一八。中二階、四八坪八。六階、九一〇坪六三。七階、六九九坪〇一三。塔屋、一一坪〇五。一、延坪、總計、八、六八三坪六〇一。一、軒高、七階、九九尺二五。塔屋旗竿頂部迄、二〇〇尺。一、階高、地下室、一〇尺四寸。一階、一七尺一三尺九五。二階より四階迄各七階、一〇尺五。五階、一六尺二。六階、一三尺五。一、工事期間、大正十三年十月一日起工、大正十四年九月十五日西館竣工、大正十五年六月二日中央館竣工、昭和二年三月末日全部竣工、當初より通算九百十一日。一、現場工人延員數、取毀二萬三千人、修築十五萬七千人。一、修築主要材料數、補強鐵骨七百七十噸、鐵筋千四百噸。セメント三萬四千樽、コンクリート千八百五十五坪石材一萬二千立方尺大理石十萬七千平方尺。側壁用化粧煉瓦九十九萬個。一、各階諸室の配置、地下室、マーケット賣場、ギャラリー、温室、三越ホール上部、空氣冷却機室、理髪室、美容術室ファンルーム、プレッシャータンク。八階、屋上園、高塔、昇降機器械室、ファンルーム。一、構造の概要、本建築は壁體の構造鐵骨煉瓦造りなりしが、大正十二年大震災に罹り、外壁の煉瓦壁體に龜裂を生じたる外、地震による大なる被害はなかりしも、火災の爲め造作全部を燒失し、露出鐵骨の一部に被害を受けたり。依て床の鐵筋コンクリートの大部分と、基礎並に鐵骨を殘すの外、被覆煉瓦及石材の全部を取毀し、在來の鐵柱に鐵筋を以て補強し、且つ完全なる防火壁を以て、新に建物を東館中央館西館の三大部に區劃し、之を耐震壁に利用し、震災前より二倍以上の震度に耐ゆる樣に修築せり。元來東建築は東西二部を二期に分ち建増したるものなるを以て、冷房機械室、ラストンエンジン室、店員携帶品置場、小食堂、スプリンクラー機械室、一階、賣場、便所、陳列窓、客用入口及出口、店員入口、貨物入口、厨房用入口。二階、賣場、金庫婦人休憩室、喫煙室、便所。三階、賣場、金庫別室、事務室、便所。四階、營業部事務室、假縫室、倉庫、便所。五階、賣場、食堂、厨房、喫煙室、寫眞室、倉庫、便所。六階、賣場、食堂、厨房、三越ホール、樂屋、重役室並附屬諸室、會議室、換氣用ファンルーム、便所。七階賣場、ギャラリー、温室、三越ホール上部、空氣冷却機室、理髪室、美容術室ファンルーム、プレッシャータンク。八階、屋上園、高塔、昇降機器械室、ファンルーム。一、構造の概要、本建築は壁體の構造鐵骨煉瓦造りなりしが、大正十二年大震災に罹り、外壁の煉瓦壁體に龜裂を生じたる外、地震による大なる被害はなかりしも、火災の爲め造作全部を燒失し、露出鐵骨の一部に被害を受けたり。依て床の鐵筋コンクリートの大部分と、基礎並に鐵骨を殘すの外、被覆煉瓦及石材の全部を取毀し、在來の鐵柱に鐵筋を以て補強し、且つ完全なる防火壁を以て、新に建物を東館中央館西館の三大部に區劃し、之を耐震壁に利用し、震災前より二倍以上の震度に耐ゆる樣に修築せり。元來東建築は東西二部を二期に分ち建増したるものなるを以て、プ





ランも錯綜して面白からざる點多かりしを以て此機を利用し店内全般に亘りて根本的にプランを建直し昇降機、エスカレーター、階段便所其他を悉く破壊し、之等の配置を全然新に變更せり。且つ東館は地上五階一部六階なりしを、法規の許す範圍内に於て階數を増築せり。高塔は震火災の爲め何等の被害なかりしを以て、單に外裝を修復するに止めたり。一、床、床は鐵筋コンクリート造にして、之が仕上には以前は疊表張なりしを、下足を廢して土足の儘歩行する事に改めたる爲め、地下室はモザイックタイル階段及一階床は全部白色大理石張とし、二階以上は凡てチークの寄木ブロック張りとせり。但し一階の主要通路及主要なる階段は燥音を防ぎ歩行の安易の爲めアメリカンラバーコンパニー製のゴム四半敷を使用せり。尚チーク床は之を油拭として塵埃の飛散を防止する事に努めたり。一、外壁の仕上、外壁は鐵筋コンクリート壁體に、一階は花崗石、二階以上は小口煉瓦四枚掛擬石煉瓦、屋上及裏側は同質の小口煉瓦を以て被覆せり。一、内部仕上、内部は天井及壁體漆喰塗にして造作用として使用の大理石は、一、中央館一階の柱及羽目は佛國産淡緑大理石。一一階の床及階段の踏板蹴上には長州産あられ(純白)大理石。一、中央大階段の腰張は伊太利産大理石(卵黄色)。一、地下室の柱及エレベーター前、西北及西南の階段は福岡産晴雲(雪白地に鼠の斑紋あるもの)。一、東館及西館一階の巾木柱及エレベーター前並に北側入口内は四國産鳴更紗(灰鼠地に更紗の斑紋あるもの)。一、東館表入口内及二階より七階に至るエレベーター前は佛國産「オニックス」一瑪瑙の如き斑紋あるもの)。一、西側出口は美濃赤坂産錦紋。一、東館内六階三越ホール内は長州霞(鼠色の斑紋ある内六階三越ホール内は長州霞(鼠色の斑紋あるもの)。一、煖房裝置、本裝置は眞空低壓蒸汽裝置にして、汽繊四基、總馬力四百を以て全館に配置せる放熱全面積二萬五千平方呎並に毎時五千米ガロンの湯沸しタンクの蒸汽コイルに供給せり。一、換氣裝置、十九臺總馬力百三十の電氣プロワーを以て各階の通氣並に排氣を掌らしめ、且つ屋上より取入るゝ新鮮なる空氣に四臺のオゾーン發生機によりオゾーンを加へ殺菌消毒の作用をなさしめ、店内に放出せしめ、毎時三回の換氣をなさしむ。一、三越ホール冷房煖房裝置、本裝置はギャラリー式温濕度調整法によりたるものにして、空氣洗滌裝置により屋外より取入れたる空氣と屯内より循環し來れる空氣とを合せ、噴霧ポンプの作用により生じたる噴霧を以て空氣を洗滌し、空氣中の微塵或は有毒瓦斯等を除すると同時に噴霧水の温度を加減し、洗滌されたる空氣の温度を變じて所要の露點温度を調節するものなり。冬は噴霧水に蒸汽を加へて温度を高め、同時に空氣に適度の濕度を與へ、夏は反對に噴霧水をアンモニア冷凍機の力を藉りて冷却し、空氣温度を低下せしむると同時に、空氣中より温度を取り去る作用をなすものなり。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 温度 | 濕度　含有水分量 | | |
| 外氣狀態 | 九〇度 | 七五%　一一、五〇グレーン | |
| 調整されたる空氣は | | | |
| 第二次空氣洗滌機を出でたる部分 | 六〇度 | 一〇〇% | 五、七五グレーン |
| 同上空氣が室内で熱を吸收して温度八〇度になりたる時 | 八〇度 | 五〇% | 五、七五グレーン |
| 同上空氣が室内で熱な吸收して濕度%となりたる時 | 八〇度 | 六三% | 七、三〇グレーン |

一、自家發電裝置、英國ラストン會社製百三十二馬力の發電機二臺を据付け、二百キロワットの電流を立處に得らるべき設備を爲せり。一、電氣設備、百五十キロ七臺、三十五キロ三臺の變壓機(一、一五五キロ)に東京電燈、市電氣局より受電し、一、一五五キロ)に東京電燈、市電氣局

り。一、消火設備、英國マザーブラット會社の製作せるスプリンクラーは店内各階の天井に合計四千八百個の自働放水口を配置し、火災の場合百五十度の溫度に達せば該放水口は自働的に六十封度の壓力を以て水を放射し、同時に警防班に自働的に其場所を報知す。一、貯水裝置八個の水槽内に水道及一畫夜各七千石湧水の鑿井二ケ所の井戸水をポンプにより送水し、常に三萬ガロンの水を貯藏し雜用防火等に備ふ。一、塵除設備、店内の塵芥を吸集せんが爲め三十馬力のポンプを使用し、各階百二十ケ所の吸集口より塵芥を吸入し、地下室に設備せるパキウムタンクに集む。一、昇降機、中央館には客用とし、米國オーチス會社ユニットマルチボルテージ式容量三千ポンド、速力毎分三百呎ケージ、間口八呎、奥行五呎六吋二基、マイクロドライブ、トラクションタイプ、容量三千ポンド、速力毎分一六五呎、ケージ大さ同前四基を設置す東館にはトラクション型容量二千ポンド、速度毎分一六五呎三臺を設備す。以上は何れも米國タイラー會社製壓搾空氣の作用を以て自働的に開閉する特製扉を取付けたり。右の外中央館貨物及事務專用として、容量三千ポンドケージ大さ七尺、六尺、速力毎分一六五尺二基と、西館の一隅に厨房用として五尺角のケージのもの一臺を設備す。一、エスカレーター、東館一階より五階迄オーチス會社製巾二尺の棧付階段型（クリートステップ）のもの四臺を備へ、毎分九十尺の速度にて運轉し、一階より五階に通ず。各臺一時間四千人の來客を運ぶ事を得、通常通り用に使用し、場合により降り用にも使用するを得るものなり。一、三越ホール、東館六階及七階を貫通して各種の講演等に充つる爲めステージ三十三坪三合、一階百五坪半、棧敷三十三坪三合のホールを供ふ。天井高十九尺五寸、屋上より採光し、收容人員は主階五百四十二人棧敷百三十六人合計六百七十八人とす。照明裝置として獨逸新式ディレンマーを使用し色彩及明暗を調整しボーダー、フート、ホリゾン及數多のスポットライトを設備す。一、工事關係者（イ）設計及監督―横河工務所、正員横河民輔、同中村傳治、同宍戸清輝、製圖―正員横河時介准員田茂彦、正員藏田喜三郎、大手市太郎、吉田忠一、松浦輔音、太田黒範雄、强度計算、淮員田中正藏、現場係、正員津田一、淮員久保木助之丞、同稅所武志、同高梨實、同相良晴式、電氣―特別員秀文逸、機械―原田恒一、事務―樋口藤作（ロ）工事請負者及材料供給者、セメント―淺野セメント、小野田セメント、大分セメント、木材―長島商店、煉瓦―品川白煉瓦會社、小宮山貞三。硝子―宮崎常三郎、菱田庄太郎。鐵材―森岡商店、宮島商店、岸本商店。砂利及川砂―遠藤君藏、淺野石材工業株式會社、平田商店。鐵骨工事―横河橋梁製作所。鳶―足立傳兵衛、百井正明。鐵筋コンクリート工事―足立傳兵衛、百井正明。スチールサッシュ―東京建鐵會社、大和サッシュ會社。石工事―柏木菊吉、鍋島石材株式會社。防火戸―大野正。大理石―矢橋大理石商店、大日本銘石商會、中央石材工作所、常陸銘石商會。プラスター―日東プラスター、淺田プラスター。泥工事―佐々木久之助、森又四郎、弓家愼吾、石川丑五郎、荒井萬平。ペンキ工事―田村金三郎、中村八十吉硝子屋根―田中由太郎。石膏―佐藤八百。電燈工事―愛工社、ユニオン電氣株式會社、金丸製作所、川島製作所、東京硝子製作所、明正社、東京工業社。建具金物、森見製作所、柴田岩吉柿沼商店。木造作―旭家具裝飾會社、宮澤節一電話工事―大和商會。煖房―東亞鐵工所、河村淺太郎。大工―中尾常太郎。煉瓦工事―松本菊次郎、幡野盃。エレベーター―米國貿易會社。ゴムユーナイテッドステーツラバーコンパニー送風機―日立製作所、荏原製作所。オゾン發生機―シーメンスシュッケルト會社。冷房―高砂煖房工事會社。ラストンエンジン―五十嵐商會明電舍。スプリンクラー―三井物産株式會社メタリコン―日本メタリコン製作所。コルク―尾本商會。スパイラルシュート及コンベヤー



―日本エレベーター製造會社。鐵工―西本健吾西島鐵工所。鑿井―日本鑿泉合資會社。メールシュート―市川久孝。

## 早稻田大學記念大講堂建築工事概要

侯爵大隈總長の記念事業として實現されたるものなり。位置、早稻田大學大隈會館庭内大學正門に面して建つ。起工、大正十五年二月十一日竣工、昭和二年十月廿日。建築樣式、近世式ゴシック。總工費、五十七萬三千二百圓。建築費三十九萬五千四百圓。設備費、十七萬七千八百圓。建坪、四一〇坪三二三。總延坪、一一七七坪三五〇坪（塔屋共）他にドライエリア、七〇坪内譯、地階、下足室、一一坪九〇〇、學生便所二坪七三〇、學生手洗所、二坪四四〇、廣間階段踊場、九坪一六〇、階段、二坪七三〇、階段踊場、三坪三六〇、下足入口、三坪三六〇、廣間、一八坪二四〇、倉庫、二〇坪〇〇〇、通風機室、一七坪九二〇、煖房汽罐室、三五、八四〇、浴室、二坪五二〇、脫衣室、二坪五二〇、小使室、五坪四〇〇、變電室、五坪一九〇、廊下及階段室、一〇坪一八三、大控室前廊下及階段室、一五坪五〇〇、小使便所、二坪七三〇、職員便所、二坪七三〇、職員手洗所、二六二九〇、控室、五坪〇四〇、ステージ、一〇坪六九〇、小講堂、一一〇坪九一六、大控室、三三坪四九五、映寫室、三坪四一六、廣間、二九坪一六一、石炭庫、五坪四〇〇、物置、一一坪六八二、ステージ裏、九坪〇九〇、物置、五坪〇四〇、塔ヶ岡土間、三坪七五〇、階段室、五坪九〇〇、一〇坪三二三（但し塔屋を含まず）、四一〇坪三二三、總延坪、一一七七坪三五〇坪（塔屋共）他にドライエリア、七〇坪内譯、地階、下足室、一一坪九〇〇、學生便所二坪七三〇、學生手洗所、二坪四四〇、廣間階段踊場、九坪一六〇、階段、二坪七三〇、階段踊場、三坪三六〇、下足入口、三坪三六〇、廣間、一八坪二四〇、倉庫、二〇坪〇〇〇、通風機室、一七坪九二〇、煖房汽罐室、三五、八四〇、浴室、二坪五二〇、脫衣室、二坪五二〇、小使室、五坪四〇〇、變電室、五坪一九〇、廊下及階段室、一〇坪一八三、大控室前廊下及階段室、一五坪五〇〇、小使便所、二坪七三〇、職員便所、二坪七三〇、職員手洗所、二六二九〇、控室、五坪〇四〇、ステージ、一〇坪六九〇、小講堂、一一〇坪九一六、大控室、三三坪四九五、映寫室、三坪四一六、廣間、二九坪一六一、石炭庫、五坪四〇〇、物置、一一坪六八二、ステージ裏、九坪〇九〇、物置、五坪〇四〇、塔ヶ岡土間、三坪七五〇、階段室、五坪九〇〇、一〇坪三二三（但し塔屋を含まず）、四一〇坪三二三、總延坪、一一七七坪三五〇坪（塔屋共）他にドライエリア、七〇坪内譯、地階、下足室、一一坪九〇〇、學生便所二坪七三〇、學生手洗所、二坪四四〇、廣間階段踊場、九坪一六〇、階段、二坪七三〇、階段踊場、三坪三六〇、下足入口、三坪三六〇、廣間、一七〇坪三一二（但し塔屋を含まず）、一三坪四四〇、歩廊、六二坪九〇、鐘樓下物置、一六坪〇〇〇、鐘樓、八五〇六、小計、一二〇坪五〇六、建物の高さ、講堂正面地盤面よりバラペット上端まで五十九尺、左右側地盤面よりバラペット上端まで二十六尺背面地盤面より軒蛇腹上端まで四十五尺、塔屋地盤面より尖塔まで百二十五尺、建物の深さ、正面側地盤面より基礎下端まで十四尺、構造、講堂は鐵骨を主とし、鐵骨鐵筋コンクリート造とし地下室共四階建、塔屋は鐵筋コンクリート造八階建とす。基礎及壁體、地盤面より十五尺五寸掘り下げ土丹層に達す。壁體は鐵骨鐵筋コンクリート造とし特に耐震的手法を考慮し建物に耐震壁を設け各室内仕切りは全部鐵骨鐵筋コンクリートとし講堂内部の壁面及天井はラス張りとして塔屋の壁體は鐵筋コンクリートを以て築造せり。外壁腰廻りは全部新小松石材を以て貼り黄色のテラカッタを軒蛇腹及窓廻りに使用し茶白色のスクラッチタイルを貼り付けたり講堂及塔屋の屋根は鐵骨鐵筋コンクリートを以て構成しアスファルト二層マルソイド二層を張り、その表面豆砂利敷詰め一部大隈會館側陸屋根の部分は右防水層の上セメントタイル敷とせり。一階大講堂床はコルク張りの上リノリューム敷きとし又貴賓室、控室、事務室も同樣にして一階歩廊各階段室及便所はタイル張りなり。地階小講堂と二階歩廊三階立見席はフロウリングブ

ロック敷となし演壇は檜板張りとし會館側外廊は鐵平石を以て亂敷きとせり。內部造作、大講堂及小講堂天井はセロテックス張り一部モルタルペンキ塗り仕上げとし一階大講堂天窓には宇宙天體を模樣化し雄大且つ深刻なるものにせり舞臺のホリゾント及三階陸天井はコルク吹付けペンキ塗り仕上げ其他は全部及天井は漆喰及モルタルペンキ塗り仕上げとす。貴賓室、控室壁面は壁紙貼り仕上げとして歩廊は目地入りモルタル粗面仕上げペンキ塗りなり。一階天井ガラレー下端はカンバス張り後部天井はネル張り仕上げなり。講堂內木木はラック塗り仕上げとせり。防火上必要なる部分は凡て鐵製とし地下室窓一部及天窓にはワイヤーグラスを嵌め込めり。正面玄關及裏出入口には全部プレート磨き硝子を使用し歩廊外廊及階段室塔屋の一部の窓はステンドグラス及色グラスを使用し各室入口扉は全部ラワン材を用ゐ建具金物は本邦製一部外國製とせり。塔屋は天井及面共漆喰塗り仕上げとし腰廻りは水性ペンキ塗り仕上げなり。外部雜作、壁體外部地盤面一階及正面階段は新小松石材を貼付け上部はテラカッター及スクラッチタイル貼りとせり。正面扉は模樣付き鑄鐵扉とし歩廊入口及裏出入口はプレズ張りとす。註、一、講堂の生命たるべき音響は學理と實驗に基き如何なる遠隔の場所もよく聽取出來得る樣にせり。二、演壇は舞臺にもなり芝居も出來特に日本芝居のために花道も設備せり。設備大要、電氣、東京電燈會社より高壓電氣の供給を受け地下室及二階電氣室に配電盤を裝置し各室に配線し必要に應じスイッチを以て點滅す。其の電燈數一五七燈なり講堂內三階及一階ガラレー下端地下室講堂は投射する間接照明に依りて照明さる又一階大講堂內天窓裏には四〇燈を以て間接照明となす。其他各階の照明は夫々半間接及直接照明を採用す尙不明の停電に備ふる爲に豫備燈七個を主要室に配す塔屋打鐘室には四箇の直接照明有り。電氣時計、一階貴賓室に親時計を置き各階を通じて六箇の小時計を適當の場所に配置せり。塔屋の大時計は直徑七尺五寸にして電氣裝置にて內側より十二個の電燈にて間接照明し又は塔打鐘室大小四箇の鐘と相俟つて一時間毎に時を報知するものなり。各室ベル電話機を設置し通信事務作業の便利を圖れり。避雷針、塔屋及煙突上部に取付け導線に依り地中盤に連結す。舞臺照明は理想的に萬全をつくし如何なる芝居にても使用出來る樣設備裝置せり。煖房、直接と間接の煖房裝置に區別し講堂を除く附屬室及地下廊下は直接煖房裝置とし大講堂各廊下、地下室廊下地下室小講堂は間接煖房裝置とせり。直接煖房裝置は眞空式低壓蒸氣煖房裝置にして地下室設置二臺のピアースダウンドラフトボイラーにて各室に配置せる放熱器に依り適溫を保たしむ。間接蒸氣煖房裝置は強制式熱氣煖房裝置にして地下室煖房機械室に空氣取入管第一次加熱器空氣洗滌器第二次加熱器及送風器を經て尙送風管を分岐し一は大講堂他は小講堂に通じ噴氣するものとす。排氣設備は屋上排氣室に排氣機を据付け講堂下廊下撮影室の汚氣を外屋に排除する裝置とせり。衞生、便所は洗滌式とし水道により洗滌流下し汚物酸化槽に流出且つ淨化し自働式揚水機により屋外に排出す。雨水手洗等の排水は暗渠により所々に溜桝を設け流水に支障なからしむ。給水、冷水溫水裝置として冷水は水道本管により溫水は煖房室より導き各所の洗面所湯殿手洗所等に至り特に消火栓の設置もあり、家具、大講堂座席數二一〇〇、小講堂八〇〇貴賓室及控室の家具は新意匠によるものなり。本工事に從事せる諸職工數、大工、六、一二〇、左官四、〇三〇。土工五、一一四、鐵筋工、二、八五二、鳶、二、三〇四、タイル工、七二五、鐵工、一、八五七、石工、四、二四九、人夫、七、八三三、防水、三八〇、電工、一、二〇〇煖房換氣、八三〇、鉦力工、三〇〇、ペンキ工五七八、水道、一六四、煉瓦工、五〇、硝子、一二〇、表具師、一五〇、日華石工、二〇〇、建具工、七二〇、衞生工、四六五、合計總人員四萬〇二百五十一人



## 朝鮮總督府廳舍新築工事概要

位置、京城景福宮前庭、敷地、東西二百四十二間、南北百二十四間、此面積二萬九千四百八十一坪、

規模

寸法、間口四百二十三尺餘、奥行二百二十七尺階數、五階建、建坪、二千百三十四坪一合六勺別に附屬汽罐室百七十四坪、一階、二千百三十四坪一合六勺、二階、二千百十五坪一勺七才、三階、二千百十五坪一勺七才、四階、二千百十五坪一勺七才、五階、一千百四十坪五合四勺、總延坪、九千六百十五坪七合五勺、室數、二百五十七室、大廣間、二百十坪、大會議室、百六坪四合、樣式、復興式、

構造及設備

軒高、七十五尺、中央塔高百八十尺、基礎、根伐深さ十五尺、杭打地形、杭材落葉松末口八寸丸太長さ十五尺乃至二十六尺、總數九千三百八十八本使用す。建築体軀、鐵筋「コンクリート」構造、鐵筋「カーンシステム」使用。外壁体、花崗石、塔屋共總体、花崗石は京城東大門外產出部壁間煉瓦積とす。屋根、塔屋其他銅板葺、一部陸屋根は「マルソイドコムパウンド」葺、天窓「ルプトンスカイライトバー」使用。內部仕上、正面玄關及左右小玄關壁花崗石張、床花崗石磨仕上、二階三階廣間壁大理石張、床大理石敷、一部「モザイック」とす、後部二階及三階廣間床大理石敷、一般事務室天井及壁漆喰塗床「リノリウム敷」巾木人造石塗、廊下床人造石磨き巾木人造石塗、一般階段人造石磨きとす、各階「ベランダー」床「アスファルトブロック」敷とす。天井高一階十三尺三寸五分、二階三階四階十六尺とす。大廣間、面積二百十坪、天井高七十尺、天井漆喰天窓「ステーンドグラス」、壁体柱花崗石磨き及人造石磨き床大理石敷、大階段及周圍手摺白大理石及蛇紋大理石使用す。大會議室、面積百六坪四合、天井高三十七尺、天井及壁漆喰塗石膏彫刻張付、水性塗料塗、腰廻桃色大理石張、床寄木張、柱頭「メタリコン」應用、柱庇青銅、玉座天蓋銅板打出金銀鍍金、玉座床壇白大理石敷き、扉及飾煖爐檜製とす。總督室及其應接室、壁胡桃材目張天井小壁「イタリアンベルベット」裂地張床寄木板張とす。政務總監室及其應接壁檜材材目張床寄木板張、第一食堂面積八十四坪壁塗地材材目張、床「リノリウム」敷とす、第二會議室面積五十六坪、天井高二十八尺、天井「ステーンドグラス」天窓壁漆喰塗水性塗料及壁紙張、床「コルクタイル」敷とす、局長室壁漆喰壁水性塗料巾木大理石床コルク敷中「カーペット」敷とす。建具、窓障子全部「スチールサッシュ」とし事務室は二重窓とす、扉全部胡桃製「ラック」研出仕上、各玄關扉は靑銅製とす、階段手摺胡桃手摺子鐵製鑄物とす。煖房設備、廳舍の西方八十三間の位置に建坪百七十四坪の煖房汽罐室を設け四基の圓筒形多管式「レターンチューブボイラー」(長さ十六尺直徑六尺)を据付け各基に自動焚火裝置を備ふ、屋外暗渠に依り十吋の鐵管を以て蒸氣を送る、低壓蒸氣暖房方法にして採暖程度は戶外溫度攝氏零下五度を平均溫度として其時に室內を華氏六十八度廊下を五十度の溫度を保たしむるものとす。給水設備、外部より徑五吋水道管を以て引込み九ヶ室の水洗式便所五十ヶ所の給水栓、浴室、炊事場、及汽罐室に給水す、其外に雜用水として廳舍の中央地下に徑十二尺の井戶を掘り「タービン」卿筒を以て屋階の「コンクリート」製「タンク」に揚水す此「タンク」の容量約六十五石にして各階の給水栓に配水す。消火設備として廳舍內各要所に消火栓四十八個を設ぐ之は米國「ホワード」會社製にして各徑二吋長さ五十尺を有す。衞生設備、便所は九室あり凡て水洗式にして洗用水は八吋鐵管を以て中庭を通じ東中庭の汚水淨化槽に導く汚水淨化槽は二千百人の人員が使用する水洗式便所を細菌自然淨化法に依りて處理するものにして槽の大さ三十六尺幅二十五尺五寸を有す。電氣設備、動力設備としては九基の人員昇降機一

基の貨物昇降機二基の小昇降機其他の電動機計二十二個百九十三馬力あり電燈設備として總燈千三百餘個の電燈あり其總消費量二百二十七キロワットにして一ヶ所の平均消費電力二百ワットとす、特種照明としては大廣間及大會議室には天井蛇腹に反射電燈設備をなし間接照明法を採る、又大廣間、中央廣間第二會議室の天井「ステンドグラス」を通して間接照明を採る弱電設備としては百六十二個の電氣時計其他電話設備電鈴設備等をなす

周圍の整理

本廳舍周圍の整理として前面及側面に相當の庭苑を配置し正面に正門及外柵の新設をなし後方に附屬倉庫を新築す。

工　費

六百三十六萬四千四百八十二圓、外に外圍倉庫及構內整理費三十八萬七千五百圓

工事行程

地鎭祭、大正五年六月二十五日。
定礎式、大正九年七月十日。上棟式、大正十二年五月十七日。落成式、大正十五年十月一日。

施　工

直營工事。

工事關係者

朝鮮總督府建築課長、岩井長三郎、朝鮮總督府技師主任、富士岡重一、同、岩槻善之、技手、宮島貞吉、同、木戸桂治、同、長原仁太郎、同細江圓次郎、同、守谷俊明、同、寺畑助之亟、同、德永眞一、囑託、江中參九郎、屬庶務、佐藤良治、建築顧問、野村一郎、前主任技師、國枝博。

## 大阪府廳舍建築工事概要

位置、大阪市東區大手前之町、敷地面積、四千三百二十九坪八合八勺、廣袤、間口五十五間奥行四十六間、建坪數、一千九百三十七坪七合、內、五勺、總延坪數、九千二百三十七坪七合五勺、第一階、一千三百六十五坪七合五勺、第二階、一千八百五十八坪五合五勺、第三階、一千二百六十坪七合五勺、第四階、九百二十七坪七合五勺、第五階、九百二十七坪七合五勺、第六階、八百五十坪七合五勺、外に石炭庫十三坪、建築費、參百八拾四萬二千六百圓、從業職工延人員、二十五萬二千人餘、起工及竣工期、地鎭祭、大正十二年五月十二日、起工、大正十二年五月十二日、定礎式、大正十四年九月五日、竣工、大正十五年十月三十一日、建築樣式、自由近世式、階數、七階（但し屋階を除き地階共）建物高、前面建物地盤より扶欄上端迄百尺、構造の大要、耐震耐火構造、基礎、建物地盤線以下平均十四尺を掘下げ、特許「ペテスタル」式コンクリート杭（徑十七吋長二十七尺內外）打の上鐵筋コンクリート地形を施したり。壁體床柱、鐵筋コンクリート及鐵骨鐵筋コンクリート造。內部仕上、天井壁は主として淺田セメントプラスター及大連ドロマイド塗とし、特殊の室は壁紙張、天井中心飾、其他彫刻物石膏ペンキ塗、腰羽目は「チーク」「オーク」檜等を用ひたり、玄關、廣間、大階段等は全部伊太利產大理石を議場には音響防止の爲め「テンテストボード」張の上「カンバス」及「キレ」張を使用したり尙廣間同二、三階廻廊、大階段及主要便所の床は大理石、玄關は花崗石、特殊の數室に「チーク」及「オーク」の寄木張繩通敷を施したる外一般事務室は總て東洋「リノリウム」、廊下及階段は「テラゾー」を使用し、特に階段鼻には「ノルトンアランダム夕イル」を用ひたり、議場床には「テンテストボード」張の上「テーラー」式「コルクカペット」を敷込み、ステージ及議長席には緞通を施し、其他一般便所は腰斑點入陶器タイル、床白色耐酸タイルを使用し、各實驗室床は耐酸タイル敷とせり。外部仕上、本館東側及南側腰三階窓臺迄、議事堂周圍腰一階窓臺迄は北木產花崗石張、北側腰二階窓臺迄は凝石「ストーンブロック」中庭側同上、及別館全部人造石洗出しとし、上部パラペット迄品川白煉瓦會社製大形白色凝石タイル張とせり。尙正面上部及車寄の彫刻其他には高松產紫雲石を使





用し、馬車廻、空掘手摺等の石材は主として北木產花崗石を用ひたり。屋根、鐵筋コンクリート造の陸屋根とし、防水「モルタル」の上「ルヰトワインク」三重脊となし「シンダーコンクリート」を以て之を被覆し、更に「インベ」燒敷「タイル」を敷込みたり。各階窓及出入口、總て東京建鐵會社「スチールサッシュ」「スチールドアー」を使用し硝子は內外共に磨鋼入硝子を使用し廊下通出入口戶には全部「ノルトンドアークローザー」を取付けたり、又特殊の室には「チーク」「オーク」檜等の「ドアー」を附し數ケ所に「ステインドグラス」を嵌込みたり。昇降機、人員用として日本エレベーター製造會社製三臺を使用し全部「トラクション」式とす、容量二〇〇〇封度、速度二〇〇呎每分、定員十五名、特に中央に設置せるもの昇降口扉は「スリーセクションツースピードパネルドアー」とし他は眞鍮製伸縮戶を用ひたり、又別館に荷物用手働リフト一臺を使用し、尙地階調理室及一階配膳室間に「ダムウエーター」電動裝置の食器リフト一臺を設置せり。給水湯設備、給水は重力式自動給水法とす、即ち市設水道幹線より五吋鑄鐵管を分岐し「メートル」を經て唧筒室內給水用「ウオータータンク」に連結しタンクより屋上水槽へ揚水し重力式により各所要の箇所に給水するものとせり、又給湯裝置は二管式給湯法を採用したり。消火設備、押ボタン式自動消火栓設備とす、即ち各階に設けたる二十七ケ所の消火栓箱內に裝置せる押ボタン式スイツチに依り消火用唧筒を働かしむると同時に別に唧筒室內に於て手働スイツチ及警鈴を設置せり、尙各立上り管の頂部と給水主管とを連結し重力式放水をもなし得るものとせり。便所及洗場設備、洋風大便所、二十四ケ所、和風大便所、二十七ケ所、小便所二十五ケ所、又一階を除き各階に二ケ所宛給水給湯室を配置せり。排水設備、二管式配管法とし排水系統を分ちて二部とせり、一は便水其他の汚水を淨化するものにして南北中庭に設置せる汚水自然淨化裝置槽中に導き其淨水を排水唧筒に依り下水に放出し、他は便水をいれざるものにして直接屋外の下水溝に放出するものなり。電燈及電熱設備、電線は總て米國「ガーランド」會社製「ガーランドコンヂュイブ」に納め幹線を除き他は全部床シングルコンクリート內に埋設せり、電球總數一千二百六十個（二十五萬二千四百燭光）其他寫眞現像用弧光燈四個、活動寫眞映寫用弧光燈四個、電氣扇其他「コンセントプラグ」「ドプラグ」二〇八個、實驗用電熱等の設備を有し、一般事務室は總て半間接照明となせり。電話設備、私設電話は共電式交換機四臺を設備し、局線五十回線を收容して四百回線交換通話し得る裝置となしたる外警察專用電話二百回線を收容し共電式交換機五臺を以て五百回線の通話に備へ尙消防專用電話五十回線用磁石式交換機一臺を据付け、消防課と十個の磁石式電話機を配線接續して消防事務を簡敏ならしむる事に努めたり。登退廳表示器、知事各部長各課長の登廳、退廳を其都度必要の箇所に表示せしむる裝置を設備したり、即ち知事內務部長用押釦は知事官房秘書係に警察部長用押釦は高等警察課に、其他の部長用は當該部長室に各課長用は其机上に設置せり。呼鈴裝置知事、各部長、各課長其他より必要の箇所に呼鈴裝置を設け、主要なる部分には電鈴と竝列して小形電球を設備し電鈴の識別を容易ならしめたり。電氣時計設備、阿部式電氣時計百七十個を使用す、親時計は三百個單位自動卷無信號式にして之を知事官房秘書係室に設置せり。避雷針、大小二十三本を所要の箇所に配置し、之を集合して五ケ所の井底に放電するの裝置とせり

燻房設備、眞空式低壓蒸氣燻房法を採用し「アメリカンラヂエーター」會社製「アイヂアルスモークレスダウンドラフトスチームラヂエーター」四臺を設置す建物中央部地下室に設けたる汽罐室より各階各室の放熱器に配氣せり。

主要材料

コンクリート杭、ペデスタル式一、八一四本。
セメント、繫業セメント小野田、セメント、八

三、四八七樽、小野田白セメント、八、二四〇樽、鐵筋、徑二分より徑八分迄、二、二五九噸石材、大理石（主として伊太利産）三五、三八九平方尺、北木産花崗石、三五、〇三四才、福田産花崗石、一、四〇二才、高松産紫雲石、四、〇九三平方尺、龍山石、一五才、ストーンブロツク、一二〇坪、煉瓦、燒過一等品、四〇、八二四個、タイル、白色凝石、三、二四五坪、一五寸角、五五、五八〇枚。モザイツク、三坪一合インベ燒、一、八四七坪、泰山、三三〇枚、アランダム、五六五間、寄木、チークオーク、二五四五坪〇軸部、檜、七九六尺〆、造作、檜、三五六同、チーク、三八七同、オーク、九七同羽目、檜、八、二七五平方尺、チーク、四、七六四同、オーク、二、三六五同、スチールサツシユ、三一、五〇〇同、スチールドアー、九、七五四同、スチールシヤツター、一、七〇八同木製建具檜、一〇、八二二同、チーク、八一九同、オーク、二六二同、硝子、普通ワイヤー入二、一八七同、磨ワイヤー入、三七、七三二同三十四オンス、二、二一二同、雪板正二分、二九五同、面取正三分、一八六同、スティンド、一、三九〇同、ダイヤモンドリブラス二十四番、三、二七四坪、スチールチヤンネルスタッド、四一、一五四尺、コーナービード、三七、〇三〇同、メタルシーリング、一〇三坪、釘類、二、七五〇貫、モルタル塗、五、九七二坪、人造石研出二、七八一同、人造石洗出、二、〇二二同、テラゾー、一、五六六同、淺田セメントプラスター（壁天井共）一二、四四四同、大連ドロマイド（壁天井）九、九三七同、石膏、四七八同、チーク塗、一八五同、ペンキ塗、五、六四七同ニス塗、一、六五〇坪、防水層ラバロイド、三、九四六坪、敷物緞通、二、九二二平方尺、東洋リノリウム、二、八五六坪、船來リノリウム、四六八同、テンテスボード、三二四同、壁紙、四〇七同、キレ張、二〇三同、カンバス張、五二同、

工事關係者

大阪府知事、中川望、大阪府内務部長、吉村哲三、大阪府營繕課長、地方事務官、佐野利平、大阪府建築技師、八木幸次郎、同、楠瀨澈、同十河安雄、大阪府建築技手、前田淸二、同、沼館與惣吉、同、神尾秀雄、同、福島七郎、同、道田泰次郎、同、小西松右衛門、同、難波經利同、西田勇、同、有馬義明、同、山本重巳、同山崎正吉、同、三原辰之助、囑託、古賀鄕實、同、森本賢次郎、同、來住熊雄

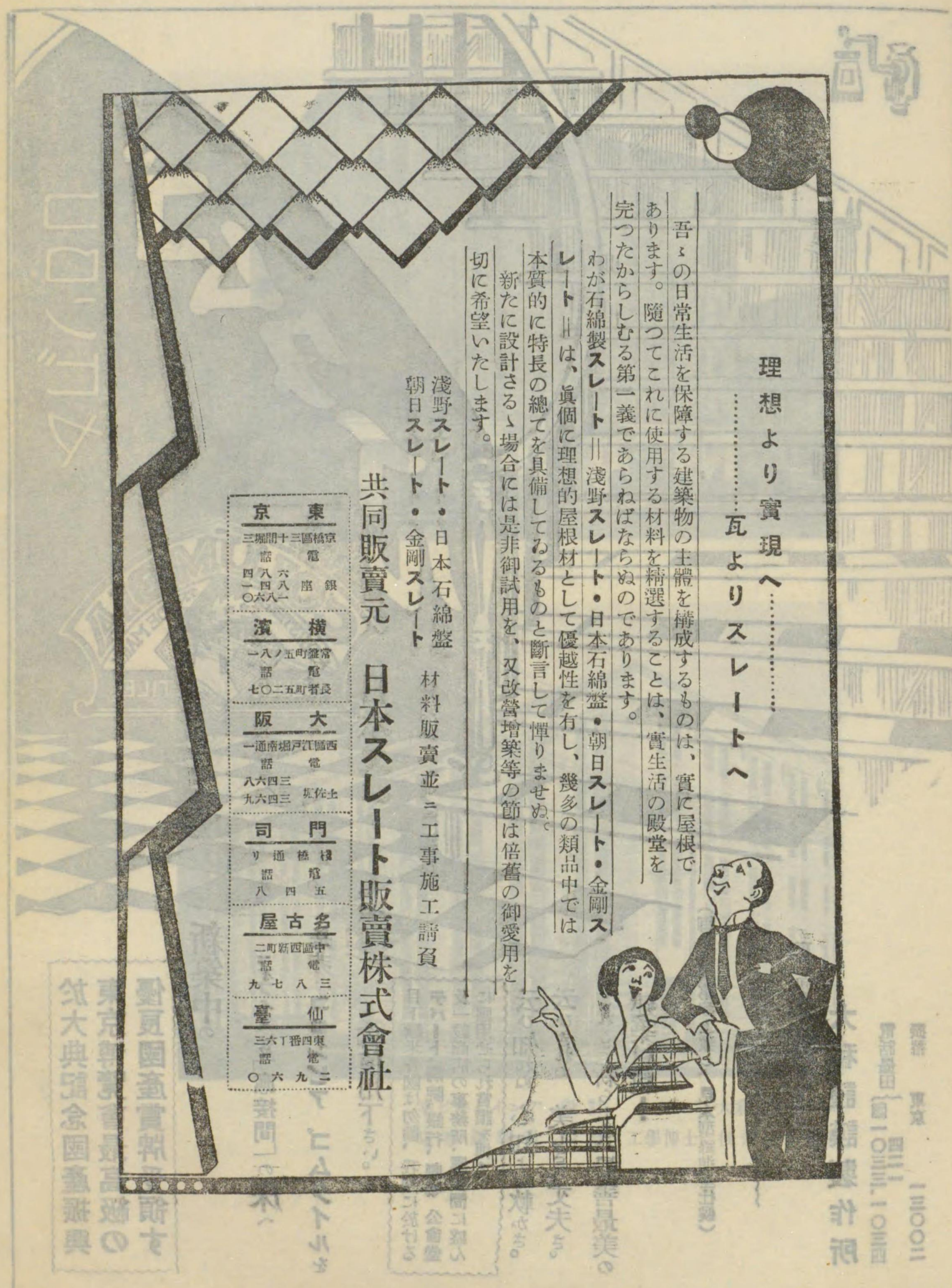
工事請負者

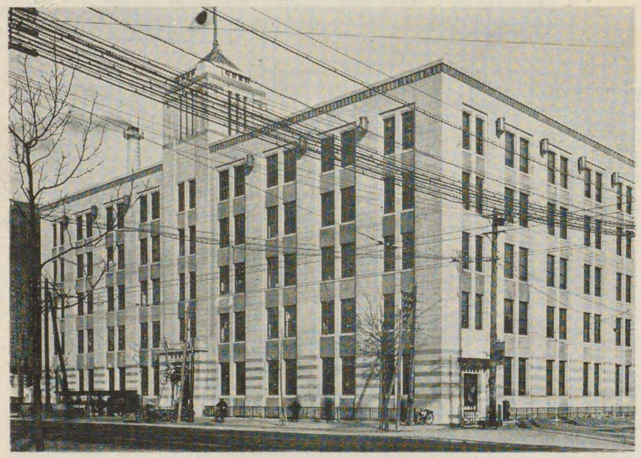
一、基礎杭打工事、東洋コンプレッソル會社、一、軸部鐵筋混凝土工事、清水組大阪支店、一石材工事、熊取谷熊次郎、一、仕上竝に附帶工事、大林組。

工事作業者及材料製作者

二、裝飾タイル製作者、品川白煉瓦株式會社、一、タイル張工事作業者、辻本末吉、一、大理石工事作業者、矢橋大理石店、一、左官工事作業者、龜井組大阪支店、一、左官工事作業者、山口政治、一、サッシュドアーシヤッター及書架工事作業者、東京建鐵株式會社、一、グラス及ステインドグラス工事作業者、栗山硝子店、一、同、改正合資會社、一、ペンキ塗工事作業者、小川吉次、一、給水排水、防火衛生工事作業者、日本水道衛生工事株式會社、一、汚水淨化裝置工事作業者、城口研究所、一、電燈、電話、電鈴、表示器配線工事作業者、川北電氣企業會社、一、電話交換機製作及工事作業者、沖電氣會社大阪支店、一、同、日本電氣株式會社一、電燈照明器具製作者、大阪電氣商會、一、昇降機工事製作及作業者、日本エレベーター製造株式會社、一、煖房工事作業者、須賀商會、一、放熱器製作者、高砂鐵工株式會社、一、室內裝飾品製作者、高島屋吳服店、一、同川島甚兵衛、一、同、今井德太郎、一、同、龜井商店一、家具調製者、大丸吳服店、一、同、高島屋吳服店、一、同、大野木友次郎、一、同、淸水猛、一、同、瀨川勝平、一、同、笹岡家具裝飾店、一、模型工事作業者、建彫社、一、青銅鑄

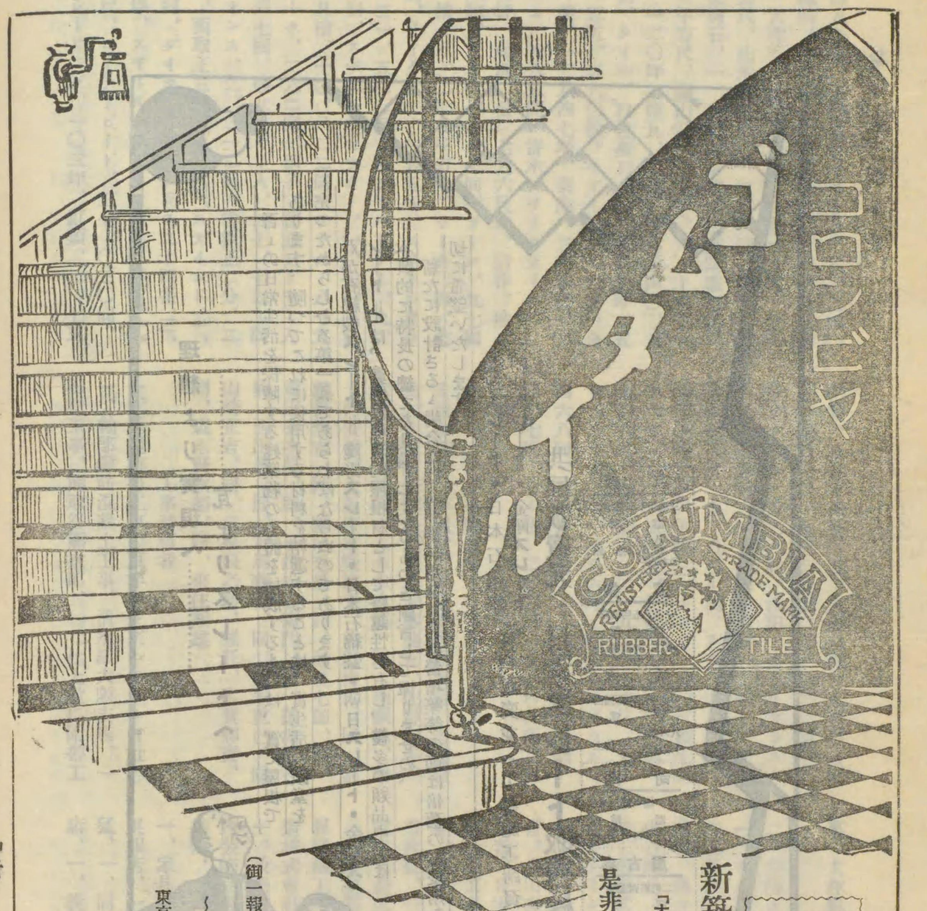




大倉土木設計部　　幸ビルヂング設計
櫻井小太郎氏　　工學博士設計
時事新報社新築




於大典記念國産振興
東京博覽會最高級の
優良國産賞牌受領す

新築中の
「オフイス」及「應接間」の床へ
是非 コロンビア ゴムタイルを
御使用下さい。

目下歐米各國は勿論、我國に於ける
デパート、病院、銀行、劇場、公會堂
及一般商店の事務所、應接間に盛ん
に應用せられ賞讃を博す

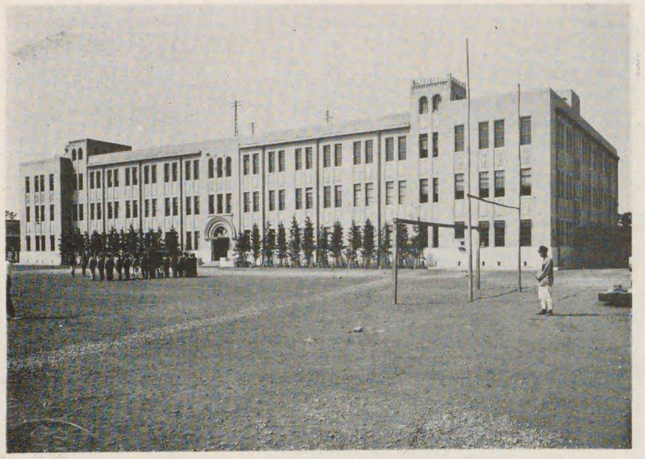
云ひ知れぬ心知よい軟かさ。
云ひきれぬ美しさと丈夫さ。
これこそ新らしき、最善最美の
建築材料！

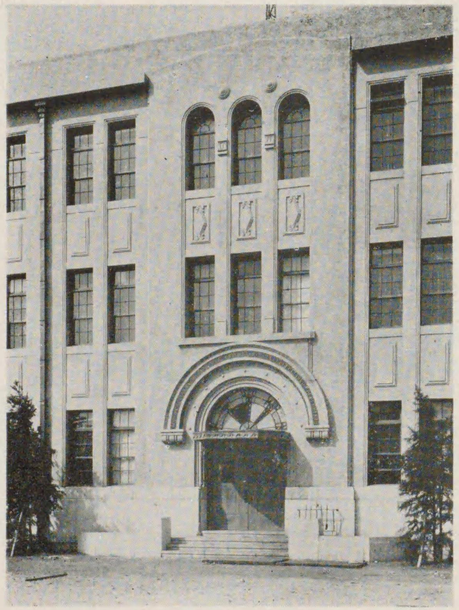
（御一報次第參上致し、見本型錄進呈仕候）

東京向島寺島町曳船際前
大和護謨製作所
電話墨田（代）一〇三三、一〇三四
四二一
振替 東京 一三〇〇二

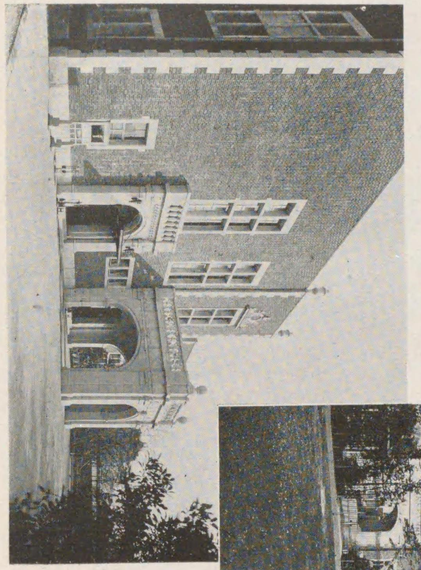
三　會　堂　設計　工學博士　佐藤功一氏

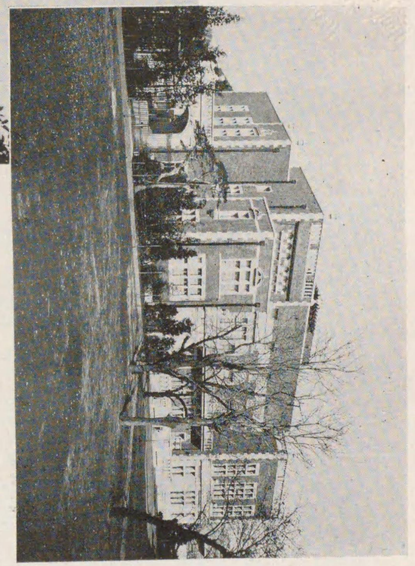
朝日新聞社　設計　石本喜久治氏



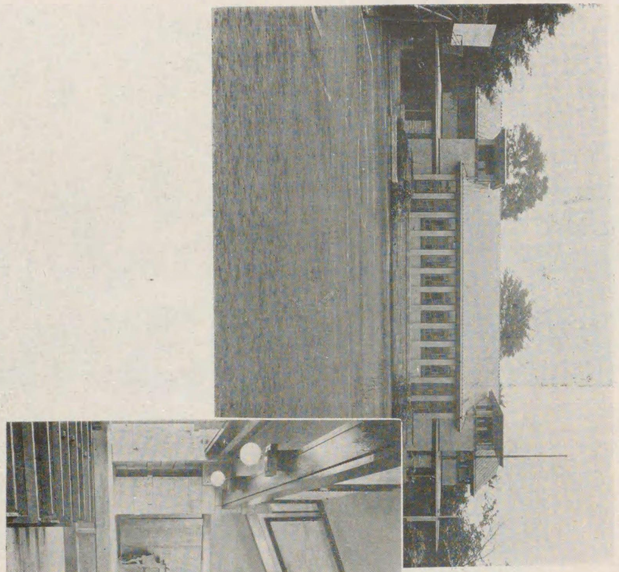


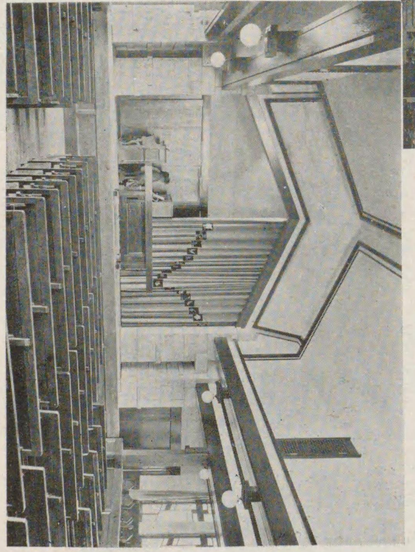
東京高等師範學校　設計監督　文部省建築課



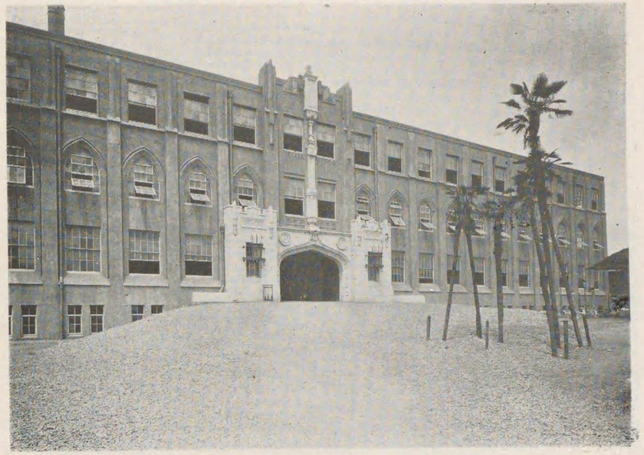


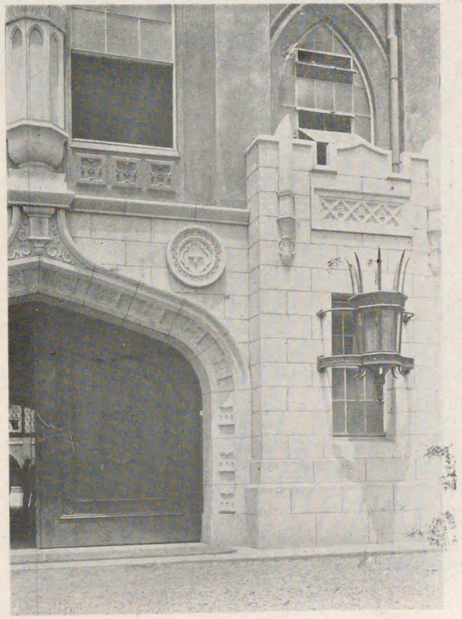
華族會館　設計　竹腰中條事務所



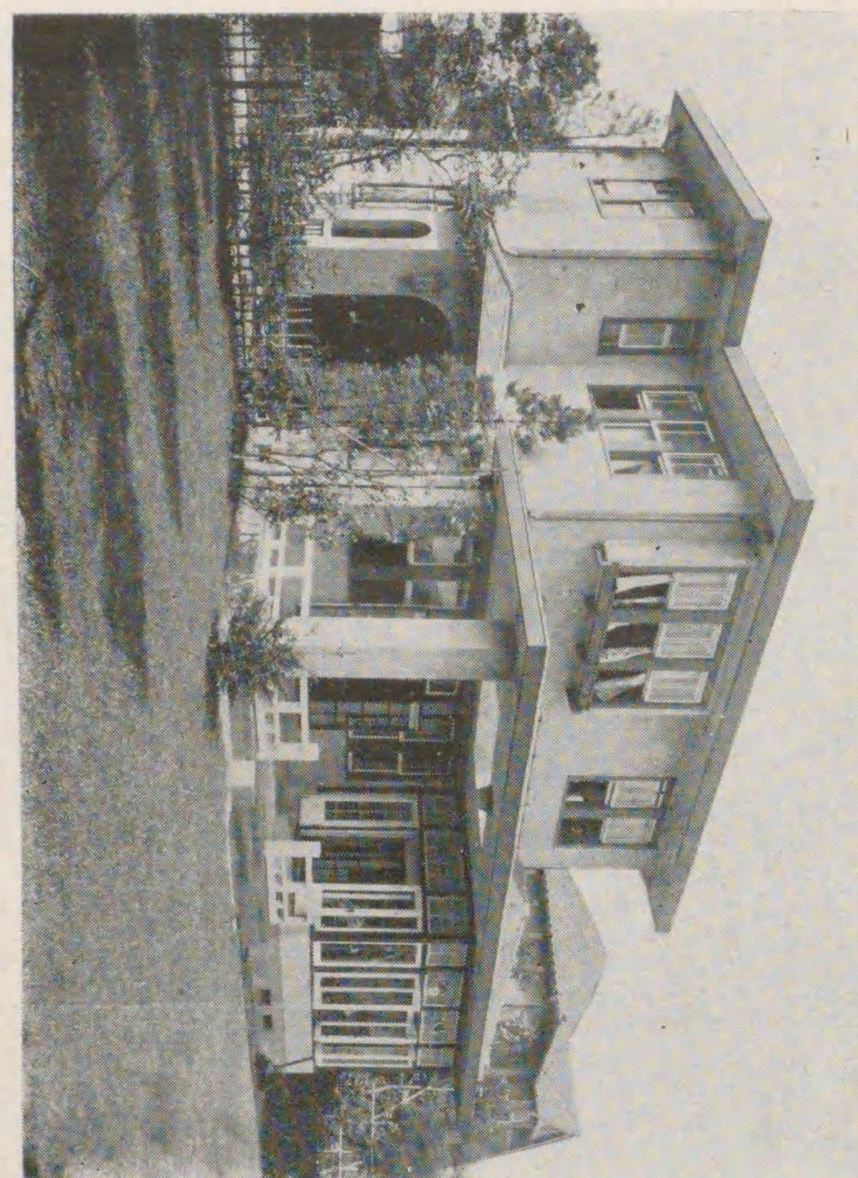
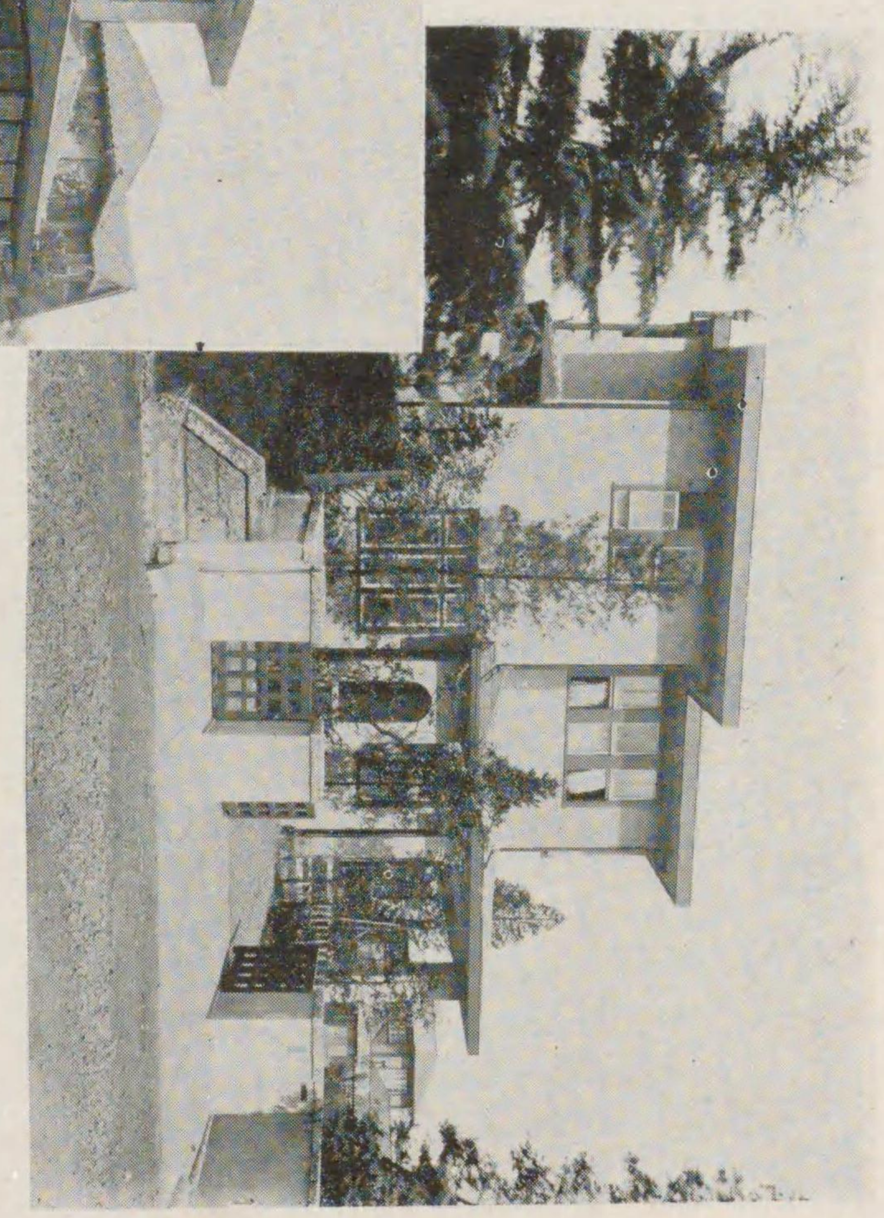


自由學院設計　遠藤新創作事務所

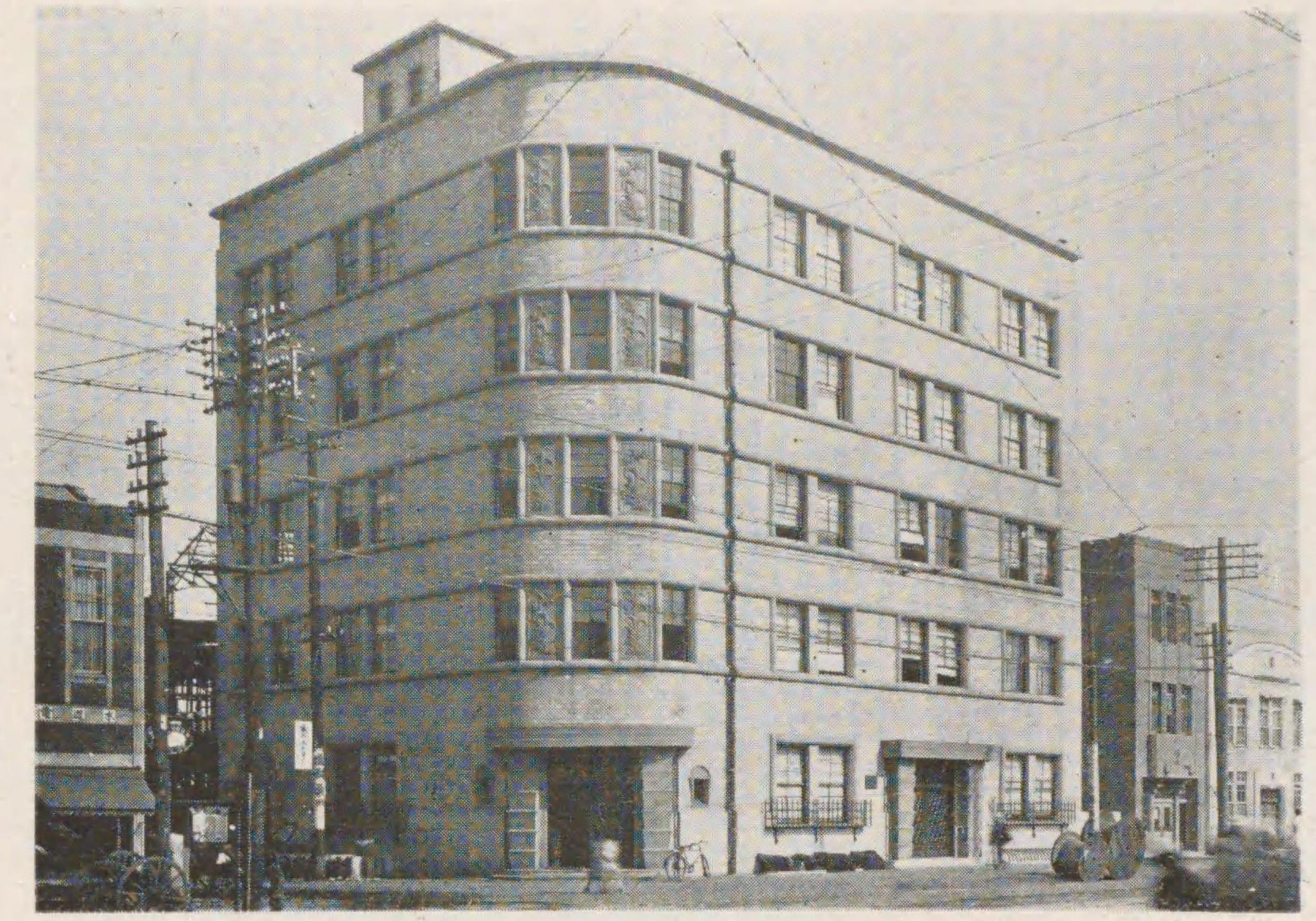
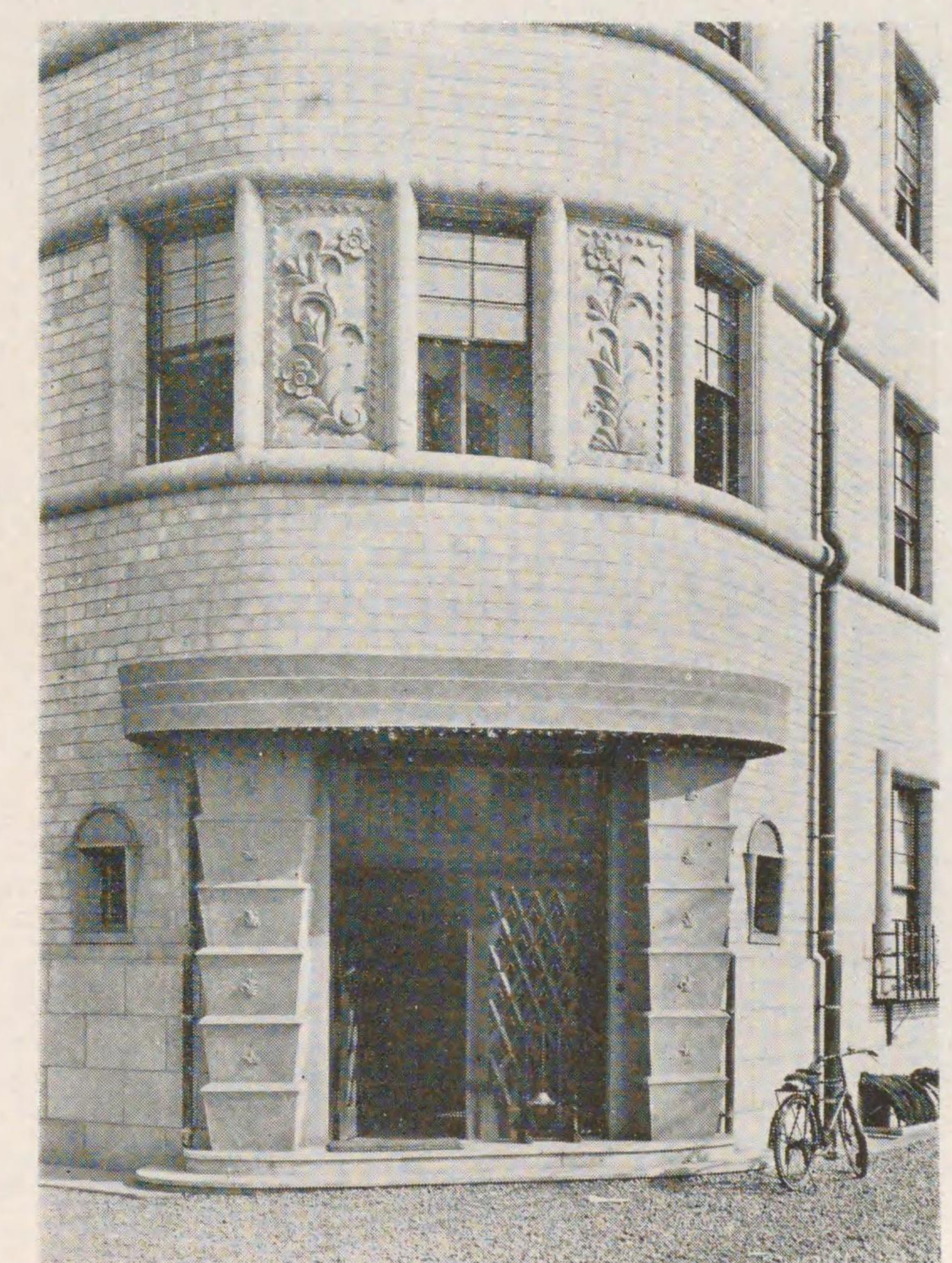




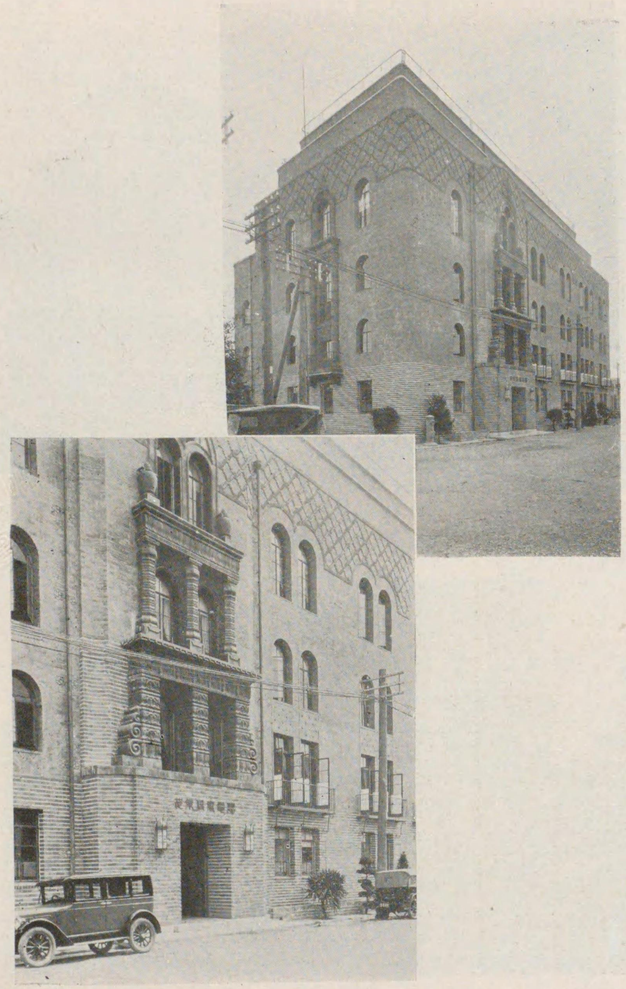
中央大學設計　工學博士　阿部美樹志氏

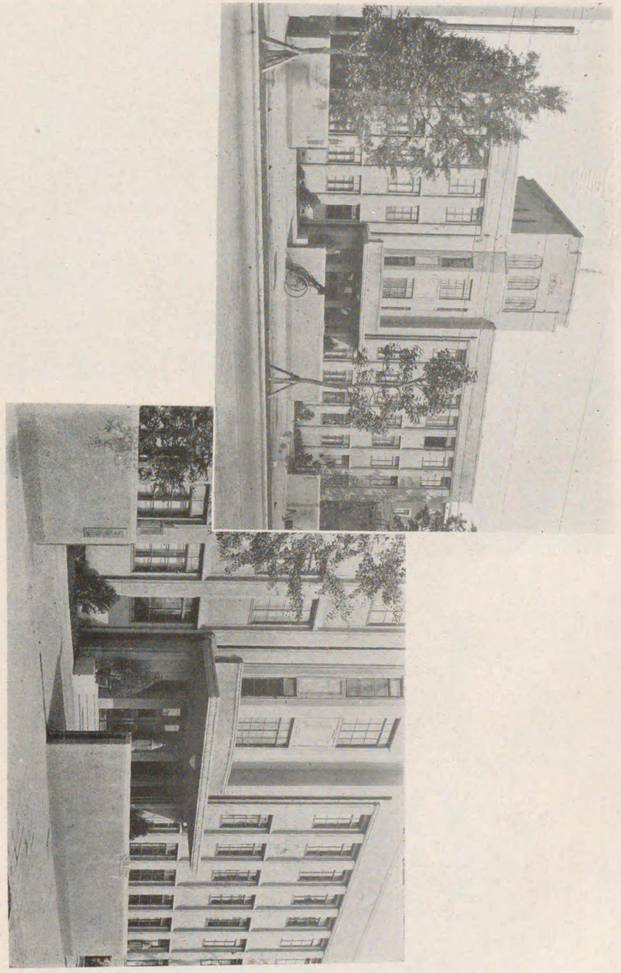
首藤氏邸 設計 工學士 池田譲次氏

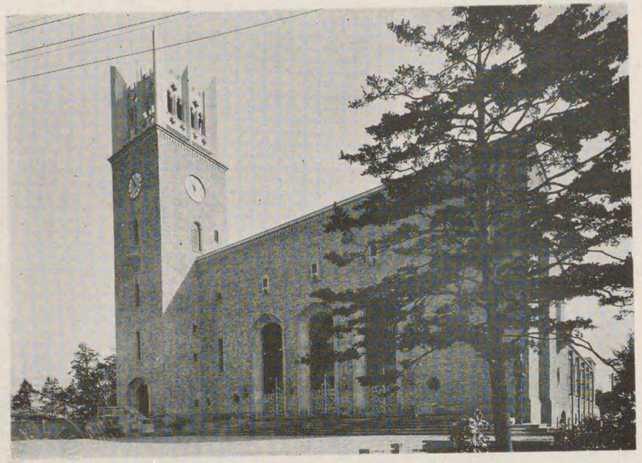
日本醫師共濟生命保險相互會社 設 計 大林組設計部

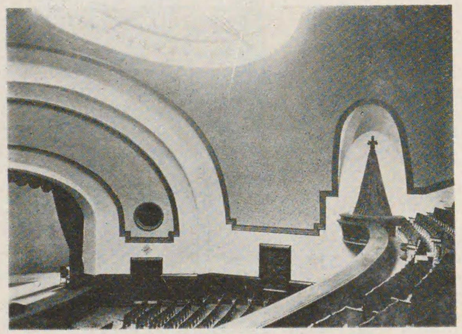


電氣俱樂部　設計　渡邊仁建築事務所

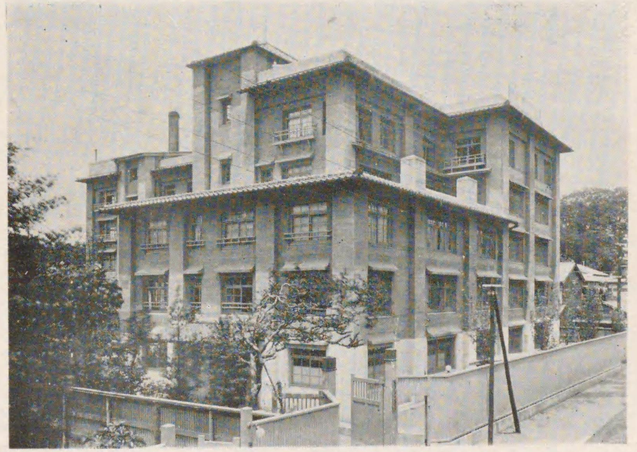


胃腸病院　設計　小林政輝氏

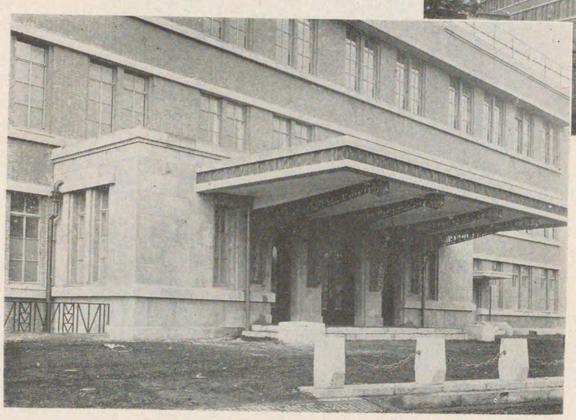


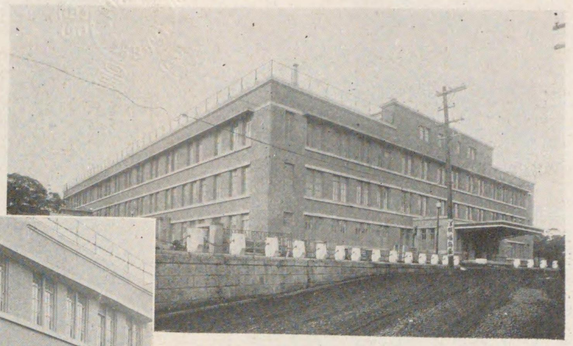


早稻田大學大隈紀念講堂　設計　佐藤功一氏

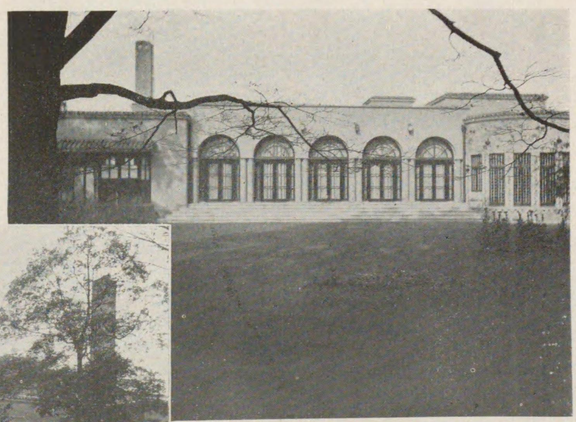


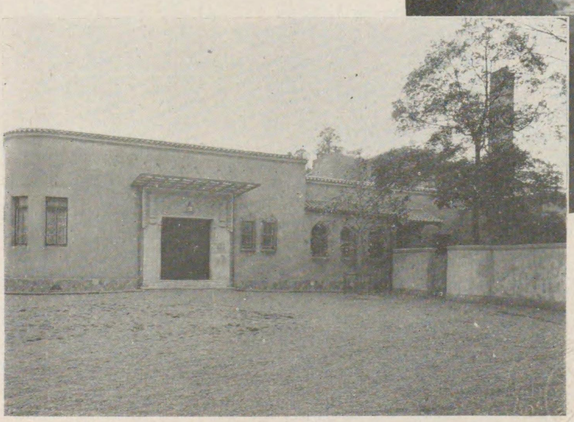
松阪屋吳服店寄宿舍　設計　鈴木禎二氏



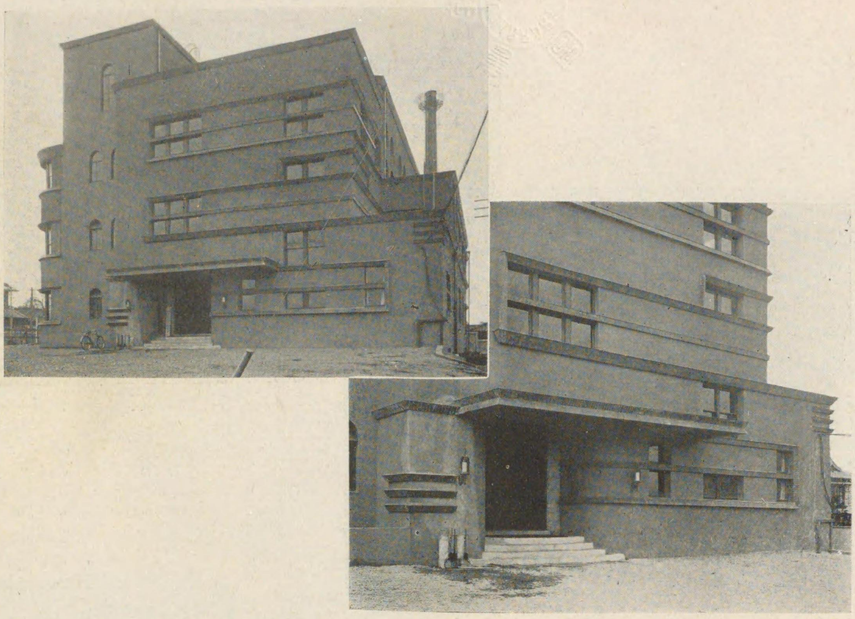


鉄道病院　設計　鉄道省建築課

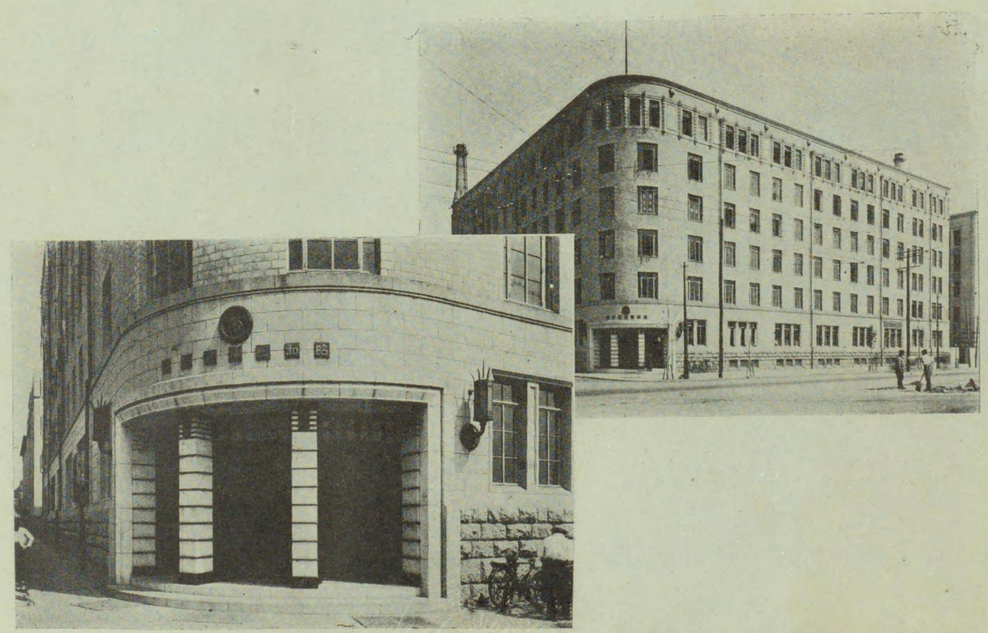




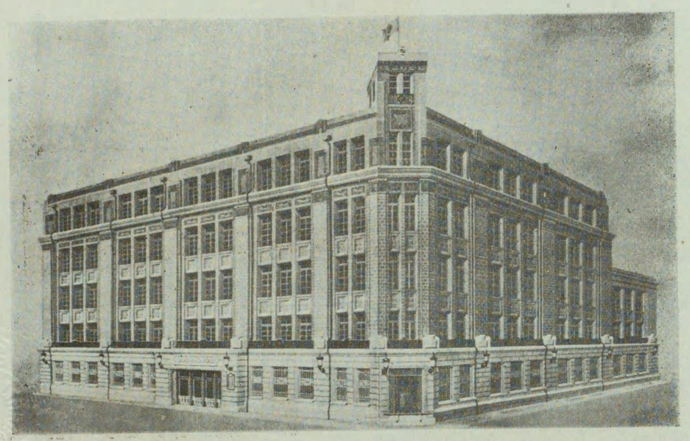
小笠原伯爵邸　設計　中條建築事務所

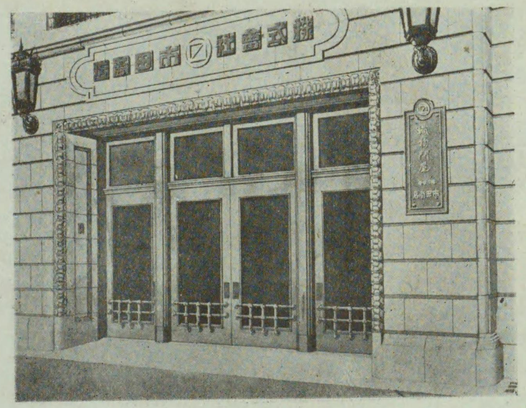


小田原電鉄本社　設計　渡邊仁氏

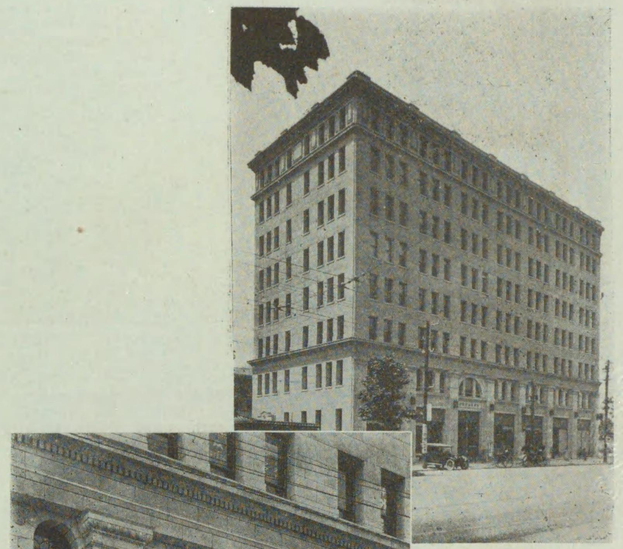


昭和ビルディング　設計　阿部美樹志氏

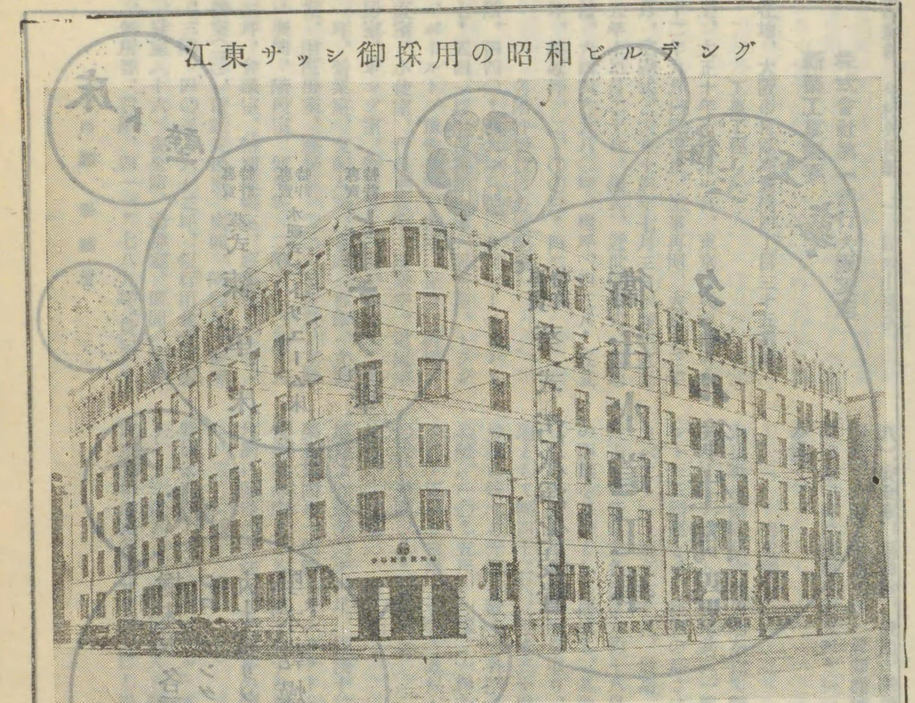




市田商店　設計　岡田信一郎氏



太平ビルディング　設計　吉武建築事務所



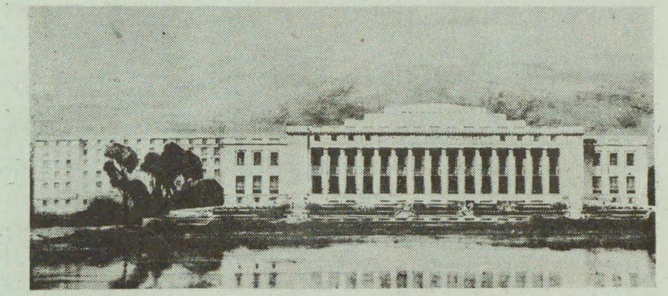
江東サッシ御採用の昭和ビルデング

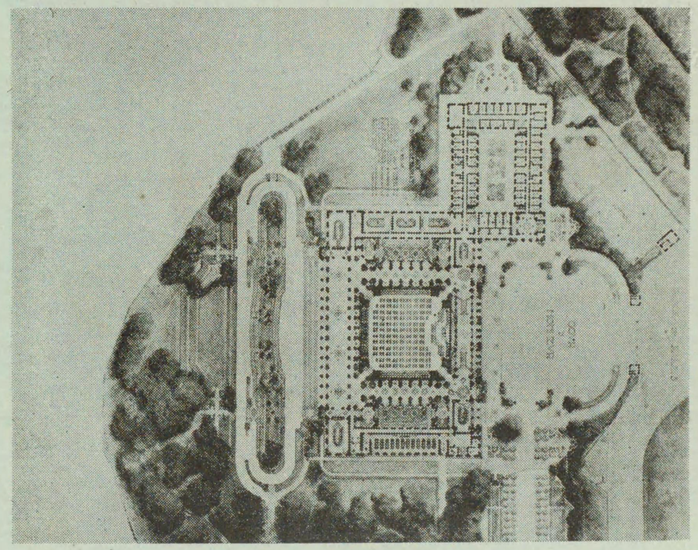
江東サッシ工

東京・亀戸

電話墨田3138番





國際聯盟會館　懸賞設計圖　一等當選者　ネ　ノ　ー　氏
フレーゲンハイメル氏

造作業者、今村久兵衛、一、同米山淺次、

## 株式會社第一銀行大阪支店新築工事概要

所在地、大阪市東區高麗橋四丁目三十五番地、

工事工程

起工、大正十年十一月一日、東京震災の爲め大正十二年九月以降中止、工事再開、大正十三年七月、定礎式、大正十四年七月三日、竣工大正十五年十二月二十日、樣式、近世復興式、敷地面積、六四四・九八〇坪、建坪、四五八・五五一坪、總延坪、二、〇〇三・四二九坪

各階坪數竝に各室配置

地階、四四〇・八六坪（他にサブベースメント五七・五四一坪）保護預金庫、秘密室、トランク、ボールト、豫備金庫、書庫、食堂、厨房、宿直室、小使室、行員更衣室、娯樂室、電氣室、燹房室、ポンプ室、物置等、一階、四五八・五五一坪、營業室、支配人室、金庫、書庫、文書掛室、用度掛室、應接室、(三)、小使室、玄關竝に廣間、階段室、便所等、二階、二〇五・三三三坪、會議室、特別應接室、應接室、(二)、事務室(三)、電話交換室、廣間、階段室、便所等、三階、四〇三・六一三坪、銀行用食堂、厨房、貸室（十六）、安全庫、湯沸室、廣間、階段室、便所等、四階、四一一・七八九坪、貸室(十八)、安全庫、湯沸室、廣間、階段室、便所等、屋階、二五・七四二坪、昇降機械室、水槽室、階段室、外に附屬下家三四・一一七坪の車置場を設く、

構造概要

本建築は耐震耐火の目的を以て鐵骨鐵筋「コンクリート」造とし、地階共（一部サブベースメント」五階建とす、建物の高さは地盤より「パラペット」上端迄六十尺、最高（塔屋）六十九尺とす、營業室各柱は大約十八尺及び四十八尺の距離を基準として構成し、其他の部分は約十二尺乃至十八尺の柱間隔を取り、中央部に採光用として幅四十二尺、長さ五十四尺、屋上硝子屋根に達する光庭を設く、各階々高は左の如し地階、一〇・五尺、一階、一四・五尺、二階、一二・五尺、三階、一三・五尺、四階、一二・〇尺、屋階、八・八尺。

基礎

地盤より最深二十一尺、最淺十三尺掘下げ、割栗石搗固め、鐵筋「コンクリート」地形とす、營業室は廣大なる空間を有するを以て、各主要柱間に耐震的手法として數多の繫梁を施せり、

壁體

壁體は「カーテン、ウオール」式鐵筋「コンリート」造とし、一部鐵筋入り特種煉瓦積とす貸室間切は室の區分を自由にし得らるゝ樣、木骨鐵網張「モルタル」塗とす。

床及屋根

各階床及屋根は鐵梁を使用、床版鐵筋「コンクリート」造、地階床、コンクリート」上端には防水層を施し、各柱は地階天井梁下迄立上げ凡て押へ「コンクリート」打ち防濕に備ふ、中央吹拔部分屋根は鐵骨小屋組こし「ヘンリーホーブ」鐵製棰使用「ワイヤグラス」を嵌入す一般屋根は「コンクリート」打防水層施工の上「シンダーコンクリート」を以て水勾配を取り、更に耐火「スレート」敷となす、

外部仕上

高麗橋通り竝に心齋橋筋の壁面は大部分北木產花崗石を以て張り、其の部分は擬石洗出塗仕上とす、正面及び北西各入口には鐵製「メタリコン」仕上げ防火扉を設け、正面出入口部分には米國「ヴアン、カンネル會社「チーク」製回轉扉を取付く、各窓には「ヘンリーホーブ」製「スチールケースメント」竝びに東京建鐵會社製捲上げ防火「シヤッター」を取付く、營業室大窓方立、外部窓間パネル等砲金を以て彫刻を加ふ

内部造作

營業室及公衆溜、東西一二九尺、南北九〇尺、天井高二七尺、二階天井迄吹拔とす、正面は玄關に通じ、他は北西東の各廣間竝に支配人室其他の諸室に接續す、周圍壁面腰廻り及び柱型中

央角柱各出入口周圍及金庫廻りには伊太利產並に本邦產大理石を舖裝し、一部壁面及天井は「プラスター」「ペンキ」仕上とし、採光天井は鐵骨金屬板張り「ペンキ」塗仕上げとし、淡色「ステインドグラス」を嵌入す、公衆溜床獨逸製「モザイクタイル」敷とし、中央入口脇に飲用噴泉を設備す、營業臺は甲板葛成石本磨、腰大理石「スクリーン」砲金製燻し仕上厚板硝子嵌込み延長一五八尺とす、支配人室、腰羽目間仕切其他造作材凡て「チーク」材、壁は「コルク」混入「ペンキ」塗仕上、天井「プラスター」塗り床は絨緞敷詰とす、會議室、柱型巾木間仕切等凡て「チーク」材使用天井は石膏塗「ペンキ」拭仕上壁紙張床は寄木張とす、特別應接室其他、木部、會議室同斷、床、絨緞敷詰、其他一般應接室及事務室は天井壁共「プラスター」塗「リノリウム」敷とす、正面廣間、壁面、階段共伊太利並に本邦產大理石を以て舖裝し、床は獨逸製「モザイクタイル」敷詰め、天井は石膏塗り中央部を「アーチ」形格天井とし彫刻を施し「ペンキ」拭仕上となす、北廣間、一般貸室用に宛て、壁面日華石、床「タイル」敷、天井石膏「ペンキ」塗仕上げとし、一部に賣店を設け下足預室を附屬せしむ、西廣間、壁面特殊タイル張り、床同「タイル」敷、天井は北廣間同斷とす東廣間、銀行用通用口にして腰「タイル」張り床人造石研出、天井壁共「プラスター」塗仕上とし一隅に飲用噴泉を設く、地階保護預金庫、庫前壁は本邦產大理石を張り、天井「プラスター」塗、床「モザイクタイル」敷とし、入口には鐵製「メタリコン」仕上格子戸を設く、三階食堂腰特殊「タイル」張り、床大理石碎石研出、壁及び天井は「プラスターペンキ」塗仕上とし、配膳室厨房を附屬せしむ、地階食堂、一般貸室用とし、腰「タイル」張、床人造研出、天井壁共「プラスター」塗仕上とす、三四階貸室、大小三十四室を有し、各室共床「リノリウム」敷、天井壁共「プラスター」塗、廊下側には廻轉窓を設け通風に便す、安全庫、三四階に各々一室宛を有し、入口には和製金庫扉を取付け、重要書類等の保管用に供す、各階便所洗面所、腰「タイル」張り、床「タイル」又は「モザイクタイル」敷、天井は「メタルシーリング」「ペンキ」塗仕上とす

金庫設備

現金庫並に書庫、一階營業室中央部に設け各々巾十五尺、長さ十八尺五寸、高さ十一尺、入口扉は英國「チャブ」會社製金庫扉を取設け、周圍壁體「コンクリート」內には特殊捻鐵筋を配置し、且つ內壁面には二分一吋及四分の一吋の特殊鋼板を以て「ライニング」を施す、保護預金庫、地階に設け階段を以て營業室に通ず、巾三



十六尺、長二十七尺、高さ七尺五寸、入口には米國「モスラー」會社製金庫扉を設け、周圍壁體は現金庫と同斷、保護金庫函は大小七種千八百二十四個とし、各々借主用及支配人用二種の鍵を以て間閉するものとす、庫前には「スチール」製六箇所の秘密室を附屬せしめ、借主の隨意使用に供す、外に米國「モスラー」會社製金庫扉を取付けたる豫備金庫並に「トランクボールト」を設備す、

防火設備

各階外部に面する窓には全部「スチールシャッター」を、中央光庭に面する各入口窓には「スチールドア」又は「ワイヤ」入硝子窓を、外部との各出入口及び建物內各主要なる區劃毎には「スチールドア」或は「スチールシャッター」夫々取設け以て防火に備ふ、各階各廣間には消火栓並に火災報知器を取付け、非常の場合には地階卷筒室の自動的動作により直ちに給水し得るの裝置となす、北入口脇道路に面しては「サイアーミス、コンネクション」を取設け、非常の場合消防隊の活動に便せり

煖房冷房通風裝置

煖房並に冷房裝置、一階營業室及地階の一部には熱空氣式を、其他の各室には急速循環溫水式を採用す、熱空氣式は屋上吸氣口より吸入したる空氣を、風道を經て地階內機械室に導き、空氣洗滌器、加熱器を通じ、爐風器により所要の個所に送風す、營業室にありては各柱、柱型及壁面等に設けたる放熱孔「レジスター」により新鮮なる熱氣を放出す、汚濁せる空氣は營業臺下放出孔より吸出し機械室に歸環さるゝものとす、夏季に於ては地階內に設けたる鑿井の冷水により冷却されたる空氣を熱空氣と同樣の方法を以て放出し、以て冷房の目的を達す、其他各事務室等は溫水循環式とし、放熱器により適當の溫度を保つものとす、汽罐は米國「アメリカン、ラヂエーター」會社製「アイデアル、スモーレス、ダウンドラフト、ウオーター、ボイラー」二臺、空氣洗滌器は每分九・〇〇〇立方呎以上の空氣量に對する大さを有する「ウエブスター」型一臺とし加熱器「エロフィン、ヒーター」は「エロフィン」標準三列型三深二段式一臺とす、

衞生設備

地階に設けたる鑿井水は湧出量一晝夜三千石にして、電動唧筒（豫備として「ガソリンポンプ」一基を備ふ）により屋上水槽を經て、各便所、洗面所、浴室、其他洗ひ場用、雜用水並に消火栓として配給す、料理並に湯沸用水は市水道管より分岐したる水道上水を使用す、各便所の汚水は地階內及其他に設けたる汚水處理槽を通過し、其の他の排水は直接外部溜桝を經過し、何れも市設下水道に排泄す、汚水處理槽は鐵筋「コンクリート」造とし汚水は西原式に從ひ腐敗槽、好氣菌槽、濾過消毒槽を經て淨化するものとす、

機械並に電氣設備

電燈並に動力、電氣室、變壓室、蓄電池室は是を地階並に「サブベースメント」中に設備し、自家用供給法に依り市電より三相交流最大電壓二、二〇〇「ヴオルト」の高壓電流を受け、遞減變壓器に依り低壓し之を各室に配電するものとす、停電の場合に於ては自然點滅裝置の作用により、蓄電池室より二四「ヴオルト」の電流を受け、各階主要個所に設備したる豫備燈に點火せしむるものとす、配線は「ガーラントチューブ」に納め「シングーコンクリート」床中に埋設し、各廣間「パネルボード」を經て各電燈回線に連結す、電話、電話は銀行用並に貸室用として局線引込三百回線、室內配線二百回線を準備し、電話交換室並に蓄電池室之を二階に設け、銀行用として共電式交換機三座席を設く、各階各室床には電話用「ダクト」を埋設し之に配線し必要に應じ所要の個所に於て接續し得る樣設備せり、電氣時計、獨逸「シーメンス」會社製電氣時計四十五個を各所に配し親時計は之を電話交換室に置く、火災報知機、火災報知器は各階各廣間消火栓と同一個所に「ランプ」式受信器を守衛室に夫々取設け信號と同時に警鈴並に消火用「ポンプ」を自働的に働作を開始せしむるものとす、警報機、營業室中央に非常鈴を設け、地階保護金庫並に營業室一部より盜難其他の場合に警報し得るものとす、金庫保安裝置、一階並に地階各金庫扉の開閉は「ランプ」式表示器に依り支配人室並に宿直室に於て監督し得る裝置をなせり、呼鈴、支配人各掛小使室等の間には電話の外電鈴を設備し相互の連絡を保つ、

一般設備

昇降機、米國「エー・ビー・シー」會社製、容量一、七五〇封度速力二〇〇呎にして、北廣間二基（貸室用）、東廣間一基（銀行專用）を設備す北廣間は屋上に東廣間は地階に器械室を設く、メール、シュート及郵便受函、米國「アメリカン、メーリング、デバイス」會社製「メールシュート」一基を北廣間に設け、各階に投入口を備ふ郵便物は一階に於て蒐集するものとす、各貸事務所用郵便受函は之を壹階北廣間に設け各自の鍵により開閉するものとす、避雷針、避雷針は適法に準じ左の通り是を配置し、完全に大地中に接地す、煙突上一基高八尺、中央硝子屋根二基、高二十尺、東塔屋二基高十尺、北塔屋一基高十三尺五寸、瓦斯、厨房、浴室、湯沸場に於ては熱用として瓦斯を使用す。

工事關係者

設計竝監督、第一銀行建築掛、工學士、西村好時、同、外山英雄、製圖、前田健二郎、同、木下道夫、同、鈴木重治、同、岡村與一、同、大澤永、鐵骨計算(囑託)工學士、樺島正義、電氣設備(囑託)角田榮八、同、門倉透英、煖房設備(囑)工學士關藤國助、現場監督、西修、同、大谷龍雄。

建築工事施工

合資會社清水組、代表社員、清水釘吉、大阪支店長、內山熊八郎、(前支店長)德政金吾、現場掛員、北村萬治、同、小林市太郎

主要工事請負者

鐵骨材料供給、神戸鈴木商店、鐵骨工事、東京石川島造船所、外部花崗石、熊取谷熊次郎、窓サッシュ(英國ヘンリー・ホープ會社)東京三柏商會、同、東京建鐵株式會社、東京榮進社硝子屋根、(英國ヘンリー・ホープ會社)東京三柏商會、防火シャター竝に防火扉、東京建鐵株式會社、大理石、矢橋大理石商店、金庫扉(英國チヤブ會社)セール商會、金庫扉竝に保護鎖金庫函(米國モスラー會社)三井物產株式會社、金庫扉、東京佐倉金庫店、玄關鐵扉、東京山田商店、日本メタリコン工業所、營業臺、スクリーン、東京渡邊久雄商店、回轉扉、(米國ヴアンカンネル・レボルビングドア會社)內田商事株式會社、タイル、品川白煉瓦會社、大阪窯業會社、粘土工業所、モザイクタイル、獨逸ビレロイ、ボツホ會社建材社、建具金物、(米國ラスウインドグラス」を嵌込む、窓前には造付け腰掛を會社)東京大同商會(米國エールタウン會社)東京ホーン商會、ステンドグラス、東京宇野澤秀夫、昇降機、米國エー・ビー・シー會社)內田商事株式會社、メールシュート(米國アメリカンメーリング、デバイス會社)內田商事株式會社、衛生、給水竝に消火設備、須賀商會、汚水淨化設備、西原衛生工業所、鑿泉、日本鑿泉株式會社、煖房設備、東亞鐵工所、電燈配線竝に器具、みよし組電氣工業所、電氣室設備、東京小穴製作所、大阪葦田工業所、電話配線竝に電鈴、德田電氣工務所、電話器械類、日本電氣株式會社、電氣時計、(獨逸シーメンス・ハルスケ會社)富士電機株式會社、家具、宮澤工作所、旭家具裝飾株式會社、大阪清水製作所、藤井盈次製作所、三菱長崎造船所、東京鋼鐵家具製作所、室內裝飾、高島屋吳服店裝飾部。

## 清風亭建築工事概要

本館は第一銀行頭取佐々木勇之助氏名稱祝賀記念館にして玉川村第一銀行倶樂部清和園內に建てたるものなり、專ら行員の集會竝に倶樂部に使用す、一所在、東京府下玉川村清和園內、二構造、瓦葺平家建、總鐵筋コンクリート造、三、間取、本館は中央大廣間を主體とし前面運動場に面して廣濶なる「ベランダー」を設け後方には玄關、外套室、便所、湯沸室等を配置す、四、面積總建坪、五〇、六八坪、內譯、廣間、二五、七六、ベランダー、一〇、五〇、外套室、三、二五、湯沸室、二、三七、便所、手洗室、三、一三、玄關竝に廊下、五、六七、五、屋高、地面より「ベランダー」軒先迄、一二、七尺、同棟瓦上端迄、一九、二尺、六、外觀、本館の設計意匠は範を南歐田園趣味に採り之を近代的手法を以て取扱ひたるものにして清楚の氣分を表現するに力めたり、外部仕上げは人造石洗出しとし配するに暗紫色「タイル」及多胡石を以てし屋根は銅釜色西班牙風丸葺とし勾配は特に緩かにし軒先には樋を設く、七、內部、本館中央廣間は集會室竝に倶樂部室に充つ室內は素朴なる體裁とし壁面、天井其他諸裝飾、家具等成る可く彫刻類を施さず凡て單彩仕上とす、室の正面には大なる塗込煖爐を設け壁間に佐々木頭取の肖像(清水良雄氏畫)を掲ぐ、兩側面半圓形出窓には「ステールサッシュ」を使用し「ステンドグラス」を嵌込む、窓前には造付け腰掛を設け各出入口扉には「チーク」材使用、床板を樫材とし特製緞通を敷込む、室の中央には二個の「シャンデリア」を垂下し正面煖爐前電燈竝に「スタンド」と共に特に古風なる錆鐵仕上げとなす、室內使用の家具は「チーク」材革張とし意匠仕上共典雅なるものを撰べり「ベランダー」は床鐵平石亂石敷となし籐椅子を配して小憩に供し大廣間入口楣間に頭取揮毫の扁額(新聞靜邨氏刻)を掲ぐ、八、工事工程、大正十五年一月起工、十月竣工、九、工事關係者、設計竝に監督、第一銀行建築掛、家具竝に電燈設計、合資會社清水組設計部、庭園設計、林學博士、田村剛、施工、合資會社、清水組

## 東神倉庫株式會社新港倉庫

### 建築工事概要

所在地、神戸市新港町、(稅關構內第一、第二突堤根元地)工程、起工大正十四年三月十日、竣工、同十五年十月九日、敷地面積、二萬七百五十三坪九合一勺一才、內譯、東一、六六九坪八二三、西、一、〇八四坪〇八八、建坪、二千三百七十九坪八勺三才、內譯、東、一、四二七坪六〇一、西、九五一坪四八二、總延坪、九千八百五十坪六勺五才。

構造概要

本建物は二棟の鐵筋コンクリート造にして共に相類似せる構造を有し、屋上機械室を加へて五階建なり、防熱設備、東西兩倉庫四階は特に盛夏の暑熱を避くる爲めメタルラス張りドロマイト塗りの天井を設け啓正式ベンチレーターを設備す　消火設備(一)市水道管より分岐管を設けたるブレツシュアタンクに導き東西倉庫各階天井に裝置したるグリンネル式オートマチックスプリンクラーに接續し火災の場合は自動的に噴水消火し同時に警報を發するものとす、(二)東西各階南北荷役場に各一個の防火栓を特設し延長二百尺のホースを箱內に裝備す、電燈及電力設備、(一)電力は東西倉庫屋上機械室內の變電室に導き之を動力用及電燈用として夫々變壓配電し、配線に總てコード使用し、電燈線の外全部コンクリート內に埋設施工したり、(二)荷役場及倉庫五十三坪九合一勺一才、內譯、東一、六六九坪八二三、西、一、〇八四坪〇八八、建坪、二千三百七十九坪八勺三才、內譯、東、一、四二七坪六〇一、西、九五一坪四八二、總延坪、九千八百五十坪六勺五才。

構造概要

本建物は二棟の鐵筋コンクリート造にして共に相類似せる構造を有し、屋上機械室を加へて五階建なり、防熱設備、東西兩倉庫四階は特に盛夏の暑熱を避くる爲めメタルラス張りドロマイト塗りの天井を設け啓正式ベンチレーターを設備す　消火設備(一)市水道管より分岐管を設けたるブレツシュアタンクに導き東西倉庫各階天井に裝置したるグリンネル式オートマチックスプリンクラーに接續し火災の場合は自動的に噴水消火し同時に警報を發するものとす、(二)東西各階南北荷役場に各一個の防火栓を特設し延長二百尺のホースを箱內に裝備す、電燈及電力設備、(一)電力は東西倉庫屋上機械室內の變電室に導き之を動力用及電燈用として夫々變壓配電し、配線に總てコード使用し、電燈線の外全部コンクリート內に埋設施工したり、(二)荷役場及倉庫五十三坪九合一勺一才、內譯、東一、六六九坪八二三、西、一、〇八四坪〇八八、建坪、二千三百七十九坪八勺三才、內譯、東、一、四二七坪六〇一、西、九五一坪四八二、總延坪、九千八百五十坪六勺五才。

構造概要

本建物は二棟の鐵筋コンクリート造にして共に相類似せる構造を有し、屋上機械室を加へて五階建なり、防熱設備、東西兩倉庫四階は特に盛夏の暑熱を避くる爲めメタルラス張りドロマイト塗りの天井を設け啓正式ベンチレーターを設

運轉使用し得る裝置をなせり、各一個の容量半噸とす、電氣トラクター、本倉庫は鐵道引込線のプラットホームを特に軌條面と同一平面として大形の貨物用エレベーターを設備し電氣トラクターが各階に自由に出入し得る裝置となし、以て荷役能率の增進を企てたり。

生糸保管特別設備

東倉庫、北面寄り約一、六〇〇坪は木造床張りとし、間仕切を設け特に換氣を計り事務室、拜見窓を設け、且つ煖房裝置を施し理想的の生絲保管設備をなす、其の他設備、休憩室、荷役場屋上機械室內各所に木骨ラス張りモルタル塗の小室通計六十二坪を設け本倉庫關係者の休憩所並に湯沸場に當てたり、客用昇降機、東西各倉庫に一臺宛積載量三、五〇〇封度速力毎分百五十呎の客用エレベーターを備へ同時に輕量貨物の運搬にも兼用し得るものとす、煖房裝置、東倉庫東北隅の空地にボイラールームを設け蒸氣煖房裝置を施し之より各階生絲倉庫及休憩室に設けたる放熱器に送汽するものとす、衛生設備各階各荷役場階段寄りに水洗式便所及手洗場を設け一階荷役場下に汚水處分槽を設けたり、避雷針本器はペントハウス、タンクハウス等の屋上其の他に高き二十尺のもの東西兩倉庫に通計十八基を設備す、設計監督、東神倉庫株式會社同顧問、工學博士、內藤多仲、建築請負者、大

倉土木株式會社、基礎抗打請負者、田中工業株式會社。

## 織田信託株式會社新築工事概要

位置、東京市日本橋區南茅場町四十二番地、工程、起工、昭和元年十二月、竣工、昭和二年十二月、延坪、七四六坪五合五勺二才、內譯、地階、二七坪〇七七、第一階、一二一坪九七五第二階、一二一坪三三四、第三階、一二一坪九四二、第四階、一二一坪九四二、第五階、一二一坪九四二、屋上階、一〇坪三四〇、外觀、近世式、建物高、軒高地盤上、七二尺五寸、屋上階最高部迄、七八尺五寸、階數、五階建別に地階及屋上階付、構造、鐵骨鐵筋コンクリート造外部、窓濠棚は花崗石、壁面一階は白丁場石張付け二階以上は張付煉瓦とし、一階軒及各階蛇腹等は「テラカッター」張付けとす、各窓及出入口は銅鐵製「サッシュシャッター」或は鐵扉を設備す、內部、各階、天井、白漆喰或は壁紙張り、腰羽目、大理石、チーク、鹽地、又は桷材、床、寄木、リノリウム、人造石、タイル或はモザイック張り仕上げとす、金庫扉及同內部設備は米國「モスラー」會社製とす、昇降機、米國「オチスエレベーター」會社製全自動式とす、煖房設備、強制循環式溫水煖房裝置にして米國「ラヂエーター」會社製「セクショナル、スモークレスボイラー」を裝置す、電燈設備、電線は「シエーダツド、コンヂット、チューブ」內に挿入隱蔽式配線とし器具は間接及半間接照明燈を使用す給水設備、電動機直結「タービンポンプ」に依り屋上清水タンクに揚水し夫より各階所要の個所に給水す、衛生設備、便所は總て水洗式とし汚水は淨化槽に依り下水に放流す、設計施工、合資會社清水組。

## 株式會社市田商店東京店建築工事概要

位置、東京市日本橋區田所町自二十四至二十八番地、敷地面積、四百三十三坪二合四勺九才建物高、地盤面より屋階塔屋上端迄十六尺五寸、建總延坪一千六百五十九坪〇合一勺二才、附屬別館共にて、一千七百四十三坪餘、右內譯、地中階三二一・坪八六七、一階、二九八・九三四、二階、二五五・〇六七、三階、二四六・八二七、四階、二四六・八二七、五階、二三五・〇六七、屋階、三四・四二三、別館、八三・〇〇〇、建築樣式、近世復興式、基礎、地盤より十七尺堀下げ長さ二十七尺の松丸太約二千八百本を打込み鐵筋コンクリート地形、構造、鐵骨鐵筋コンクリート造、階數、地上五階、地階屋階を合して七階、工程、工事着手、大正十四年一月四日地鎭祭、大正十四年七月三日、上棟式、大正十五年六月十一日、第一期竣工、大正十五年十一月十二日、第二期完成、昭和二年十月三十日、外觀、織物問屋として始めての純洋式五階建てあるからなるだけ問屋らしく柔かい落付いた感じを持たせたいと苦心して、一階の花崗石も新議院に使用する尾立産の赤斑のあるものを選び窓格子も特殊意匠のものにし、二階以上は淡黃色のテラコッタと凝石塗りに彫刻裝飾を加へ、平和と溫健とを表現し、洋式に見る堅苦しきと冷さとを中和せしむるやうに努めた、一階、店頭正面入口は大理石の腰羽目と彫刻柱とに飾られ、扉は鋼製厚板硝子入り、床は色とりどりのモザイックタイル、上り框は從來の長所を保存して簡單な要談が緯じられるやう腰掛賣場式に設備し、來客の這入りよく上りよいことに心を用る、殊に廻りの壁と天井の裝飾や色彩との照明によつて、柔らかい氣分に包まれつつ、すぐ正面室段よりエレベーターで、それ〴〵の賣場へ通ずることにしてある、店頭以外の一階は營業機能の樞軸であり、東館には販賣係の事務室、部長室、帳合場、包裝部、荷造場、發送部があり、各階にての手合品は順次各係を經て連鎖的に處理せられ、發送部より直ちにトラックにて得意先又は驛へ搬出する、西館は店員出入口、





仕入事務室より別館の仕立室、記帳室に連絡し仕上り商品は各系統に處理され賣場に配搬されることになつてゐる、幹部室は凡ての統制を爲す所であり、警報機、擴聲機、室內電話などを通して事の緩急に隨ひ各階と不斷の連絡を保ち、窓外には私設發信函と受信函とを設け、傍らに米國モスラー會社製扉によつて最も堅牢なる特別裝置の施されたる金庫扉と帳簿庫とを控へて平常非常二樣の準備を整へてある、三階販賣場の特質は普遍なる光線と、商品の分類的整頓とによつて、來客の正確迅速なる見譯け即ち仕入能率を十分に發揮さるゝことと、商品の調和と落着いた居心地の爲に、天井の高さに特に注意し、腰羽目板を高く張り、壁體にも薄クリームの水性ペンキを塗り、窓腰をずつと低くして床板上にキルクを張り、薄緣疊表を敷き詰めた、二階東館は洋反物部、西館は綿織物部、三階東館は呉服部、西館は關東物部と區劃し、公平なる市場としてよりも更に一歩を進めて「御得意先各店の貯藏庫」として、來客の自由且つ適切に其の利用を願ふ爲め、最も精良なる品を中正不二の時價を以て最も敏速に補給し、取引先の繁榮に資するを賣場施設の眼目としてゐる、四階、染めもの品に特製品に力を入れ絶えず陳列會を催して日日惟新なる獨創品を紹介する爲め四階はその目的からその過半を陳列會場として一部を商品の整頓場に充て、且つ圖案室、商談室、電話交換室も此の階に配屬せしめてある、五階、此の階は目まぐろしい店內にとつて休養と憩安との樂園である、喫煙室は相應しい彫刻を加へた天井に、周圍は金更紗の壁紙を張り、花模樣絨毯に配置されたソファーにゆつたりと自由に、商談の疲勞を休ましむるやうに設けてある、大食堂の製飾は凡て純洋式、床はチーク寄木張り食卓五十人前を備へてある、大座敷は四十餘疊とし純日本式の檜づくり、西本願寺耕作の間の床脇棚に型られ、中廊下を隔てゝ松の間梅の間、霞の間など數寄屋風の小座敷があしらはれて、孰れも地上九十五尺の洋館內にある感じがしない程に靜かな落着いた日本趣味にひたり得るやう設計されてある、西館は店員の私物室、特別寢室、圖書室など終日の勞を休むる清き歡樂場としてある、屋階、屋上庭園を設け四季折々の花を風情に、和洋とりぐの趣向を凝らしてあり、東北隅に稻荷社を鎭座し塔屋に休憩室の設がある、また機械室、水槽の障りたる洗面所と洗濯場では水湯を濃用の儘がある、地中階、庶務庫、用度庫、雜庫、客用下足室、店夫室、紙屑室、配膳室、炊事室、食料品庫、浴室、店員下足室、電氣室、淨化槽室、ボイラー室、洗面室、化粧室、便所などお孰れも實用文化と衞生施設に能率本位に設計す、外部、裏側に大量荷物の集散所として荷捌所を設け屋根硝子張りの大土間とし、東南隅にショウウインドウを設けて新製品新荷品及中正なる相場を敏速に公示する事としてある、倉庫、荷捌所に到着した荷物は直ぐ特別昇降機によつて地中階荷庫に搬入しトロッコによりそれ〴〵分類整頓され長期貯藏の大荷物は荷捌場より直ちに向側別館の倉庫に收容される、エレベーター、客用、荷物用共に米國オーチス會社製で、客用は正面店頭より各階へ、荷物用は地階荷物庫のトロッコより連絡して直ちに各階賣場へ間斷なく商品を運搬して又賣場より手合品を一階の帳合場、裏口荷捌所に卸し、プラットフオームよりトラックに積み替へ得るものとす、他に自動式エレベータを設備し地階欵事室より五階給仕室に直結し料理運搬用とす、防火設備、各階窓の人口とに全部スチールシヤッターを取付け、特に一階は二重防火鐵扉を設け、二階以上に防火硝子を使用し、萬一の場合に各階及階內を截然遮斷する爲め各階の中央と各階段の上下口を全部に防火裝置を施した、消火設備、地階ポンプ室に十五馬力直結ポンプを設置し、各階及館內外十四ケ所の消火栓に連結して、非常時に於てス井ッチにより自動放水する裝置とした、尙前に屋階の用水タンクより輕便消火栓を各階に設置す給水、市の水道を屋上の大水槽に導き、タンク

より各階各所に配線して飲料雜用其他に給水す尙ブラオン式鑿井より地下の清水をモーターにて吸上げ平時に於て雜用及び撒水に、非常時に於て飲料に補給す、排水、雜用水、汚水淨化水はモーター三臺にて排水する外、豫備として手押ポンプを備へた、尙當所地質の關係上基礎層の下部に下水溝を特設して排水井に導き、之を排水として建物に對する地下の水壓を低下せしめ、一方この水を撒水其他雜用に給す、暖房、米國ピアース・ダウンドラフト・ボイラー二臺にて低壓蒸氣暖房裝置により嚴冬に於て七十度の溫度を保たしめ、座賣式火鉢は之を全廢す、炊事、鈴木式蒸氣釜七臺を据付け氣罐室より送るスチームにて炊事、調理、給湯一切を爲す外、時間外にスチームの餘力を利用して店員浴槽の湯をわかすこと、す、浴場、店員の衛生並に慰安場として純白タイル張りの浴槽を設備す、衛生裝置、便所は一階を除く外各階に客用と店員用とを設け、總て水洗式として汚水淨化裝置を施し、手洗場には夏季は淸水、冬季溫湯を給す電氣、館外地下室の電氣室には引電二ケ所の變電所より高壓線を引込み、之を變壓して動力用電燈用として使用す（使用電燈約三百燈、三萬燭光、動力約六十五馬力、一ケ月電力使用量一萬五千キロ）。電話、交換臺二座席局線十本を設備し、室內線五十本を各室に配す、電鈴と擴聲機、信號、警報は幹部室よりボタンを押すことによつて各階一齊にベルを鳴らし、各階に備付の擴聲機により電話室のマイクロホンより發聲すれば全店に所要を放送す、時計、瑞西ゼニツト會社製自動發電式電氣時計の親は幹部室に外十五個を各階の要所に配置す、換氣、各階に採光と換氣とに注意し、地階にては米國製換氣フアンを取付く、ダストシュートと紙屑庫、織物問屋として最も煩はしい多量の不用包裝具、紙屑塵埃を處理するためにダストシュートを設投入物は地階の紙屑庫に受けることし、紙屑庫は不慮の失火を考慮してスプリンクラーを設備し萬一の際に自然放流によつて消火すると共に當直室に自動的に非常警鈴の傳はるやう設備す眞空掃除機、アメリカンターピンスペンサー會社製五馬力電動機付眞空掃除機は各階に裝置せる器具により微細な塵埃を吸收し之を自動的に地階の塵埃槽に排出す、階段、中央階段、裏階段との外に非常階段を北外側に設く、避雷針、屋上に五ヶ所併置す、ガレーヂ、本館を離れた西北隅に自動車四臺を入るるやう設備す、設計監督、岡田信一郎、現場主任、吉田肇、建築請負、島田藤吉、重なる設備工事擔當者、暖房裝置、內田商事株式會社、排氣裝置、合資會社建材社、眞空掃除機、齊藤省三事務所、金庫室扉內田商事株式會社、帳簿庫扉、三井物產株式會社、昇降機、米國貿易株式會社、料理用リフト日本エレベーター製造株式會社、衛生給排水及消火設備、濱崎商店、淨化裝置、齊藤久孝事務所、變電所設備、株式會社電友社、電燈電鈴配線、大塚電氣工務所、電燈器具、金丸製作所、同、大塚電氣工務所、電話工事、川北電氣企業社、電氣時計、天賞堂、擴聲機工事、日本電氣株式會社、室內裝飾、三越吳服店裝飾部、室內裝飾部、高島屋吳服店裝飾部、家具、三越吳服店裝飾部、同、寺尾商店、同、旭家具裝飾株式會社、同、二葉木工所、鋼製家具、東京鐵家具製作所、炊事工事、內田商事株式會社。



## 日本赤十字社東京支部新築

### 工事概要

位置、東京市麴町區有樂町二丁目一番地、工作着手、大正十五年八月二日（地鎭祭起工式）落成昭和二年十月三十一日、坪地階、壹百七拾七坪八合壹勺、食堂、料理室、料理人室、小使室汽鑵室、重油庫、湯沸所、便所、貯藏室、物置倉庫、空濠等、一階、壹百四拾四坪貳合、玄關裏玄關、受付及當直室、文庫、事務室、主事室便所、豫備室、第一應接室、倉庫等、二階、壹百參拾壹坪六合六勺、貴賓室、貴賓控室、御眞影室、支部長室、第二應接室、事務室、便所、倉庫、寢臺等、中三階、參拾五坪貳合九勺、倉庫、三階、壹百參拾壹坪六合六勺、事務室、參考陳列室、會議室、第三應接室、便所等、屋階四坪〇六勺、階段室、總延坪、六百貳拾四坪六合八勺、建物高、地盤より屋階最上端迄五十九尺、樣式、近代クラシック式、外觀、敷地は有樂町通りと鍛冶橋通りとの交叉せる東京府廳角地に位置す。建物の西面より北面に渉る表側は大圓弧狀の隅切平面形を採り、此處に十本の連柱を建て其東端及南端には雨翼を有せしむ。各連柱間には彫刻を附し、多少裝飾的に計畫し兩翼及其他の部分も亦角柱型を利用し、彫刻を用ひ、仕上表面に變化を與へたり。構造及仕上鐵筋コンクリート構造とす。基礎、地盤より十尺三寸堀り下げ、松丸太二十七尺の杭木を二千二百三十六本打ち、鐵筋コンクリート造筏式に建物の總基盤を築造したり。地階の防水層は基礎の下端より袤濠及建物の外壁全部を包被す。壁體仕上、鐵筋コンクリート造にして、表側外壁は根石、階段石等讃院石を積み、建物の腰部人造富國石貼り、上部パラペットに至る迄は總て中村式グラニット人造石貼りとなせり。南面及東面の裏側外壁は腰部人造摺出塗、腰より上部は人造洗出塗とす。內壁は鐵筋コンクリート壁に漆喰塗とし一部ペンキ塗、何れも腰長押及上長押を附す。主事室、支部長室、第二應接室貴賓室、貴賓控室は腰羽目付き上部壁紙張り、一階應接室、會議室、第三應接室の內壁は壁總紙貼りとす。是等の諸室には多少の裝飾を施せり、玄關內部は中村式グラニット人造石及多湖石貼り、各階便所はタイル及ビトロライト。ガラス貼りとす。倉庫の部は壁及天井とも漆喰仕上とす。屋根、鐵筋コンクリート造に水勾配を附し、マルソイド防水層を施し、セメントタイル貼りとす。屋上パラペット內壁は人造洗出塗とし、屋外集會に用ゆべき天布張り施設の用意をなせり。天井、鐵筋コンクリート造床版及梁の下端を、多少裝飾的漆喰塗仕上とせり。各階廊下及三階會議室は穹窿狀の鐵骨を架構し、漆喰塗となせり。床、鐵筋コンクリート造床とし、仕上は玄關內部多湖石貼り、玄關外部議院石、貴賓室寄せ木貼り、各階廊下、各階段、地階食堂等は人造研出塗、便所タイル、倉庫物置及地階の各室はモルタル塗、其他の各階各室に檜材緣甲板張りとす。出入口及窓、表側十字街に面せる玄關にはホロオ、シヤツタア及鋼鐵製扉を併用す。一階裏玄關、地階倉庫入口、料理人室出入口には鋼鐵製扉及捲上シヤツタアを取付け、屋內に於ける藥品庫、御眞影室、貯藏室倉庫荷上げ入口等には銅鐵製扉を設く。重油、藥品庫、貯藏庫の扉は防火的構造とす。窓は凡てスチイル、サッシにして全ど出し製置の欄間付き外開きとす。窓及間切壁の出入口造作及建具材は貴賓チイク材、地階は米松及米杉材、其他は凡てラワン材を使用す。仕上は地階ペンキ塗其他ラック磨き塗仕上とす。ガラスは倉庫の部及地階表側窓に綱入硝子、玄關廻り正二分磨きガラス、其他を正一分ガラスとす內部間仕切堺扉及欄間には、モロツコ、ガラスを用ふ。

### 一般配置

建物は事務所及倉庫の二部分に分たれ相互の交通は耐震、耐火壁を以て全く遮斷せり。事務所有樂町通り及鍛冶橋通りの交叉點に面して正面玄關を有し、一階裏出入口は東京府廳前庭に面し、正階段下に位置す、此外有樂町通り及東京府廳前庭より地階室濠に入り、地階裏側の各室に通ず。主要なる諸室は有樂町及鍛冶橋通りの二邊に面して配置し、有樂町通り南端には一、二階を事務室及三階を會議室に充つ。鍛冶橋通り東端には各階倉庫、三階陳列室を置く。兩端を連絡する表側圓弧狀隅角には各階に於ける所要室を配し、裏側に面して階段及廊下を設けて縱橫の交通路となす。事務所各階の交通は一は有樂通りに面する表側階段と一は裏側に位置する正階段とによる。表側階段は地階より屋上に至り正階段は一階より三階に通ず。手摺は表側階段眞鍮及鐵製とし、正階段大理石及人造研出塗に裝飾金具を嵌込む。各階廊下漆喰天井の梁

型には「パネル」を附し、壁付腰長押より巾木迄をペンキ塗仕上とす。概して地階には食堂及是に附隨せる諸室其他を設け中廊下の配置とす便所及洗面所は各階階段際に位置す。便所、洗面所堺間仕切はスチール、サッシ應用のスクリーンとなし是にピトロライト、モロッコ若くは透明ガラスを嵌込みたり。小便所、大便所堺も亦同樣にして、總て白ペンキ塗仕上となせり。倉庫、出入口は東京府廳前庭に面し、南面裏側に位置す。入口前に廣間を設け豫備室を置く。屋内の交通は廊下及間仕切を設けず、地階より中三階に至る階段を以て全部とす。外に荷上げ用手動式裝置をなせり。本倉庫は地階に藥品庫を有するの外地階、一、二、三階の全部を支部用格納所となす。屋上、屋上の床面には三階の高低あり、表側階段室は屋上の中央に位置し昇降に便ず。各高低床面間には階段ありて連絡す屋上には臨時天幕を假設する裝置をなす。

設備概要

電燈設備、高壓交流三千三百ボルト三相三線式ケエブルにて、地階ボイラア室の一隅に引込む電燈用は百ボルト、二十キロ變壓器により、一階當直室配電盤に導き、單相二線式により各燈に配線送電す配線は總て隱蔽配管工事とし、シエラダクト、コンヂイット金屬管を使用せり。電燈數は各階各室電燈及コンセント共百六十三個とす。玄關、貴賓控室、支部長室並に主事室には多少裝飾的なるシャンデリヤを用ひたり。外燈は玄關入口左右に裝飾電燈二基を設置し地階食堂二ヶ所、裏出入口、倉庫入口有樂町通り窓濠入口等には圓單なる外燈を設備す。電力設備、地階に引込める高壓交流三千三百ボルトの電力を、變壓器により二百ボルトに變壓し、三相三線式により地階排水用、淨化槽排水用、暖房ファン用のモータアに送電せり。電鈴設備、一階當直室に誘導せる電灯配電盤に百ボルト、十ボルトの電鈴用變壓器を設け、各事務室、各應接室、支部長室並に主事室に押釦を裝置し、一階事務室地階小使室、受付等に標示器を設置す。給水設備、給水は市水道管より分岐し、專用水及雜用水の二種を引込みたり。便所、洗面所、手洗、床洗、洗濯用、料理室、湯沸所、汽罐室等に給水す。衛生設備、各便所は水洗式にして大便所には、フラッシュ、バルブを具ふ。各階各便所の汚水は自然流下式により淨化槽に導き腐敗槽、好氣菌槽、濾過槽並に消毒槽を通過せしむ、淨化されたるものは、ポンプにより公共下水に放流す。淨化槽は倉庫の部裏側に位置し二層に別れ、上部をポンプ室となす。瓦斯設備瓦斯は東京瓦斯會社より供給を受け、各事務室湯沸用、湯沸所用、調理用等に使用し。煖房設備、低壓蒸汽煖房裝置とし、型式は重力式により、燃料として重油を使用すべき設備とす。煖房は食堂、各應接室、各事務室、支部長室、貴賓室、貴賓控室並に會議室、第三應接室等の各室に放熱裝置をなす。重油貯藏室ボイラア室前に設置し、汽罐に導入せしむ。重油熱燒裝置オイル、バアナアは米國ジョンソン社製とし、ラヂエサアは獨國ブデラス社製品を使用す。

建築工事關係者

支部長、東京府知事、平塚廣義、支部副長、東京府内務部長、菊池愼三、主事、比村萬正、書記、久慈萬次郎、書記、古屋源一、書記、堀川賢、囑託、東京府營繕課長、鵜飼長三郎、囑託東京府營繕課技師、藤竹萬藏、設計監督、岡田信一郎、岡田捷五郎、現場監督主任、三浦元秀現場監督員、伊藤五郎、現場監督主任、三浦元秀請負、合資會社清水組、工事擔當者、野口半之助、現場主任、石原清吉、現場員、片山、山下田淵、附帶工事請負人、電燈電力工事、大塚電氣工務所、暖房工事、建材社、電鈴工事、大塚電氣工務所、水道工事、株式會社城口研究所、電燈器具工事、大塚電氣工務所、衛生工事、株式會社城口研究所、瓦斯工事、東京瓦斯株式會社、家具工事、三越吳服店、絨毯工事、佐野直吉、裝飾工事、三越吳服店、主要ナル建築工事下請負人、抗木、三川田商店、福田材木店、割栗石、砂利、砂、鹽澤商店、セメント、秩父セメント株式會社、セメント、タイル、合資會社田中タイリング商會、タイル、吾妻屋商店、グラニット人造石、中村グラニット商會、人造石、合資會社平田商店、大理石、常盤銘石商會、木材、合資會社友田商店、合資會社有終洋行、粟商會、合資會社清水組材料係、鐵筋材合資會社岡谷商店、銅鐵工事、佐藤商店、安西商會、合資會社清水組鐵工所、メタル、ラス材建築金物商會、淺野物産株式會社、鋼鐵製建具東京建鐵株式會社、シヤッタア、大阪鐵扉製作所、建築金物商會、木製建具、吹上藤市、建具金物、大同商會、硝子、浦野武雄、防水工事、三柏商會、排水工事、東京水道商會、壁紙工事睦屋商店、塗師工事、深野幸太郎、メタリコン工事、日本メタリコン工業所、左官工事、川島金次郎、銘工事、下島一平、各職從業員數、二萬五千〇八十三人、土工、三、六一四、石工、一、四八二、石工手傳、一、二三七、煉瓦工五七、煉瓦工手傳、二三、鐵工、四九八、鐵筋工二、〇六八、大工、五、四一〇、大工手傳、一、四六〇、建具工、四一、左官、二、〇四二左官工手傳、一、〇一七、タイル工、一一二、タイル工手傳、四九、銘工、一五七、硝子工、五四塗師工、四三四、瓦工、一七八、葺工、一、四八〇、アスファルト工、二〇一、サッシュ工、三七四、衛生工、五一七、電燈器具取付工、六一、煖房工、三一五、裝飾工七〇一、寄セ木工、四一、雜工、一、三一〇、ガス工、二七、曳方、五一七、總計、二五、〇八三

## 富士館新築工事概要

位置、東京市淺草區淺草公園地第六區三號、

工程、昭和二年五月十五日着手、昭和二年十二月二十五日竣工、敷地面積、一九四坪九合七勺

建坪、十五六坪、內譯、地階、一五六坪、二階、一〇一坪三合二勺、三階、七四坪一合六勺、屋上階三坪、觀客定員、合計、七六四人、內譯、一階、三八九人、二階、一九〇人、三階、一八五人、計畫に就て、現代の建築樣式を「コムバインド」として建物の高さ、地盤面上より展望臺バラペット上端迄五六尺、

各室配置

地階、前面、試寫室、男女給更衣室、物置、金庫室、使用人專用便所。舞臺部、樂手休憩室、蓄電地室、昇降機械室、暖房及換氣機械室。一階、表玄關、表廊下、事務所及切符賣場、右喫煙室、左喫煙室、賣店二ケ所、男子化粧室及便所、觀客席、舞臺、オーケストラピット、辯士接室、裏玄關、便所、二階觀客席、映寫機械室、男子喫煙室、女子喫煙室賣店、男子化粧室及便所、婦人化粧室及便所、舞臺部休憩室。三階、觀客席、喫茶室、賣店、化粧室、男子及婦人便所、舞臺部俱樂部室。四階、喫煙室、映畫記者俱樂部、會社事務所、重役室、應接室。屋上、階段室、換氣ファンルーム、階段室屋上展望臺。屋上庭園。階段、二階專用階段、左右二ケ處、二階專用階段、左右二ケ處、他に屋上に通ずるもの一ケ處、舞臺部各階に通ずるもの一ケ處。

構造の大要

鐵骨及鐵筋混凝土造、基礎、割栗石敷き大胴突にして突き固め鐵筋混凝土造一部松杭打ち、壁骨、床、柱、梁、組立梁の主骨構造は鐵骨造、床、壁體、屋根は鐵筋混凝土造。內部仕上、天井及壁体を主として漆喰塗りの上水性ペンキ仕上、二三階喫煙室は「ウオールペーパー」張り「オーデトリアム」は音響防止の爲「コルクペンキ」噴き付けとし金粉散し付け、ステーヂ壁漆喰塗り、プロセニアム裝飾は石膏及メタリコン張り、玄關扉岡產大理石張り、一階廊下及オーデトリアムの腰はセメントタイル張り、二三階は木製羽目張り、各階主要室腰タイル張り、一部金目地付きとせり。一階玄關、各喫煙室、喫茶室、賣店、便所、化粧室はモザイックタイル張り、廊下はコロアリングブロク張り各客席

通路及廊下階段の中央部は「ゴムカーペット」敷きとせり。二階專用階段の腰敷島石張り、殻は鐵平石磨き、三階專用階段は人造石磨き出し段を特製タイル張りとす。外部仕上、外部は總て特製スクラッチタイル張り窓の上下ボーダーはスクラッチ張り、正面窓間パネル彫刻は電鑄鍍金仕上。各階窓及入口仕上、總て外部は榮進社製スチールサッシュ、スチールドアー、シャッターを使用し硝子は磨き鋼入硝子及正一分硝子を使用し、正面の一部にはステンドグラス嵌め各廊下通りホーデトリアムの出入口は木製皮張りドアー附きとす。

各附帶設備

昇降機、オーケストラピットの床は五馬力の電動機を附し、昇降設備をなし「ステーヂ」の床と平にし間奏樂及プロローダの際に便せしむ。給水設備、屋上に水槽を設け市設水道より電動機により揚水し各所要の個所へ給水するものとす。消火設備、市設水道直結消火栓を建物の右側に設け水管其他を設備し其の他場内各所に藥液入り自動噴水器を設備す。排水設備、便所其の他の尿水及雨水等は直接市設大下水溝へ放出せしむ。電燈設備、電線は總て「ガランドチューヂ」に納め全部床及壁中に埋設せり。外部庇中及パラペット中に建築的に器具を設備して建築のアウトラインを表はし尙庇中に「プロゼクター」を設備して壁面を照明せしむ。室内は各室に調和せる器具を設けて直接及間設に照明し舞臺には「デインタア」を設けて特殊なる照明をなせり、暖房換氣室空氣洗滌裝置、各階觀覽席には冬季に於て「キアリアー」式温風暖房裝置にて下降式を採用す。夏季は觀覽席温風裝置を轉用して空氣に適當なる濕度を與へて温度を低下し冷房裝置をなす。排氣裝置は客席床面に設けたま、排氣用「グリル」より吸込みたる汚濁空氣を屋上に設けたる「プロペラーファン」により屋外に排氣す。各階、各室及廊下には眞空式低壓蒸氣暖房下降式を採用す。設計及監督德石建築事務所、建築工事施行、合資會社清水組、附帶設備、電氣設備、中村商會、暖房換氣設備、大阪暖房商會、室内裝飾、高島屋吳服店家具工事、旭家具株式會社、昇降機設備、水谷エレベーター製作所、衛生工事、西山商店。

## 撫順炭礦中央事務所新築工事概要

一、規模本館、三九、四一四m²五〇、一棟、附屬救護班詰所、四四〇・七五、一棟、同自動車倉庫二五一・八〇、一棟、同氷倉庫、七二・〇〇、一棟同著到室、六二・七〇、一棟、同電車待合室、一二二・〇〇、一棟同四阿、一二・九八、一棟、同銅像移轉、一基、同表門、一箇所、二、構造、本館、煉瓦造三階地下室附、床コンタイル、グラベルルーフィング六層貼、外部、玄關三箇所及腰廻本溪湖產砂岩石、上部總人造石塗、内部、床リノリウム敷階段及巾木リグノイド、天井及側壁スタッコマンチュリヤ塗、便所腰及床エナメルタイル貼、木部ワニス塗、三、工期、大正十五年三月十三日著手、同年十一月三十日竣工、總日數二百六十三日間、但雨天休業三十八日間、差引施工日數二百二十五日、四、工事關係者、設計及監督撫順炭礦土木課、施工請負、大倉土木株式會社大倉土木關係者及附帶工事關係者、請負契約者籠田定憲、工場主任、山邊鋼、現場員、久保田新兵衛、同、澁谷治三郎、同、馬場均、木工、岡田寛三、左官、松尾茂助、土工及鳶、上原善作、煉瓦工、安榮軒、石工、藤川卯一、リノリウム及防水工事、三昌洋行、塗師、橋本專吉、鐵材、加藤金物店、同、秀島鐵工所、建具、村松組、附帶工事、衛生工事、大倉商事、裝飾、品川洋行、煖房、勝本永次郎、電氣、瓦斯、水道、炭礦直營、電燈、中和電氣行、（以上）

附記、本工事は前記の通り延坪三九、四〇n²〇〇、體積一、四八二・一〇〇n³以上の三層高級建築なるにも拘らず、實に八箇月半の短日月を以て竣工せしめました。この種建設物の滿鮮に於ける新記録と信じます。





## 旅順公會堂新築工事概要

一、位置、旅順市朝日町、二、使用目的、公會堂兼劇場、三、總建坪、四一六、二〇坪、四總延坪、六一一、〇〇坪、内譯、一階、四一六、二〇坪、二階、一六六、四〇坪、三階、二〇、四〇坪、五、收容人員、一、四五五人、六、仕樣概要、イ、構造、煉瓦造二階建一部三階建、ロ、外壁、基礎鐵筋コンクリート打煉瓦積、腰石張付、上部ドロマイト塗仕上、ハ、屋根、鐵小屋波型鐵板葺ペイント塗、ニ、牀、二階及階段鐵筋コンクリートリグノイド仕上、一部化粧板張、一階一部コンクリート打着色モルタル塗仕上、一部化粧板張、七、採暖、低壓蒸汽煖房裝置、八、起工、大正十五年七月、九、竣工、昭和二年五月十、工費、七萬圓（但し煖房照明衛生其他劇場道具設備共）十一、設計、關東廳土木課技師、臼井健三、同課勤務、奥本清夏、十二、工事監督、同課勤務、櫻岡兼助、十三、工事請負者、旅順、本田與市。

## 安東高等女學校新築工事概要

一、總建坪、二〇五七・九〇坪、内校舍、一九六七・九〇坪、汽罐室、九〇・〇〇坪、一、總建坪、五〇六六・九〇坪、外に空濠、一四・〇〇坪、一、構造、鐵筋コンクリート造三階建側壁煉瓦被覆洗ひ出し積、一、内部仕上、内部壁スタッコ中塗水性ペンキ仕上げ天井スタッコ中塗、一、床仕上、鐵筋コンクリート打ち、廊下リグノイド、教室板張、一、工事期間、着手大正十三年六月二十九日、竣工昭和二年六月八日、一、請負者、基礎及第二期、第四期、大悟法工務所（大悟法氏死後大村寛藏氏）一、總工費、二七八、五〇七圓、内建物、二五一、五〇七圓、附帶設備、二七、〇〇〇圓、一、設計者、滿鐵建築課

## 大連市社會館新築工事概要

一、建物位置大連市常盤町十七番地及三〇番地一、使用目的市の社會事業機關とし職業紹介所簡易宿泊所、婦人技藝講習場、助產場、人事相談所及公設質舖等の用に供す、一、敷地面積、九〇九・四坪、一、建物坪數、イ、本館建坪、三三六・八四坪、ロ、同總延坪、六一七・五九坪、ハ、附屬住宅（三棟）六四・二三坪、一、平面概略（本館）地下室、四三・三六坪、階段室、廊下、食堂（大小二炊事場、配膳室、洗面場、浴室、ボイラー室、火夫室、石灰庫等、一階、三三六・八四坪、イ、階段室、職業紹介所、講習室（大小二）小使室、男便所、女便所、ロ、宿泊所、玄關、階段室、受付、宿直室、娛樂室、宿泊室（四）ハ、公設質舖、玄關、客溜及質舖、調査室、質物倉庫、監理人住宅、物置等、二階、二三七・三九坪、階段室、廣間、應接室（大小二）人事相談所、講習室、講堂ステージ附（收容人員約五百人）男便所女便所、宿泊室、屋上庭園等、一、創設費、拾壹萬圓、一、起工、大正十五年九月、一、竣工昭和二年七月、一、仕樣概略、イ、構造、煉瓦造三階建、一部平家（地下室附）ロ、外壁、基礎鐵筋コンクリート打煉瓦積張附、地覆石上端より一階窓臺迄人造石洗出塗とし、上部棟瓦洗出し、出入口窓額樑及パラペット廻り人造擬石塗石目地附、ハ、内部仕上、内壁及天井は漆喰塗床は地下室及廊下廻り便所等モルタル又はリグノイド仕上、其他の床は鴨綠江松板張りとす、ニ、煖房、低壓蒸汽煖房裝置、一、工事關係者設計監督、共同建築事務所、現場監督、大連市役所、井手市吉郎、小島齊、佐藤岩人、建物請負、大連、福井高梨組、煖房工事、同、勝本機械事務所

# 建築雜誌主要口繪及記事

## 建築雜誌

一月號　口繪　東京帝國大學新築諸建築物
記事　寢殿造りの考究(二)　前田松韻氏、耐震構造上の諸設　佐野利器氏、耐震構造問題に就て　眞島健三郎氏
二月號　口繪　朝鮮總督府廳舍
記事　寢殿造りの考究(三)　前田松韻氏、コンクリート應壓强度に關する研究　濱田稔氏、鐵骨構造に於ける柱と梁との仕口に就て　西尾實氏
三月號　口繪　大喪儀葬場殿其他諸建造物、多摩陵並沿道裝飾
記事　十輪院石佛龕に就て　岸熊吉氏、構造物の振動曲線に就て(追補)　水原旭氏、エネルギーより見たる耐震理論　中村太郎氏
四月號　口繪　大阪府廳舍、第一銀行大阪支店
清風亭、東神倉庫株式會社新港倉庫
記事　佐野博士の耐震構造上の諸說(評論)を讀む　眞島健三郎氏、東京に於ける建築施工用コンクリートの現狀强度についての實驗室に於ける研究　濱田稔氏、ラグナー、エストベルグーストックホルム市廳舍建築に就て　岸田日出刀氏
五月號　口繪　時事新聞社、東京朝日新聞社、東京電力株式會社鶴見火力發電所
記事　丹後の大地震　今村明恒氏、丹後地方の震災に就いて　永田金次郎氏、震災地調査所感
尾崎久助氏、過度期に於ける住宅平面圖及び其の成形狀態の沿革的考究(一)　前田松韻氏、聯立方程力をうくる柱狀体の問題一二　武藤清氏、地震動エネルギーの吸收設備に就いて　中村太郎氏
軟性地盤上の高層建築振動輕減構造に就いて
平山嵩氏、日本標準規格、標準仕樣調査委員會決案(五)五月號臨時增刊　大正十二年關東震火災其七　災害防止調査委員會　鐵筋コンクリート造建築物被害調査報告　永田金次郎氏
六月號　口繪　卒業計畫
記事　過度期に於ける住宅平面圖及び其の成形狀態の沿革的考究(二)　前田松韻氏、高層架構の振動に關する演習(一)　水原旭氏、水平力を受ける矩形架構の撓みの特性　武藤清氏、標準仕樣調査委員會決定案(六)
七月號　口繪　同潤會アパートメントハウス
記事　過度期に於ける住宅平面圖及び其の成形狀態の沿革的考究(三)　前田松韻氏、聯立方程式によらざる高層架構の新解法(一)　坂靜雄氏
丸ノ内ビルデイングの構造と振動　齋田時太郎氏
八月號　口繪　橫濱正金銀行東京支店、東京電燈株式會社千住火力發電所
記事　過度期に於ける住宅平面圖及び其の成形狀態の沿革的考究(四)　前田松韻氏、聯立方程式によらざる高層架構の新解法(二)　坂靜雄氏
尾崎久助氏、過度期に於ける住宅平面圖及び其の成形狀態の沿革的考究(一)　前田松韻氏、聯立方程式によらざる高層架構の新解法(三)　坂靜雄氏、サンタフエーの建築　遠藤金之助氏
十月號　口繪　卒業計畫　藤山圖書館、電氣倶樂部　昭和ビルデイング
記事　高層架構の振動に關する演習(二)　水原旭氏、防火地區の完成　野田俊彦氏、復興建築助成株式會社の事業に就て、沼田政二郎氏　岩國錦帶橋に就て　平澤鄕界氏
十一月　口繪　三越吳服店ジュネーブ國際聯盟會館建築設計競技當選圖案
記事　岡山城に就て　仁科章夫氏、矩形架構振動理論(一)　河野輝夫氏、高層架構の振動に關する演習(二)追加　水原旭氏
十二月號　口繪　早稻田大學記念大講堂
記事　不靜定架構の實驗的解法に就て　吉田熹氏、建築史研究斷片　牧野正己氏
十二月號　臨時增刊　大正十二年關東震火災號
其八　災害防止調査委員會　木造被害調査報告
北澤五郎氏、大正十二年の大震火に於ける各種建築構造の被害について　尾崎久助氏





## 建築と社會

第壹號　口繪　中流サラリーマンの希望する園山莊園高墓T氏の邸宅、大阪高等學校官舍
中揷　椽側から(サンルーム)へ、洋家具の見分け方、家庭用ポンプの種々
記事　次の時間、我國將來の住宅　片岡安、現代文化住宅の煩悶　村野藤吾、非文化住宅　南信、英國に見る住宅の大變化　小川市太郎、紐育の勞働長屋　藤田進一郎、室内建築の眞理　木野精吾、住宅進化の話　古塚正治、住宅設計上の考察　松本儀八、家相流布の原因と其の本質原理　葛野壯一郎、住宅の構造に就いて　酒井勇三郎、住宅建築と其工費豫算　議破智堂、都市住宅と住宅法規　池田谷久吉、住宅建築の敷地選定に就て　池田寶、庭の設計に關する一考案　大屋靈城、建築殊に住宅と造園の關係　椎原兵市、(住宅と設備)洋風小住宅の室内裝飾　永山美樹、建築の室内裝飾に就いて　VO生、住宅の採暖　德政金吾、住宅照明としての内面艶消電球に就いて　今澤精一郎、住宅材としてのコルクに就いて　刀禰英彦、住宅の簡易鋪裝法　小山九市、住宅建築衛生の話　伴秀雄、住宅に於ける汚物處理法　澤部寶之助、二上山麓の民家　伊藤正文、茶趣味から觀た日本住宅　木津宗一、女性の觀た住宅　平田春江、吾家を建てるには
第貳號　口繪　不動貯金銀行外觀と營業室
記事　御發引を憶ふて　御詔勅を拜す　共同建築から地方計畫へ　笠原敏郎、空中威力の國防並に通商に及ぼす影響と其可能性　伊藤赳、統計の上から見たる若き婦人達の其住宅觀　松本儀八
實際　松室重光、建築工事に對する一考察　高田利一郎、學校建築設計研究部　山本良吉、製鐵所の高爐セメント見聞記　小山九市、自動車車庫に就いて　菅野久一、趣味と傳說　平田春江、木製屋根材の禁止　吾家を建てるには(三)
第參號　口繪　大阪放送局外觀
記事　大阪を一瞥して　松室重光、昭和時代の建築觀　八木幸次郎、長屋建築に就いて　竹田延朗、空中威力の國防並に通商に及ぼす影響と其可能性(下)　伊藤赳　統計の上から見たる若き婦人達の其住宅觀　松本儀八
土施行上の注意(上)　下浦光衛、石山城に就いて　堀居左五郎、南紀の古建築長保寺と淨妙寺
池田谷久吉、大阪城虎の傳說の内(一)　齋藤眞太郎、我家を建てるには(三)
第四號　口繪
記事　震災輕減の方策を講ぜよ　片岡安、地震と家　波江悌夫、丹後地方震火災の實地を踏査して　增田清、奥丹後地震災害調査報告　黑田茂、丹後の震災と但馬の復興を視て　中島智喜
北丹後震災見聞記　八木幸次郎、奥丹後地震による大阪附近に於ける被害狀況　災害部委員會
第五號　口繪　第一銀行大阪支店
記事　(若し汝彼の紀念を求むるならば)　大大阪を一瞥して(下)　松室重光、劇場火災に就いて　菅野久一、育兒上より觀たる住宅　大坪德一、滅び行く都市の樹木　方米治郎、混凝土施行法(下)　下浦光衛、建築の藝術　田中國益、新居漫談　津田鑿、吾家を建てるには(四)　新塗料、バイロキシリンラッカ　大島重義
第六號　口繪　大阪大火分布圖
記事　防火と建築　片岡安、自由空地　關一、住宅の不良化　藤田進一郎、土地收用に就いて　岡崎早太郎、火災防備と建築　土井末吉、自由空地を加味した都市改良　大屋靈城、大阪市の道路管見　近藤博夫、京阪神の交通に就て　村山喜一郎、田舍漢は考ふる　大須賀嚴、春季大會隨行記　NK生、大阪城虎の傳說の内(二)　齋藤眞太郎
第七號　口繪　神戸東神倉庫
記事　人生と建築　佳山生、都市の防火と耐火構造の建築　波江悌夫、防火地區の制度を徹底せしめ其實現を促進する事　河田谷久吉、目に映るまゝに　廣田精一、現在の建築教育方針に

就て　渡邊　節、大阪市高速鐵道に就て　清水　熙、協會の進むべき途と雜誌の執るべき方針に就て　池田　實、自由と建築　本野精吾、不燃質建築と火災　土井末吉、震度といふ言葉について　增田　清、大阪海岸線の變遷と西大阪の地盤　池田宮彦、考へさせられる事ども　稚堂、時事　東神倉庫新築工事概要（新築紹介）百瀨博士邸新築工事概要　大同病院新築工事概要

第八號　口繪　同潤會アパートメントハウス
記事　都市の癌腫　佳山　生、不良住宅地區の保健狀況と改良問題　藤原九十郎、不良住宅地區改良問題　岡崎早太郎、工業地區內特別地區の事　加藤善吉、都市と住宅問題堺市に就て　磯村　遠、ガルテン、コロニーに就て　大屋靈城、アパートメントハウス建築の新傾向　萬野　壯一郎、現代的文化住宅アパートメントに就て　小山秀雄

第九號　口繪　京都共同火災支店
記事　河川と建築　佳山生、水に惠まれたる伊太利の庭園と噴水　古宇田實氏談、大阪の橋に就いて　橋本政吉、ロンドン、巴里、米國の橋建築技術の進むべきみちと日本建築協會の將來　八木幸太郎　水と建築　Y.H生、水橋閑筆　佐古慶三　河岸地の利用と建築　池田實、子供のよろこぶ徒渉地　方米治郎、夏の子供に惠まれたバラダイス　その徒渉池の設計と管理に就て　擬寶珠と建築　池田谷久吉、元祿時代に於ける大阪の埋立工事の概要　池田宮彦、大阪橋名考　佐古慶三、名士の考へて居る邸宅　ハウスマン　藤田進一郎、都市計畫銘々傳（新築紹介）芦屋都市計畫及建築に關する勅令法令其他　附錄　佛教會館建築の概要　工場附屬寄宿舍取締規則附（大阪京都府令施行細則）　第拾號　口繪　大阪中之島公園より大阪一帶を眺む

記事　樹木の有つ自然味と建築　佳山生、現代都市と公園　片岡安、都市の線化問題　庭園の實用化と藝術　古宇田實、庭の建物に就て　椎渡邊　仁、昭和ビルヂング　大倉土木株式會社設計部、國際聯盟會館建築競技應募圖案　長野宇平治、同　中村順平、大阪ビルヂング東京支店　渡邊節、東京商科大學兼松記念　東京商科大學兼松講堂工務所、早稻田大學大隈記念講堂　早稻田大學建築事務所　論說　日本建築士會の沿革　長野宇平治、會誌刊行の經過　池田稔、日本建築士會に就て　曾禰達藏、所感　中條精一郎、市街地建築物法關係法規改正私見　中村傳治、フランスの建築士　中村順平、國際聯盟建築競技號緒言　編輯委員　建築時言　同、ジュネーヴ國際建築競技工學會大會　建築展覽會防火地區建築補助年限延長に關する各方面の建議　建築と批評　建築の作家と批評家と　1927年の建築界　建築學術界管見　再び建築展覽會に就て　工學會大會（附工學と銘名傳　本會秋季大會記事（新築紹介）有隣生命保險株式會社大阪支店新築工事概要及プラン　都市計畫及建築に關する勅令法令其他　附錄


日本建築士第一卷總目次
（自第一號至第六號）






建築と萬國工業會議と（第十一回萬國建築家大會
研究　「ブリキ」と煉化石　堀越三郎、「フランキーバイル」に就て　石原信之、事務所に於けるエレベーター（一）　佐藤良清、同（二）　同　近世俗說に現れたる建築觀の一面（上）　黑崎幹男

資料　住宅難とその對策（譯）　黑崎幹男、建築家と工匠と其過去（譯）（一）　高松政雄、同（譯）（二）　同、同（譯）（三）　同、同（譯）（四）　同、建物原價消却に關する文獻（一）　堀越三郎、同（二）　同、1927年前期の歐洲建築紹介　編輯委員、ジュネーヴ國際聯盟建築競技審査報告（譯）　編輯委員、ジュネーヴ建築競技（譯）

摘錄　獨逸建築に現はれたる垂直性　錆に惱まさるる「エフエル」塔　批評と倫理　商業建築寸言　Carnegie Beam Section に就て　交通過繁問題と其解決　自動車庫計畫の解析　自動車用建築の計畫　第十一回萬國建築家大會　米國建築士會と技工との交歡運動　州廳建築の設計に就て　ボストン火災警報本局の設計に就て　消防署の設計に就て　教會堂照明の方法及其效果　都市の發達は果して必然であり且つ望ましい事であるか　海外病院計畫に於ける最近の進步　英國皇立建築士會と建築士（登錄）法案　米國建築士會第六十回總會に於ける主題　公會堂の設計に就いて　公會堂設計に關する音響學　共同便所構造用鋼材の燐接及鉸鋲　現代のギャレージ建築　新形式の耐火足場　煉瓦壁面の石鹼水洗滌　建築士の作品集出版と建築士の德義規約　建築士と廣告　高層建築は果して交通過繁の主因たるか　飛行機路標としてのオフィスの屋根　エレベーター門ワイヤーロープの種類　東京の復興計畫　學校建築に於けるカフエテリアの計畫並設備　住宅の重油燒房　コンクリート模式　佛蘭西大建築家の家　コローンの「バスタイ」レストラント第十一回萬國建築家大會に於ける二つの問題雜錄　建築漫談（一）　櫻井小太郎、同（二）　同、同（三）　同、同（四）　同、來るべき建築界の中心問題會員、フレスコの構造とその應用　長谷川路可　屋蓋被覆材料としての裏付銅瓦　伊藤文四郎、日本住宅に於ける曲線美　遠藤於菟、國際聯盟會館競技について　の想感　長野宇平治、國際聯盟會館競技設計に就て　中村順平、旅


建築


口繪　蒲鐵埠頭事務所（外觀、內外詳細）　安東公會堂（外觀、平面、內外詳細）　撫順炭礦中央事務所（外觀、內外詳細）　本會主催住宅展出品（一）（外觀、內外詳細）　同展出品住宅圖面（外觀、平面）　同展即賣プレートの中より大連南山麓〇氏邸（外觀、平面內外詳細）　或る郊外住宅（外觀、平面）　或る別莊（外觀、平面）　蒲鐵埠頭事務所玄關內部（詳細）　旅順公會堂（外觀、詳細、平面）　本會主催住宅懸賞設計當選圖案　大連忠靈塔（外觀）　奉天忠靈塔（外觀）　撫順炭礦殉職者追悼碑（外觀）　大連市社會館（外觀、平面）　洮昂線諸建築（外觀、平面）　吉林の回教寺（東西北）（詳細、平面）　安東の回教寺（大、西）（詳細、平面）　鳳凰城の回教寺（詳細、平面）　本溪湖の回教寺（詳細、平面）　火連寨清眞寺（詳細、平面）　安東高等女學校（外觀、詳細、平面）

記事　請負と入札藁科淺吉、窯洞煉瓦の應用に就いて　太田宗太郎、塗裝の話　藤田揚一、西洋建築史一　村山治郎、宅相其の他　伊藤清造、材料の吸音率に關する一考察　はるを、安東公會堂新築工事概要　鐵筋コンクリート副節架構論（承前）　湯本三郎、混凝土及び其の材料（承前）　坂靜雄、煖房　給汽、給湯、瓦斯　給水排水及屋消火栓裝置標準仕樣書コンタイル床に就いて　湯本三郎、塗裝に就いて　山邊鋼、最新傾向の佛蘭西住宅　はるを、撫順炭礦中央事務所新築工事概要　住宅設計の要領（講演）　鈴木正雄、住宅建築と經濟觀念（講演）　宗像主一、フランス新傾向の住宅　王山良、最も簡易なるモデル住宅）平面、內部詳細）　同展出品住宅圖

小住宅　村田、數字配列法(魔法盤)より意匠へ　村田治郎、關東廳主任技術者檢定試驗受驗者諸君へ　岡大路、現場雜記　I生、獨逸に於ける鐵筋コンクリート設計施工に關する規定(一九二五年改正)　湯本三郎、旅順公會堂新築工事概要　意匠法の根本理論私見(渦卷還元論)　村田治郎、レーゼル教授の報告演說　湯本三郎山岡博共譯、住宅懸賞設計審査の感想　岡大路、選後所感　村田生、木造床の計算に就いて　H I生、機械的設備に就き內地を視察して　藥科淺吉、大連市社會館新築工事概要　滿洲最初の試みによる奉天試驗家屋　大泉一、建築計畫及設計に必要なる資料　鈴木正雄、洮昂線諸建築工事概要　洮昂の旅より一、二　利代子、吉林回教寺、村田治郎、最新陳列窓夜話、はるを安東鳳凰城の回教寺　村田治郎、結氷が建築物に及ぼす影響　S T生、煖房裝置の理想とその發明發見の基調(一)　藥科淺吉、本溪湖、火連寨の回教寺　村田治郎、煙突計算の理論及び設計實例　湯本三郎山岡博

## 建築世界

一月號　口繪　復興の帝都(三色版)　丹羽美氏　鈴木氏、住宅　大林組設計　今野氏住宅　島藤組設計部、帝大キリスト教青年會館　工學士遠藤新建築創作事務所設計御木本氏住宅　松浦愛助氏設計、石川氏住宅　初鹿野市藏氏設計、濱田產婆學校新築設計圖　病院建築研究所設計　大矢新太郎氏、住宅新築設計圖　初鹿野市藏氏設計、聖上崩御　記事　建築界の最大缺陷　建築界の缺陷と其の善後策　諸家　建築序論　(エル、ビブッデン　貴船信有一氏、建築序論　(エル、ビブッデン　貴船信譯、工場建築美から食堂建築へ　水井三四郎氏　本邦產建築石材に就いて(其の三)　理學士小山一郎氏、衞生工事用鉛鑛材料の加工(二)　建築士櫻井省吾氏、鐵筋「コンクリート」梁の計算について　多田筆太郎氏、農場建築主として乳牛舍、豚舍、鷄舍に就いて　工學士青柳貞世氏、高濕セメントに就いて　香春三樹次氏、遊園地の意義及び性質　里見盈吉氏、明治建築史　工學博士大熊喜邦氏、新年の所感　丘古拙氏、犬と建築家　千野薰氏、青島東吾の貸家　衣笠省三氏

二月號　口繪　時事新報本社　工學博士櫻井小太郎氏設計、幸ビルデイング　大倉土木株式會社設計、御木本氏住宅　松浦愛助氏設計、帝大キリスト青年會館　工學士遠藤新創作事務所設計、住吉氏住宅　山中節治氏設計、御木本氏住宅新築設計圖　松浦愛助氏設計　記事　都市に於ける煤煙を防止せよ　建築序論　工學士貴船信譯、住宅の一面に就いて　工學士堀口捨己氏、現代の劇場建築(二)　工學士三谷光雪氏、本邦產建築石材に就いて(四)　理學士小山一郎氏、鐵筋コンクリート構造に於ける假枠の設計(九)　工學士猪野勇一氏、建築工事見積(一)　高田利一郎氏、建築物として見たる橋梁(二)レクスフオード、ニウコム氏　小澤省三譯、物、本年の建築界如何　丘古拙氏、與太錄　耳八丁氏、故後藤慶二先生を追慕して　長根助八氏

三月號　口繪　山田氏の住宅　大林組設計、竹村氏の住宅　星野有氏設計、吉川氏の住宅　清水組設計、御厨氏の住宅　清水組設計、竹村氏の住宅新築設計圖　初鹿野市藏氏設計、安田氏住宅新築設計圖　星野有氏設計、安田氏住宅新築設計圖　和田建築事務所設計　記事　現請負制度の改善を熱望す　分離派建築展管見　芹澤英二氏、分離派を見る　貴船信氏　分離派第六同展を見て　能瀨久一郎氏、英國に於ける住宅改策(完)　楠原祖一郎氏抄譯、住宅の庭園に就いて　戶野琢磨氏、現代の劇場建築　工學士三谷光雪氏、フラシュバルブ　澤牛耳氏　明治建築史　工學博士大熊喜邦氏、震災後の貸座敷　T O氏、建築家と經濟の智識　丘古拙氏　工學士中村達太郎君　木臺納僧氏、ロバートソン通風器の風壓に對する強さに就いて　重松傳三郎氏、(附錄)建築學　中村順平氏

四月號　口繪　矢尾政レストランド、ヴオーリズ建築事務所設計、白仁武氏住宅　青山忠雄氏設計、大阪軌道株式會社　大林組設計、安田氏新築設計圖、和田建築事務所設計、白仁武氏住宅新築設計圖　青山忠雄氏設計　記事　青年建築家達へ　評論市街地建築物法の緩和規定實施と效果に就て　長崎敏音氏、建築序論(二)　工學士貴船信氏譯、建築として見たる橋梁　小澤省三氏譯述、唐の當瓦に就いて　工學博士關野貞氏、透視圖の消點と實高線に就いて　多田筆太郎氏、建築工事見積(三)　高田利一郎氏、窓と室內の明さとの問題に就いて　工學士齊藤忠八氏、高燒セメントに就て(二)　香春三樹次氏、地域の改正に就て(二)松本猛彥氏　建築士法制定建議　佐野博士の子供本位の住宅論　丘古拙氏、青島東吾の貸家(二)衣笠省三氏、(附錄)建築學　中村順平氏

五月號　口繪　東京朝日新聞社　工學士石本喜久治氏設計、三會堂　工學博士佐藤功一氏設計　第百十三銀行　關根建築事務所設計、勸業銀行大阪支店　渡邊建築事務所設計、第百十三銀行新築設計圖　關根建築事務所設計　記事　建築製品陳列所の必要　評論それは何を意味するか(所謂東洋式への意匠上の凝義)　伊藤正文氏、建築序論(三)　工學士貴船信氏譯、劇場に於ける舞臺照明設備(一)　神尾甲三氏、アメリカに於ける西班牙住家　工學士前田嚴氏　本邦產建築石材に就て(五)　理學士小山一郎氏　病院建築に就て　工學士角田重喜千氏、農場建築主として乳牛舍、豚舍、鷄舍に就いて　青山忠雄氏　(附錄)建築學中金融恐慌と建築家　丘古拙氏、(附錄)建築學　中村順平氏

六月號　口繪　三會堂　工學博士佐藤功一氏設計、東京朝日新聞社　工學士石本喜久治氏設計、東京朝日新聞社新築設計圖　石本喜久治氏設計　記事　個別的美より集合的美へ　東京朝日新聞社屋を見て　工學博士在原隆太氏、東京朝日社に對する二三の感想　工學士貴船信氏、日新聞社新建築に就て　工學士秋田澄氏、ゼルゲン氏の建築美學に就て　文學士小池新二氏、柱に關する異論を改逃し御批判を求む　多田筆太郎氏、住宅保存上の實用に就いて　青山忠雄氏、鐵筋コンクリート構造に於ける假枠の設計(十)　工學士猪野勇一氏譯、二三建築石材の耐火性に就いて　工學士近藤鐵郎氏、獨逸建築條令註解　工學士御田龍太郎氏、家相無駄話　呑舊　丘古拙氏、(附錄)建築學　中村順平氏

七月號　口繪　學習院特別教室校舍　學習院特別教室校舍新築設計圖　宮內省內匠寮建築課設計、明治大學　工學士大森茂建築事務所、中央大學、仝新築設計圖　工學博士阿部美樹志氏設計、東京高等師範學校實驗室校舍　仝新築設計圖　文部省營繕係設計、自由學院　仝講堂　仝新築設計圖　フランク、ロイド、ライト氏、工學士遠藤新氏設計、東京府立第三中學校　仝新築設計圖　曾禰中條建築事務所　東京府營繕課設計、東京府立第一高等女學校　仝新築設計圖　工學士岡田信一郎氏、東京府營繕課設計、神奈川縣立師範學校　仝新築設計圖　神奈川縣立女子師範學校舍仝新築設計圖　神奈川縣立商工實習學校　仝新築設計圖　神奈川縣營繕課設計、東京市立白金小學校　仝新築設計圖　工學士桐山均一氏設計、東京市立神田錦華小學校　仝新築設計圖　東京市營繕課設計、大阪立市岡小學校　仝汎愛小學校　仝蘆池小學校　大阪市營繕課設計、神戶市立第一高等女學校　仝第二高女學校　仝高等小學校　仝第三小學校　神戶市營繕課設計　記事　教育制度の改革と學校建築　學校建築に就て　工學博士塚本靖氏、學校建築の意義　工學博士　佐野利器氏、教育上より觀たる小學校の建築　藤村利譽氏、歐米の學校建築　工學士吉田享二氏、學校の敷地と建物　小出滿二氏、小學校建築の本質　工學士古茂田甲午郎氏、學

校建築と表現　工學士岸田日出刀氏、學校建築
と音響　工學士佐藤武夫氏、學校建築の構造
工學博士内田祥三氏、教室と講義室　工學士吉
田貢氏、寄宿舍の話　工學士高橋理一郎氏、東
京市立復興小學校地撰定と其實際　工學士阪東
義三氏、小學校建築の一例　工學士山田醇氏、
木造小學校と地震　谷口忠氏、木造小學校建築
耐震上の注意　學校建築と衞生設備に就て　工
學士櫻井省吾氏、學校照明に就て　工學士内坂
素夫氏、學校と電話設備　工學士關重廣氏、學
校建築と煖房設備　工學士大澤一郎氏、小學校
の煖房と換氣に就て　工學士中西義榮氏、運動
場の設備　工學士小林政一氏、屋内運動に就て
岩原拓氏、學校建築所感　秋保安治氏、最近の
學校建築　文部大臣官房學校衞生課、校舍の適
當なる設備標準　全國學校衞生技師會議、學校
体操設備標準　全國体育主事會議、体操教室に
關する件

八月號　口繪　横濱正金銀行東京支店　全新築
設計圖　工學博士長野宇平治氏、三會堂　工學
博士佐藤功一氏、東京朝日新聞社　全新築設計
圖　工學士石本喜久治氏設計、田島氏住宅　全
新築設計圖　建築士佐藤英一氏設計

記事　特別保護建造物の意義と其の修理　市街
地建築物法と臨港地域問題　長崎敏音氏、朝日
新聞社の建築に就て　工學士　岸田日出刀氏、
官衙建築に於ける職員數及事務室教授と便器個
數の關係　工學士伊藤磁氏、建築序論(四)　貴
船信氏譯窓と室内の明るさとの問題に就て　齊
藤忠人氏、工人倶樂部建築科試驗問題　特別吊
足場機に就て　服部正男氏、(附錄)建築學　中
村順平氏

九月號　口繪　日本醫師共濟生命保險相互會社
大林組設計、首藤氏住宅　工學士池田讓次氏設
計、胃腸病院　小林改輝氏設計、モナミ喫茶店
三角堂喫茶店　山中節治氏設計、社寺建築　工
匠渡邊喜右エ門氏設計

記事　若き建築家よ、きもつたまを大きくもて
建築契約に就て　楠富士太郎氏、現代の劇場建
築(五)　三谷光雪氏、二三建築石材の耐火性に
就て(二)　近藤鐵郎氏、建築序論　貴船信氏譯
鐵筋コンクリート構造に於ける假枠の設計(二)
猪野勇一氏、建築工事見積(三)　高田利一郎氏
高爐セメントに就て　香春三樹次氏、(雜錄)長
谷川邸庭園設計に就て　龍居庭園研究所　東大
建築科便り　丁生、(附錄)建築學　中村順平氏

十月號　口繪　電氣クラブ　全新築設計圖　渡
邊仁建築事務所設計、朽木氏住宅　全新築設計
圖　吳東徹郎氏設計、松坂屋宿舍　鈴木禎二氏
設計

記事　都市の美觀と廣告看板　住宅企業と土地
改策　楠原祖一郎氏、建築契約に就て(二)　楠
富士太郎氏、十九世紀の藝術　工學士大内秀一
郎氏譯、本邦産建築石材に就て(六)　小山一郎
氏現代の劇場建築(六)　三谷光雪氏、優良なる
コンクリート施工を確證するとは如何にせば可
なりや(一)工學士鎌田銓一氏、ガレーヂ建築
工學士　丹羽美氏、フラッシュバルブ　澤牛耳
氏　近代建築漫論　神保馨氏、家相無駄話を讀
んで　佐藤恒次郎氏、(附錄)建築學　中村順平
氏

十一月號　口繪　國際聯盟會館懸賞設計數葉
電氣クラブ　渡邊仁建築事務所設計

記事　建築材料研究と請負制度の改革　住宅企
業と土地政策(二)　楠原祖一郎氏、建築非藝術
論　野田俊彦氏、病院建築の一つとしての看護
婦寄宿舍に就て　長根助八氏、多田式柱の理論
と計算法　多田筆太郎氏、優良なるコンクリー
ト施工を確證するには如何にせば可なりや(二)
鎌田銓一氏、高爐セメントに就て　香春三樹次
氏、工學的經濟的並びに警察的關係より見たる
都市擴張の基礎　白鳥義三郎氏譯、獨逸建築條
令註解(二)　工學士御田龍太郎氏、復興建築中
の帝大印象記　林有一氏、(附錄)建築學　中村
順平氏

十二月號　口繪　早稻田大學大隈紀念講堂全新
築設計圖

記事　ゆく昭和二年度の我が建築界を靜觀して
住宅企業と土地政策(三)　楠原祖一郎氏、建築
契約(三)　楠富士太郎氏、支那の瓦當に就て
工學博士關野貞氏、現代の劇場建築(七)　三谷
光雪氏、フラッシュバルブ　澤牛耳氏、ガレー
ヂ建築(三)　丹羽美氏、獨逸の「都市建築」發刊
の辭　白鳥義三郎氏譯、住宅保存上の實用に就
いて(二)　青山忠雄氏、丹後地方震後の家屋建
築及修理に關する注意　震災豫防評議會　建築
駄言　津田鑿氏、復興せる早稻田大學の威容
林有一氏、早稻田大學紀念大講堂建築工事概要

## 建築畫報

第一號　口繪　久米氏邸　堀越氏邸　某氏住宅
某氏住宅　土橋氏邸　村上氏邸

記事　客間を廢した實業家の住宅　赤石眞氏、
趣味の住宅建築の材料　住宅工事の實際　三浦
元秀氏、新住宅の今日　滿壽志氏、近代獨逸小
住宅抄(八)　藏田周忠氏、書齋と臺所(或は男
と女)　堀口甚吉氏、小住宅のプラン　住宅論
きよし氏、彫塑家のイエの試案　小川光三氏、
北京域内(支那建築の印象記)　藏田周忠氏、住
宅講座　幸義男氏

第二號　口繪　坂本氏邸　久米氏邸　堀越氏邸
遠山氏邸

記事　趣味の住宅建築の材料　池田稔氏、近代
獨逸住宅抄(九)　藏田周忠氏、住宅講座(二)
幸義男氏、建築及家具裝飾彫刻繰形挽物模様集
(一)　遠藤於莬氏撰、家　伊東安兵衞氏、小住
宅　小林秋次氏

第三號　口繪　御大喪儀御道筋裝飾　小出氏邸

記事　下毛の古建築村檜神社本殿　小林福太郎
氏近代獨逸住宅抄(十)　藏田周忠氏、八百圓か
ら千五百圓で出來る小住宅のプラン　田山俊郎
氏、田中義光氏、辻田忠雄氏、プロレの見たる分
離派展雜感　早川郁緒氏、住宅講座(三)　幸義
男氏

第四號　口繪　東京帝國大學講堂外觀　東京帝
國大學大講堂内部　同工學部應用化學教室外觀
同理學部物理學教室　同醫學部藥學教室外觀
同醫學部附屬醫院整形外科病室外觀　同經濟部
研究室書庫内部　青山學院講堂外觀　同高等學
部教室外觀　東京市湯島小學校背面及同庭面
同體操場内部　京華中學校々舍外觀及同玄關詳
細　同講堂内部　日本女子高等學院校舍の一部
及圖書室内部　東京市柳北小學校外觀　同玄關
詳細　東京女子大學校舍一部全景　同體操場内
部同教室の一部　聖心女學院講堂内部　同内部
東京帝國大學大講堂平面圖　東京帝國大學工學
部應用化學教室平面圖　東京帝國大學理學部物
理學教室平面圖　東京帝國大學醫學部附屬醫院
整形外科病室平面圖　東京帝國大學醫學部藥學
部教室平面圖　東京帝國大學法學部經濟學部研
究室書庫平面圖　東京市湯島尋常小學校平面圖
京華中學校平面圖　東京女子大學體操場及中心
部平面圖　聖心女學院講堂平面圖

記事　學校建築と樣式　滿壽志氏、學校建築短
論　學校建築の一生面　須藤眞金氏、近代獨逸
住宅抄(十一)　藏田周忠氏、住宅講座(四)　幸
義男氏

第五號　口繪　大集會堂(プラネタリウーム)
大集會堂内部四千五百人廣間(上下)　人類館名
譽庭に面する入口、同上　美術館ライン河に面
する側、同名譽庭に面する側、同上河岸の角
美術館新時代部全景　ラインテラスセン、レス
トラント、ラインテラスセンレストラント内の
ラインゴールド廣間(上下)ラインテラスセンレ
ストラントの塔　名譽庭の入口　ティーッ商會
旅行案内所及郵便局、同上　煖房、換氣、料理
洗濯に關する陳列館　ヘンケル館　菓子商組合
喫茶店　カカトバア　兒童館入口、同上庭の面
行樂、運動、服裝に關する陳列館、同上河に面
する入口　化學光學館　大食堂正面、同上大會
議室　ライン宮(舞踏場)

記事　デュッセルドルフ館正面入口、同中庭
會場全景右半(右端大集會堂)　會場全景左半(
左端化學光學館)デュッセルドルフ保健體育博
覽會ポスター　同會場平面圖及説明　一九二六
年デュッセルドルフに於ける保健體育博覽會の

建築　大集會堂斷面圖及平面圖　大集會堂架構主體　行樂、運動、服裝陳列館及航空館平面圖
化學光學館平面圖
六月號　口繪　東京朝日新聞社　佐藤博士邸
記事　東京朝日社屋見たまま　滿壽志氏、鐵筋コンクリートの住宅へ住ふ人々へ　遠藤於菟氏
日本住宅の手入と保存法　小林福太郎氏、近代獨逸住宅抄(一二)　藏田周忠氏、住宅講座(五)
幸義男氏、東京朝日新聞社屋雜觀と考察　早川邸緒氏
第七號　口繪　紫烟荘　濱尾子爵邸
記事　文化住宅と農家　滿壽志氏、別荘と住家と民家、三浦元秀氏　洋風應接室の改善と其の試作　山田醇氏、民家の美的觀察　津田鑿氏、近代獨逸住宅抄(十三)　藏田周忠氏、離小座敷(書齋)新築工事の略設計書　井出靜舟氏　滿壽山(夏宮—頤和園)藏田周忠氏
九月號　口繪　山田氏邸外觀　山田氏邸外觀正面詳細　京都ホテル外觀　大藤氏邸外觀　ルリ酒場客席、入口の內部
記事　建築の推移を思ふ　居間の設計　滿壽志日本風の居間と洋風食堂　山田醇氏、居間にての話　小林助、居間四種　さか、よしを氏　フランス風の居間　デヨーデアン式の居間兼食堂　オークの居間　スペイン風の居間　近代獨逸住宅抄(一四)　藏田周忠、三科展覽會出品、作品



建築構想　仲田定之助、藤田巖、播州路民家三津田鑿、山田氏邸立面及平面圖　大谷木氏、山田氏邸に就いて　佐藤秀三、京都ホテル平面圖　清水組設計部、大藤氏邸立面圖及平面圖　神品工務所、東京朝日新聞社平面圖　山田氏、無責任なる住宅設計圖　石本喜久治、記事　昭和二年を送る　大隈講堂平面圖　佐藤中)藏田周忠、住宅講座(七)　幸義男
第十號　口繪　京都の或る日本住宅　山王荘玄關車寄　內藤子爵邸大廣間　三上氏邸客間及應接室　山氏邸客間床廻り書院　小林氏邸客間床廻り書院　小林氏邸の一隅　三谷邸玄關詳細　某別荘の門　小澤男爵邸外觀正面
記事　山王荘平面圖　山王荘屋根伏圖　住家雜考　岡山覺太郎氏、小澤氏邸設計　松岡誠一氏　滿壽志氏、日本に於ける住宅の進化　大塚泰氏、造る人と頼まる者　津田鑿氏、亡び行く日本建築美　山田醇氏　林泉の美住宅日本建築に就て　井出靜舟氏、供養塚雜信　藏田周忠氏、實がないやうである話　貧堂創生氏、衰しき建築　和樣住宅の創案　小川光三氏、禮讃!日本建築　杉江湖山氏　碧雲寺紀行(下)　藏田周忠氏、住宅講座(八)　幸義男氏
十一月號　口繪　或る醫師の住宅外觀　砂崎氏の住宅外觀
記事　或る醫師の住宅　津田鑿氏、住家雜感　滿壽志氏、供養塚雜信(承前)　藏田周忠氏、新しき時代の新しき建築講座(一)　川喜田煉七郎氏、實がなくてあるやうな話(承前)　貧堂創生氏、改造二種　本誌記者
十二月號　口繪　大隈講堂外觀　D氏住宅　粟津氏の住宅外觀
記事　昭和二年を送る　大隈講堂平面圖　佐藤功一氏、D氏住宅の食堂その他　K生、粟津市住宅設計圖　神品茂作氏、大阪第二次都市計畫に際して　滿壽志氏、建築及家具裝飾彫刻繰形挽物模樣集(二)　遠藤於菟氏、近代獨逸住宅抄(一五)　藏田周忠氏、昭和二年に於ける建築界回顧錄　銀行の試案　吉川末雄氏、文化住宅　ST生、住宅講座(九)　幸義男氏、建築學會第一回建築展覽會目錄

## 建築新潮

評論　ジヨセフホフ、マンと維納工房　クレエネ日本建築を想ふ　瀧澤眞弓、建築のファツシズム　石本喜久治、建築に於ける藝術性　大內秀一郎、雜題　森田慶一、新田園都市の一例　森口多里、劇場建築の沿革(上)　本村榮二郎、劇場建築の沿革(下)　同、病院建築(二)　大澤源之助、同(三)　同、劇場改革者としてのノルマン、ベル、グツデス(一)　駒澤太郎、同(二)　同、同(三)　同、同(四)　同、田園都市の歷史的考察(三)　龜井幸次郎、同(四)　同、同(五)





同、瑞西の建築美　高山久二、建築線法より都市建築法草案迄(一)　白鳥義三郎、同(二)　同(三)　同、衛生と換氣法　M、B生、歐羅巴に於る住宅改善の進歩(一)　根岸松雄、同(二)　同、同(三)　同、沙門聖寺の東大寺復興事業と鎌倉時代に於ける同寺諸院存廢狀態(一)　安藤更生、同(二)　同、劇場に於ける照明裝置の發達(中)　加藤秋、英國に於るベーレンス氏の近業　片棋笹雄、マルチンブリツグス建築工匠史
田邊泰、分離派建築會記事　堀口捨己、アンテベの煙突　S、S生、三科運動に就て　藤田巖
第一號　口繪　「ダンテ神曲」演出の舞臺模型ノルマン、ベル、グツデス作、日本趣味の橫溢せる白耳義の近代室內裝飾　オスト、ピユーロ作、練馬豊島園(二葉)　戶野志村建築事務所設計、橫濱市十全病院平面圖　橫濱市建築課設計、同正面及患者待合室　同
第二號　口繪　ローク氏邸(二葉)　ベーター、ベーレンス設計、紫烟荘　堀口捨己設計、千葉公園俱樂部(二葉)　植繩工務所設計
第三號　口繪　某貯蓄銀行(模型)　石本喜久治作、住宅外觀及平面圖　同、東京朝日新聞社(工事中)　同、緞帳意匠　石本喜久治、岡村蚊象作、楣石意匠模型及製作中　同、工業地域に建つアパートメント計畫(二千四百世帶約一萬人收容)平面圖　岡村蚊象作、同模型　同、南

國の温泉場にたつ浴場　大內秀一郎作、住宅(模型及平面)　藏田周忠作、形の習作(模型)　同、家具　堀瀧澤眞弓作、同(圖及分解模型)　同、口捨己作、病院設計圖　森田慶一作、ストラン(模型及平面圖)　矢田茂作、小郵便局(三圖)　山田守作、或音樂禮拜堂の設計(入選)平面　川喜田煉七郎作、同模型及斷面圖　同、同オーデイトリアム及喫煙室　同、同廣間及附屬小劇場內部　同
第四號　口繪　夫人室の一隅　メーレー、ステベンス作、同潤會啓成社(府下巢鴨)　同潤會建築部設計、小島氏邸(千葉縣市川)　植繩工務所設計、聖ニケーズ寺院配景及平面　森田多里選公會堂正面及レ、ド、ショツセ平面　同、幼童會館背面中央部及背面左翼部及レ、ド、ショツセ平面　同
第五號　口繪　上棟式を擧げたる新議院と儀式用の槌　大藏省臨時管財局設計、或百貨店の階段(和蘭)　クラメル設計、玉屋商店及宮澤家具店(銀座)　菅原榮藏設計、グレノーブルの展望塔(巴里)　ペルレエ設計、白耳義の新住宅　アントワープ近郊の住宅
第六號　口繪　三會堂外觀及入口詳細(赤坂奎町)　佐藤功一建築事務所設計、東京朝日新聞社外觀(數寄屋橋際)　石本喜久治設計、同一部詳細　同、同講堂(六、七階)　同、同遊步場(七階)　同、同貴賓室(四階)及喫煙室(六階)

浴風園漫談　士岐達人、國際聯盟會館競技設計審査發表　K生
第七號　口繪　多摩川原遊園京王閣　關根要太郎、藏田周忠設計、同外觀、一二階平面圖　同一階ホール、三階吹拔き　同、同二階ホール大浴場　同、三科形式藝術展作品九種　三科同人九名作
第八號　口繪　支那漢口附近西湖に於ける帝室書庫の一部　紅玉堂書店　吉田五十八設計、橫濱高等商業學校　文部省建築課設計、竹中工務店施工、浴風園本館外觀、平面圖　土岐達人設計、同詳細　同、ルリ酒場(客室、カウンター)　鈴木緋紗子設計
第九號　口繪　紐育ブロークリン街の劇場　ウイズマン及タウシッグ設計、支那福建省、或る一族の兆域　山王莊立關事寄、庭面外觀　小林富藏設計、同主人居間、大客室　同、同二階居間床脇、老人居間、令孃室　同、同廊下四種、平面圖、屋根伏圖　同
第十號　口繪　遺骨安置所外觀の一部　デュドック設計、住宅　テイロ、ショーデル設計、國際聯盟會館一等透視圖、配置圖　エミールファーレンカムプ教授案、電氣倶樂部會館外觀、玄關部詳細　渡邊仁建築工務所設計、大倉土木株式會社施工、同二階ホール、談話室　同、同一階ホール、大食堂、日本室　同、同各階平面圖
同
第十一號　口繪　洪洋社第十六回懸賞募集「新住宅の浴室」一等當選透視圖及平面圖　池田信男案、二等當選透視圖及平面圖　三浦勝治案、三等當選透視圖及平面圖　野田一夫案、大阪ビルヂング東京分館正面外觀　渡邊節建築事務所設計、竹中工務店施工、同正面入口詳細、正面入口廣間(其一、二)　同、航空研究所　帝大營繕課設計、竹中工務店施工、高島屋吳服店　岡田信一郎設計
第十二號　口繪　新築早稻田大學大隈總長記念大講堂正面外觀　佐藤功一設計、戸田組施工、同正面入口詳細、背面職員入口　同、同地下講堂(地階)　同、同一階歩廊の一部　同、同大講堂舞臺、觀客席　同、同地階廣間　同、同大講堂內部、外廊　同、同地階一二三階、屋上平面圖　同

## 住宅

一月號　口繪　笠島邸外觀及室內各種
記事　小數共同のアパーメント　橋口信助氏、松竹梅蓬來島鶴龜の話　永見健一氏、吾等の住宅　山本拙郎氏、隻語家具對住宅　森谷延雄氏、燹房のいろ〳〵　臺惣三郎氏、住宅と陶器の話　岡田達彌氏、子供の部屋　眞壁光子、面の裝飾　渡邊素舟氏、木材の繼手及仕口の話　鈴木正二氏、住宅に必要な法律　黑木謹賢氏、住宅圖譜　今村亮氏、住宅に住む思想　中藤重三氏
二月號　口繪　平田正之氏邸外觀及室內各種
記事　移動のアパートメントに就て　橋口信助氏、書齋の園藝化　野崎信夫氏、支那の室內裝飾に就て　豊田豊氏、住宅に必要な法律　黑木謹賢氏、住宅圖譜　今村亮氏、孔雀の家
三月號　口繪　山縣賴咸氏邸外觀及室內各種
記事　二重のガラス窓について　橋口信助氏、建具の話　石川一男氏、庭木役物の話　永見健一氏、住宅に必要な法律　黑木謹賢氏、雪國の民家　今和次郎氏、シツション風の家　今村亮氏、畫家某氏の客間　吉田謙吉氏
四月號　口繪　島津康久氏邸門　對馬氏邸門　小西佐太郎氏邸門　高橋利喬氏邸門　春日井豊三郎氏邸門　中島與曾八氏邸門　田村基氏邸門　某氏邸門　高山直純氏邸門　清水雄次郎氏邸門　某氏邸門　八田熙氏邸門　佐野精一氏邸門　御酒本德松氏邸門　芹澤新平氏邸門　交野氏邸門　井上一郎氏邸門　松下市太郎氏邸門　某氏邸門　太田定之助氏邸門　岩崎氏邸門　吉村氏邸門　某氏邸門
記事　新らしい門と塀に就て　橋口信助氏、門漫談　大熊喜邦氏、門柱に植物を植えた門　田



舍の門と垣　今和次郎氏、木で造つた門柱　門と塀雜感　木村孝一郎氏、變つた門柱の家六種
建具の話　石川一郎氏
五月號　口繪　新寶政和氏邸外觀及室內各種
記事　纖條網に就いて　橋口信助氏、室內に於ける色彩の調和　木檜恕一氏、村醫者樣の家　石川一男氏、床の間の裝飾草案　橡內吉胤氏、驚くべき住宅設計圖　中西義雄氏、初夏の外光にふさはしい綠門
六月號　口繪　寺田氏邸外觀及室內　福島氏邸外觀及室內　鹽月氏邸外及室內　細木氏邸外觀及室內　奥村博氏邸外室內
記事　住宅の世界的狀勢と我國の住宅　橋口信助氏、住宅政策上より見た住宅組合　中村寬氏、住宅組合の話　里見馬城夫氏、六間の家　山本拙郎氏、新日本住宅　丹津生、住宅組合によつて家をお建てになる方々への御注意までに　中村鎭氏、私の住宅　寺田瑛氏、新時代の家設計圖　今村亮氏、スポーツマンの家　久保田禎氏
住宅隨想、野崎信夫氏、英國に於ける住宅供給の近狀　ザア、エコノミスト誌
七月號　口繪　島津家別邸外觀及室內の一部
記事　住宅と庭園の相關　橋口信助氏、ポーチ　前田松韻氏、園上訪問　石川一男氏、夏の室內生活と趣味　木檜恕一氏、グレコの家　小林勝次氏、木材の繼手と仕口の話　鈴木正二氏
八月號　口繪　島津家別邸室內各種
記事　日本家の洋式生活　橋口信助氏、田園—建築　橡內吉胤氏、十四間の家　山本拙郎氏、嶄新なプール　室內裝飾本位日本畫論　豊田豊氏
九月號　口繪　電燈器具のいろいろ
記事　改良住宅組合について　橋口信助氏、住宅の給湯設備　櫻井省吾氏、便所設備に就て　石掙甚大澤一郎氏、住宅の給水設備に就いて
作氏、家庭電化管見　加藤英夫氏、住宅向きとして最も適當なる溫水煖房裝置に就て　柳町政之助氏、鉄肥材の特長　橋口信助氏、住宅の諸設備に就いて　眞壁光氏
十月號　口繪　佐久間氏邸外觀及室內各種
記事　讃州武田謙氏本邸　高島司郎氏、室內裝飾としての西洋畫　豊田豊氏、格子窓の美　橡內吉胤氏、九人家族の家　石川一男氏、庭園採集永見健一氏、花による卓上裝飾に就て　白樺生
十一月號　口繪　山川萬吉氏邸外觀及室內
記事　予の一家が六年間体驗したる洋式生活の可否　佐藤清一郎氏、住宅と窓栽培—裝飾と栽培を兼ねて　羽鳥秦氏、五十四坪の平家、石川一男氏、佛蘭西物の小住宅　木村幸一郎氏、天沼教授の新著「日本建築史」を讀んで　思西書屋主人
十二月號　口繪　廣田氏邸外觀及室內
記事　中流住宅三題　山本拙郎氏、新らしい意匠の寢臺　木檜恕一氏、住宅自己紹介　今和次郎氏、吉田謙吉氏、或借家人の心　松波治郎氏
住宅と彫刻の關係　豊田豊氏

## 新建築

第一號　口繪　長谷部氏作品論　樂友會館　支那の一住宅　東洋古代美術と自分　郊外に住宅を建てゝ
記事　支那の一住宅　村田治郎氏、東洋古代美術と自分　笹川愼一氏、郊外に住宅を建てゝ
小川生氏、建築裝飾と云ふ意味　本野精吾氏、法隆寺の伽藍配置法に就て　服部勝吉氏、建築の窓間は堆積である　元良勳氏、造園講座新らしい庭園の作り方　方米治郎氏、新建築材料高級セメントの話　小山九市氏
第二號　口繪　レストラント矢尾政　幣原邸　大阪市中央職業紹介所　法隆寺伽藍配置法　住宅習作　新しい庭の作り方
記事　レストラント矢尾政　幣原邸　記者、大阪市中央職業紹介所　建築と機械　森田慶二氏
法隆寺の伽藍配置法に就て　服部勝吉氏、鮒と蕎麥と建築　新名種夫氏、造園講座新らしい庭園の作り方　方米治郎氏、小住宅設計圖案懸賞募集規定
第三號　口繪　法隆寺伽藍配置法　住宅間取の

研究　家具十二譚　新らしい庭の作り方
記事　I氏の邸宅に就て　大倉生氏、宗兵藏氏の作品と懷舊談　記者、法隆寺の伽藍配置法に就て　服部勝吉氏、希臘古典藝術に對する一考察　安井武雄氏、住宅間取の研究　常盤の松人氏、造園講座新らしい庭園の作り方　方米次郎氏、小宅設計圖案懸賞募集規定
第五號　口繪　菊池邸　安田邸　野々村邸　共樂園　桃山時代の書院造　青寫眞
記事　私の家　菊池幽芳氏、桃山時代の書院造服部勝吉氏、疊の話　記者、住宅の機能とその能率に就て　東天紅學士、地震と春　山野清二氏、造園講座新らしい庭園の作り方　方米治郎氏
第六號　口繪　小澤邸　桑田邸
記事　京都市の新建築界　飛鳥井生、法隆寺の伽藍配置法に就て　服部勝吉氏、藝術の終焉テオ、ヴアン、ドエスブルグ氏、住宅覺書　元良勳氏、住宅漫談　JM生、住宅間取の研究(二)常盤の松人氏、郊外住宅十種　能瀬久一郎氏、造園講座新らしい庭園の作り方　方米治郎氏、小住宅懸賞圖案審査發表
第七號　口繪　加藤邸　一等當選圖案　二等當選圖案　三等當選圖案　三等當選圖案
記事　一等當選圖案說明　伊藤和雄氏、二等當選圖案說明　大島一雄氏、三等一席當選圖案說明　橋倉覺平氏、三等二席當選圖案說明　原田常介氏、三等三席當選圖案說明　堀武雄氏、應募設計審査報告感想及批評　岡田孝男氏、商店住宅設計圖案懸賞募集規定　外國雜誌書籍の取次開始　編輯後記
第八號　口繪　グロピウスの作品　バルトニング氏の作品　懸賞住宅圖案　青寫眞
記事　木造家屋の耐震的構造(承前)　武田五一氏、ワルター、グロピウス氏及バウハウスの近況　岡田孝男氏、伏見町のコンクリート住宅　國際聯盟本部建築懸賞競技當選者發表　造園講座新らしい庭園の作り方　方米治郎氏、商店建築懸賞募集規定發表
第九號　口繪　グロピウス氏の作品　ゼネバ國際聯盟本部の懸賞設計圖案　アンケル氏の作品
記事　東西兩大學造型美術展覽會を觀る　記者　去風洞を觀る　岡田孝男氏、市街建築の一例　人工に自然を感じる　元良勳氏、カンデインスキー「面に對する點と線」本多正道氏、造園講座庭園局部の作り方　方米治郎氏、本社第三回懸賞募集計畫發表　藤製家具の話　記者、建築材料紹介

## 土木建築雜誌
（自一號至十二號）

論說　隅田川橋梁の型式　田中豐氏、正統學派





の工學　黒田武定氏、高橋末治郎氏、中原壽一郎氏、橋梁用材料としての特殊鋼に就て　小松喬氏、シヤム國有鐵道橋梁に對する競爭設計に鑑みて　黒田生、堤防の弱点としての暗渠　鈴木雅次氏、STEVENSONCREEK 拱堰實驗の二三の主要なる結果に就て　Fred.A.Noetzli,C.E.研究、アスファルト混合の安定率に影響する條件　倉内豐太郎氏、煉瓦積の改善特に其の補強に關する研究　金森誠之助氏、內面鐵板張水道管の計算に就て　RL生、傾角解法(十三)　野坂殿鼓氏、邦式ビュルクリーチーグラー式の誘導中桐春太郎氏、復興計畫と路上工作物整理　中島時雄氏、傾角解法(十四)　野坂殿鼓氏、小鋪石花崗石及び閃綠岩の比較(一)　近藤鐵郎氏　鋼鐵構造に於ける電氣鎔接法の應用(一)　青木楠男氏、小鋪用花崗岩及び閃綠岩の比較試驗(二)　近藤鐵郎氏、壓力と彎曲應用とを受ける八角斷面支柱の計算法　SK生、堤防暗渠の發達　鈴木雅次氏、鋼鐵構造に於ける電氣鎔接法の應用(二)　青木楠男氏、環動羅盤(Gyrocompass)の原理　中桐春太郎氏、圓筒桁の中軸線及圓筒桁の隨率　柴田直光氏、(セメント、コンクリート)鐵筋コンクリート床板の厚さの計算に就て　ポートランドセメント、コンクリートに對する海水の影響　M、M生　既製コンクリートの供給に就て　ラムナリトセメントの用途と耐久性に就て　野澤房敬氏、セメントモルタールの糊狀態に對する標準公式　M、M生、コンクリートの混合方法及混合機に就て　山下榮氏、コンクリートに對する鹽化カルシウムの影響　M、M生、伯林に於ける第二十九回獨逸コンクリート土木會議の概要　B、K生、北丹の震災と鐵筋コンクリート　宮本武之輔、セメントモルタールに及ぼす砂糖の作用　M、M生、鐵筋コンクリート枕木に就て　鑄鐵鐵筋を有する鐵筋コンクリート柱の實驗　SK生、コンクリート管の外壓に對する龜裂強度と鐵筋挿入の効果　富安鑿助氏、日本及獨逸の標準試驗方法に依る同一コンクリートの應壓強度に就て　吉田經次郎氏、新しいコンクリート生ずる龜裂　鐵筋コンクリート施行用型枠の設計(十四)(十五)(十六)(十七)　M、M生、(治水港灣)集水區域の地勢と洪水量との關係　久永勇吉氏、高梁川東西用水工事　植原勇氏、(一)(二)(三)(四)　信濃川大河津分水堰堤の破壞　山里尚行、スチールシートパイル護岸施工に就て　佐々木銑氏、博多灣修築計畫　瀨戸敬三氏　ミスシッピー河治水問題　H、M生、(一)(二)(三)(四)　(鐵道、隧道)軟岩隧道掘鑿に就て　坪內義輝氏、隧道塌鑿に廻轉掘鑿機の使用　隧道爆破理論　大石憲次氏、國鐵豹越北線折渡隧道掘鑿中の事故及其處置方法　江川茂之助氏、オークランドに於ける水底隧道計畫及工事　山田隆二氏、丹那隧道の地質狀態現況と掘鑿根本方針の考察　渡邊貫氏、坪內氏の軟岩隧道掘鑿に就てを讀んで　林野準之助氏、國鐵第三飛島隧道に換氣機を据付けたる後と其以前との比較　丹那隧道の掘鑿現狀　東京の地下鐵道　山里尚行氏、歐米に於ける水底隧道附關門隧道に於ける調査　清水隧道に於ける液体酸素爆藥の試用に就て　橋本敬之氏、(橋梁)　永代橋上部構造設計　竹中喜義氏、永代橋工事概要　森田三郎氏、井筒被下新工法　川口利雄氏、同上續、鐵道省荒川新橋梁に施行せる鈑桁連結架設法　川口利雄氏、拱形桁構橋設計實例　宮內義則氏、(一)(二)(三)　豐海橋設計概要　復興局橋梁課設計、(一)(二)(三)(四)(五)　國鐵高森線第一自川橋梁架設計工事を視て　稻葉權兵工氏、國鐵東北本線荒川橋梁鈑桁架設に就て　荒川惠助氏、補剛構として鐵筋コンクリートを用いた吊橋に就て(一)　鎌田銓氏、萬代橋架換工事計畫　荒川橋梁工事に於て試みたる新工法　大河戶宗治氏、(道路)萬國道路會議被告拔萃歐米八個國に於けるコンクリート道路(三)　增田政吉氏、(三)(四)　(鐵道、隧道)軟岩隧道掘鑿に就て　牧野雅樂之丞氏、(建築)東京驛前に建設される地下式大髮殿堂　林有一氏　大阪鐵道局廳舍新築工事　伊藤滋氏、復興新築成れる東京株式取引所、林有一氏、(發電、水

力）水力發電の設計　山里高行氏、（六）（七）（八）（九）（十）水力工事の失敗及注意漫談　萩山利行氏、田代川發電所、建設工事に就て　新井榮吉氏、（上下水道）東京府隣接町下水調査設計中桐喜太郎氏、下水道と所謂下水との異同及他との關係　中桐喜太郎氏、壓搾空氣に依る煉瓦造下水渠のコンクリート打設　（報告）發電所主汽機基礎潛函工事に就て　笠原秀彦氏、構造物到壞の實例と其原因に就て　佐々木銑氏、丹後震災記　廣田孝一氏、マルセイユ、ロオヌ運河工事　渡邊貫氏、鐵道省關門間大瀨戸地質調査用大淨是塲　ベルリンフランクフルト（オーデル河畔）間獨逸國有鐵道線路ロオゼンガルテンの堀割切取の大山崩　渡邊貫氏、（參考）急施工事と余の經驗　中桐喜太郎氏、鐵道線路選定及水力電氣水路設計に關する參考資料　渡邊貫氏入力に依る砂利採集　江畑弘毅氏、（一）（二）（測量）隅田川架橋の測量に就て　遠藤亮徹氏（標準、規要）米國コンクリート及鐵筋コンクリート標準示方書（十九）　小早川貞三氏、第一種第二種アスファルトコンクリート鋪裝（東道）工事仕樣書（復興局）　シートアスファルト鋪裝（東道）工事仕樣書　（復興局）　ロックアスファルトブロック石油アスファルトブロック鋪裝工事仕樣書　ソリゲチット鋪裝工事仕樣書　アスファルトブロック鋪裝工事仕樣書　クリンカー鋪裝工事仕樣書　木塊鋪裝工事仕樣書　鋪木製作並注藥仕樣書　米松桷木防腐注入仕樣書　復興局　アスファルトブロック仕樣書　車道用クリンカー仕樣書　歩道用壓搾コンクリートブロック製作仕樣書　歩道揚固めコンクリーリブロック製作仕樣書　歩道用ソリデチットブロック仕樣書　復興局　歩道鋪裝用大浦式ブロック購入仕樣書　割栗石仕樣書（一號）　割栗石購買仕樣書（二號）　拱堰　（附錄）永代橋上部構造設計附圖　正統學派の工學附圖　定高三角形に依る橫斷面積計算表　米法鐵筋の斷面種並周長　日本標準規格に丸鋼角鋼　米法鐵筋の斷面時並周長（續）　定高三角形に依る橫斷面積計算表　東京府隣接町下水調査設計圖　米法鐵筋コンクリート參考圖表（其一）　定高三角形に依る橫斷面積計算表　米法鐵筋コンクリート參考圖表（其二）　正統學派の工學附圖　米法鐵筋コンクリート萬考圖表（其三）　圓筒術の中軸線及圓筒術の隨率附圖　工事步掛表（一）（二）（三）　日本標準規格甕　STEVENSON, CREEK　拱堰實驗の二三の主要なる結果に就て附圖

## 都人

一月號　記事　建築公德の提唱　池田實氏、市街地建築の良設計奬勵の一法　曾根達造氏、建築優生運動　大熊喜邦氏、良い建築　葛藤壯一郎氏、住宅建築と其工費　松本儀八氏、近世工塲建築に顯はれたる新しき構造　高木源之助氏　火災と工塲建築　高野瀨宗吉氏、大阪特別市制案を評す　平賀周氏、都市の人口集中とその對策（上）　大屋靈城氏我が國に於ける勞働戰術の推移　有光金兵工氏

二月號　記事　京都市に於ける土地問題　葛原豐氏、土地增徵に關する研究（三）　楠原祖一郎氏、我國最初建築費調べ　貸家住宅に關し家主階級の自覺を望む　喜多村仁丸氏がそりんと幹電氣に付いて　菅野久一氏地、下水及其利用　下技勝利氏、野外劇場の話　鯛天源三郎氏、住宅試案　天野一男氏、家屋耐震構造の概要（其の十八）　山本久吉氏

三月號　口繪　三十四銀行本町支店　記事　速に「高」の最低限制の實施を望む　池田靈峰氏、土地增價稅に關する研究（四）　楠原祖一郎氏、立体派と建築　澤部實之助、氏住宅試案三種　平野一男氏、私の文化的住宅　岡本文子氏、地下水及其利用（二）　下枝勝利氏、家屋耐震構造の概要（其十九）　山本久吉氏、カフエーとダンスホール　藤井文男氏、建築法規研究　北辰生氏、雪の安土――摠見寺紀行　池田谷久吉氏

四月號　口繪　ダンスホール　記事　奥丹後の激震と都市計畫　池田靈峰氏、京都市に於ける土地問題（二）　葛原豐氏、築意匠の東京と大阪　伊藤正文氏、地震と電鐵混凝土建造物　喜多村仁丸氏、新しい家二案　平野一男氏、船大工より見たる日本家屋　平田省三氏家屋耐震構造の概要（其二十）　山本久吉氏、火災の擴大に影響する建築物構造の缺陷　菅野久一氏、地下水及其利用（三）　下枝勝利氏、都市計畫彙報

五月號　口繪　大阪醫科大學　記事　都市の人口集中とその對策（下）　大屋靈城氏、或る幼稚園としての作品　平野一男氏、丸萬ビルデイングに就て　本間乙彦氏、住宅と門塀　松本儀八氏、工塲附屬寄宿舍規則（內務省令第二十六號）　野外劇場の話　鯛天源三郎氏　特別保護建造物指定（文部省告示第二百十八號）　家屋耐震構造の概要（其二十一）　山本久吉氏、都市計畫公告　口繪　大阪府產業信用組合

六月號　口繪　和蘭式車用隧道について　菅野久一氏、市街地建築物法手續緩和令（大阪府令第一六〇號）　記事　一家の創等と愛の巢　池田實氏、衣食住古名園の美と「住宅」と「庭」の關係　寺川信氏、餘興と屋內の模擬店　藤井文男氏、史蹟名勝天然紀念物の指定（內務省告示第三一五）　家屋耐震構造の概要（二二）　山本久吉氏、都市計畫公告　市街地建築物統計表　大阪府建築課　建築工事違反事件一覽表　大阪府建築課　地下水及其利用（四）　下枝勝利氏、高爐セメント規格（告示第一〇號）

七月號　口繪　大阪中央電信局　記事　奥丹後の激震と都市計畫　池田靈峰氏、京都市に於ける土地問題（二）　葛原豐氏、築意匠の東京と大阪　伊藤正文氏、地震と電鐵混凝土建造物　喜多村仁丸氏、新しい家二案　平野一男氏、船大工より見たる日本家屋　平田省三氏家屋耐震構造の概要（其二十）　山本久吉氏、火災の擴大に影響する建築物構造の缺陷　菅野久一氏、地下水及其利用（三）　下枝勝利氏、都市計畫彙報

八月號　口繪　丸萬ビルの原案　記事　一家の創等と愛の巢　池田實氏、衣食住片想　新名種夫氏、建築家の使令觀　喜多村仁丸氏、丸萬ビルデイングに就て　本間乙彦氏、住宅と門塀　松本儀八氏、工塲附屬寄宿舍規則　施行細則　大阪府令第六四、改良便所に關する注意　內務省衛生局

九月號　口繪　大阪遞信局　記事　都市住宅の間取に就て　伊藤正文氏、日本の建築學の發達は大正時代に示さる　Y、M生氏、住宅と地方色　松本儀八氏、都市計畫公告　渡邊久雄氏、史蹟名勝天然紀念物の指定地下水及其利用　下枝勝利氏、宿屋營業取締規則（大阪府令第一五七號）

十月號　口繪　山口銀行九條支店　記事　河岸地の利用と建築　池田實氏、建築批評に就て　伊藤正文氏、住宅と紫外線の利用　松本儀八氏、工塲安全週間に付いて　菅野久一氏、特別保護建築物燒失　カフエーと裝飾　源部實之助氏、燒角撓度法に依る連續梁の解法　山本久吉氏、生活改善から住宅へ　中尾保氏

十一月號　口繪　園南浴場　記事　能率增進と人物經濟　池田靈島氏、都市の河岸地　大屋生氏、カフエーと裝飾　澤部實

二月號　隱れたる天下の奇勝佛ヶ浦　本多靜六氏、神社境内雜感　大江新太郎氏、風景地の計畫と經營(第二講)　田村剛氏、江戸庭園の特殊的構設　横井時綱氏、手輕に出來る家庭園藝　吉田哲郎氏、千里山遊園地の改造設計　椎原兵市氏、睡蓮の咲く庭　第三回庭園技術研究會の記(庭木移植法の研究)　春浦生氏　協會記事

六月號　龍安寺の蜥蜴　中村清二氏、並木の樹種と其の美(第二回)　三浦伊八郎氏、石橋五種　故小川白楊氏、風景地の計畫と經營(第五)　田村剛氏、庭園命名小觀　遠山椿吉氏、感じたまゝ　金平亮三氏、寢殿造り庭園　龍居松之助氏、綠蔭樹について　故山崎林志氏、協會記事

七月號　ベルリン公園(其の三)　井上清氏、新に出來た大阪の公園と農園　方米治郎氏、本誌寄稿家の身元調べ　編輯部、庭園雜草の種類と驅除法　森林之助氏、佛ヶ浦の思ひ出　中村得太郎氏、甲斐駒ヶ岳登山記　平賀文男氏、獨逸ケーニンベルグに於ける健康展覽會小庭の實例　森脇龍雄氏、熊本縣の名所舊蹟　近野英吉氏、協會記事

八月號　(國立公園號)　國立公園調査機關の設置を望む　本多靜六氏、我が國に於ける國立公園運動　中越延豐氏、風景政策上より見たる國立公園問題　田村剛氏、國民保健上より見たる國立公園問題　氏原佐藏氏、ツーリスト事業と國立公園　筧正太郎氏、風景保存と國立公園と



之助氏、撓角撓度法に依る連續梁の解法　山本久吉氏

十二月號　口繪　ドイツに於ける新しき建築物　記事　住宅と地方色　松本儀八氏、高勾麗時代の李王宮の跡　都市計畫公告　カフエーと裝飾(其三)　澤部實之助氏、建築展に就ての雜感　平野一男氏、撓角撓度法に依る連續梁の解法(一二)　山本久吉氏、瓦の規格

## 庭園と風景

一月號　口繪　伊太利ペトラヤ宮苑　彦根樂々園にて　京都修學院離宮上、下御茶屋の圖　横濱原氏三溪園の櫻　日本アルプス上高地　朝のベーカー山(北亞米利加)　都の並木と田舍の並木　勸修寺の燈籠　獨逸ミュンヘン市廣場の修飾　北米合衆國セクオイア國立公園　東京震災記念堂設計圖案　往時の菊花陳列樣式　泉邸白馬山の遠望　記事　蓬萊、鶴龜、七五三の庭　龍居松之助氏風景地の計畫と經營(第一講)　田村剛氏、洋化庭園　本鄕高德氏、佛蘭西現代風景畫　黑田鵬心氏、風景寫眞の寫し方　福原信三氏、ドイツに於ける風景式造園の發達(一)　關口鍊太郎氏　京都名園の藝術的價値　重森三玲氏、堤塘植樹問題(上)　山本德三郎氏、京都名園見學の記　關倫三郎氏、造園ニュース　編輯部、協會記事

二月號　庭園と風景　日本庭園協會と　景園生氏、國立公園は清くありたい　花守人氏、北米合衆國々立公園一覽表　春浦生氏、新聞紙に現はれた最近の國立公園問題　編輯部、協會記事

九月號　風景地の計畫と經營(第六講)　田村剛氏、庭園の局部と其の樣式(天)　西川浩氏、東京で見た二三のこと　金平生氏、並木の樹種と其の美(第三回)　三浦伊八郎氏、大垣市某家新庭寫生圖集(其一)　五島甚之介氏、鎌倉、室町時代の庭園　龍居松之助氏、景觀無比の苗場山　市川政司氏、秋の花五題　山崎兵四郎氏、府縣山林會の新使命　綠川祿氏、習作(市內公園設計圖)　松井正一、郊外公園候補地東村山紀行　春浦生、東京震災紀念堂設計成る　全國名勝案內展覽會を見て　原山要太郎氏、協會記事　十月號　菊と菊花壇に就て　市川政司、遊園地として豐島園　戶野琢磨氏、復活したる東京の名園を見る　龍居松之助、大震災と東京市の公園　井下清氏、秋季佛展の風景畫　黑田鵬心氏　我が造園樹木に對する考察　田中牧吉氏、大垣市某家新庭園寫生圖案(其二)　五島甚之介、協會記事

十一月號　風景地の計畫と經營(第七講)　田村剛氏、手水鉢さま〴〵　高村弘平、府縣公園に就いて　中越延豐、安土、桃山時代の庭園　龍居松之助、風景美の美的觀賞　重森三玲、茶庭三題　春浦生氏、支那の風景と庭園　後藤朝太郎氏、潮來、鹿島、筑波巡り　景園生氏、造園叢書執筆者の言葉　各著者、最近の造園界　輯部、協會記事

十二月號　山村農村の美化と森林公園　本多靜六氏、富士五湖を廻りて　綠川祿氏、石燈籠の話　龍居松之助氏、或る對話　T、K氏、風景地の計畫と經營(第八講)　田村剛氏、向島百花園に於ける人糞の話　愚翠風氏

四月號　昭和新春の住宅建築に就て　松本與作氏、支那沿海岸に於ける天日製鹽　稻垣恭一郎氏、工業所有權に就て(其四)　崎田弘氏、自然の大　コンクリート電柱に就て　河野氏、帝都の洋風建築觀(下)　津田鑒氏、食料化學?　本邦に於ける鑛業行政の內容　高橋哲彌氏、ラヂオ用鑛石の種類と其諸性に就て(其二)　SI生氏、家庭用電熱器の概說　坂年次郎氏、工場雜感(其三)　三澤爲磨氏、常壓に於ける水性瓦斯より石油の合成　山根茂氏

五月號　鑛業と坑內勞働者の健康　舟橋了助氏　鐵道測量の實際に就て(其四)　東福寺正雄氏、製造工場に於ける動力分配　幡野佐一氏、建築最新問題一つ　幡谷清氏、工業問題雜集　火山現象に就て　竹田勝氏、工業問題雜集　高橋哲彌氏、支那沿海岸に於ける天日製鹽(其二)　稻垣恭一郎氏、實施設計計算帳より　田口良太氏、輸入木材の種類と內地產木材との比較

六月號　鐵道測量の實際に就て(其四)　東福寺正雄氏、ラヂオ用鑛石の種類と其諸性に就て(其三)　SI生、工業問題雜集　工業所有權に就て(其二)　西勝造氏、隧道の理想的斷面と流量　高橋清藏氏、作業時間の測定(其四)　工藤宗眞氏、屑屋閑談　工業界最新問題一つ　幡谷清氏、工業問題雜集　工業所有權に就て(其二)　崎田弘氏、自動信號に就て　竹田勝氏、工業問題雜集　火山現象に就て　高橋哲彌氏、工界と人　工業問題雜集　電話用語集　江縫三七郎氏

二月號　累卵の工場　鑛山學と其研究に就て　米倉舟橋了助氏、朝鮮咸鏡北道の石炭に就て　清族氏、最近運轉中の全國發電機數　鐵道測量の實際に就て　東福寺正雄氏、盾構(Shield)に就て(其二)　西勝造氏、それだけの紙幣が世間から消えてるるか　工業界最新問題一つ(其二)　幡谷清氏、驚異すべき米國の發電能率　工業所有權に就て(其三)　崎田弘氏、工界と人　工業上より見たる人糞の話　愚翠風氏

就て(其五)　崎田弘氏、實施設計計算帳より(其二)　田口良太氏、工業問題雜集　新しき鐵筋混凝土「アーチ」型枠　高橋清藏氏、御藏入電氣株式會社大志發電所建設工事概要　小田一郎氏、工業問題雜集　工業常識漫談　平野井雷治氏、八月號　工業界と國土　內外の變化と對案　添田壽一氏、進々たる本邦人口の增加　鐵道測量の實際に就て(其五)　東福寺正雄氏、東京附近の下水道の施設　稻垣恭一郎氏、ラヂオ用鑛石の種類と其諸性に就て(其四)　SI生氏、製造工場に於ける材料管理　三澤爲磨氏、人體に含まるゝ化學要素隅田川に硫酸の含有　糞尿問題　中野得壽氏、工業問題雜集　九月號　電力國營問題に就て　矢部爲藏氏。工業問題雜集　米國の山岳地方に於ける鐵道の一例　東福寺正雄氏、工業問題雜集　連續木桶管の桶板及「バンド」の設計と其施工　川合禮吉氏　最新式自働發電所　佐々木恒太郎氏、地下鐵道の建設を終へて　山里倚行氏、工業問題雜集　油脂から石油を造る話　藤田生氏、土の種明し　大東京をいろどる隅田川の今昔　林有一氏　十月號　人口と食糧問題　其後の本邦アルミニウム工業　幡谷清氏、アルミニウム雜話　流量測定計算圖表　高橋清藏氏、機關車用水判定標準　配電線の負荷中心早見法　松本顯雄氏、工業問題雜集　鐵道測量の實際に就て(其六)　東福寺正雄氏、ラヂオ用鑛石の種類と其諸性に就て(其五)　SI生、建物の修繕に就て　津田鑿氏、明治神宮繪畫館拜觀之記　林有一氏、產室に於ける支那(其二)　福井倉吉氏

## 土木建築　工事書報

(自第三卷第七號至第三卷第十二號六冊分)

第七號　口繪　金剛山の奥萬物相　記者氏、漢江橋梁經口繪　朝鮮を見るの態度　記者氏、月島第二公園　記者、間增設工事概要　新田留次郎氏、同二〇〇呎構　關根要太郎氏、大阪市下水道桁上昇工事順序連續寫眞　清水幸次氏、仁川港市岡抽水所促進汚泥法下水處理裝置に就て　鈴赴戰江水力發電工事現況　久保田豐氏、朝鮮の話(其の一)　朝鮮木義一氏、初めて朝鮮を見る　記者、工事基本生れた名著　記者氏、朝鮮の話(其の二)　朝鮮知識講座昭和二年第七編混凝土の W orkability　鐵道局、初めて朝鮮を見る　記者、大阪市測定新裝置　吉田德次郎博士報文より、工事基ける混凝土及び鋼鐵材の折斷に關する新工法　本知識講座昭和二年第八編爆藥カーリットを坑中山忠三郎氏、高森線バランスドアーチ橋工事　內にて安全に使用する方法　野原氏夫、河西生氏、隅田川橋梁二〇〇呎拱桁更換工事　第九號　口繪　橫濱の復興橋小景　木村喬氏、志賀僑介氏、初めて朝鮮を見る　記者、大阪市利根川線水力發電工事に就て　鶴田勝三氏、關下水道市岡抽水所促進汚泥法下水處理裝置に就門間大瀨戶地質調查用浮足塲　加賀山學氏、三て　鈴木義一　味線堀公衆食堂　近藤伊三郎氏、御所隧道工事　第十號　朝鮮國道橋晋州橋　鈴木板鐵氏、橫濱中山忠三郎氏、高森線バランスドアーチ橋工事　復興、築地橋、新田間橋　木村喬氏、大阪市護岸河西生氏、隅田川橋梁二〇〇呎拱桁更換工事　工事對照　田中有泰氏、ホーランドトンネル工志賀僑介氏、初めて朝鮮を見る　記者、大阪市　事　阿部美樹志氏、旅客用架空索道の利用一例　第八號　口繪　京王閣立圓ホール　下水道市岡抽水所促進汚泥法下水處理裝置に就徑間五〇〇呎のバランスドアーチ第一白川橋梁　都築通督氏、旅客索道の知識　石田美喜藏氏、て　鈴木義一　工事　建設局工事課、電車軌道の新改良方法の　初めて朝鮮を見る　記者、四谷御所隧道工事　發見　阿部邦衛氏、テルミツトデヨイント(記　中山忠三郎氏、作久發電所の工事狀況　鶴田勝者、伊太利道路視察雜感　牧野雅樂之亟、耐震構造上の經濟的設計になる八重洲ビルデングの　三氏、廣尾病院の新築工事　長根助八氏、工事



基本知識講座昭和二年第十編鐵筋コンクリートの耐震價値と施工法(一)　阿部美樹志氏、著名工事視察の手引　編輯部、懸賞募集(オナンデーターの簡便なる構造)應募條件

第十一號　口繪　二重橋正門の改修工事　編輯部、明治大帝御尊像　編輯部、駒形橋　森田三郎氏、藏前橋工事　小室親氏　清水港修築工事概要　須山英次郎氏、名古屋港の新跳開橋、三好橋　鈴木雅次氏、クシュマン發電所工事　鶴田勝三氏、旅客索道の知識　石田美喜藏氏、澁谷線の高架鐵道工事　大河內甲一氏、隅田火力發電所增設工事　太田國嘉氏、明治小學校新築校舍に就て　原田俊之助氏、工事基本知識講座昭和二年第十編鐵筋コンクリートの耐震價値と施工法(二)　阿部美樹志氏、著名工事視察手引

第十二號　信越間信濃川水力利用計畫の變更に就き　原田貞介氏、東京府荒玉水道町村組合水道敷設一班　西大條覺氏、肥薩線工事　鐵道省建設局工事課、十日町線の內ケ巻隧道　鐵道省建設局工事課、東京鐵道病院再築工事概要　寺田勇一氏、東京鐵道病院の工事　吉田美作氏、鐵骨工事中のデリック倒壞　記者、清水港修築工事狀況　須山英次郎氏、東京市鋤鍊式浚渫船「筑波」　篠崎正秋氏、信濃川大河津自在堰復舊工事近況　鶴田勝三郎氏、旅客索道の知識　石田美喜藏氏　工事基本知識講座昭和二年第十編鐵筋コンクリート耐震價値と施工法(三)　阿部美樹志氏、著名工事視察手引　編輯部

## 圖書一覽

(昭和二年度出版ニ係ル)

□日本建築詳細圖(第一、二集)遠藤於菟、大倉書店、一、八〇、第二、仝、一、八〇、これからの室內裝飾、杏谷延雄、太陽堂、五、五〇、□煖房換氣工學、大澤一郎、櫻井省吾、丸善、仝、二、五〇、□舞臺建築、岡田忠一、岡田商三、八〇、□民俗と建築、今和次郎、磯部甲陽堂、七〇、□世界建築年鑑、池田仲次郎、帝國建築協會、□フランクロイド作品集(第二)　須原屋書店、四、〇〇、□西洋住宅百圖、遠藤於菟、大倉書店、五、〇〇、□家を住みよくする法、文化生活研究所、時事新聞社、三、〇〇、□最新建築工事材料便覽、松本甚三、鈴木書店(建築篇)工學會、其社、一五、〇〇、□土木建築工事用機械(上卷)志水直彥、東京工學社、四三、二〇、□都市計劃　橡內吉胤、のれん屋、二、〇〇、□新らしき窯圖桑とその構造、永原與藏、仝、二、五〇、□新らしき欄間圖案、仝仝、二、五〇、□舞臺建築、岡田忠一、岡田商事出版部、八五、□混凝土及鐵筋混凝土(上卷)芹澤英二、アルス、三、五〇、□現代住宅の樣式、大野貞三、東亞堂、宮本武之輔、日本工人倶樂部、三、五〇(下卷)三、三〇、□最新和洋建築設計及製圖法、佐藤仝、仝、三、五〇、□西洋建築剖型蛇腹面物全己之吉、中央工學會、二、〇〇、□耐集、松田學、□帝國建築協會、二、〇〇、□震耐火建築構造、武田五一、大阪每日新聞社、一、八〇、□英國の住宅政策、東京市政調查會其社、六〇、□住宅家具の改善、生活改善同盟會其會、一、〇〇、□新らしき家と家具裝飾、木檜怒一、博文館、三、五〇、□鐵筋混凝土構造、伊藤貞吉、洪洋社、一、五〇、□近代の歐州建築大內秀一郎、仝、二、〇〇、□建築工事仕樣見積の實例、福井義長、修文館、四、五〇□住宅と常識、近藤坂一郎、千草書店、八〇、□茶室と茶庭、保岡勝也、鈴木書店、四、八〇□建築年鑑、昭和二年度、濱松義雄、建築世界社、七、〇〇、□近代室內美術圖案、宮下孝雄日本工藝學會、一、八〇、□最近工場建築及設備、高本源之助、早大出版部、五、五〇、□日本建築史、天沼俊一、飛鳥園、四、八〇、□鐵筋コンクリート建築物電燈工事設計、菊地昇、電友社、二、五〇、□土木建築工事用砂利、江畑弘毅、工業雜誌社、四、八〇、□明治工業史(建築篇)工學會、其社、一五、〇〇、□土木建築工事用機械(上卷)志水直彥、東京工學社、四、〇〇、□鐵筋混凝土構造計算表と圖表(第二丁形)梁井上新二、建築研究會五、三〇、□現代住家間取百選(上卷)芹澤英二、アルス、三、五〇、□現代住宅の樣式、大野貞三、東亞堂、三、三〇、□最新和洋建築設計及製圖法、佐藤仝、仝、三、五〇、□西洋建築剖型蛇腹面物全集、松田學、□帝國建築協會、二、〇〇、□耐震耐火建築構造、武田五一、大阪每日新聞社、

# 特別保護建造物指定

大正十五年中に於て特別保護建造物の資格ありとして文部省から指定された

大覺寺宸殿　桁行六六尺一寸、梁間四四尺八寸四分、單層屋根入母屋造、檜皮葺　京都府葛野郡嵯峨町大覺寺境内

稻荷神社御茶屋　桁行二三尺二寸、梁間二六尺單層、屋根入母屋造上部棧瓦葺腰廻檜皮葺、玄關車寄之附屬ス　同府紀井郡深草町大字福稻稻荷神社境外地

淨土院客殿　桁行三〇尺一寸梁間三三尺七寸單層屋根入母屋造檜皮葺　同府久世郡宇治町淨土院境内

丹生神社本殿　一間社春日造屋根檜皮葺　奈良縣添上郡柳生村丹生神社境内

東光寺本堂（藥師堂）　桁行五間梁間五間重層屋根入母屋造檜皮葺　山梨縣西山梨郡里垣村東光寺境内

寶福寺塔婆（三重塔）　三間三層塔婆屋根初重二重本瓦葺三重銅板葺　岡山縣吉備郡總社町寶福寺境内

妙本寺鎭守堂　一間社流造屋根柿葺　同　同郡大和村妙本寺境内

光明坊塔婆（十三重石塔婆）　十三層石塔婆　廣島縣豐田郡南生口村光明坊境内

安國寺釋迦堂（大雄寶殿）　桁行三間梁間三間單層屋根入母屋造本瓦葺　廣島縣沼隈郡靱町安國寺境内

水無瀨宮社務所　桁行六間梁間五間單層屋根入母屋造棧瓦葺　大阪府三島郡島本村水無瀨宮境内

同　宮茶室　桁行廿六尺梁間十三尺三寸單層屋根四注造茅葺　同　境内

西宮神社本殿　三連春日造屋根檜皮葺　兵庫縣西宮市西宮神社境内

同社表大門　四脚門屋根切妻造本瓦葺　同社境内

天津神社本殿　一間社春日造屋根檜皮葺　奈良縣添上郡柳生村天津神社境内

太郎生村國津神社本殿　一間社流造屋根檜皮葺　三重縣一志郡國津神社境内

高倉神社本殿　一間社流造屋根檜皮葺　三重縣阿山郡新居村高倉神社境内

同境内八幡社々殿　一間社流造屋根檜皮葺　同社境内

同境内春日神社々殿　一間社春日造屋根檜皮葺　同社境内

定光寺本堂（佛殿）　桁行五間梁間五間重層上層假屋根切妻造柿葺　愛知縣春日井郡品野町定光寺境内

八幡宮本殿　三間社流造屋根檜皮葺　愛知縣額田郡福岡町八幡宮境内

西明院外五ヶ院塔婆（三重塔）　三間三層塔婆屋根本瓦葺　岡山縣和氣郡香登村西明院外五ヶ院境内

藥師堂　方三間單層屋根寶形造柿葺　和歌山縣伊都郡高野村大字高野山五ノ室谷

同堂位牌堂　方三間單層屋根寶形造柿葺同金剛峯寺境内

# 特別保護建造物
## 文部省指定

### 特別保護建造物指定

大正五年五月卅四日文部省告示第八三號

古社寺保存法第四條に依り左記の建造物を以つて特別保護建造物の資格あるものと定む

大仙院本堂（方丈）附玄關　桁行正面三間後面七間梁間左側面四間右側面五間單層屋根入母屋造檜皮葺現今假、棧瓦葺玄關桁行二間梁間一間單層屋根切妻造檜皮葺現今假棧瓦葺　京都府愛宕郡大宮村大仙院境内

法泉寺石塔婆　十三重石塔婆（相輪ヲ欠ク）　同綴喜郡草内村法泉寺境内

西願寺阿彌陀堂　方三間單層屋根寶形造茅葺





千葉縣市原郡平之村西願寺境内

法華寺塔婆（五重塔）　三間五層塔婆屋根銅板葺

同葛飾郡中山村法華寺境内

同寺法華堂附四足門　桁行五間梁間四間單層屋根入母屋造銅板葺、四足門屋根切妻造布葺　同寺境内

龍王院仁王門　八脚門屋根四注造茅葺　千葉縣香取郡清水町龍王院境内

神野寺表門　四脚門屋根切妻造茅葺　同君津郡秋本村神野寺境内

大聖寺不動堂　桁行三間梁間三間單層屋根四注造茅葺　同夷隅郡大原町大聖寺境内

石堂寺本堂　桁行四間梁間三間單層屋根四注造茅葺　同安房郡丸村石堂寺境内

阿彌陀堂本堂　桁行五間梁間四間單層屋根四注造茅葺　栃木縣芳賀郡益子町阿彌陀寺境内

網神社本殿　三間社流造屋根茅葺　同網神社境内

圓通寺表門　四脚門屋根切妻造茅葺　同七井村圓通寺境内

石上神宮攝社出雲建雄神社拜殿　桁行五間梁間一間單層屋根切妻造檜皮葺　奈良縣山邊郡丹波市町石上神宮境内

御靈神社本殿　一間社春日造屋根檜皮葺　同宇智郡牧野村御靈神社境内

同社境内早良神社及他戸神社々殿　各一間社流造屋根檜皮葺　同社境内

造屋根檜皮葺　同社境内

東照宮社殿　本殿桁行三間梁間三間石ノ間桁行三間梁間一間拜殿桁行五間梁間二間權現造單層屋根檜皮葺唐門瑞垣之ニ附屬ス　和歌山縣海草郡和歌浦町東照宮境内

天滿神社本殿　桁行五間梁間二間單層屋根入母屋造り檜皮葺　同天滿神社境内

金剛院塔婆（三重塔）　三間三層塔婆屋根檜皮葺（現今棧瓦葺相輪を缺く）　京都府加佐郡志樂村金剛院境内

金剛院境内古宮神社々殿　一間社流造屋根柿葺　同野洲郡野洲町稻荷神社境内

日部神社本殿　桁行三間梁間三間單層屋根入母屋造本瓦葺　大阪府泉北郡雀田村日部神社境内

櫻井神社拜殿　桁行五間梁間三間單層屋根切妻造り本瓦葺　同上神谷村櫻井神社境内

交野神社本殿　一間社流造屋根檜皮葺　同所河内郡樟葉村交野神社境内

同社末社八幡神社々殿　一間社流造屋根檜皮葺　同社境内

片野神社本殿　三間社流造屋根檜皮葺　同牧野村片野神社境内

東照宮社殿　本殿桁行三間梁間三間石ノ間桁行三間梁間一間拜殿桁行五間梁間二間權現造屋根檜皮葺唐門瑞垣之ニ附屬ス　和歌山縣有田郡岩倉村藥師堂境内

三間梁間一間拜殿　桁行三間梁間三間單層屋根四注造茅葺　同法音寺本堂　桁行三間梁間三間單層屋根四注造茅葺　同法音寺境内

西蓮寺仁王門　三間一戶單層門屋根四注造棧瓦葺　同行方郡王川村西蓮寺境内

輪王寺本堂（三佛堂）　桁行九間梁間六間重層入母屋造銅板葺　栃木縣上都賀郡日光町輪王寺境内

日吉神社本殿樓門　三間一戶樓門屋根入母屋造檜皮葺　滋賀縣滋賀郡坂本村日吉神社境内

同社末社東照宮社殿　本殿桁行三間梁間三間石ノ間桁行三間梁間一間拜殿桁行五間梁間二間權現造屋根銅板葺　同社境内

稻荷神社境内古宮神社々殿　一間社流造屋根柿葺　同野洲郡野洲町稻荷神社境内

小田神社樓門　三間一戶樓門屋根入母屋造茅葺　北里村小田神社境内

奧ノ院鏡天堂　方三間單層屋根寶形造茅葺　福島縣河沼郡柳津村奧ノ院境内

王子神社本殿　桁行五間梁間四間單層屋根四注造茅葺　同田村郡七郷村王子神社境内

金色堂覆堂　方五間單層屋根寶形造茅葺（現今棧瓦葺）　岩手縣西磐井郡平泉村金色堂境内

藥師堂　桁行三間梁間三間單層屋根四注造茅葺　和歌山縣有田郡岩倉村藥師堂境内

法音寺本堂　桁行三間梁間三間單層屋根四注造茅葺　同法音寺境内

大寶寺本堂　桁行三間梁間四間單層屋根四注造本瓦葺　愛媛縣溫泉郡鵜美村大寶寺境内

楞嚴寺山門　四脚門屋根切妻造茅葺　同西茨城郡北山内村楞嚴寺境内

大正六年八月拾三日文部省告示第百三七號

彌彥神社內末社十柱神社々殿　桁行三間梁間三間單層屋根入母屋造茅葺　新潟縣西蒲原郡彌彥村彌彥神社境內

普光寺毘沙門堂　桁行五間梁間五間單層屋根入母屋造茅葺　同南魚沼郡浦佐村普光寺境內

西蓮寺相輪堂　青銅製　茨城縣行方郡玉川村西蓮寺境內

輪王寺相輪堂　青銅製　栃木縣上都賀郡日光町輪王寺境內

十輪院南門　四脚門屋根切妻造本瓦葺　奈良縣奈良市十輪院町十輪院境內

新藥師寺地藏堂　方一間單層屋根入母屋造本瓦葺　同高畑町新藥師寺境內

新藥師寺東門　四脚門屋根切妻造本瓦葺　奈良縣奈良市高畑町新藥師寺境內

觀音寺本堂　桁行五間梁間五間單層屋根四注造本瓦葺　三重縣津市大官町觀音寺境內

大寶院本堂（阿彌陀堂）　桁行三間梁間五間單層屋根四注造本瓦葺　同大寶院境內

西來寺奧殿　桁行前面八間後面七間右側四間左側三間單層屋根四注造本瓦葺　同二部西來寺境內

日吉神社日吉三橋　本宮橋石造十二脚勾欄附走井橋石造六脚太神橋石造十二脚勾欄附　滋賀縣滋賀郡板本村日吉神社境內

同社東照宮橋　石造六脚勾欄附　同社境內

延曆寺相輪堂　青銅製　同延曆寺境內

明通寺塔婆（三重塔）　三間三層塔婆屋根柿葺（現今棧瓦葺）　福井縣遠敷郡松永村明通寺境內

妙成寺樓門　三間一戶樓門屋根入母屋造柿葺　同愛知縣荒子村觀音寺境內

觀音寺塔婆（多寶塔）　三間二層塔婆屋根銅板葺（現今棧瓦葺）　石川縣羽咋郡上甘田村妙成寺境內

同寺書院　桁行七間梁間五間單層屋根切妻造柿葺（現今棧瓦葺）　同寺境內

大正十年四月　十日文部省告示第三五二號

寶積寺塔婆（三重塔）　三間三層塔婆屋根本瓦葺　京都府乙訓郡大山崎村寶積寺境內

白玉手祭來酒解神社神輿庫　方一間板組屋根切妻造本瓦葺　同白玉手酒解神社境內

御靈神社本殿　三間社流造屋根檜皮葺　岡山縣兒島郡鄉內村熊野神社境內

長福寺塔婆（三重塔）　三間三層塔婆屋根柿葺（現今下二重茅葺）　同英田郡福本村長福寺境內

大正　一年七月十三日文部省告示第三六七號

平野神社本殿　比翼春日造屋根檜皮葺　京都市上京區平野宮本町平野神社境內

黃海院本堂附玄關　桁行七間梁間七間單層屋根入母屋造棧瓦葺　京都府紫野大德寺町大德寺境內

天球院本堂附玄關　桁行七間梁間六間單層入母屋造棧瓦葺　同葛野郡花園村妙心寺境內

建長寺本堂（佛殿）　桁行五間梁間五重層屋根四注造銅板葺　神奈川縣鎌倉郡小坂村建長寺境內





同寺昭堂（禮堂）　桁行五間梁間五間單層屋根四注造茅葺　同寺境內

同寺唐門　向唐門屋根銅板葺　同寺境內

圓福寺本堂　桁間三間梁間三間單層屋根四注造本瓦葺　奈良縣生駒郡南生駒村圓福寺境內

來迎寺客殿　桁行十間梁間六間單層屋根左切妻造右入母屋造棧瓦葺　滋賀縣滋賀郡下坂本村來迎寺境內

伊砂砂神社舊本殿　一間社流造屋根檜皮葺　同粟田郡沼田村伊砂砂神社境內

法住寺虛空藏堂　桁行三間梁間四間單層屋根入母屋造銅板葺　長野縣小縣郡東內村法住寺境內

前小寺塔婆（二重塔）　三間三層塔婆屋根柿葺　同西鹽田村前山寺境內

金剛峯寺奧院經藏　方三間單層屋根寶形造檜皮葺　和歌山縣伊都郡高野村金剛峯寺境內

金剛三昧院經藏　三間三向校倉造屋根四注造檜皮葺　同寺境內

住吉神社本殿　桁行四間梁間二間住吉造屋根檜皮葺　福岡縣筑紫郡住吉町住吉神社境內

香椎宮本殿　桁行三間梁間三間外陣左右獅子間各一間香椎造單層屋根檜皮葺　同轉屋郡香椎村香椎宮境內

大正十二年三月二八日文部省告示第二一二號

十八神社本殿　三間社流造屋根柿葺　京都府宇治郡宇治村十八神社境內

佐牙神社本殿　一間社春日造屋根檜皮葺　同綴喜郡三山木村佐牙神社境內

白山神社本殿　一間社流造屋根板葺　同白山神社境內

神童寺本殿　桁行三間梁間三間單本瓦葺　同相樂郡高麗村神童寺境內

觀心寺詞梨帝母天堂　一間社流春日造屋根檜皮葺　大阪府南河內郡川上村觀心寺境內

觀心寺書院　桁行七間梁間五間單層屋根四注造本瓦葺　同寺境內

朝光寺本堂　桁行七間梁間七間單本瓦葺　兵庫縣加東郡米田村朝光寺境內

彌勒寺本堂　桁行三間梁間五間單層屋根入母屋造本瓦葺　同飾磨郡菅野村彌勒寺境內

乙寶寺塔婆（三重塔）　方三間三層塔婆屋根棧瓦葺　新潟縣北蒲原郡乙村乙寶寺境內

平等寺藥師堂　桁行四間梁間五間單層屋根入母屋造茅葺　同東蒲原郡三川村平等寺境內

愛宕神社本殿　一間社流造屋根茅葺　栃木縣芳賀郡益子町愛宕神社境內

天神社本殿　一間社春日造屋根檜皮葺　同吉野郡賀名生村春日神社境內

日吉神社提社大神神社樓門　三間一戶樓門屋根入母屋造檜皮葺　滋賀縣滋賀郡坂本村日吉神社境內

大神神社拜殿　桁行九間梁間四間屋根切妻造檜皮葺　奈良縣磯城郡三輪町大神神社境內

本遠寺樓門　三間一戶樓門屋根入母屋造棧瓦葺　愛知縣名古屋市南區熱田田中町本遠寺境內

觀音寺塔婆（多寶塔）　三間二層塔婆屋根銅板葺　同愛知郡荒子村觀音寺境內

幡頭神社本殿　三間社流造屋根檜皮葺　同幡頭郡吉田村幡頭神社境內

大恩寺念佛堂　桁行五間梁間五間屋根入母屋造棧瓦葺　同賣飯郡御津村大恩寺境內

吉御子神社本殿　三間社流造屋根檜皮葺　滋賀縣甲賀郡石部町吉御子神社境內

熊野神社本殿　一間社春日造屋根檜皮葺　岡山縣兒島郡鄉內村熊野神社境內

長福寺塔婆（三重塔）　三間三層塔婆屋根柿葺（現今下二重茅葺）　同英田郡福本村長福寺境內

膳所神社表門　藥醫門屋根本瓦葺　滋賀縣滋賀郡膳所町膳所神社境内
篠津神社表門　高麗門屋根本瓦葺　同篠津神社境内
鞭崎神社表門　同　同栗太郎老上村鞭崎神社境内
不動寺本堂　桁行三間梁間三間單層屋根四注造檜皮葺　同下田上村不動寺境内
新宮神社表門　三間一戸門屋根四注造茅葺　同甲賀郡南杣村新宮神社境内
苗村神社東本殿　一間社流造屋根檜皮葺　同蒲生郡苗村苗村神社境内
久津八幡神社拜殿　桁行五間梁間四間單層屋根入母屋柿葺　岐阜縣益田郡萩原町久津八幡神社境内
神宮寺本堂　桁行五間梁間六間單層屋根四注造柿葺　福井縣遠敷郡遠敷村神宮寺境内
神宮寺仁王門　八脚門屋根切妻造柿葺　福井縣遠敷郡遠敷村神宮寺境内
護國八幡宮社殿　本殿幣殿釣殿拜殿ヲ合シテ成ル屋根柿葺　富山縣西礪波郡埴生村護國八幡宮境内
本山寺本堂(觀音堂)　桁行五間梁間五間單層屋根入母屋造本瓦葺　香川縣三豐郡本山村本山寺境内
大正十四年三月
本圀寺經藏(輪藏)　三間四面單層屋根寶形造本瓦葺　京都市下京區柿本町本圀寺境内
教王護國寺經藏(經藏)　三間三面校倉造屋根四注本瓦葺　京都市下京區九條町教王護國寺境内
新殿神社石塔婆　十三重石塔婆　京都府相樂郡山田莊村新殿神社境内
十輪院石佛龕　石造佛龕　奈良縣奈良市輪院町十輪院境内
不動院本堂　桁行五間梁間四間單層屋根四注造本瓦葺　同北葛城郡高田町不動院境内
縣所寶塔　石造寶塔　滋賀縣野洲郡小津村縣所境内
加茂神社本殿　一間社流造屋根檜皮葺　滋賀縣甲賀郡土山町加茂神社境内
飯道神社本殿　三間三面單層屋根入母屋造正面千鳥破風軒唐破風附檜皮葺　滋賀縣甲賀郡雲井村飯道神社境内
遍照院塔婆(三重塔)　三間三層塔婆屋根本瓦葺　岡山縣淺口郡河内村遍照院境内
八幡神社本殿　桁行五間梁間三間單層屋根入母屋造檜皮葺　同上房郡吉川村八幡神社境内
沖繩神社拜殿　桁行十一間梁間七間重層屋根入母屋造向拜唐破風附本瓦葺　沖繩縣首里市當藏町沖繩神社境内
大正十五年三月
水無瀨宮社務所　桁行六間梁間三間二層塔婆屋根本瓦葺　大阪府三島郡島本村水無瀨宮境内
水無瀨宮茶室　桁行廿六尺梁間十三尺三寸單層屋根四注造茅葺　大阪府三島郡島本村水無瀨宮境内
西宮神社本殿　三連春日造屋根檜皮葺　兵庫縣西宮市西宮神社境内
西宮神社表大門　四脚門屋根切妻造本瓦葺　兵庫縣西宮市　西宮神社境内
天津神社本殿　一間社屋根入母屋造(妻正面)檜皮葺　兵庫縣美囊郡北谷村天津神社境内
國津神社石塔婆　十三重石塔婆　三重縣一志郡太郎生村國津神社境内
高倉神社本殿　一間社流造屋根檜皮葺　同阿山郡新居村高倉神社境内
同境内八幡社々殿　一間社流造屋根檜皮葺
同阿山郡新居村高倉神社境内
同春日社々殿　一間春日造屋根檜皮葺　同阿山郡新居村　高倉神社境内
定光寺本堂(佛堂)　桁行五間梁間五間重層上層假屋根切妻造柿葺　愛知縣春日井郡品野町定光寺境内
八幡宮本殿　三間社流造屋根檜皮葺　愛知縣額田郡福岡町八幡宮境内
西明院外五ヶ院塔婆(三重塔)三間三層塔婆屋根本瓦葺　岡山縣和氣郡香登村西明院外五ヶ院境内
藥師堂　方三間單層屋根寶形造柿葺　和歌山縣伊都郡高野村大字高野山五ノ室谷金剛峯寺境



内同位牌堂　同　同
大覺寺宸殿　桁行六六尺一寸梁間四四尺八寸四分單層屋根入母屋造棧瓦葺　京都府葛野郡嵯峨町大覺寺境内
稻荷神社御茶屋　桁行二三尺二寸及梁間二六尺單層根屋入母屋造上部棧瓦葺腰廻檜皮葺玄關車寄之ニ附屬　同紀伊郡深草町字福稻稻荷神社境内
淨土院客殿　桁行三〇尺一寸梁間三二尺七寸單層屋根入母屋造檜皮葺　同久世郡宇治町淨土院境内
丹生神社本殿　一間社春日造屋根檜皮葺　奈良縣添上郡柳生村丹生神社境内
東光寺本堂(藥師堂)　桁行五間梁間五間重層屋根入母屋造檜皮葺　山梨縣西山梨郡里垣村東光寺境内
宗福寺塔婆(三重塔)　三間三層塔婆屋根初重二重本瓦葺三重銅板葺　岡山縣吉備郡總社町寶福寺境内
妙本寺鎭守堂　一間社流造屋根柿葺　同大和村妙本寺境内
光明坊塔婆(十三重塔婆)　十三層塔婆　廣島縣豐田郡南生口村光明坊境内
安國寺釋迦堂(大雄寶殿)　桁行三間梁間三間單層屋根入母屋造本瓦葺　廣島縣沼隈郡鞆町安國寺境内



（昭和二年四月二十五日　文部省告示第二百十八號）

## 大覺寺宸殿（桁行六十六尺一寸、梁間四十四尺八寸四分、單層、屋根入母屋造、棧瓦葺）

古義眞言宗大本山　京都府葛野郡嵯峨町大覺寺境内

寺傳、延寶年間、後水尾天皇の御下賜と稱してゐる。其式を見るに江戸初期寶永頃の建造に係れる者の如く、當時を代表すべき美なる飾金具を裝してゐる。其柳松の間、牡丹の間、紅梅の間に於ける傳探幽筆墨畵、皆壯麗高雅觀るべきものである。

## 稻荷神社御茶屋（桁行二十三尺二寸、梁間二十六尺、單層、屋根入母屋造、上部棧瓦葺、腰廻檜皮葺、玄關車寄之ニ附屬ス）

官幣大社　京都府紀伊郡深草町大字福稻稻荷神社境外地

傳、元仙洞御所内の御茶屋なりしを、後水尾天皇當社神職羽倉延次に賜はりし者にして、始め本社樓門の南方にありしが、明治廿一年今の地に移し、大正七八年の頃更に多少の修築を加へ、大正十五年本社の所有に歸したのである。蓋し書院造を加味せる茶席建築にして、床脇棚並びに附書院欄間、釘隱等の手法を見るに、桃山時代に屬する者のやうである。明治年間移建の際、及び大正年間多少の增築をなせしも、主要部は當初のまゝ保存されてゐる。

## 淨土院客殿（養林庵書院）（桁行三十尺一寸、梁間三十二尺七寸、單層、屋根入母屋造、檜皮葺）

淨土宗　京都府久世郡宇治町淨土院境内

寺傳、養林庵は慶長六年、加傳和尚の開基にして此客殿は伏見城より移したと稱してゐる。其眞否知るべかざれども、床、棚廻り及び傳山樂筆と稱する金地襖繪、釘隱等皆桃山時代の特色を示してゐる、兎に角當時の簡素なる書院造の一例である。

## 丹生神社本殿（祭神　罔象女命）（一間社春日造、屋根檜皮葺）

村社　奈良縣添上郡柳生村丹生神社境内

創立、年代不詳なれども、本殿唐櫃内所藏の男神女神各一軀の像は藤原時代初頭に屬すべきものなるにより、創立の古きを知ることができる今の社殿は化粧棟木の銘によれば、嘉吉二年の再建にして、普通の一間社春日造なれども、拳鼻の手法、蟇股内部の彫刻、皆優秀にしてよく室町時代の特色を示し、高欄亦當初の遺制を存してゐる。

**東光寺本堂（藥師堂）**（桁行五間、梁間五間、重層、屋根入母屋造、檜皮葺）

本尊　藥師如來　臨濟宗妙心寺派

山梨縣西山梨郡里垣村東光寺境内

寺傳、弘長年間創立のまゝと稱すれども、樣式の手法は室町時代中期の特色を示してゐる。

**寶福寺塔婆**（三重塔）（三間三層塔婆、屋根初重二重、本瓦葺、三重銅板葺）

本尊　大日如來　臨濟宗東福寺派

岡山縣吉備郡總社町寶福寺境内

寺傳、弘長二年の建立と稱すれども其樣式より判すれば約四百年前のものゝ如く、よく室町時代の特徵を有す。普通の三重塔なれども、形態莊重、細部亦雄健、其斗拱の壁付肘木を上下共に通肘木より作り出せるは珍らしき例である

**妙本寺鎭守堂**（番神堂）（一間社流造、屋根柿葺）

本尊　法華護法佛　日蓮宗

岡山縣吉備郡大和村妙本寺境内

一間社流造にして、正面に軒唐破風を有せる者規模小なれども各種の繪樣、彫刻雄麗の風を帶びてゐる。其樣式を見るに、桃山時代に屬すべきものである。

**光明坊塔婆**（十三重石塔婆）

（十三層石塔婆）

古義眞言宗　廣島縣豊田郡南生口村光明坊境内

花崗石十三層の石塔婆にして、雄大完好、初層四面に圈内梵字を刻み、基壇東方に「永仁二年甲午七月日」云々と刻してゐる。

**安國寺釋迦堂**（大雄寶殿）（桁行三間、梁間三間、單屋根入母屋造、本瓦葺）

本尊　三尊阿彌陀如來　臨濟宗妙心寺派

廣島縣沼隈郡鞆町安國寺境内

當寺は曆應二年、足利尊氏の創建にして、此堂は寺傳、天正七年專瓊の再興と稱すれども、其手法を見るに室町時代に屬するものゝやうである。現今扉廻りは頗る麤朴なれども、主要部は よく當初の雄勁なる唐樣の形式手法を存し、當時の禪刹佛殿の好標本である。

## 建築關係特許品

（昭和二年度分）

第一一三五　人造花崗石製造法　静岡縣濱名郡新居町三三七九　佐藤時造

第二九五二　煉瓦ノ燒成窯　名古屋市西區北野町一ノ一　長谷川清治

第二九五八　耐酸煉瓦　岡山縣兒島郡宇野町字田井七三五三　加藤　密

第四三七七　御影模樣擬石製造法　名古屋市中區宮出町二二　伊藤清吉

第四三八二　階段用滑止メ（タイル）　東京市日本橋區箱崎町四ノ一　深谷辰次郎

第一一二　上下戸　東京市本鄉區弓町二ノ二七　大野正

第三七六　條片形屋根材料　北米合衆國ニューヨーク、サツフオーク、バビロントーマス、ロビンソン

第七〇一　木骨鐵筋（コンクリート）建築構造法　東京市外戸塚、諏訪一七一　山本楠男

第八六三　天井構造ニ關スル改良　北米合衆國オハイオ州ヤングシロン、アーヴイクトン、ストリート一四三三、スタンレー、マコムバー

第九九一　窓防塵裝置　東京市外下目黑六四前田藤與治

第一八二七　廻轉昇降窓　東京市外井萩町下萩窪二八七　加藤喜太郎

第一九八八　三重硝子屋根　東京市京橋區豊玉河岸三九　北上玉太郎

第一九九一　車輛用通風器　東京市牛込區築土八幡町三四　小林秀雄

第二二五七　組立家屋　東京市本所區中鄉八軒町三〇ノ一　鈴木啓正

第二二五九　寄木板　東京市日本橋區上槇町二一　成瀨　靖

第二七八二　防火シヤツター　東京市外西巢鴨池袋一四一〇　鈴木富太郎

第三四三三　格納天幕　大阪市港區安治川通二ノ二〇　宮武春次





第三五七〇　金屬板製屋根板　北米合衆國ペンシル、バニア州ピツツバーク、ジヨージ、エー、ベルデイング

第四〇六四　建物殊ニ二重壁改良　巴里市リユー、ド、ミロナニール三四、ラウール、ドクトル

第四〇八〇　扉閉鎖安全裝置　神奈川縣鎌倉郡川口村片瀨一三八九　黑部　昇

第四〇九七　金屬地下地板ニ瓦ヲ葺設スベキ方法　兵庫縣飾磨郡飾磨町玉地五三時田泰三郎

第四二六七　建築材料　ドイツ、ドルトムンド住　インジエニエール、ハインリツヒユツホー

第四八〇〇　コンクリート壁ヲ築ク裝置　米國ニユーヨーク、エルマイラ市ブルーマーアベニユ、第一一〇　ジヨン、マール、サージアント

第四九〇〇　組成材　大阪市港區南恩加島町一ノ一七　津崎勘一

第五〇三五　屋根硝子板支持裝置　大阪市此花區四貫島千鳥町一七　窪田猛男

第五一二九　堰板　東京市井萩町下萩窪三八二　藤本藤吉

第五一三三　建築組成材　東京市外千駄ヶ谷原宿六三　佐藤八百

第五一四四　壁体ブロック　横濱市青木町蟇町

第一七五四　山田源藏

第五一四八　コンクリート建築構造法　東京府下大森　衆國ミネソダ州ラムゼー郡セント、ポール市サムミツト、エンドライス、ストリートヂヨン、ヤール、ボエツ

第一六一　シヤッター左右開閉裝置　東京市外瀧ノ川上中里一三七七　田島壹號

第一二一九　可鍛性マグネシア、セメントノ製造法　ドイツ、ザクセン國ドレスデン市ツイセリツツ、シュトラーセ二六　カール、ウエヤチー

第一二六七　人造石ニ斑點模樣ヲ現ス方法　東京府下高圓寺四七八　西　常五郎

第一三三四　硝子面ヲ有スルコンクリート版製造法　北海道河西郡帶廣町西三條十ノ一　山越　尾

第一五一五　水捏式マグネシアセメント製造法　大阪市花園町六四　木村三郎

第一五三八　漆喰硬化促進劑兼用水性塗料製造法　大阪市花園町六四　木村三郎

第一五五四　表面ニ硝子板ヲ附着セル凝固体ノ製造法　京都市下京區東山通リ五條上ル梅林町五六三　小西龍太郎

第一五六六　土木建築材料製造法　神奈川縣鎌倉二階堂八六　野瀨當一

第一七二〇　型枠ヲ使用スルコンクリート成形法　甲府市江魚町二　小林鶴吉

第一七八五　被覆金屬板製造法　東京府下大森新井宿一一一八　重松傳三郎

第一八五七　被覆金屬板製造法　東京府下大森新井宿一一一八　重松傳三郎

第一九八五　帶黃色セメント製造法　大阪市港區八幡屋松ノ町一ノ二八四　石原辰治

第一九九〇　麻布ニマク壁面ヲ防水性ナラシムル方法　東京市外中野打越一八六八　森田交一

第二〇一三　硬質石綿盤ノ製造方法　大阪市西成區玉出町六三七　須川榮一

第二〇四八　コンクリート壁面等ニ水滴ヲ留マラシメサル塗工着材料　東京市外中目黑一二四二　小谷一郎

第二一九七　特ニ大塊ノ石炭燃燒用竪爐シヤフトノ排出裝置　塊地利國ウイーン市　エマヌエル、ゾーベック

第二二〇七　セメント又ハ石炭防水劑製造法　東京市外平塚下蛇窪五三五　矢中龍次郎

第二二一三　漆喰用角又代用物　東京市日本橋區箱崎町四ノ一　深谷辰次郎

第二二四二　石炭石灼燒爐　府下寺島町一七四二　沖　盛

第二三三四　粘土類又ハ「ボーキサイト」含有粘土類ヨリ「アルミナセメント」ヲ製造スル法　甲府市江魚町二　小林鶴吉

方法　小石川區林町五七　鈴木庸生
第二三八二　人造石等ノ原料製造法　ドイツ、ブラウンシュワイヒ市　ロベルト、シヨーンホーヘン
第二四〇四　和風荒壁不凍方法　淺草區向柳原町一ノ一八　白石幸治
第二四二一　漆喰製造及塗布法ノ改良　北米合衆國シカゴ、ファーゴー、アヴエンユー　ジヨン、ヴイクター、シエファー
第二四二九　建築物ノ「セメント」外張方法　府下大井町元芝六五四　岩田喜通
第二四六三　粘末狀耐酸耐熱性接合劑　兵庫縣加古郡別府一二四六　平野千里
第二六九八　壁材料　府下平塚下蛇窪五三五　矢中龍次郎
第二七〇三　廻轉式「セメント」窯ノ改良　府下大井町四六三六　齋藤八郎
第二七三九　人造赤間石石硯製造法　山口縣厚狹郡萬倉村西萬倉一五五　松谷精一
第三一七五　「セメント」製物体面ヲ液密耐酸及耐「アルカリ」性トナス處理方法　フランス、リヨン市ルイ、ダーナル四番　デュールアドルフ、アンリー
第三三九五　石材ノ加工法　大阪市東淀川區中津町三〇七　白田喜八郎
第三四四六　セメント製造型体ノ製造方法　福井縣今立郡東村字新在家一四　加藤榮太郎
第三四九〇　「セメント」龜裂防止劑製造方法　府下大井町元芝六五四　岩田喜通
第三四九九　コンクリート壁ニ於ケル施孔方法　芝區愛宕下町四ノ一　增山爲太郎
第三五三三　人工「ブロック、アスファルト」製造ろ　芝區琴平町一　多田學
第三六一〇　「セメント」加工品表面着色方法　府下蒲田町字淨田二一二　八巻廣
第三七六八　「セメント」防水劑ノ製造法　大阪市西區北堀江通リ六ノ一二　濱口卯之吉
第三八〇〇　耐水强靭「セメント」硬化法　牛込區市ケ谷臺町八　宿利英治
第三八〇一　型枠ヲ使用スルコンクリート成形法　甲府市紅梅町二　小林鶴吉
第四一八二　「セメント」粉塵處理裝置　府下巢鴨町一ノ九八　米元基次
第四二二四　水担式「マグネシア」セメント　大連市花園町六四　木村三郎
第四三二七　塗着ニ依リ床及壁面ヲ人造石トナス方法　大阪市北區源上江一ノ二三　古元作一
第四三七六　人造硝子大理石ノ製造法　京都市下京區三條通リ白川橋東入七丁目東分木町　星野甚三郎
第四四四七　大理石表面加工法　市外上尾久一〇二四　安田玄
第四四八三　防音壁用漆喰材料　大連市浪速町四ノ二〇七　寺田清藏
第四四九一　瀝青滲誘「ブロック」製造法　市外淀橋柏木四三九　三木榮三
第四五〇六　人造石製造法　京都市下京區東山通リ五條上梅林町五六三　小西龍太郎
第四五四七　釘打込ミ可能ノ輕量アスベスタ、コンクリート製造法　市外中目黒一二四二　小谷一郎
第四六五五　木床面舖裝置構成方法　小石川區指ケ谷二　倉田茂樹
第四七五二　「マグネシヤ」漆喰塗料　大連市花園町六四　木村三郎
第四八六二　人造石ノ製造方法　市内深川區富川町三　小路藏彦
第五〇〇六　建築用下地材軟性「モルタル」製造法　市外中目黒一二四二　小谷一郎
第五〇〇七　粘土類又ハ「ポーキサイト」含有粘土類ヨリ「アルミナセメント」製造法　小石川區林町五七　鈴木庸生
第五〇二三　「セメント」ノ風化方法　米國ペンシルヴアーニア州リーハイ郡カタソークワジエームス、ホイラー、フラー
第五〇九五　陸階屋根其他ノ氣密防水施工法　市外下目黒四八〇　北村寒吉



第五一一八「トンネル」内ノ製造線路床築造　芝區田村町六　谷山謙雄
第一一九　硬石膏ヲ水硬性ナラシムル方法　市外寺島一〇七四　須原伊豫
第一五四五　浴槽ノ改良　北米オハイオ州ウツトストツク　ベンジヤミン、ハリリンダー
第二四六九　塵除ケ窓　大阪市東區高麗橋四ノ一〇　山本信藏
第一一六五　便所自動洗滌裝置　名古屋市中區御器所町字大清水五六　滿仲喜三郎
第一三六一　便所自動洗滌裝置　市内赤阪區青山北町一ノ四　宮島康夫
第一五七六　對立連續型小便所裝置　神戸市北長狹町通二ノ一二九　須賀藤五郎
第一七一三　「サイフオン」式淨水裝置ニ於ケル開傘機械　市内赤阪區青山北町一ノ四　宮島康夫
第二三三六　便器　市内麹町區上六番町五　廣瀨松五郎
第二七五二　防臭便所裝置　市内京橋區南小田原町二ノ一二　外山繁太郎
第三六九七　自動瀉水便器　瑞典國ストクホルム市　エロフ、カール、ヤルマー、ルンドベルグ
第四一八五　糞便汲取裝置　麻布區飯倉町五ノ四〇　今井俊治
第二一九　重合「アスファルト」塗料ノ製造法　本所區菊川町一ノ四〇　小泉勝吉
第八　七　塗着劑　市外大久保百人町二八五　福井勇藏
第五七二　「セメント」其他ノ粉末包裝袋　市内富田町富野六八　小柳　都
第七七六　防錆法ノ改良　茨城縣多賀郡目立町字宮田六〇〇　杉田　收
第九七〇　防水加工法　市内京橋區桶町五　淺田安治郎
第一〇〇一　鐵製器物塗粧方法　大阪市港區岡抱月町三五　奥田次喜市
第一〇八二　塗料　市外西大久保一四四　青山直治
第一〇九六　「ペイント」洗淨保護發艶「クリーム」　大阪市西淀川區大仁町一〇五　高崎三郎
第一六二七　ウオーターペイント　市外代々幡町字中幡ヶ谷一四一八　前田永三郎
第一七四二　塗料剝離劑　大阪市西區立賣堀北通五ノ一八　山田三次
第一九三五　防腐耐水性防火處理法　市外下目黒四八〇　北村寒吉
第二〇〇一　「コンクリート」建築用防水布　大阪市住吉區住ノ江二七六　林八重吉
第二五八五　屋根材料製造方法　西宮市常盤町二五　津村芳三
第二六六三　調合「ペイント」及「エナメル」ノ製造法　赤阪區丹後町七七　藤田政輔
第二六七四　屋根材料製造法　府下上高田町二二　和田俊之
第二八七〇　防錆耐油塗料　神戸市長田村字大谷一五四番屋敷ノ二三　板倉光行
第二八七六　トンネル築造ノ改良方法　芝區田村町六　谷山謙雄
第二九七六　木材又ハ紙ノ表面電彩法　本所區北二葉町六　宮永可一
第三六六七　塗料製造法　大阪市南區御藏跡町五　竹村和夫
第四一七九　白色船底塗料　大阪府豐能郡豐島字原田八九三ノ八　大島重義
第四二五〇　防水劑　ロンドン市ユリヤースウツド、ハイストリート一七〇　チヤールス、ジヨセフ、モールトン
第四三八四　防錆塗料　神戸市長田字大谷一五四番屋敷ノ二三　板倉光行
第四七五四　塗料　市外寺島町七八一　近藤公一
第四八九七　塗料或ハ塗料混和物製造法　岡崎市花岡町八七　原　廣吉
第四九五五　船底塗料　大阪府豐能郡南豐島字原田八九三ノ八　大島重義
第四九六三　耐酸性塗料製造法　市内本郷區本

鄉五ノ四二　城竹德祐

第五〇六八　紙瓦　靜岡縣加茂郡白濱一九五

鈴木良平

第五二〇九　船底塗料ノ製造法　豊橋市花田町

齋藤八　相澤福大郎

第一三二　金庫塗粧法　日本橋區室町三ノ五

中川七太郎

第一三三　木船船底塗料製造法　尼ヶ崎市竹谷新田一二二　菅原小一郎

## 建築圖書並建築雜誌發行所

**アルス**　東京市小石川區表町（振替東京二四八八八）

**岩波書店**　東京市神田區南神保町一ノ二（電話九段一〇二二）

**大倉書店**　東京市日本橋區南茅場町二二（電話茅場町〇四一五）

**紀元社**　東京市神田區表猿樂町三

**建築世界社**　東京市京橋區桶町二一（電話京橋一五七五、振替東京一一二四〇）

**建築書房**　東京市京橋區松屋町三ノ一〇（振替東京六七二五五）

**建築畫報社**　東京市芝區琴平町二二（電話芝二三三四）

**洪洋社**　東京市牛込區市ヶ谷臺町一〇（電話牛込四四六二）

**崇山房**　東京市本郷區西須賀町一六

**工業教育會**　東京市神田區三崎町一ノ三

**工學書院**　東京市神田區表神保町三

**須原屋書店**　東京市京橋區桶町二一（電話京橋一五七五、振替東京四九六〇）

**信友堂**　東京市外中澁谷六二六（振替東京二四九七八）

**鈴木書店**　東京市日本橋區檜物町七（電話日本橋二五六五、振替東京二一二二七）

**裳華房**　東京市麹町區中六番町五四（電話四谷八八）

**住宅改良社**　東京市芝區琴平町虎ノ門前

**太陽堂**　東京市神田區南神保町九（電話四谷五七九四）

**太陽社**　大阪市南區長堀橋筋一ノ二四

**大日本工業學會**　東京市小石川區丸山町一（電話小石川一〇四〇）

**大正商工社**　東京市四谷區鮫河橋谷町三七

**田中平安堂**　京都市熊野神社西入（電話上四〇六四、振替大阪一五四三二）

**帝國工業教育協會**　東京市四谷區永住町一八

**汎工社**　東京市赤坂區高樹町一二一

**白水社**　東京市神田區表神保町一〇

**文潮社**　大阪市東淀川區中津町一九八



**中村盛文堂**　大阪市西區心齋橋筋一丁目

**丸善株式會社**　東京市日本橋區通三ノ一四（電話日本橋二一二〇、二一二一）

**早稻田出版部**　東京市外戸塚町下戸塚（電話牛込三四五）

**藝苑社**　大阪市住吉區天王寺町金塚九五一（振替大阪六七四七三）

**森江書店**　東京市麻布區飯倉町五ノ四四「電話青山一三五九、振替東京三七二」

## 土木建築雜誌一覽

建築雜誌　發行所　社團法人建築學會麹町區永樂町一ノ一（電話丸ノ内一六一六番振替東京一七一八七）每月二十五日發行、內容建築一般及會報、體裁四六倍判、定價一圓

建築と社會　發行所　日本建築學協會、大阪市北區中島二ノ二五江商ビル內（電話北四二九一振替大阪三九七五）每月一日發行、內容建築都市問題及ビ會報、體裁四六倍判、定價七五錢年九圓

日本建築士　發行所　日本建築士會東京市麹町區丸ノ內海上ビルデイング內（電話丸ノ內〇九三〇番振替東京五二三三一番）每月一回發行、定價六十錢、一ヶ年六圓

滿洲建築會雜誌　發行所　滿洲建築協會大連市紀伊町八五（電話三四一九振替大連三二六七）



每月十五日發行、內容建築一般、體裁四六判非賣

朝鮮と建築　發行所　社團法人朝鮮建築協會、朝鮮京城府黃金町二日本生命ビル三〇二號室、（電話本局一五二八振替京城一〇九七一）每月一日發行、內容建築一般及會報、體裁四六倍判定價七五錢

朝鮮土木建築協會々誌　發行所　社團法人朝鮮土木建築協會、京城府旭町一ノ六三（電話本局二四六七、一〇八三振替京城五二一九）每月十五日發行、內容、土木建築及ビ會報、體裁菊倍判定價三〇錢

建築世界　發行所　建築世界社、京橋區桶町二一（電話京橋一五七五振替東京一二四〇）發行人鈴木莊太郎、編輯者濱松義雄、沿革、明治四十一年七月十日創刊、每月十日發行、內容土木建築、體裁四六倍判、定價七十錢特別號（一月、七月）九十五錢半年四圓廿錢、兼業建築講義錄刊行、一ヶ月一圓二十錢、半ヶ年七圓、二ヶ年卒業

建築畫報　發行所　建築畫報社、芝區琴平町一二（電話芝二三三四振替東京一八六一八）社主兼編輯人鈴木忠助、沿革明治四十三年十一月創刊、每月一日發行、內容建築及美術、體裁四六倍判、定價五十錢特別號一圓（一、四、七、一〇月）年七圓七十錢、兼業建築及美術品の寫眞撮影出版

住宅　發行所　住宅改良會、芝區琴平町一（電話芝〇八八七振替東京八六四六）編輯者橋口信助、月刊發行日一日、內容住宅一般體裁四六倍判、定價八十錢年九圓六十錢

建築新潮　發行所　洪洋社、牛込區市ヶ谷臺町一〇（電話四谷四四六二振替東京二一八二四）社主兼編輯者高梨由太郎、每月一日發行、內容建築一般、體裁四六倍判、定價六十錢年七圓十錢兼業建築寫眞類聚刊行

庭園と風景　發行所　日本庭園協會東京市赤坂區溜池町一番地三會堂、帝國森林會內（振替東京四七一九番）每月一回發行、定價三十五錢一ヶ年四圓廿錢

木材工藝　發行所　木材工藝學會、麻布區市兵衛町二ノ一七（振替東京四五八七二）編輯者小野政次郎、每月一日發行、內容木材工藝一般、體裁四六倍判、定價五十錢年六圓

工事畫報社　發行所工事畫報社　麹町區有樂町一ノ一（電話丸ノ內二六三三振替東京七〇二六五）社主匿名組合、編輯者岡崎保吉、沿革大正十四年二月創刊、每月一日發行、內容土木建築設計圖、體裁四六倍判、定價七十錢年八圓、兼業工學研究奬勵部機械工具調査部紹介

土木建築雜誌　發行所　中央建築會名古屋市中區門前町一ノ一（電話丸ノ內二六三三振替東京三六〇八七）編輯主人本下武之助、沿革大正十一年五月創刊每月一日發行、內容土木建築、體裁四六倍橫組定價六十錢年六圓、兼業出版調査

工學研究　發行所　工學研究社、芝區本芝材木町一〇（電話高輪六四八六振替大阪六九〇〇三）社主兼編輯者坂田時和、沿革大正十二年十二月創刊、每月十五日發行、內容土木工學、體裁四六倍判、定價三十五錢半年二圓

新建築　發行所　文甄堂、大阪市東區糸屋町二ノ一三（電話東二二四九番振替大阪九五二三番）編輯主任吉岡保五郎、每月一回發行、內容建築一般、定價五十錢一ヶ年六圓

都人　發行所　都人社、大阪市西區西道頓堀一ノ一（電話櫻川三七二四振替大阪六六一八四番）編輯主任池田實、每月一回發行、定價三十錢一ヶ年三圓

工業ト社會　發行所　東京工業會東京市四谷區新宿二ノ七一（電話四谷二一番振替東京七〇六〇五番）編輯主人鈴木清四郎、每月一回發行、定價三十錢

工業要錄　發行所　東京市日本橋區伊勢町二四（電話日本橋八七九番振替東京一六四二五番）編輯主任野田健治、每月一回發行、定價六十錢一ヶ年七圓

建築　發行所　中央建築會名古屋市中區門前町

五丁目大須ビル内（電話南三八二五番振替名古屋一三七六七番）定價三十錢一ケ年三圓六十錢
住　發行所　住研究所大阪市天王寺區上本町九丁目（電話南五三七九番振替大阪五〇二六一番）
編輯中村義雄、每月一回發行、定價三十五錢一ケ年四圓
建築學研究　發行所　星野書店、京都市上京區丸太町堀川西入（電話西陣三〇三五番振替大阪四九四九一番）編輯星野敬一、每月一回發行、定價五十錢一ケ年六圓
國際建築　發行所　國際建築協會、東京市麻布區市兵衛町二ノ四六（振替口座東京七〇〇八九番）編輯小山正和、每月一回發行、定價六十錢年六圓五十錢



# 第五編　建築關係者

## 監督官廳

高等官人名は昭和三年二月廿九日現在

建築物に關する監督官廳としては內務省、各廳府縣知事（東京府にありては警視總監）等なれど公衆保安衛生上、建築物の設計、擴張、工事施工等に關しては各廳府縣及所轄警察署にして、警視廳にあつては保安部建築課、各府縣廳にありては警察部保安課にして直接事務を取扱ひ居れり。

又市街地建築物法、市街地建築物法施行令及市街地建築物法施行規則、其他各府縣同法施行細則等中に主務大臣を、監督官廳又は地方長官とあるは內務大臣を、監督官廳又は地方長官とあるは前述の警視總監及府知事を指すものなり、建築物の申請屆出等に關する手續に就ては別項附錄參照されたし。

警視廳（東京市麴町區祝田町）警視總監　宮田光雄、書記官房主事　大久保留次郎、書記官警務部長、木島茂、川島貞四郎、戶塚九一郎。
建築課長　野田俊彥。
北海道廳（札幌市北二條五丁目）長官　澤田牛麿、內務部長　細川長平、警察部長　石川芳太郎、鈴木茂、警察部長　金井佐久。
茨城縣（水戶市大字上市北三ノ丸）知事　森岡二朗、內務部長　眞船民伊、警察部長　立田清辰。
栃木縣（宇都宮市高田町）知事　別府總太郎
內務部長　平田貫一、警察部長　友部泉藏。
奈良縣（奈良市登大路）知事　百濟文輔、內務部長　赤土正綠、警察部長　藏重久。
三重縣（津市茶屋町）知事　遠藤柳作、內務部長　芝辻一郎、警察部長　土岐銀次郎。
愛知縣（名古屋市中區新榮町）知事　小幡豐治、內務部長　堀田鼎、警察部長　落合慶四郎
靜岡縣（靜岡市追手町）知事　長谷川久一、內務部長　高橋雄豺、警察部長　金森太郎。
山梨縣（甲府市錦町）知事　鈴木信太郎、內務部長　野村行孝、警察部長　梅津芳三。
滋賀縣（大津市東通）知事　今村正美、內務部長　田中無事生、警察部長　伴東。
岐阜縣（岐阜市司町）知事　大野綠一郎、內務部長　前田愼吾、警察部長　藤岡長和。
長野縣（長野市妻科）知事　千葉了、內務部長　原田維織、警察部長　土屋耕二。
埼玉縣（北足立郡浦和町）知事　牛塚虎太郎
內務部長　林壽夫、警察部長　內山田三郎。
宮城縣（仙臺市匂當台通）知事　井野次郎、警察部長　中屋重治。
群馬縣（前橋市曲輪町）知事　雙川喜一、警察部長　麻生亮藏。
福島縣（福島市杉妻町）知事　伊東喜八郎、內務部長　福永尊介、內務部長　半井清、警察部長　中村忠充。
千葉縣（千葉縣寒川）知事　福

岩手縣（盛岡市內丸）知事　丸茂藤平、內務部長　中島萬平、警察部長　三井饒。
青森縣（青森市大字大野字長島）知事　吉村哲三、內務部長　石垣倉治、警察部長　松枝角二。
山形縣（山形市旅籠町）知事　篠原英太郎、內務部長　坪井勸吉、警察部長　馬場義也。
秋田縣（秋田市土手長町）知事　力石雄一郎　內務部長　天谷虎之助、警察部長　中村恒三郎
福井縣（福井市城町）知事　市村慶三、內務部長　土居通次、警察部長　辻野三郎。
石川縣（金澤市廣坂通）知事　中山佐之助、內務部長　牛島省三、警察部長　中村安三郎。
富山縣（富山市總曲輪）知事　白根竹介、內務部長　齋藤直橘、警察部長　中谷秀。
鳥取縣（鳥取市東町）知事　藤岡兵一、內務部長　吉田康太郎、警察部長　松島源藏。
島根縣（松江市殿町）知事　八木林作、內務部長　小島庄吉、警察部長　谷龍之助。
岡山縣（岡山市石關町）知事　岸本正雄、內務部長　傘子悌次、警察部長　早川三郎。
廣島縣（廣島市主水町）知事　橫山助成、內務部長　久米成夫、警察部長　稻葉俊太郎。
山口縣（山口町）知事　大森吉五郎、內務部長　竹井貞太郎、警察部長　近藤駿介。
和歌山縣（和歌山市西汀丁）知事　野手耐、內務部長　福邑正樹、警察部長　村田武。

德島縣（德島市寺島町）知事　三邊長治、內務部長　山下謙一、警察部長　泊武治。
香川縣（高松市內町）知事　元田敏夫、內務部長　坂間棟治、警察部長　山口鐵之進。
愛媛縣（松山市一番町）知事　尾崎勇次郎、內務部長　齋藤俊平、警察部長　萬富次郎。
高知縣（高知市帶屋町）知事　加勢清雄、內務部長　東忠藏、警察部長　歌川貞忠。
福岡縣（福岡市天神町）知事　齋藤守圀、內務部長　新庄祐治郎、警察部長　村地信夫。
大分縣（大分市荷揚町）知事　藤山竹一、內務部長　伊藤昌庸、警察部長　橫井直興。
佐賀縣（佐賀市赤松町）知事　大島破竹郎、內務部長　內海忠司、警察部長　大木俊輔。
熊本縣（熊本市新南千反畑町）知事　齋藤宗宜、內務部長　坂本暢、警察部長　木下義介。
宮崎縣（宮崎市）知事　山岡國利、內務部長　郡茂德、警察部長　大竹十郎。
鹿兒島縣（鹿兒島市山下町）知事　後藤多喜藏、內務部長　下村充郎、警察部長　永野清。
沖繩縣（那覇市榮橋町）知事　飯尾藤次郎、內務部長　鹿野三郎、警察部長　小早川貞登。

# 全國建築技術者一覽

## 東京府市之部

（郡、區、町字除ク）



足立鳩吉　建築技師　四谷左門二七電四谷四六〇三
足立宗四郎　復興助成株式會社　府下蒲田御園二六五
阿形初太郎　東京帝國大學營繕課　南葛飾小岩下小岩二四六一
阿川德二　牛込山吹一四〇、泉田方
阿部俊一郎　清水組　芝伊皿子一四
阿部庄吉　吉田建築事務所　赤坂青山南六ノ三三
阿部留次郎　上田組東京營業所　神田平永三（浪花五九〇四）
阿部知義　東京市建築課　府下入新井新井宿一四五四、牧野方
阿部博治　第一師團經理工務科　麻布步兵第三聯隊內第一師團經理部出張所（青山四〇八三）
阿部衛　日本電氣株式會社　府下代々幡幡ケ谷一一二六
阿部盛雄　復興局東京第三出張所移轉課　本鄉五ノ一九和泉惣左衛門方（小石川四六五四）
阿部義衛　復興局第三出張所　府下入新井不入斗七一一
安食高展　日本橋室三共ビル長野事務所內
安間立雄　文部省宗教局　府下杉並田端三八
安達嘉一　大倉土木株式會社　府下青山原宿五八
安部敏夫　第一師團經理部工務科　府下目黑上目黑駒場七八三
安西伊之助　文部省建築課　府下西巢鴨池袋六七一
安藤英一　時事新報社社會部　府下南品川三ツ木九二六、京田方

安藤兼三郎　清水組本店　府下中野本鄉一二
安藤靜喜　警視廳建築課　牛込喜久井三四一條邸內、加藤貞雄方
安藤進　東京府囑託　本鄉根津宮永三五、竹澤方
安藤保　文部省建築課　牛込矢來三山里四五
安藤利雄　宮內省內匠寮建築係　四ッ谷右京二六
安藤友二郎　雙曜建築社　府下淀橋柏木三四六、
安藤正彌　農林省會計課　府下碑衾碑文谷四六（荏原三七〇）
安見榮　文部省建築課　府下入新井新井宿一一〇二
相川泰　眞砂建築事務所　府下千住二ノ七七五
相澤文之助　眞砂治太郎建築事務所　深川西二七
相原信　清水組　府下目黑七七〇
會田與一　大林組東京支店　府下荏原中延一四
愛智正雄　大倉土木株式會社　府下大井關ヶ原一二五六
青木覺造　本所柳島元一七三
青木順一郎　建築業　府下王子下十條一五三五
青木虎之助　帝國教育會館　府下瀧野川西三軒家一九五〇
青木信嘉　內務省社會局技術室　府下野方下沼袋一五一〇
青木實　松岡喜代藏商店　府下大井北濱川一一九四

青木芳太郎　陸軍省建築科　市外杉並阿佐ヶ谷一八
青竹藤助　增戸建築工務所　府下西巢鴨二四五多田方
青野稔　大村組東京支店　牛込矢來一一ノイ一〇號、佐伯方
青柳信　大林組東京支店　府下上板橋江古田新田二一一五
青山寅三　東京市復興事務局　府下東大久保二四五、尾形方
青山復三郎　復興局東京第二出張所　本鄉金助六八、高橋萬吉方
青池安太郎　建築設計　牛込喜久井二一
赤川祥之亮　大藏省營繕管財局工務課　市外中野本鄉四四一
赤江菊一　からきや工務店　日本橋蠣殼二ノ六
赤坂文雄　復興局東京第三出張所　四谷東信濃一一、林勝美方
赤羽赫　遞信省營繕課工務係
赤羽晋　周彥見工務店　小石川大塚坂下九〇、
赤松精治　東京市建築課　府下目黑下目黑油面九八五
明吉登　大倉土木株式會社　府下杉並高圓寺一〇一五
秋鹿松三郎　復興局建築部　府下瀧野川中里二二一、吉田方
秋田幸雄　遞信省營繕課工事係　淺草永住一八
秋谷榮吉　復興局東京第二出張所移轉課局技手　本鄉湯島天神三ノ五（下谷三三〇）
秋月直次郎　日本土木建築株式會社　麻布東町三五、垣內方

秋元重保　近衛師團經理部　府下澁谷中澁谷神山七七一
秋山鐵五郎　精養軒囑託技師　府下井荻上井草一四四六
秋吉笹市　東京市土木局建築課　府下戸塚諏訪二四四、益田方
秋吉金三　大日本聯合火災保險協會　府下下澁谷羽澤二三四
淺井長次郎　清水組本店　府下武藏野村吉祥寺野田南一九八四
淺井喜八　國枝工務所　府下大井瀧王子四四〇四
淺井勇　鐵道省工務建築課　淺草象潟一、澁江方
淺井孝太郎　府下南千住千住南一二五〇
淺尾熊雄　清水組　下谷池ノ端七軒五三
淺香富藏　宮內省內匠寮　淺草猿屋一七
淺倉勝太郎　東京市復興事業局第四出張所　小石川大塚窪二四
淺田繁男　尾山貫一建築事務所　府下中野宮前四七一
淺田浪四郎　復興局東京第四出張所移轉課　府下中野上二七六四、石野方
淺野昇　本鄉駒込神明二四九
淺利瀧雄　村上工務所　府下高田高田一七二〇岩城方
淺野利吉　鐵道省技師　市外世田ケ谷代田一一二一
淺見鎮明　清水組工事部　市外駒澤新四六七
朝顏巖　復興整地部庶務課　府下駒澤新住宅一七四一、富永角次方

蘆澤富雄　中村工務所　府下大久保百人六八
東富雄　澁谷町役場技手　府下澁谷下澁谷七五二
東森一郎　池田建築事務所　府下澁谷代官山アパートメント三〇號二六三
穴澤武久　遞信省經理局　府下瀧野川西ヶ原九〇八
穴澤六郎　竹中工務店　府下野方上沼袋三四〇
姉崎英太郎　早稻田高等學院理科　府下澁谷青山南七ノ二六、中村方
天池彌三治　清水組　府下巢鴨上駒込八四七
天野景遠　大藏省營繕管財局横濱出張所　府下馬込霧田二三六
天野博秀　島藤本店　深川安宅四
天羽馨　東京市建築課　府下中野三六〇〇
アントニナレイモン　麻布鹽南坂六
淡島智藏　陸軍東京經理部　市外中野谷戸
網野敬良　酒井コンクリート工業部　府下巢鴨一〇五二
綾井忠夫　芝浦製作所鶴見工場　府下淀橋柏木九七九
芦澤浩　大林組東京支店　四谷三光一〇
甘利季六　甘利建築事務所　深川數矢三六
雨宮鴻　復興局第一出張所　牛込矢來四九
綾井九州彥　府下高田高田一六〇〇（牛込二四〇六）

新井猪一郎　大森茂建築事務所　府下戸塚諏訪二三一
新井金松　清水組本店工事部　丸ノ内本店内
新井武雄　復興局第二出張所　府下中野雜色三九八
新井喜作　營繕管財局横濱出張所　牛込早稻田鶴巻一九〇
新井欽哉　東京帝國大學營繕課　麻布宮村六六（青山七二三）
新井登喜雄　松村組　本所横川七四電壘一一二八
新井伊三郎　手島建築事務所　府下金一六八九
荒井松治　三菱倉庫株式會社　下谷上根岸四三
荒井尙德　清水組本店工務部　麹町二番地
荒木榮一　建築士　府下入新井新井宿西沼六八八
荒木勝次　清水組本店　芝三田四國三三、彌生館
荒瀨清市　芝浦製作所　芝白金三光五四三、增田方
荒井伊三郎　手島建築事務所　府下南葛飾金一六八九
荒武磐　日本電氣會社營繕部建築課　芝三田四國四號、大竹方
荒谷儀八　侯爵前田家臨時建築事務所　赤坂檜一二
荒井伊三郎　復興局第一出張所　府下國分寺本多新田四二一
荒井松治　東京府立實科工業學校　府下日暮里一〇六三
荒井尙德　市外大井倉田三三〇六
荒木榮一　三菱地所部　府下井荻上井草一四一二
荒木勝次　横濱市建築課　府下馬込宇東九二一
荒瀨清市　鐵道省工務局　市外世田ヶ谷三宿三九
荒井伊三郎　住友合資會社工作部東京請新井新井宿源藏原二八七七
荒武磐　鐵道省　麻布谷五〇
荒谷儀八　富士製紙會社　牛込早稻田南三〇六
有賀博人　大森茂建築事務所　芝白金三光三四
有賀義起　東京鐵道新橋保線事務所
有住喜信　復興局横濱出張所　府下荏原戸越一三三一
有田熊介　慶應大學醫學部建築掛　府下巢鴨宮下一六六〇（電大六八七）
有田敏夫　復興局建築部　府下高田雜司ヶ谷旭出六三
有田芳郎　大藏省專賣局經理部設計係々幹筬塚一一四八、樋後方　府下代宮内省内匠寮　府下中野打越二〇四〇
有島善太郎　木子幸三郎建築事務所　府下荏原小山二〇九
有南正治　大阪橋本組東京支店　日本橋本石四ノ四
有村二郎　警視廳技手警視廳建築課　赤坂青山南六ノ一〇八、立方愼三方
栗野嘉祐　三菱製紙會社地所部　京橋南槇二〇
井澤定八　三菱製紙會社中川工場建築課　南葛飾金一七九〇、三菱社宅
井關滋　陸軍造兵廠技術部　府下澁谷五三八岡本方（青山九五五）
井手野下庄藏　建築設計請負　府下淀橋角筈七六五（四谷三九）
井上覺太郎　井上工務店　府下品川南品川九二（高輪三八）
井上九郎　高山組　府下瀧野川上中里二〇
井上三郎　宮内省内匠寮　府下大井倉田三三〇六
井上新平　清水組　府下淀橋大町一〇〇六
井上友吉　鐵道省建築課工事係　府下瀧野川田端五一二
井上半次　鐵道省工務局建築課　府下世田ヶ谷三宿三九
井上春一　警視廳技手會計課營繕係　牛込富久一一八ろノ三三號
井上尙　清水組　府下野方沼袋新橋一一八七

井上正朔（マサトン）　東京市建築課　小石川宮下二〇、大鐙敬次方
井上光次　東京市建築課　芝三田豊岡細川方
井上忠一　岡田信一郎事務所　牛込赤城下五六
井上一之　營繕管財局　府下目黒三田九九
井上三治郎　市外大井倉田三三〇六
井上雅男　三菱地所部　府下井荻上井草一四一二
井上信一　横濱市建築課　府下馬込宇東九二一
井上半次　鐵道省工務局　市外世田ヶ谷三宿三九
井上與左衛門　住友合資會社工作部東京請新井新井宿源藏原二八七七　府下入
井林鈴太郎　鐵道省　麻布谷五〇
井崎愼一　富士製紙會社　牛込早稻田南三〇六
井深清見　大森茂建築事務所　芝白金三光三四
井藤吉成　東京鐵道新橋保線事務所
井町四郎　復興局横濱出張所　府下荏原戸越一三三一
伊保内富彌　慶應大學醫學部建築掛　府下巢鴨宮下一六六〇（電大六八七）
伊部貞吉　復興局建築部　府下高田雜司ヶ谷旭出六三
伊地知重通　大藏省專賣局經理部設計係々幹筬塚一一四八、樋後方　府下代宮内省内匠寮　府下中野打越二〇四〇
伊東周二　東京市土木局建築課　四谷南伊賀八三、奥田八郎方
伊東昇　鐵道省千葉改良事務所　本郷駒込林一一
伊東善男　東京市河港課　府下北品川三ツ木一〇一二
伊東忠太　帝國學士院會員大學教授　本郷西片一〇ト八（電小一〇五〇）
伊東保廣　營繕管財局　府下目黒上目黒二三五〇
伊東五郎　警視廳技師　府下井荻上荻窪四四五
伊藤音吉　警視廳技手衛生部　府下世田ヶ谷下北澤四一二
伊藤馨　宮内省内匠寮建築係　芝白金猿七七
伊藤鎌太郎　辰野葛西事務所　府下戸塚宮田三九七
伊藤久三郎　清水組　府下澁谷下澁谷代官山アパートメント卅一號二六八
伊藤憲司　安田銀行營繕係　本鄉弓二ノ一三
伊藤鎭一　竹中工務店松坂屋臨時建築部　牛込早稻田五五、河合了順方（牛五五七）
伊藤平三郎　森田鎚三郎建築事務所　西巢鴨宮仲二〇四七
伊藤爲吉　伊藤式鐵筋混凝土製作所　府下千駄ヶ谷三四一
伊藤慶二　商工省工務局　下谷御徒一ノ四電下六三二二
伊藤茂　鐵道省工務局建築課　府下入新井町新井宿美奈見一三〇五、山本福壽方
伊藤上　清水組設計部　四谷永住二、本村方
伊藤省一　清水組本店　府下駒澤町上馬七六五
伊藤末吉　東京市土木局建築課　四谷南伊賀八三、奥田八郎方
伊藤隆介　府下馬込北久保五八八
伊藤東吾　專賣局　府下目黒駒場七四七
伊藤昇　東京逓信局　麻布霞元三ノ一二、三枝方
伊藤常男（ノリヲ）　近衛師團經理部工務科　府下澁谷下澁谷三五四、原方三方
伊藤廣　伊藤工務所　淺草田島二〇
伊藤山三（ヤウザウ）　鐵道省工務局建築課　府下千住千住中組八三九
伊藤米吉　東京帝國大學圖書館建築事務所　府下南葛飾小岩下小岩字片山
伊藤秋三郎　東洋コンプレッソル株式會社　四谷左門一四、永田斧吉方（電四谷四三二）
伊藤三雄　赤坂、青山南五ノ八九
伊藤滋　鐵道技師　下谷御徒一ノ四
伊藤義次　佐藤功一建築事務所　府下王子上ノ原九九四
伊藤純一　府下野方新井五三八
伊能寬　東京市電氣局工務課營繕係　淺草淺草一〇一
伊塲野成哲　建築設計監督　府下代々木北山谷一二九
猪狩嘉榮　渡邊建築事務所　府下落合上落合六九三
猪狩惠市　大庄工業部　府下南千住南九一二
猪田稔　警視廳建築課　府下澁谷中澁谷三三四、石堂方
猪腰千代吉　千葉利智工務所　麹町永樂丸ビル八二七

飯盛　成　深川區役所敬矢小學校建築場　府下大森馬込霜田二二一
飯盛竹三郎　東京鋼材株式會社　府下品川御殿山二〇七、佐藤方
五十嵐宗喜　三機工業株式會社　府下尾久土尾久二七一八
生田　明　第一師團經理部工務科　府下上目黒宮下九八七、藤井方
生田正一　清水組　赤坂氷川三一
池　廉作　東京遞信局經理營繕係　府下目黒二一四五
池内一崧　宮内省内匠寮　府下和田堀内和泉一三四
池上澤吉　遞信省營繕課　府下荏原下蛇窪一九九、佐藤方
池田小三郎　遞信省經理局營繕課工事係　四谷霞丘三九、眞尾清作方
池田忠治　麻布宮村一〇
池田稔　京橋區役所　府下杉並高圓寺五一一
池田正義　營繕管財局技師　府下南品川淺間臺一四六六、（電高七六四四）
池田譲次　小林松七商店　府下大崎居木橋三五
池田鏡　東京電燈株式會社　麹土手三番一七
池田朝次郎　清水組（人森三三）　府下入新井宿六一〇
池田猪八　遞信省經理局營繕課工事係　府下入新井宿一三七三
池田幸太　大日本麥酒株式會社名古屋工場　府下向島寺島一二三七
池田才一　復興局東京第二出張所移轉課　小石川江戸川八
池田清市　府下野方新井六一四（中野六二）
池田傳作　清水組設計部　牛込市ヶ谷八幡一、後藤方
池田八平　農林省會計課營繕係　府下荏原中延二七二
池田　博　鐵道省第二改良事務所建築課　府下千駄谷新田九〇三、阿部方
池田　實　森山松之助建築事務所　赤坂青山五ノ九五
池端松太郎　牛込柳町三七、青木方
池水光壽　司法省營繕係　府下大井鹿王寺四四〇三
池村重三　海軍省建築局　府下大森新井宿子母澤九九九
石井源治　大倉土木株式會社　下谷上根岸一八
石井修一郎　中村工務所　府下杉並高圓寺四〇四
石井敬吉　文部大臣官房建築課　牛込戸山七小川徹方（牛込四〇八七）
石井重三郎　横河工務所　牛込市ヶ谷佐内三七、電牛一二七六
石井仙之助　竹中工務所　府下高井戸大宮前三五七
石井忠司　石井櫃藏店　府下西巣鴨宮仲二八四〇
石井鐵雄　府下中野四三六五三
石井桃平　本所緑二ノ五（本所三五七）
石松幹夫　大藏省營繕管財局　府下瀧ノ川田端六一三
石嶺以佐夫　日本水道衛生工事株式會社　赤坂青山南七ノ二ノ九、小平方
石村榮次郎　東京市建築局營繕課　府下巣鴨上駒込五九八、大野方
石持甚作　大藏省營繕管財局　府下中野上ノ原北野紅梅三四
石本寛右工門　東京電力株式會社技術部　府下目黒下目黒三三七
石渡義男　專賣局經理部設計係　府下大崎上大崎五三七
岩升勘二　三菱合資會社地所部　牛込余丁町
岩波千吉　復興局　府下代々木山谷七五
岩淺敬三　日本工業倶樂部　府下代々幡代々木山谷二五三
岩野城生　中村與資平事務所　小石川林三六
岩崎堅治　宮内省内匠寮　府下井萩上井草字原一四二二
岩崎英作　東京府經營繕課　府下杉並馬橋三六〇
岩澤光之　府下杉並高圓寺一〇〇
岩城谷藏　東京府實科工業學校　神田猿樂二ノ三（電神一二五八）
岩城和一　東京府營繕課　府下落合二ノ五八八
岩崎淺七　佐藤倉吉方
岩崎正勝　大藏省營繕管財局　府下南千住千住南三輪一八一
岩瀨昌治　府下下瀧谷一四四二
　安田銀行營繕係　深川萬年二ノ二二

石井文吉　支見屋商店建築係　府下長崎地藏堂九七一
石井兵吉　大藏省營繕管財局　麻布市兵衛二ノ六一
石井幸雄　警視廳保安部建築課　本郷本郷三ノ三、永易方
石井義治　酒井コンクリート工業店　神田雉子三一、宮本仲方
石川佐賀惠　遞信省營繕課　市外馬込小宿一三五八
石川忠三　市外高井戸大宮前三九三
石川　徹　横濱市役所建築課　府下東中野一七九四
石川一男　あめりか屋　府下杉並高圓寺東原六六八
石川純一郎　竹中工務店　府下中野三八二九
石川宇内　建築設計請負業　府下杉並天沼七三二
石川金四郎　曾禰中條建築事務所　府下千駄ヶ谷穩田六三
石川惠敏　城西工務所　府下杉並田端六九七
石川昌之助　東京市土木局建築課　府下淀橋角筈四一九
石川太郎吉　横山建築事務所　府下砂字四十丁七八三
石川　松夫　牛込山吹一九八
石原信之　櫻井小太郎建築事務所　府下大森新井宿長田四一
石原憲治　東京市役所　府下井荻下荻窪三六九
石山勇夫　遞信省營繕課　府下野方下沼袋一六〇四
石塚　鐵二　司法省會計課營繕係　小石川下富坂二〇、石塚方（小石川二元芥）
石橋三四二　學士會館建築事務所　府下長崎椎名四〇九六（大塚六八）
石原重光　農林省經理課　小石川原二三
石原末治　府下大崎上大崎五一七
石橋友次郎　島藤本店　深川石島一一四、池本方
石原　東　農林省水產講習所　府下巣鴨宮下一六五〇
石田清三　中村庸二建築事務所　府下荏原戸越一二七四
石田信喜　教育會館建築事務所　府下代々幡代々木新七
石津三次郎　藏前工務所　淺草南元四（淺草一九四）
石塚　鐵二　司法省會計課營繕係　小石川下富坂二〇、石塚方（小石川二元芥）
石橋友次郎　島藤本店　深川石島一一四、池本方
石橋三四二　學士會館建築事務所　府下長崎椎名四〇九六（大塚六八）
石原重光　農林省經理課　小石川原二三
石原末治　府下大崎上大崎五一七
石崎卯藏　文部省建築課　四谷番衆二七
石神廣吉　島藤本店　深川安宅四
石黑善次郎　清水組　本郷駒込坂下七六
石黑傳作　笠松建築事務所　本郷蓬萊七、辻英雄方
石坂平三郎　東京市土木建築學校建築掛　府下西巣鴨池袋四六一
石澤二郎　內藤建築事務所　府下荏原小山三四
石崎正八　淺田彦之丞方
石澤　猛　宮內省內匠寮工務課　府下中野四三七六九
石田　清　復興局東京第四出張所移轉掛　本郷丸山新町一〇、金山喜作方
石田　清三　農林省水產講習所　府下巣鴨宮下一六五〇
石田　清三　中村庸二建築事務所　府下荏原戸越一二七四
石田　信喜　教育會館建築事務所　府下代々幡代々木新七
石津三次郎　藏前工務所　淺草南元四（淺草一九四）
石塚　鐵二　司法省會計課營繕係　小石川下富坂二〇、石塚方（小石川二元芥）
石橋友次郎　島藤本店　深川石島一一四、池本方
石橋三四二　學士會館建築事務所　府下長崎椎名四〇九六（大塚六八）
石原重光　農林省經理課　小石川原二三
石原末治　府下大崎上大崎五一七

岩田房吉　キリンビール建築課　府下戸越二三四
岩田丈一　木田組　府下大森谷中六五六
岩田道繼　ヨシダ、アテリエ　牛込津久土一五
岩本清作　三井銀行　四谷霞ケ丘三六
磐城一　文化工業會社　日本橋南茅場二〇
今橋數馬　大同商會　府下荏原戸越五八三
今井兼次　早稻田大學助教授　牛込若松八二
今井猛雄　レーモンド事務所　牛込若松八二
今井淺吉　清水組　麹町永樂丸ビル六階
今井清　大藏省營繕管財局　本郷鷹匠一八
今井太郎　農林省山林局　府下荏原戸越六五二
今井武夫　三菱地所部營繕課　本郷眞砂三六、田口方
今井忠　復興局　府下駒澤上馬六七
今井義男　東京市震災記念堂設計部　芝白金三光二九
今泉幸助　復興局第一出張所移轉課　府下大井森前五六四七、原田豊吉方
今井豐臣　淺草區役所建築係　府下中野雜色四七四
今川鎭夫　橋本店　府下大森新井宿九九七
今川行雄　警視廳保安部建築課　牛込通寺二九、田邊錄太郎方
今村義一　東京市營繕課　府下巢鴨宮下一六五九
今村竹次郎　久野建築事務所　本郷曙七ノ九號
今村敬輔　東京市土木局建築課　府下王子上十條八五四
今村卯一郎　府下日暮里八五〇
入江繁藏　府下代々幡笹塚一〇二六、鈴鹿方
入江益四郎　東京海上火災保險株式會社營繕課　府下目黑上目黑ヶ五五
磯部貞雄　近衛師團經理部　小石川林一八、加藤方
磯野修　東京電燈會社　市外巢鴨宮下一八五三
磯貝吉五郎　三柏商會　神田金澤一二
磯部幸一　岡田信一郎事務所　府下目黑上目黑二一〇八、澤原方
磯部武二　巴工務店　神田四小川二九
板垣登志衛　復興事業局第三出張所移轉係　本郷彌生三ノ二ノ二六、鈴木方（小石六三）
板倉三郎　下谷車坂二四、板倉工務所
板津吉並　府下西大久保一四二
板橋經武　深川區役所囑託學校建築監督員　小石川音羽五ノ一
一宮宗三郎　安藤組　四谷鮫三ノ三〇、電谷三四一一
一木恒彥　不動貯金銀行營繕係　府下入新井新宿不入斗九三三
一條節郎　鹿島組　府下大島町六ノ一五八
一ノ瀨止　復興局第四出張所移轉係　府下代々幡幡ヶ谷五六九、電四谷六〇九
市川捨雄　宮內省內匠寮　牛込辨天六六
市石英三郎　德田工務所　日本橋箱崎四ノ一
市川峰太郎　清水組工事部　府下吾嬬小村井八四四
市來春彥　東京電燈株式會社工營課　府下瀧川中里四六四
市毛健　鐵道省工務局建築課　府下王子上十條一一九〇
市場寬一　淺野セメント會社鐵筋コンクリート部　府下杉並馬橋二二三
市場孝泰　大倉土木會社建築見積係　府下東中野上ノ原一七三〇
市村松太郎　辰野葛西事務所　府下杉並高圓寺北原七二四、大谷方
泉良作　府下瀧ノ川六〇八、小林方
稻垣吉之尉　府下日暮里一五四（下谷四六五五）
稻垣留次郎　日本發明工業株式會社　赤坂田二ノ七（青山六四二九）
稻葉信吉　東京市土木建建課　府下調布田園都市下沼部八二五
稻葉重郎　麹丸之內仲通り十一號東洋コンプレソル株式會社（丸ノ內二一四七）
稻葉文壽郎　清水組工事主任　府下高田雜司谷三八〇
稻生貫一　千葉利智事務所　府下吾妻請地三八
稻生次郎　復興局東京第二出張所　本所番場二（墨田三七二）
稻生秀三　東京鐵道局　麻布富士見四〇
稻村勝雄　牛込築土八幡三八、茂田井方
稻山正作　島藤本店　深川新安宅一二、島藤方
乾兼松　文部省宗教局　府下杉並田端關口七
磐城一　文化工業株式會社、文化株式會社內　日本橋南茅場二〇、清水組本店　府下四巢鴨池袋一〇八二、電小、六七九二
五十嵐次之助　濱口組　府下井荻下荻窪一八八
糸崎周一　川崎工場　府下洗足東臺北二號
荊木由太郎　佐藤功一事務所　牛込戶山二〇
猪野勇一　安藤組　小石川關口一山水館電牛二七三三
入澤太郎　大正組　府下蒲田新宿一〇七八、奧野貫方（蒲田四六）
宇田川義松　堀內組　麻布新廣尾一ノ二一、櫻井方
宇高靜男　高山組　府下杉並阿佐谷五九四
宇都宮朝雄　府下尾久上尾久一四五七
宇津山榮一郎　復興局建築部東京第二出張所　府下野方新井五七七
宇野俊一　小林組　芝二本榎一ノ六二（高輪五二四）
宇野貞作　大林組東京支店　小石川大塚六五
鵜澤三也　東京府技師營繕課長　市外碑衾碑文谷一八〇六
鵜飼長三郎　赤坂氷川二七
上嶋八助　大藏省營繕管財局工務部　府下千駄ケ谷七四一、橋本方
上田順平　內務省神社局技術室　府下大森谷戶二一八二
上田萬治郎　島藤本店　麻布富士見五三（高輪七二四〇）
上田保太郎　外務省囑託　牛込若松一五
上田貞之助　復興局整地部庶務課製圖係　麻布廣尾七五、森山方（高輪七〇〇）
上野逸衛　深川區學校建築係　府下中野桃園三四〇一
上野幸輔　東京電燈株式會社營繕係　府下千駄ケ谷青山アパートメント六號ノ七
上野達郎　遞信省經理局營繕課工事係　府下杉並馬橋五五八
上野俊郎　遞信省經理局營繕課　府下荏原矢口
上野廣治　警視廳保安部建築課　府下荏原矢口小林二三八
上野平作　商工省大臣官房會計課　本所押上二三五
上原一夫　橫濱市役所營繕課　府下荏原戸越一二八三
上浪朗　遞信省經理局營繕課　赤坂青山南五ノ二七
上東辰澄　大阪橋本組　府下中野園三一二八
植村克己　大林組東京支店　本郷駒込上富士前一一九、電小一八〇五
植松軍三　府下池上石川二二三
植木郡策　東京帝大營繕課　府下淀橋柏木七二
植羅溪三郎　植羅工務所　小石川原三二（小石川五六〇）
魚瀨三二郎　府下巢鴨一〇八
氏家重次郎　有工社建築課　府下大井水神下二一一九
牛田勳　赤坂青山南二ノ二六
牛田治三　陸軍造兵廠技術部　府下戶塚上戶塚三三三
牛山祐一　松坂屋上野營業所　市外瀧ノ川上中里一
牛尾美佐雄　前田家建築事務所　府下戶塚戶塚八四四
臼井六郎　矢部工業事務所　神田駿河臺東紅梅
內井進　六河村方
內ヶ崎三郎　吾妻川電力株式會社建築係　府下荏原戶越一六五
內山熊八郎　清水組本店工事長兼大阪支店長　府下下落合八二、電牛一三七〇
內山壽一　淺野セメント　府下入新井不入斗八二八
內村喜八　鐵道省工務局　牛込山吹一ノ二三、四川方
內田祥三　帝大教授營繕課長　麻布新龍土一二電青五一三八
內田自作　營繕管財局　府下上目黑九〇八、電青一一三七
內田果藏　府下杉並成宗四
內田金之助　大林組東京支店　小石川四原二ノ二一
內田正三郎　東京市復興事業局第三出張所　府下瀧野川中里六三、君山方
內田留作　平井工務所　府下瀧野川瀧ノ川四七三

内田信量　東京帝國大學營繕課　府下千駄ヶ谷九〇三、佐久間方
内田正巳　森山松之助建築事務所　深川洲崎辨天一ノ八
梅岡壽保　東京府醫師會下谷病院建築事務所　下谷坂本四ノ二三（下谷一六四呼出）
梅澤省三　清水組設計部　府下杉並馬橋四三〇
梅田莞爾　日本トラスコン鋼材株式會社　府下蒲田御園三五一、中澤方
梅津民吉　東京市技手　府下世田ヶ谷太子堂三七〇
浦千代吉　商工省　府下中野三三〇〇
海野浩太郎　清水組設計部　下谷上野櫻木三六
丑田彌三郎　支部會建築課　四谷新宿一ノ七六
江蓮平吉　深川區役所技師　深川鹽岸九〇
江畑幸太郎　小石川丸山二〇、電大三六九
江木佐　清水組本店　神田淡路二ノ一三
江藤碩人　營繕管財局　府下下澁谷一七九九
江頭藤市　橋本建築事務所　府下馬込一一〇五
江利寅治　四谷坂九六
江澤藤治　加藤工務部　淺草永住四四加藤工務所内
江藤猛夫　東京市復興局總務部　府下小松川下平井二九二一
江波戸盛惇　淺草向柳原二ノ一（淺草六四〇）

江元久雄　清水組本店　府下大森新井宿子母澤九七二
海老玫　森山松之助建築事務所　深川洲崎辨天一ノ八
惠美彦一郎　復興局第二出張所工事課建築掛　府下澁谷上澁谷一一八
榎並千代治　東京市電氣局工務課營繕課　府下南葛飾本田四木一八七
榎本義一　臨時窯業研究所建築係　府下王子下十條一四五九
榎本德藏　大藏省營繕管財局　小石川大塚上七
榎本惣太郎　華族會館建築事務所　下谷谷中清水一河井方
遠藤一方　建築士　府下蒲田新宿四三九
遠藤文也　近衛師團經理部　赤坂青山南二ノ五一
遠藤丈二　鐵道省第二改良事務所　四谷内藤一ノ四三號
遠藤善治　復興局東京第二出張所　本鄉湯島六ノ七
遠藤康彥　竹中工務店東京支店　府下松澤松原三一
遠藤義男　東京市復興事業局　本所表六五
手島馨造　日本土木建築株式會社　府下蒲田北蒲田八九二
手島政喜　東京市復興事業局第一出張所　府下瀧ノ川四原七六〇
出繩德輔　東京市役所建築局營繕課　本鄉眞砂三六ノ七三
織田信也　日本銀行建築係　下谷谷中上三崎南七

小原友輔　日本銀行技術部　太鄉林二五、電小四〇八
小原益知　小石川林九二
小川猪作　府下代々木山谷一〇一
小川清次郎　小川組　麹町丸ノ内ビル七階七七九　電丸七六六
小川督　市外世田ヶ谷宮之坂、電世晃
小川庄次郎　戸田組　府下尾久上尾久一四七三
小川千之助　府下下目黒九九五
小川太郎　第一師團經理部工務科　小石川丸山三四
小川恒次郎　建築業　本所區松井一ノ一三
小川寅男　第一師團經理部工務科　牛込細工八
小川治男　吉田建築事務所　小石川丸山二四
小川秀夫　芝浦製作所鶴見工場　府下馬込村霜田二二二
小河吉之助　岡田信一郎事務所　府下大井鈴ヶ森二二三四、松竹內
小河力藏　東京電氣事務所　府下瀧野川四ヶ原一九八、荒井方
小熊佐吉　竹工務店東京支店　京橋月島東仲通一ノ三
小倉敢爲　復興局技手　本鄉湯島六ノ六、高橋方
小倉勘兵衛　宮內省內匠寮　麹町五番六、榎本方



小倉繁治　鐵道會第一改良事務所建築係　小石川初音一一、森田重吉方
小倉省吾　府下西巢鴨池袋本三二四
小倉豐壽　下谷上野南大門一六
小倉由太郎　鹿島組　府下尾久町下尾久一〇七〇
小黑清　東京瓦斯株式會社供給課　麹町平河六ノ四、山田方
小川昌三　東京電燈會社　府下千駄ヶ谷穩田青山アパート二號
小川永一　造神宮使廳第二課、府下代々幡代々木南山谷四二五、青木方
小川勝太郎　東京地方專賣局庶務課勞働係　府下三河島町屋一五八
小川久次郎　辰野事務　麹町丸之內仲通一一號
小川健治　逓信省營繕課工事係　下谷坂本一ノ九
小川光三　關根建築事務所　本所向島請地一七四
小川新藏　小川工業事務所　府下大井二〇九四
小笠原常道　午込山吹二ノ四〇、九鬼方
小田能清　建築興業株式會社　府下世田ヶ谷北澤九〇二、電四谷四八九
小田千太郎　下谷區役所　府下西巢鴨庚申塚六六〇電下七三
小田垣清造　營繕管財局囑託　市外杉並阿佐ヶ谷七四
小田末吉　淺草永住八四、電淺四三五
小野二郎　東京市建築課　府下中野四三六〇六

小野　薰　帝大營繕課　府下井荻下荻窪一五五
小野田廣吉　麻布市兵衛一ノ六
小黑隆太郎　府下井荻上荻窪九六二
小俣下一　東京市建築課　麹三番六三
小澤林藏　松村組東京支店ノ二七松心館內　小石川小日向臺二
小笹德藏　清水組本店設計部　府下西巢鴨池袋三六六
小山內永造　逓信省營繕課　府下巢鴨宮下一六九六
小山內喜代治　警視廳保安部建築課　府下代々木西原九三七
小澤榮之助　東京市土木局建築課　府下杉並馬橋三一五
小澤喜一　東京市土木局建築課　府下中野本鄉三八三九、秋山貞衛方
小澤武　東京市建築課　府下西巢鴨宮仲三五三一、薄井方
小澤長太郎　鹿島組　小石川小日向五六
小澤亨　中村建築研究所　府下西巢鴨巢鴨二六〇一、吉岡方
小澤豐　安藤組　麻布霞元一ノ二七
小關龜吉　鐵道省　府下淀橋角筈七三四、かまや旅館
小田桐槃太郎　東京府廳營繕課　府下北豐島下練馬三五四三
小貫中　府下荏原馬込谷中一〇八三
小野邦雄　東京帝國大學營繕課　麻布新網町一ノ四六、高橋方

小野邦範　府下駒澤深澤三四二五、菅原方
小野田由藏　同潤會建築課　芝兼房一二
小野坂仲三郎　復興局日本橋第二出張所　麻布霞八戶谷幸之助方
小野崎通勝　住友銀行工作部建築課東京詰　府下高田雜司谷三一三
小場恒吉　府下西巢池袋三二七
小幡慶治　關根建築事務所　府下王子新道一〇四八
小幡正治　木田組建築事務所　府下世田谷太子堂四八五
小幡德松　建築士　府下王子新町一〇四八
小幡昊　東京美術學校建築科　府下中野雜色四五九
小濱喜八郎　文部技手　府下中野本鄉二七二
小原恒一　建築彫刻　本鄉駒込動坂三一〇
小尾嘉郎　松坂屋建築部　府下武藏野吉祥寺六四二（吉祥寺一六二）
小俣安久　警視廳保安部建築課　府下田無上向臺一二六五
尾崎久助　日本銀行技師　府下上落合大塚五九九
尾崎恒人　警視廳技師　市外中野西三六二四
尾崎清臣　清水組技術部　府下駒澤上馬澤一七二
尾崎古志朗　警視總會計課營繕係　府下千住中組一〇〇五
尾上松　住友合資會社建築課　日本橋平松住友銀行建築部

尾上　靖　宮内省内匠寮工務課　小石川四原一ノ四

尾登彦太郎　都市建築工務所　府下蒲田北蒲田一二五

尾花　盛　東京市電氣局工務課營繕掛　府下瀧野川四ケ原九七六

緒方惠二郎　森田工務所　府下戸塚源兵衛一七四

緒方惟吉　下谷復興小學校建築課　府下調布下沼部六二七田園都市

緒方一三　府下池上德持二八

大橋　武　小川組　府下下落合六四三

大橋　恒　營繕管財局　本所向島須崎八〇

大橋精一　野村建築事務所　府下東鴨宮仲二五七〇

大西幸雄　東京市建築課　牛込矢來一ノ六〇

大友　弘　清水組本店設計部　府下高田雜司ヶ谷龜原二三

大脇直德　警視廳建築課　府下大井瀧王寺四四三四

大岡　實　府下駒澤深澤一〇八

大岡秀雄　東京市建築局府下王子町一三一二

大髙　精　營繕管財局　小石川若宮谷六二

大高　新　警視廳建築係　府下中野中野二三九〇

大塚隆次　大塚組主　麹町飯田六ノ一、電九段三一四四

大内秀一郎　戸田組　府下西大久保四二

大村大藏　大林組　府下蒲田町北蒲田六九八

大村巳代治　東大營繕課駒場出張所、電青七四四

大口松太郎　府下千駄ヶ谷穩田四〇

大久保忠親　專賣局技師　本郷四片一〇への、二六、電小七八九

大熊喜邦　營繕管財局部長　麹町下六番四、（電九段二〇六

大熊　要　本郷區役所　深川御舟藏前一五

大倉直介　大倉商事株式會社　麻布笄一七〇電青八七八

大山秀胤　陸軍造兵廠火工廠技術課　小石川原一三

大江新太郎　造紳宮技師　小石川原一二

大澤一郎　早稻田大學助教授　府下中野上ノ原九〇八

大澤庚子男　大林組横濱支店　府下入新井不入斗四一五、丸山方

大澤邦吉　東大營繕課　府下四大久保三二四

大澤義雄　芝西久保廣二三

大澤源之助　横濱市役所建築課　府下入新井新井宿七〇〇

大澤三之助　東京美術學校講師　府下平塚中延大原北一一四〇田園都市四四號

大澤澤次　日本銀行建築課　府下下澁谷七六六

大下正男　營根中條事務所　本郷西片一〇ほノ二七

大島一雄　營繕管財局　府下入新井三ノ二六九〇

大島三郎　遞信省營繕係　府下淀橋角筈七五

大島直樹　森山松之助事務所　小石川原四九

大野功二　牛込市ヶ谷左內三一

大瀬其一　畠山組　神田永富五

大井手豊次　警視廳　府下目黒町中目黒五九〇

大石志郎　東京鐵道局工務課　府下杉並高圓寺八二二、安藝方

大岩義雄　陸軍技手　麻布區歩兵第三聯隊內第一師團經理部工務科出張所　府下落合下落合四〇四

大內章正　竹中工務店東京支店　府下戸塚下戸塚五三二（牛込五五六）

大內二男　大藏省營繕管財局監督課　麹町區元園二ノ一一、藤原なみ方

大岡富五郎　宮内省内匠寮建築掛　府下和田堀內和泉四八

大賀　隆　本所區役所建築係　府下岩淵稻付三八

大川猪治　警視廳　府下落合上落合三輪八五七

大川鋳之助　第一師團經理部　府下西巢鴨堀之內九八七

大河內才吉　復興局第三出張所移轉課　四谷谷一ノ五四

大木　申　大藏省營繕管財局　淺草田中一六七

大木善三郎　櫻井小太郎建築事務所　麻布材木四一

日本トラスコン鋼材株式會社　府下荏原上蛇窪九九

大津　二二　玉子町土地區劃整理事務所　府下瀧野川四ケ原一〇七五、森江方

大塚昇太郎　農林省　日本橋本銀一ノ八

大塚政吉　合資會社有工社　小石川大原一九

大槻貞夫　大林組東京支店　府下目黒三田惠比壽市電終點、伊藤里代方

大手市太郎　横河工務所　府下大久保西大久保一三七

大藤春彦　府下駒澤野澤二六一

大西儀八　三井合名會社　府下瀧野川田端二九九

大西鎭八　警視廳　府下瀧野川田端四一五

大西豊治郎　赤坂福吉町一甲ノ六、和田三造方

大西八郎　近衛師團經理部　本所相生一ノ七、藤井方

大沼　勝　僑石建築事務所　神田錦三ノ三、僑石方

大野清一　遞信省經理部營繕課　本郷駒込動坂四七

大野健明　陸軍造兵廠火工廠　府下下練馬三六二八

大野信雄　大林組横濱生糸檢査所作業場　牛込東五軒一一

大野平吉　辰野葛西事務所　本郷駒込千駄木一五二、唐澤方

大野萬次郎　建築企物商會　府下巢鴨宮下一五四五

大竹敏太郎　豊多摩刑務所　府下野方新井三七〇豊多摩刑務所宿舍

大竹定吉　岩崎邸建築事務所　麻布市兵衛二ノ一

大谷武彦　復興局東京第四出張所移轉課　府下吾嬬龜戸二八五

大久保　衛　大倉土木會社　府下大井山中四一八四

大熊光次　日本セメント工業株式會社設計部　府下南千住南八二〇

大倉由平　鴻池組　京橋三十間堀三ノ三

大富連平　長濱組　府下大森富士見一六五四

大崎丈夫　商工省工務局　府下尾久上尾久二九二〇、堀田方

大崎喜吉　陸軍造兵廠火工廠技術課　府下板橋稻荷臺一一七〇、永井方

大澤覺造　大倉土木株式會社　深川東大工四一

大澤常松　大林組東京支店　麹町飯田六ノ二（電九段二三六）

大澤輝次　牛込市ヶ谷谷二

大島潤一　東京横濱電鐵會社工務部　府下野方上沼袋三八八

大島義男　警視廳官房會計課營繕係　府下長崎五郎窪四二一二

大須賀毅　第一師團經理部工務部　府下瀧野川田端五三六

大隅爲人　戸田組　牛込富久一二二

大隅滿藏　陸軍省經理局建築課　府下世田ヶ谷池尻五四七

大瀧竹治　阿部美樹志事務所　牛込原一ノ三四成松勇方

大竹敏太郎　豊多摩刑務所　府下野方新井三七〇豊多摩刑務所宿舍

大竹定吉　岩崎邸建築事務所　麻布市兵衛二ノ一

大谷武彦　復興局東京第四出張所移轉課　府下吾嬬龜戸二八五

大塲豊治　復興局第四出張所　府下淀橋角筈五〇

大葉松七　大藏省專賣局　府下代々木四山谷二三四

大橋與太郎　芝浦製作所　本所向島中ノ郷八三　府下大井谷垂五八五四

大林盛作　櫻井小太郎建築事務所　麹町飯田六ノ二二、梶谷方

大淵鐵太郎　三菱地所部　府下大久保百人二一二

大宮修三　大藏省營繕管財局　赤坂青山高樹二〇

大森全　財團法人同潤會建築課　府下王子上十條一二二六

大森芳太郎　大藏省營繕管財局臨時營繕局　赤坂一ッ木一三

大屋正　復興局東京第四出張所移轉課　本鄉駒込着五

大矢信雄　佐藤功一建築事務所　府下青山原宿一七〇ノ二八

大野清一　遞信省經理部工務課　府下世田ヶ谷下北澤八二四

大野健明　陸軍造兵廠火工廠　府下下練馬三六二八

大野信雄　大林組横濱生糸檢査所作業場　牛込東五軒一一

大野平吉　辰野葛西事務所　本鄉駒込千駄木一五二、唐澤方

大野萬次郎　建築企物商會　府下巢鴨宮下一五四五

大野　操　清水組工事部　神田淡路一ノ一、大野方

大塲公策　大塲工務所　下谷谷中初音四ノ一六五

太田鉦三郎　大林組横濱生糸檢査所作業場　牛込東五軒一一

太田清治　復興局建築部技術課　本所龜澤一ノ四六

太田藤吉郎　小石川雜司ヶ谷七六

太田秀夫　東京市復興事業局第三出張所　府下下澁谷七五二

太田秀樹　警視廳保安部建築課　府下上落合四二〇

太田芳三　清水組　本郷駒込坂下一三六
太田稔　清水組芝浦鐵工場工事主任　芝白金三光三三六、（電高三四七）
太田正五郎　大倉土木會社　赤坂一ツ木六三六
太田四郎　大倉土木株式會社　神田錦三ノ一五
太田資愛　神奈川縣營繕課　市外大久保四大久保一二六
岡山覺太郎　聲視臨技師　小石川竹早九四
岡崎直樹　日本紙器會社　牛込矢來四ノ二三號
岡崎泰光　鐵道省工務局　府下高田雜司ケ谷三一一
岡本松太郎　清水組技術部　四谷大番八八
岡本國男　府下荏原中延一一四
岡隆一　東京市建築局　府下岩淵稻付五二九
岡崎和義　清水組鐵工所　小石川宮下三四、福井方
岡田植茂　株式會社安藤組〇、岡田清延方　府下池上町石川六
岡田義一郎　東京建鐵株式會社　府下瀧野川上中里一七四
岡田銀也　清水組　府下瀧野川中里一一三
岡田源左衛門　大林組東京支店　府下世田ケ谷三宿三九二
岡田正一　外務省會計課營繕係　京橋因幡一
岡田正太郎

岡田忠弘　宮内省內匠寮　麻布本村一四五
岡田二郎　日本トラスコン鋼材株式會社　府下杉並阿佐ケ谷七二〇
岡田安一　合資會社大正組　本郷駒込千駄木二八四
岡野金作　大倉土木株式會社　神田錦三ノ一五
岡見健彥　遠藤新建築創作所　府下大崎白金猿八六
岡村市太郎　東京市復興事業局　本郷森川四七喜樂館
岡村瀧造　片岡石本建築事務所　府下大井瀧王子四四〇
岡村盛藏　遞信省經理局營繕係工務係　府下千駄ケ谷六九五、川津金次郎方
岡本鶴一　岡本商會赤坂田四ノ四、關澤信吉方
岡本定吉　下谷谷中初音四ノ一四
岡本光博　清水組設計部　府下大崎居木橋一六七
岡谷正三　東京市土木局營繕課　府下王子上十條九二〇
岡安武陽　海軍省建築局　府下代々幡代々木初臺六〇七
沖政吉　陸軍造兵廠火工廠　府下王子十條一二六二
沖田新吾　鐵道省東京第二改良事務所　府下大久保四大久保二〇三
沖原龜太郎　清水組　府下代々幡笹塚一一九九
萩原富造　營繕管財局　牛込山吹三一四
萩原貞雄　府下杉並阿佐ケ谷八七六

奥田讓　農林省建築課　本郷森川四三、武貞方
奥部勝弘　合資會社奥部組　府下馬込三四七〇（荏原六〇呼出）
奥村保志　東京市土木局建築課　府下杉並阿佐ケ谷二二三
奥田芳男　東京帝國大學營繕課　府下中野雜色小山二〇四
奥田象三　三共株式會社　市外澁谷永住四九
奥村精一郎　府下品川北品川二〇四
奥山幸　安藤組　市外千駄ケ谷原宿一七〇ノ六
奥寺格　石井組　小石川竹早八七（電小石五四九）
奥本五市　靖國神社技師　小石川林四一
奥山忠七　小石川原四八
王九源次郎　大倉土木會社　府下岩淵稻付八四三
筏島政市　東京市建築局　本郷本郷四ノ三八、山崎方
長田僚　松村組東京支店　麻布新龍土麻布三聯隊內松村組出張所（青山四八三）
長部常次　清水組　府下吾嬬請地二〇〇、久保田方
押田玉一郎　東京帝國大學營繕課囑託　本郷駒込坂下一二九
落合輝明　松村組　麻布新龍土麻布三聯隊內松村組出張所（青山四八三）
落合由造　復興局東京第四出張所移轉課　淺草淺草一一二、青木方
音澤治信　清水組設計部　麹町永樂丸ビル清水組



近江彌一郎　東京市建築課　府下三河島子ノ神三伊藤方
思田民夫　麻布笄町一七（青山三七）
思田直虎　府下巢鴨宮下一六二〇
加藤章　千葉利智事務所　府下荏原下蛇窪二三一
加藤秋則　鴻池組東京店　麹町永田二ノ二九（銀座二六〇）
加藤熊雄　府下碑衾二三、小高方
加藤惠藏　財團法人同潤會　本郷駒込林二三三三原方
加藤幸作　府下落合上落合六九一
加藤俊一　隅田建築工務所　日本橋鐵砲二五（浜花三六六）
加藤輝雄　復興局建築部技術課兼公園課　麹町富士見ノ一九、平井方
加藤聰郎　千葉利智建築事務所　本郷千駄木五八第五初音館（小石川四二七）
加藤一　建築金物商會　府下巢鴨三ノ三
加藤正雄　府下澁谷下澁谷一五五一、鈴木方
加藤正邦　大藏省專賣局　麹町飯田一ノ九
加藤正長　曾禰中條建築事務所　府下澁ノ川田畑三六
加藤泰　東方加藤築建事務所　府下澁谷下澁谷一五二
加藤保太郎　中村工務所設計部　牛込市谷田二ノ八（牛込四呉七）
加藤　相模電氣鐵道株式會社　小石川林六四
加藤八十次郎

加藤芳三　大藏省營繕管財局　牛込東榎二〇、揖斐方
加藤岩造　第百銀行（電牛二六三）　牛込矢來三山里二三號
加藤得三郎　復興局建築課　小石川西原一ノ五
加藤函一　大倉土木會社　府下大森新井宿長田一五
加藤登　大林組東京支店　本郷駒込千駄木五七
加藤賢　陸軍經理學校　下谷櫻木二
加藤正雄　近衛師團工務課　市外馬込堂寺三二八
加納眞一　富士製紙株式會社　府下大森新井宿六七六
加納三雄　三脇土木建築事務所　府下代々幡笹塚一一四一（電四谷五三）
加瀨正衛　海軍省建築局　府下上目黑一三九七
加納三雄　府下長崎西向二九二九
鹿毛孝紀　宮內省內匠寮　四谷南伊賀一五、織本方
鹿兒島原人　鎌倉町役場新築工事現場係　府下荏原戶越ノ二九
甲斐孝　東京市役所建築課　府下戶塚下戶塚三四七（牛込五四七）
具田正直　牛込下宮比一二
柿谷宗功　京橋區役所營繕係　府下大森山谷二六四四
柿沼稠吉　牛村工務所設計部　牛込市谷田二ノ八（牛込四呉七）
柿木浮　釜井工務所　府下井荻上荻窪三三一

鍵山英夫　府下下戶塚三四七（牛込五四七）
格清繁次　遞信省經理局營繕課　府下大森山谷一五〇一
景山信雄　千代田工務所　府下瀧野川田端三五
梯兼之（カケハシ）　警視廳保安部建築課　府下澁谷下澁谷代官山アパートメント二五ノ八五
笠置盛雄　清水組　府下巢鴨上駒込五五三、近藤方
笠原治助　大藏省營繕管財局監督課　府下代々幡代々木上原一一六〇、奧本方
笠原貢　鐵道省東京第二改良事務所　府下雜司ケ谷上り屋敷一〇九八
葛西重男　神奈川縣廳舍建築事務所　府下新井新井宿二四一一
風間英二　復興局第二出張所　深川西二七
風間武　竹中工務店東京支店　本郷四片一〇ほノ三
風間忠雄　東京市復興局第一出張所移轉係　府下瀧野川西原七八三
樫山嘉三　內藤事務所　牛込若松七六ノ八號、內藤方
鹿毛孝紀　橫河工務所　麻布笄一一八
柏崎進次　住友合資會社工務部建築課東京詰　府下杉並阿佐ケ谷二二一
柏村浩左久　日本銀行建築課　市外中野打越一九六六
金澤孝治　荏原工業協會技師　府下戶塚諏訪一六〇
金剌鋂藏　東京市電氣局營繕課　府下練馬下練馬三六二四
金澤靖　東京市技師　府下南葛飾端江一ノ江
金谷集三

**金川　堯**　井上合資會社　府下中野四三四八六

**金田恭介**　東京海上ビル建築係　府下杉並馬橋一〇〇〇

**金窪定次**　農林省建築係　府下松澤村松原八八〇

**金子鍵次郎**　陸軍技師　府下杉並高圓寺七七八

**金子　武**　商工省官房　市外野方上沼袋三五

**金子清吉**　建築技師　本郷菊坂五八（電小六九八）

**金子　勉**　大林組東京支店　麹町永樂二ノ二大林組東京支店

**金子益二郎**　第一銀行建築係　府下淀橋柏木一一六〇、大内方

**金子光次郎**　東京市技手東京市建築局　府下杉並高圓寺三四七

**金子由次**　安田貯蓄銀行建築係　府下目黒下目黒九七九

**金坂（カネサカ）知美（しるみ）**　復興局第一出張所　淺草北清島七七

**叶　信吾**　近衛師團經理部　府下杉並阿佐ヶ谷一八

**兼田建次郎**　復興局建築部技術課　神田今川小路三ノ九、森田方

**兼田日露次**　鐵道省工務局建築課　府下目黒中目黒五九〇

**兼房始一**　東京市囑託　本郷湯島天神前通陽明館　府下中野打越二〇八三

**蒲原判藏**　遞信省經理局營繕課工事係

**蒲ヶ原清盛**　東京鐵道局工務課　府下野方上沼袋三八〇

**鎌田貞義**　清水組工事部　本郷湯島三組一六妻戀舘

**鎌田順吉**　オリエンタル寫眞工業會社　府下野方新井二四一

**鎌田友治**　竹中保壽建築事務所　神田猿樂三ノ四、小澤方

**片岡新一**　遞信省營繕課工事係　府下荏原小山一〇五、石井濱吉方

**片岡英彥**　清水組　府下大井木場四三六四、高橋方

**片所（カタショ）達三**　隅田工務店　四谷花園五二（四谷二四五五）

**片山健一**　遞信省經理局營繕課工事係　日本橋本銀一ノ六、佐々木方

**片山恒治**　遞信省營繕課工事係　府下大井池濱川一一九三

**片淵勝利**　復興局東京第二出張所　府下杉並阿佐ヶ谷六一八

**片桐八洲彥**　復興局第二出張所移轉掛　府下淀橋柏木三五一、吉滿方

**刀坂晴美**　大林組東京支店　府下淀橋角筈七二長房一六一八（淺川二九）

**勝田　正**　内藤多仲建築事務所　府下戸塚源兵衛七六、菊津方

**勝田千利**　大倉土木株式會社　麹町富士見五ノ一六　府下杉並阿佐ヶ谷松山二七四

**勝沼源次郎**　大倉土木株式會社横濱支店　下谷入谷二三七　府下淀橋角筈七

**勝部芳民**　大倉土木株式會社　府下碑衾碑文谷三三〇五〇、吉田孝助方

**勝俣幸太郎**　本郷西片一〇イノ一三號（小石川五二三）

**金澤庸治**　遞信省經理局營繕課工事係

**金子喜三郎**　島藤本店　深川新安宅一二、島藤方

**上坂玄太郎**　上坂建築事務所　府下大森谷中六三〇

**上遠豐治**　府下杉並高圓寺九二八　赤坂丹後一一（電青二五七）

**上遠武治**　府下目黒三田一八一

**上遠三郎**　櫻井事務所　府下千駄ヶ谷原宿一七〇ノ一六（電青二五四）

**上領哲三**　京北電力會社建設部　市外巢鴨宮下一七六三

**上沼清八**　大倉土木會社　府下杉並高圓寺谷中六一一

**上山善司**　麻布三河臺一三

**上林敬吉**　復興事業局第一出張所移轉係　府下世田谷太子堂二五二

**上村　清**　司法省營繕係　麻布北新門前三、小太刀方

**神奈川甚吉**　大林組東京支店　府下淀橋角筈七二五

**神波豐吉**　京橋弓九（京橋四〇三三）

**神尾甲三**　三菱倉庫會社築築係　府下馬込村一二三〇

**神尾秀雄**　三井鑛山株式會社神岡鑛業所　府下落合上落合六七一

**神谷愛一**　復興局技手　麻布笄八二

**神谷乙次郎**　四彥製瓦會社　京橋南槇二（京橋四三五六）

**神谷繁之**　府下下落合六四七、早川方

**神谷新一**　文部省宗教局　市外東大久保一

**神谷吉五郎**　松坂屋臨時建築部　府下瀧ノ川田端五〇〇

**神坂三郎**　營繕中條事務所　下谷谷中坂六一（電下一九一四）

**神子三郎**　東京市建築課　市外四大久一五

**神山正一**　近衛師團經理部工務科　府下馬込石原三三一〇、平野方

**神山常雄**　第一師團經理部工務科　本所綠四ノ三六

**神崎光男**　東京帝國大學營繕課　本郷金助二三北谷松方

**神田道太郎**　宮內省內匠寮　府下駒澤上馬六七四

**神戸勝雄**　府下玉子上十條一三三八、齋藤方

**菅野菊次郎**　建材社　日本橋元柳三生樂堂（浪花三七）

**龜井幸次郎**　復興局建築部　芝三田綱一

**龜井愼平**　日本塗裝株式會社　府下大井二九九（高輪二五四五）

**龜井義雄**　復興事業局第四出張所移轉課　麻布東九、山縣方

**鴨志田兼吉**　第一銀行建築部　牛込市ヶ谷臺九三

**片岡　眞**　營繕管財局技師　赤坂臺六八（電青七七）

**片山勝藏**　神田駿河臺東紅梅八（電神二四〇）

**笠原敏郎**　內務技師復興局建築部長　牛込原二ノ五六（電牛六〇七）

**笠原慶藏**　府會議員　芝君塚一四（電高二三六）

**笠松爲吉**　松村組　府下碑衾碑文谷字原一五七三

**釜石才治郎**　神田表神保一

**蒲原重雄**　司法省建築課　府下綾瀨小菅刑務所官舍

**唐澤紀宗治**　警視廳保安部建築課　本鄉千駄木二一〇

**狩野春一**　東京高等工業學校　市外馬込三七六九

**栢森治平**　大倉土木株式會社　府下大崎上大崎六〇六

**萱場清造**　麻布谷四、陸山方

**唐渡音次郎**　大昌工務店　深川西六間堀一八

**骨田（ガラスタ）正男**　安藤組　芝三田四國三三彌生館、鈴木京方

**川內定雄**　大倉土木株式會社横濱支店　下谷入谷二三七

**川內光男**　東京市土木局建築課　府下東大久保一三八

**川勝文吉**　復興局第四出張所　府下南葛飾小岩下小岩二五六一

**川勝平三**　日本鐵筋ブロック建築合資會社　府下入新井不入斗六七三

**川上長太郎**　遞信省營繕課　麹町飯田四ノ一四、長谷川方

**川口　進**　清水組本店　府下玉川奧澤四〇〇

**川口忠雄**　東京市土木局建築課　府下荏原戶越一〇〇八

**川副四郎**　鳳月社工務所　本鄉駒込曙一六七ノ二六號、森口方

**川西春駒**　共同信託株式會社設計部　京橋木挽三ノ一

**川野德太郎**　中村建築事務所　四谷新宿二ノ二六

**川野義彥**　第百銀行三階中村工務所

**川野嘉文**　大藏省營繕管財局横濱出張所　府下日暮里金杉一八二七（下谷五二六）

**川部吉助**　佐藤功一建築事務所　府下三河島驛裏三三一五

**川邊清之助**　大倉土木株式會社　府下目黒上目黒一九七四

**川村一郎**　宮內省內匠寮　府下高井戶大宮前五四

**川村清吉**　中野工務店　府下巢鴨一一二九

**川村清之助**　三菱地所部　赤坂青山南五ノ五

**川村善一**　大藏省營繕管財局　淺草光月一ノ三號（淺草二五三）

**川村宗吉**　小川組　府下荏原戶越七ノ

**川村忠一**　清水組　西巢鴨新田七〇三

**川守田清次郎**　遞信省經理局營繕課　府下淀橋角筈七二六、石橋方

**川畑整理**　東京電燈會社　市外喜多見三四五ノ八

**川又亮雄**　戶田組　芝西久保明舟一七ノ八

**川元良一**　同潤會　赤坂臺七五

**河合清**　淺邊建築事務所　府下中野三八五九

**河合三郎**　大倉土木會社　麻布谷二

**河合時次郎**　遞信省經理局營繕課工事係

**河合富二**　復興局事業局第三出張所　府下瀧野川田端四一、天野方

**河面三郎**　海軍建築部　府下中野二六五
**河島利征**（リヤイ）　木子建築事務所　神田區駿河臺明治記念館建築場大倉土木會社出張所
**河地虎次郎**　河地工務所　府下世田ヶ谷太子堂本村一五九
**河津祐一**　川崎第百銀行　府下澁谷下澁谷一八七六、
**河西唯芳**　大藏省營繕管財局　牛込天神八二
**河野利助**　清水組　府下代々幡幡ヶ谷三五三
**河野要**　河野工務所　府下大井水神下二〇八九
**河村機**　河村工務所　小石川小日向臺一ノ五九（小石川六〇三）
**河村利喜太郎**　京橋越前堀一ノ五（京橋二七六）
**河村一太郎**　外務省技師　府下巢鴨上駒込傳中裏二八ノ七（電小石川八四）
**河口庄一**　大藏省營繕管財局　府下下目黒大塚九三一
**鹿島貞房**　三井合名會社　市外南品川洲崎臺一五〇一
**糟谷鎌三**　文部省　麻布森元一ノ二八
**木佐木左盛**　大藏省營繕管財局　府下代々幡幡ヶ谷二四一
**木佐貫喜八**　鐵道省工務局建築課　牛込山吹一ノ二三、西川方
**木澤五郎**　華族會館新築事務所　麻布我善坊二三、小林方
**木島丑太郎**　大藏省營繕管財局　芝琴平二
**木島彌太郎**　東京建織株式會社　府下三河臺七八〇（同社へ下分九二四）

**木田保造**　神田宮本七（電下谷二〇二）
**木戸武男**　市外千駄ヶ谷原宿二一三、雀部方
**木下唯親**　白木屋呉服店　本郷龍岡三四
**木下益治郎**　東京海上保險株式會社　小石川水道端二ノ六四
**木下千幹**　三菱製紙會社中川工場　府下南葛飾新宿
**木下道夫**　第一銀行本店建築係　赤坂青山原宿八五
**木下繁雄**　本郷湯島四ノ四、木下兼吉方
**木下清太郎**　警視廳技手　麹町平河六ノ二
**木田延衛**　白鳳社建築工務所　府下井荻上荻窪四三三
**木谷武生**　文部技手　麻布市兵衛二ノ四五
**木野内幹雄**　同潤會建築課　府下吾孀請地五六
**木原武雄**　建築業　芝三田三、平岡方
**木全太藏**　清水組芝浦織工所　府下代々幡代々木山谷一八三
**木村一男**　下谷安藤組　下谷茅二ノ四
**木村龜次郎**　府下荏原戸越二三四
**木村義雄**　復興局整地部庶務課　市外大崎上大崎四四四
**木村富三郎**　大藏省營繕管財局　府下淀橋柏木三五三、中村順一方
**木村武一**　佐藤功一事務所　府下代々幡代々木新五八
**木村幸一郎**　早稻田大學助教授　下谷中根岸七五
**木村榮二郎**　遞信省營繕課（電九段三五〇）　神田西小川二ノ三
**北澤五郎**　復興局建築部　小石川中富坂一七
**北田九一**　市外下澁谷一五一二（電高圓寺三三）
**北川正彌**　川崎第百銀行建築部　市外東大久保三〇五
**北村勝戈**　東京鐵道局新橋保線事務所　芝汐留鐵道局新橋保線事務所
**木村重太郎**　遞信技手　府下荏原戸越五七六
**木村正一**　大日本麥酒會社建築係　府下杉並高圓寺四〇四
**木村澄男**　外務省會計課技師室　麹町土手三番一五
**木村民太郎**　二葉建築工務所　京橋築地南飯田四
**木村忠次**　府下吾孀請地二〇〇
**木村貞二**　赤坂檜一九
**木村平五郎**　戸野志村建築硬園事務所　府下馬込寺鄉區二九八三
**木村義平**　宮內技手　府下和田堀和田萩久保八
**木村富三郎**　近衛師團經理部工務課　府下落合下落合二一四七
**木村武一**　佐藤功一事務所　府下代々幡代々木新五八
**木村幸一郎**　早稻田大學助教授　下谷中根岸七五
**木村榮二郎**　遞信省營繕課（電九段三五〇）　神田西小川二ノ三
**北澤五郎**　復興局建築部　小石川中富坂一七
**北田九一**　市外下澁谷一五一二（電高圓寺三三）
**北川正彌**　川崎第百銀行建築部　市外東大久保三〇五
**北村勝戈**　東京帝國大學助教授　府下大崎上大崎四七〇（電高輪六六）



**北村淑人**　富士瓦斯紡績株式會社　府下平塚小山五〇八
**北村耕造**　宮內技師宮內匠寮工務課長　小石川雜司ヶ谷八三（電牛込五七）
**木村六一**　建築業白井工務店　府下碑衾碑文谷二四
**木綿喜吉**　陸軍火工廠技術課　府下玉子下十條一〇二二
**喜古正**　第一師團經理部工務科　牛込市ヶ谷本村陸軍士官學校內第一師團經理部派出所（牛込四四九四）
**鬼頭作三**　府下入新井新井宿一〇五七
**城戸政記**　砂町役場　府下千駄ヶ谷四三一、市川方
**城所繁雄**　八王子市役所土木課　府下八王子上野一四
**城所延由**　本所林一ノ七（本所二九七）
**吉良修**　東京市復興事業局工事係　府下目黒下目黒九六六
**菊田久**　第一師團經理部工務科　府下澁谷中澁谷八六
**菊池武滿**　營繕管財局　芝三田二ノ一七、吉崎方
**菊地武之介**　大阪橋本組東京支店　府下淀橋角筈二〇五（四谷四二六）
**菊地定吉**　東武鐵道株式會社　芝仲門前三ノ五（芝二三二）
**菊地惟中**　橫濱正金銀行廣東支店　府下澁谷
**菊地彌衛門**　復興局建築部第四出張所　府下巢鴨上駒込染井八四七
**菊地白**　宮內技師　四谷三光一（電四谷二六）
**岸高武**　清水組本店　府下落合下落合（電牛込六六）

**岸田日出刀**　帝國大學助教授　府下大崎上大崎四七〇（電高輪六六）
**岸川善二**　東神倉庫會社工務課　市外大井出石五〇六四、有馬方
**岸理一**　警視廳建築課　府下淀橋柏木一〇一七
**岸本保**　東京帝國大學營繕課　府下馬込谷中一一三〇
**北出巳之吉**　遞信省經理局營繕課　府下大崎上大崎一一（高輪四三〇）
**北河登喜次**　清水組工事部　府下澁谷下澁谷一七九六
**北村喜壯**　東京府廳營繕課　府下世田ヶ谷下北澤一九六
**北村金次郎**　復興局東京第四出張所移轉課　本所向島仲ノ鄉八八アパートメント四號館六十二（墨田四一）
**北村清一**　府下松澤松原一七七二
**北森竹松**　東京市建築課　芝三田四國二ノ一七
**北山龜太郎**　ヨシダアテリエ建築設計部　麻布市兵衛二ノ三四
**衣笠直之**　府下野方下沼袋一五一〇
**衣川强次**　清水組　牛込喜久井三四、伊藤方
**衣川正俊**　警視廳建築課　四谷鹽三ノ四五
**君島祐之**　遞信省經理局營繕課　府下北千住五ノ三九（千住三五）
**清野秀丸**　遞信省　府下北千住五ノ四〇
**工藤完治郎**　近衛師團經理部工務科　澁谷八九五、石川數吉方
**工藤重正**　東京市土木局建築課　府下池上石川五
**工藤善次郎**　府下松澤松原一
**工藤安城**　營繕管財局工務課　牛込早稻田鶴卷四一五
**工藤理平**　あめりかや　麻布谷六〇
**久長知**　清水組　府下中澁谷八三九
**久木田鎌輔**（ケンスケ）　竹下工務所　府下杉並阿佐ヶ谷八四〇
**久科生筑一**　安田銀行　牛込富久二〇
**久世**（クゼ）**實**　東京市土木局建築課　府下荏原六鄉八幡塚七二六
**久保一二**　東京市學校建設課　赤坂傳馬三ノ一六
**久保角太郎**　日本橋區役所　芝神谷一八
**久保薗豐重**　府下世田ヶ谷羽根木一七六九
**久村繁一**　海軍省建築局　府下代々幡幡ヶ谷七九
**久慈嘉造**　松下建築事務所　淺草花川戸二一
**日下部東一郎**　東京帝國大學營繕課　府下杉並阿佐ヶ谷二二三
**草間三喜雄**（クサマミキヲ）　近衛師團經理部工務科府下大久保陸軍小銃射擊場近衛師團經理部工務科
**忽那仁作**　建築設計業　府下巢鴨宮下一七〇四

朽名（クツナ）春吉　下谷區役所小學校建築工事監督員　府下大崎谷山一九八
國見義雄　警視廳保安課建築課、本郷元一ノ一一七、和田節方
窪良治　櫻井小太郎建築事務所　小石川丸山福山一三
窪田芳市　文部省建築課　府下大井瀧王子四四七五
窪田義惠（ヨシエ）　營繕管財局工務部監督課　府下瀧野川内閣印刷局建築場大藏省詰所
熊井專介　合資會社清水組　府下澁谷下澁谷八二六
熊谷明義　府下目黒三田一七二
熊城惟三　關根工務所　府下板橋下板橋一〇二八
熊澤銀次郎　商工大臣官房會計課　府下荏原中延鄰戸原二四一
熊岡實　復興局第四出張所移轉課　本所石原六三
熊脇（クマワキ）一雄　第一師團經理部工務課　赤坂第一師團經理部工務課
神代（クマシロ）和臣（カズオミ）　東京鋼材建築株式會社　府下中野西三六三四
倉持宰　府下日暮里谷中本五四〇
倉田義一　府下世田ヶ谷代田東大原一一六七
倉敷高吉　遞信省經理局營繕課工事係　府下品川南品川淺間臺一五一七、神戸方
倉野榮　清水組　府下千駄ヶ谷三三二
倉堀博　東京市復興事務局第一出張所　府下荏原戸越九〇〇
倉森（ヨシ）潔　海軍省建築局　芝二本榎一ノ六二
栗田丑太郎　第一師團經理部工務課　府下高田大原一五七二、平岡方
栗田定一　大倉土木株式會社　府下黒上目黒駒場七七三
栗林吉太郎　小川組　下谷入谷四一
栗林政雄　西村組（深川蛤二ノ一一、西村常吉方（本所三六五）
栗原榮助　警視廳保安部建築課　府下杉並馬橋三五一
栗原操　戸田組　麹町丸之内郵船ビルディング五階
栗原要藏　府下大森馬込半張一〇九六
栗原忠一　營繕管財局　府下西巢鴨池袋大原一四六三
栗山助次郎　府下瀧野川田端一〇〇
栗山辰次郎　警視廳建築課　府下南千住千住南六一三、源間方
黒岩森彌　府下三河島三〇七二
黒木謹質　府下世田谷太子堂本一二〇
黒木邦夫　外務省會計課　麻布市兵衛二ノ三四
黒木繁　木田組　麹町飯田六ノ八、井村方
黒木貞次郎　片山研究所員　府下荏原上蛇窪二六五
黒子貞治　復興局東京第四出張所移轉課　本所松坂二ノ二二、藤原方
黒崎英雄　同潤會　府下代々幡代々木山谷四〇二
黒田熊治　東京帝國大學營繕課　府下荏原戸越三三〇
黒田粂次郎　竹中工務店東京支店　府下和田堀和泉三二六
黒田顯三　日本郵船株式會社營繕係　府下西巢鴨池袋八五二
黒田安一郎　東洋拓殖會社　芝白金臺二ノ一五
黒谷勇雄　大林組赤羽町出張所　府下大井元芝七四九、原富太郎方
黒田竹二　東京市區劃整理局　市外西巢鴨堀ノ内九八〇
黒岩正夫　清水組工事部　府下大森山王二五五七
黒田重三郎　市外大久保四大久保一三四内山方
黒崎幹男　營繕中條建築事務所　下谷池ノ端茅二ノ三〇（電下五七九）
桑野順吉　府下淀橋柏木三七一
桑野藤三郎　大倉土木株式會社　府下大崎下大崎一八八
桑島文一　同潤會建設部　府下王子上十條一三三五
桑原英治　東京市建築局　市外井荻下荻窪三五三
桑田正一　大藏省營繕管財局　府下中野本郷五二六
桑田千三郎　市外大久保西大久保二九六
桑野球作　第一師團經理部　府下世田ヶ谷太子堂三八四
工藤善次郎　府下松澤松原一
草間市太郎　横山建築事務所　府下瀧ノ川田端五〇六
楠富士太郎　竹中組　府下世田ヶ谷羽根木一六八七



藏田周忠　關根建築事務所　府下駒澤供養塚六二二ノ六
源間英太郎　警視廳建築課　府下南千住南五八三
小池友重　安藤組（麹町一番四九、安藤方（九段六六九）
小泉愛之助　辰野葛西事務所　神田今川小路二ノ四
小泉市重郎　麹町區技手　府下入新井新井宿二〇一
小泉孝　東京市土木局建築課　小石川林二六
小泉浩　渡邊仁建築工務所　府下大崎上大崎八〇四（高輪一五八）
小伊勢利作　第一師團經理部工務課　麻布第三聯隊第一師團經理部工務課出張所（青山四四三）
小久保實　復興局東京第四出張所　下谷入谷七〇、渡邊善四郎方
小阪章　小川組　府下淀橋角筈七三五
小崎春記　中村工務所　府下杉並高圓寺四〇三
小柴賀郎　大倉土木株式會社　芝白金猿三
小島榮二　農林省農務局建築係　麹町三番六七富田方
小島陽　府下池上堤七七三、三輪方
小島定雄　復興局東京第一出張所　府下尾久上尾久二二八、鈴木方
小島繁治　大林組東京支店　府下大島三ノ四四五
小嶋德太郎　東京市土木局建築課　府下杉並馬橋三一六
小杉武治　戸田組　下谷中根岸九六、下村方
小杉辰吉　小杉工務店　府下中野四一二五
小瀧文七　日本建築士會　府下西巢鴨一一一六
小玉新藏　農林省農務局建築課　牛込辨天二〇中陣方
小西新　警視廳建築課　府下四巢鴨池袋一〇三
小西哲二　文部省建築課　府下中澁谷四二七、小林制方
小西豐吉　堀城築建事務所　麹町丸之内ビルヂイング八階
小西弘　芝三田豐岡二八、長谷川彦三郎方
小西正夫　東神倉庫株式會社　府下澁谷下澁谷三八六
小林一郎　下谷練塀四五
小林鎌太郎　清水組本店　府下四大久保三九
小林菊二郎　復興事業局第三出張所　牛込白銀二九
小林近吾　復興局東京第四出張所移轉課　府下蒲田御園四〇三、納富準一方
小林金吾　府下巢鴨三ノ二六
小林軍吉　城所建築事務所　府下杉並阿佐ケ谷九八、長浦方
小林敬二　復興局第四出張所　府下目黒上目黒一一〇五
小林賢之助　鴻池組東京支店　府下目黒一五五六
小林仙次　復興局東京第一出張所　京橋本八丁堀河岸高橋擴築復興局詰所
小林茂　清水組本店　府下西巢鴨宮仲二五七〇ノ五七
小林信一郎　清水組本店　府下西巢鴨宮仲二五七〇ノ五七
小林新之助　安東組　府下向島隅田五二一
小林孝　司法省　府下王子扇四六二
小林武市　復興局建築部第二出張所移轉係　芝南佐久間二ノ一四
小林忠治　農務省農務局建築係
小林鶴吉　司法技手　府下巢鴨一二五〇
小林富藏　麻布飯倉四ノ一二
小林留治　府下杉並成宗一六
小林隆德　復興局建築部技術課　府下巢鴨南染井九一〇（電小三〇六）
小林良三郎　帝大營繕係　北豐島志小豆澤四四六
小林大作　警視廳保安部建築課　大森山王下二四三三
小林政一　東京高等工業學校教授　府下大森根岸木原山一五二一（電大森六二）
小林正紹　營繕管財局　府下杉並高圓寺下屋敷五五七
小林金平　營繕管財局　四谷簞笥五六（電谷三九四四）
小林英彥　大倉土木　府下巢鴨西巢鴨三三〇
小林賢一　東京市建築局　小石川諏訪五五、米田方
小林銈三郎　辰野葛西事務所　市外澁谷中澁谷二二三（電青一八二）
小林仙次　市外井荻下荻窪三五七
小谷平內　日清製粉會社　府下高井戸中高井戸五一